
富津市総合戦略策定に係る 市民アンケート調査等業務委託 報告書

令和6年2月

千葉県富津市

I. 業務概要

1. 業務目的	I-1
2. 業務概要	I-1
3. 業務内容	I-2
3.1 市民アンケート調査	I-2
3.2 首都圏居住者向け WEB アンケート調査	I-2
4. 業務フロー	I-3
5. 各調査の分析結果の概要	I-4
5.1 現行総合戦略の目標の達成状況	I-4
5.2 各調査の総評	I-5

II. 市民アンケート調査

1. 調査概要	II-1
1.1 調査目的	II-1
1.2 調査方法	II-1
1.3 調査項目	II-1
1.4 調査票	II-2
1.5 回答結果	II-14
2. 調査結果	II-15
2.1 回答者の属性	II-15
2.2 基礎集計結果	II-19
2.3 総合戦略の各基本目標に係る数値目標及び 施策に係る目標値の達成状況の確認に関する分析	II-46
2.4 回答者属性別にみた詳細分析	II-98
2.5 市の特徴を探るための2次分析	II-177
2.6 前回調査との比較分析	II-200

III. 首都圏居住者向けWEBアンケート調査

1. 調査概要	III-1
1.1 調査目的	III-1
1.2 調査概要	III-1
1.3 設問の企画	III-2
2. 調査結果	III-11
2.1 基礎集計結果	III-11
2.2 クロス集計結果	III-21

IV. 参考資料（巻末に添付）

市民アンケート調査 設問別の掲載頁

設問 No	設問内容	掲載頁	集計内容	
			単純	クロス
1-①	性別	Ⅱ-15	●	
1-②	年齢	Ⅱ-15	●	
1-③	居住地区(小学校区別)	Ⅱ-16	●	
1-④	富津市内在住年数	Ⅱ-16	●	
1-⑤	転入の有無	Ⅱ-17	●	
1-⑥	居住形態	Ⅱ-17	●	
1-⑦	世帯人数	Ⅱ-18	●	
1-⑧	同居者	Ⅱ-18	●	
問 1	あなたは、富津市に誇りや愛着を持っていますか。あてはまるものを1つだけ選んで番号に○印をつけてください。	Ⅱ-19	●	
		Ⅱ-52～54		●
		Ⅱ-206	●	
問 2	富津市の住みごころはいかがですか。あてはまるものを1つだけ選んで番号に○印をつけてください。	Ⅱ-20	●	
		Ⅱ-104～105		●
		Ⅱ-206	●	
問 3	あなたは、これからも富津市に住み続けたいと思いますか。今の地区に住み続けるだけではなく、市内の他地区への転居も含みます。あてはまるものを1つだけ選んで番号に○印をつけてください。	Ⅱ-21	●	
		Ⅱ-106～108		●
		Ⅱ-184～189		●
		Ⅱ-200		●
		Ⅱ-201		●
		Ⅱ-206	●	
問 4	あなたの、富津市での生活の満足度と重要度についておうかがいします。あてはまるものを選んで番号に○印をつけてください。	Ⅱ-22～24	●	
		Ⅱ-55～98		●
		Ⅱ-109～152		●
		Ⅱ-184～189		●
		Ⅱ-190～192		●
		Ⅱ-193～199		●
		Ⅱ-203～205	●	
		Ⅱ-207～211	●	
問 5	あなたは、地域などで行っているさまざまな活動に参加・協力していますか。参加・協力しているものを次の中からすべて選んで番号に○印をつけてください。	Ⅱ-25	●	
		Ⅱ-153～157		●
		Ⅱ-211		●
問 6	あなたは、問 5 のようなコミュニティ活動(地域のさまざまな活動)に今後も参加したいと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んで番号に○印をつけてください。	Ⅱ-26	●	
		Ⅱ-99～101		●
		Ⅱ-200		●
		Ⅱ-212		●

設問 No	設問内容	掲載頁	集計内容	
			単純	クロス
問 7	問 6 で「3. あまり参加したくない」または「4. 参加したくない」に○印をつけた人におうかがいします。コミュニティ活動に参加したくない理由はなんですか。あてはまるものを選んで番号に○印をつけてください(最大 3 つ)。	Ⅱ-26	●	
		Ⅱ-158～162		●
		Ⅱ-212		●
問 8	今後、富津市がより安全・安心なまちになるためには、どのような取組みが重要だと思いますが？下の表から 3 つまで選んで教えてください。回答は回答欄に選んだ番号を書いて教えてください。選んだ結果が 1 ～ 2 つの場合や「12 特にない」の場合は二つ目や三つ目の枠は空欄で問題ございません。 【3 つまで記述】	Ⅱ-27	●	
		Ⅱ-163～167		●
		Ⅱ-200		●
問 9	テレワークの推進や行政手続きのオンライン化、デジタル教科書、遠隔医療など AI（人工知能）やデジタルを活用した新しい取組みが社会全体で広がっています。 今後、富津市でデジタルを活用した取組みとして、どんなものが普及・浸透すると良いと思いますか？下の表から 3 つまで選んで教えてください。回答は回答欄に選んだ番号を書いて教えてください。選んだ結果が 1 ～ 2 つの場合や「12 特にない」の場合は二つ目や三つ目の枠は空欄で問題ございません。 【3 つまで記述】	Ⅱ-28	●	
		Ⅱ-168～172		●
		Ⅱ-201		●
問 10	あなたが「富津市」から連想するキーワードを 3 つ教えてください。	Ⅱ-29	●	
		Ⅱ-213～215	●	
問 11	あなたが思う富津市の「強み」だと思うものを下の表から 3 つまで選んで教えてください。回答は回答欄に選んだ番号を書いて教えてください。選んだ結果が 1 ～ 2 つの場合や「13 特にない」の場合は二つ目や三つ目の枠は空欄で問題ございません。 【3 つまで記述】	Ⅱ-30	●	
		Ⅱ-216	●	
問 12	富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、「市民が幸せを感じられるまち」を実現することが大切であると考えます。その実現のため、皆さんが今までに幸せだと感じた時や事柄について教えてください。下記解答欄に自由に記載ください。	Ⅱ-31	●	
		Ⅱ-217	●	
問 13	あなたの現在の子どもの数は何人ですか。あてはまるものを 1 つだけ選んで番号に○印をつけてください。	Ⅱ-38	●	
		Ⅱ-201		●
問 14	あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか。あてはまるものを 1 つだけ選んで番号に○印をつけてください。	Ⅱ-38	●	
		Ⅱ-201		●

設問 No	設問内容	掲載頁	集計内容	
			単純	クロス
問 15	あなたは、富津市は子育てしにくいところだと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んで番号に○印をつけてください。	Ⅱ-39	●	
		Ⅱ-102～103		●
		Ⅱ-202		●
		Ⅱ-217	●	
問 16	あなたは、富津市が子育てしやすい地域になるためには、何が必要だとお考えですか。あてはまると思われるものを下の表から3つまで選んで教えてください。回答は回答欄に選んだ番号を書いて教えてください。 選んだ結果が1～2つの場合は二つ目や三つ目の枠は空欄で問題ございません。【3つまで記述】	Ⅱ-40	●	
		Ⅱ 173～177		●
		Ⅱ-202		●
問 17	あなたについて、おうかがいします。あてはまるものを選んで番号に○印をつけてください。	Ⅱ-41	●	
問 17-2	【問 17】で「2 結婚していない」を選ばれた方に伺います。結婚されていない理由を差し支えない範囲で教えてください。あてはまると思われる理由を選んで番号に○印をつけてください(最大3つ)。	Ⅱ-41	●	
		Ⅱ 178～182		●
問 18	社会潮流の変化で地方創生に関する新しい政策を国で推進しています。国が推進する政策のうち、富津市において重要だと思う取組みを下の表から3つまで選んで教えてください。回答は回答欄に選んだ番号を書いて教えてください。 選んだ結果が1～2つの場合や「9 特にない」の場合は二つ目や三つ目の枠は空欄で問題ございません。 【3つまで記述】	Ⅱ-42	●	
問 19	富津市について、あなたがイメージすることや将来の富津市のために思うことがあれば、教えてください。 【自由記述】	Ⅱ-43	●	

web アンケート調査 設問別の掲載頁

設問 No	設問内容	掲載頁	集計内容	
			単純	クロス
SC1	居住地 あなたの居住地をお答えください（○は1つ）。	Ⅲ-11	●	
SC2	性別 あなたの性別をお答えください（○は1つ）。	Ⅲ-11	●	
SC3	年齢 あなたの年齢をお答えください（○は1つ）。	Ⅲ-11	●	
SC4	職業 あなたの職業をお答えください（○は1つ）。	Ⅲ-12	●	
SC5	家族構成 現在お住まいの住居での家族構成をお答えください（○は1つ）。	Ⅲ-12	●	
Q1	認知度 あなたは、富津市のことをご存知ですか（○は1つ）。	Ⅲ-13	●	
		Ⅲ-20		●
Q2	イメージ あなたは、富津市にどのようなイメージを持っていますか（それぞれ○は1つ）。	Ⅲ-13	●	
		Ⅲ-21～26		●
Q3	認知物 あなたは、以下の富津市に関係するものについてご存じですか（○はいくつでも）。	Ⅲ-14	●	
		Ⅲ-27～28		●
Q4	認知方法 あなたは、富津市の情報を得るとき主に何を利用していますか（○はいくつでも）。	Ⅲ-14	●	
		Ⅲ-29～30		●
Q5	選択基準 あなたは、観光地に行く際に、どのような基準で場所を選びますか（○は3つまで）。	Ⅲ-15	●	
		Ⅲ-31～32		●
Q6	来訪意思 あなたは、富津市を「観光で訪れたいまち」だと思いますか（○は1つ）。	Ⅲ-15	●	
		Ⅲ-33		●
Q7	否定の理由 そのように感じる理由を教えてください（○はいくつでも）。	Ⅲ-15	●	
		Ⅲ-34～35		●
Q8	来訪経験 あなたは、観光で富津市を訪れたことがありますか（○は1つ）。	Ⅲ-16	●	
		Ⅲ-36		●
Q9	来訪場所 あなたが富津市で、観光で訪れたことがある場所をお選びください（○はいくつでも）。	Ⅲ-16	●	
		Ⅲ-37～38		●

設問 No	設問内容	掲載頁	集計内容	
			単純	クロス
Q10	再訪意思 あなたは、再度富津市を訪れたいと感じていますか（○は1つ）。	Ⅲ-17	●	
		Ⅲ-39		●
Q11	否定の理由 そのように否定的に考える理由をお答え下さい（○はいくつでも）	Ⅲ-17	●	
Q12	移住希望 あなたは、将来移住したいと思いますか（○は1つ）。	Ⅲ-18	●	
		Ⅲ-40		●
Q13	市への移住 あなたは、富津市を将来の居住地の候補として考えることができますか（○は1つ）。	Ⅲ-18	●	
		Ⅲ-41		●
Q14	移住の決め手 あなたが、富津市に移住すると仮定した場合、その要因となるものはなんですか（○は3つまで）。	Ⅲ-19	●	
		Ⅲ-42～43		●
Q15	移住に求めるもの 移住先では、これまでの便利機能・サポートが受けられなくなる可能性があります、これだけは譲れないものはなんですか（○は1つ）。	Ⅲ-19	●	
		Ⅲ-46		●
Q16	否定の理由 そのように感じる理由を教えてください（○はいくつでも）。	Ⅲ-18	●	
		Ⅲ-44～45		●
Q17	支援策 地方移住に関して、富津市役所が取り組んだ方が良くと思う取り組みはなんだと思いますか？（○は3つまで）。	Ⅲ-19	●	
		Ⅲ-49～50		●

I. 業務概要

1. 業務目的

第2期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「現行総合戦略」という。)の計画期間が令和6年度末までであるため、今後5か年の施策の目標や具体的な施策をまとめた第3期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定する必要がある。

本業務においては、市民アンケート調査等により現行総合戦略の各基本目標に係る数値目標の達成状況を確認するとともに、市民の富津市や子育て、結婚に関する意識、首都圏居住者の富津市に関する認知度などを把握するため、必要となる情報の収集・分析等を行い、それらを取りまとめた報告書の作成を目的とする。

2. 業務概要

委託件名：富津市総合戦略策定に係る市民アンケート調査等業務委託

対象地域：富津市 全域

履行期間：令和5年10月13日～令和6年2月29日

業務委託料：¥2,981,000.- (うち消費税 ¥271,000.-)

発注者：千葉県富津市

受注者：中央復建コンサルタンツ株式会社

業務項目：下表に示す。

表 業務項目一覧

項目	数量	単位	摘要
1. 市民アンケート調査	1	式	
2. 首都圏居住者向け WEB アンケート調査	1	式	
3. 報告書の作成	1	式	
4. 打合せ	1	式	

3. 業務内容

3.1 市民アンケート調査

3.1.1 調査概要

市内在住 15 歳以上の男女 2,000 人(住民基本台帳による無作為抽出)を対象にアンケート調査を実施する。

3.1.2 調査内容

受注者は、調査票を作成し、発送して回収するとともに、調査結果の入力、集計及び取りまとめを行う。

調査票の配布を受けた対象者の回答方法は、調査票の返送のほかに、Web システムへの入力も採用する。郵送で提出された調査票を発注者から受領する際の費用については、受注者の負担とする。

アンケートに要する用紙及び封筒の購入、印刷、封入、発送、返送並びに Web システムの設計・運用・管理に伴う経費については、委託費に含める。

対象者の抽出は発注者が行い、住所・氏名を受注者に提供する。

調査票は、前回(平成 30 年 6 月)実施したアンケート調査を参考に作成する。また、現行総合戦略の各基本目標に係る数値目標及び施策に係る目標値の達成状況の確認、当該アンケートにおける属性(性別、年代、居住地区等)別の分析、市の特徴を探るための 2 次分析及び平成 30 年 6 月に実施した市民アンケート調査結果との比較分析を行う。

また、転出者の意向に関して、発注者が実施している転出者アンケート調査等の活用も含めて、把握を検討する。

3.2 首都圏居住者向け WEB アンケート調査

3.2.1 調査概要

下表の地域に在住の 20 歳代から 60 歳代までの男女を対象にインターネット調査を実施する。

表 WEB アンケート調査対象者

地域	人数
東京 23 区、横浜市及び川崎市	400 人以上
千葉県内の都市部(人口 15 万人以上の市)	350 人以上
千葉県内の都市部以外の地域(人口 15 万人未満の市町村)	350 人以上

3.2.2 調査内容

受注者は、調査票を作成し、調査の実施及び調査結果の入力、集計及び取りまとめを行う。

首都圏居住者の市に対する認知度、市への移住意向等の把握、当該アンケートにおける属性(性別、年代、居住地等)別の分析及び受注者が首都圏の他自治体で実施した都市住民向け WEB アンケート調査との比較分析を行い、市の特徴等を探る。

調査票は、前回(平成 30 年 6 月)行ったアンケート調査を参考に作成する。

3.2.3 報告書作成

上記までの内容を取りまとめ、報告書を作成する。

4. 業務フロー

本業務の業務フローは下図の通りである。

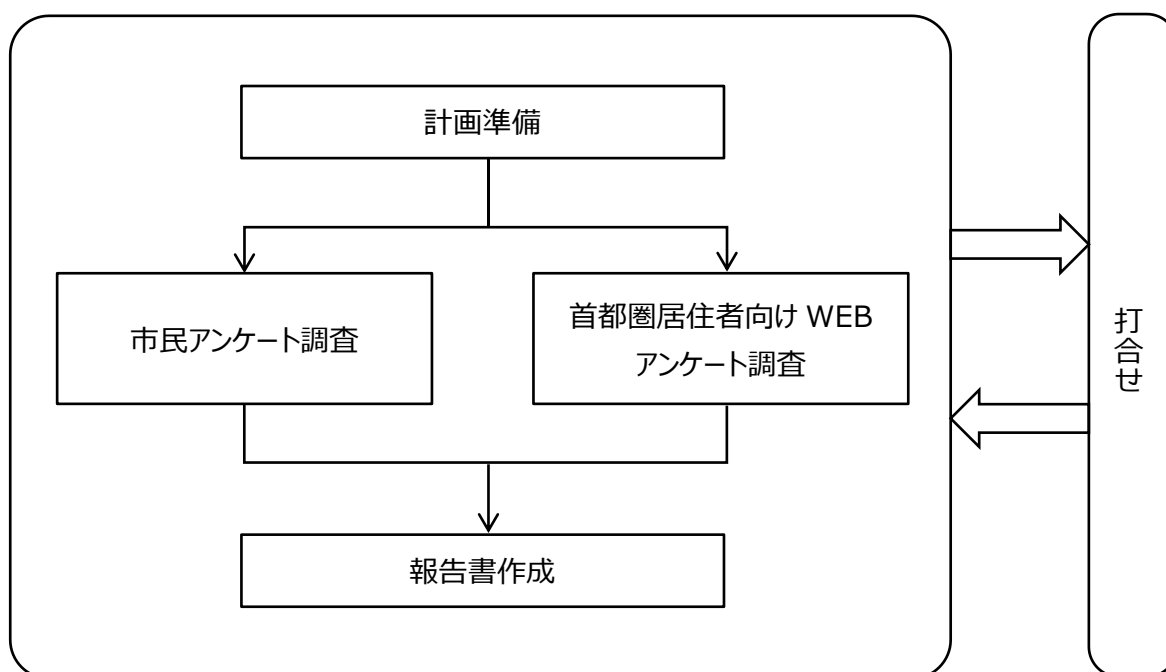


図 業務フロー

5. 各調査の分析結果の概要

5.1 現行総合戦略の目標の達成状況

現行総合戦略の目標の達成状況を下表に整理する。

表 現行総合戦略の目標の達成状況

目標	評価指標	評価方法	現状値 (無回答除く) (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	調査結果 (無回答除く)	調査結果 (無回答含む)
1 子どもの笑顔があふれるまちへ	子育てしやすいと感じる世帯の割合	市民アンケート調査	25.8%	50%	26.9%	26.1%
2 自分のくらす地域を好きになる	富津市への愛着度	市民アンケート調査	52.7%	60%	53.5%	53.5%
3 暮らしやすく、移住しやすい環境づくり	「これからも富津市に住み続けたい」の割合	市民アンケート調査	78.9%	85%	81.5%	81.3%
4 市の産業、仕事を創る	働く場所の創出への満足度	市民アンケート調査	16.4%	25%	16.1%	15.6%

※評価指標は無回答を除いた割合である。Ⅱ章では、無回答を含めて結果を整理しているため、数値が一致しない部分がある。

表 現行総合戦略に位置付けた施策の目標の達成状況(本業務で実施の調査に関連するものを抜粋)

目標	評価指標	評価方法	現状値 (無回答除く) (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	調査結果 (無回答除く)	調査結果 (無回答含む)
1 子どもの笑顔があふれるまちへ	-	-	-	-	-	-
2 自分のくらす地域を好きになる	地域情報の発信に満足している人の割合	市民アンケート調査	22.6%	40%	33.1%	31.7%
	地域活動への参加意欲がある人の割合	市民アンケート調査	54.8%	60%	49.0%	49.0%
	市民活動やコミュニティの支援に満足している人の割合	市民アンケート調査	23.3%	25%	35.6%	34.6%
	市民の交流拠点に満足している人の割合	市民アンケート調査	18.1%	30%	27.4%	26.3%
	福祉サービスに満足している人の割合	市民アンケート調査	24.4%	30%	36.2%	34.8%
3 暮らしやすく、移住しやすい環境づくり	公共交通網の整備に満足している人の割合	市民アンケート調査	11.8%	25%	13.7%	13.3%
	住む場所に満足している人の割合	市民アンケート調査	51.6%	60%	59.1%	57.2%
	富津市を将来の居住地の候補として考えられる人の割合	市外居住者アンケート調査	52.0%	65%	43.8%	-
	地域情報の発信に満足している人の割合	市民アンケート調査	22.6%	40%	33.1%	31.7%
4 市の産業、仕事を創る	女性における働く場所の創出への満足度の割合	市民アンケート調査	16.2%	25%	17.9%	17.9%

※評価指標は無回答を除いた割合である。Ⅱ章では、無回答を含めて結果を整理しているため、数値が一致しない部分がある。

5.2 各調査の総評

各調査の総評を整理する。

5.2.1 市民アンケート調査

市民アンケート調査の結果をみると、現行総合戦略に位置付けた目標の評価指標に関しては、策定時の現況値(平成30年度)よりも改善傾向にあることが分かる。また、各施策の評価指標に関しても、概ね改善傾向にあることが分かる。ただし、改善傾向にあるが、現行総合戦略で設定した目標値に未達のものが多く、次期総合戦略の策定においては、①目標未達の要因の分析、②目標設定の妥当性の分析が必要であると考えられる。

各評価指標を個別にみると、「働く場所の創出への満足度」は現況値よりも評価が下がっている。一方で女性に着眼すると「女性における働く場所の創出への満足度」が1.7ポイント改善している。

「地域情報の発信に満足している人の割合」や「市民活動やコミュニティの支援に満足している人の割合」、「福祉サービスに満足している人の割合」に関しては、いずれも現況値から10ポイント以上の改善がみられており、実施した施策が市民のニーズともマッチし、効果的であったことが類推される。

一方で「地域活動への参加意欲がある人の割合」は現況値よりも低くなっている。地域活動に参加しない理由に関しては、仕事の忙しさや関心の薄さ、行事負担の大きさが上位を占めており、参加しやすさの向上を図るためには、関心を高めるだけではなく、個々人の仕事や生活スタイルを考慮して、参加しやすい枠組み(行事負担の大きさ、参加できる時間帯等)を検討することが必要であると考えられる。

5.2.2 首都圏居住者向けWEB アンケート調査

首都圏居住者向けWEB アンケート調査の結果をみると、「富津市を将来の居住地の候補として考えられる人の割合」は現況値よりも低くなっている。富津市を移住候補地として考えられない要因としては、富津市の情報が分からないことや日常の交通利便性の不安が上位に挙がっている。富津市に関する理解を高め、不安を解消するための情報発信の充実や改善が必要である。また、富津市に移住する場合に譲れない条件としては、公共交通や医療機関が特に多く挙がっており、移住促進を図るうえで重要な要素であると考えられる。

Ⅱ．市民アンケート調査

1. 調査概要

1.1 調査目的

2025 年度以降の富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定にあたり、現在の富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の各基本目標に係る数値目標の達成状況を確認するとともに、市民の富津市や子育て・結婚に関する意識等を把握することを目的とする。

1.2 調査方法

調査対象	市内在住 15 歳以上の男女 2,000 人
抽出方法	住民基本台帳による無作為抽出
調査方法	郵送による配布・回収方式 Web 回答方式
調査期間	令和 5 年 11 月 30 日～12 月 14 日

1.3 調査票

富津市の次期総合戦略策定に関するアンケート

～調査へのご協力をお願いいたします～

現在、富津市では、「市民が幸せを感じられるまち」を実現するため、2020年度に市民の皆様と一緒に考え、創り上げた、2024年度までの目標や施策の基本的方向、具体的な施策を定める「富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の実行に、市民の皆様とともに取り組んでいます。

このアンケート調査は、2025年度以降の総合戦略（「次期総合戦略」といいます。）について、引き続き市民の皆様と一緒に考え、創り上げ、取り組んでいくために、市民の皆様から「富津市への愛着」、「子育てや結婚」などについてお伺いさせていただくものです。

設問には個人的な内容も含んでいますが、次期総合戦略を策定する上で大切な資料となりますので、本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただいた内容は、統計的に処理し、調査の目的以外に使用することはありません。

《ご記入にあたって》

1. アンケートの対象者

- このアンケートは、富津市在住で15歳以上の2,000名を無作為に抽出し、対象にしています。
- 封筒の宛名の方が対象者ですが、対象の方が長期不在などにより回答できない場合には、ご家族の方が回答してください。

2. 回答方法

- 選択式の設問は、該当するグレーの網掛けしている番号に○印をつけてください。なお、「その他」にあてはまるときには、その番号に○印をつけるとともに、（ ）内にも記入をお願いします。
- 記述式の設問は、回答欄に記入してください。

3. 締切と送付方法

- ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて切手を貼らずに、**12月14日(木)**までに投函ください。
- もしくは右のQRコードを読み込んで、WEB回答フォームよりご回答ください。
- WEB回答フォームでご回答いただいた場合、紙の調査票でのご回答は不要です。**ぜひ便利なWEB回答フォームをご利用ください。**



4. お問い合わせ

- この調査について、不明な点や質問などありましたら下記までご連絡ください。
富津市企画政策部企画課企画係
電話：0439-80-1223 E-mail：mb007@city.futtsu.chiba.jp

1. あなた自身のことについておうかがいします

(それぞれの設問の該当する番号に○印をつけてください。)

①性別 回答はひとつ	1 男性	2 女性	3 その他
②年齢 回答はひとつ	1 20歳未満	2 20～24歳	3 25～29歳
	4 30～34歳	5 35～39歳	6 40～44歳
	7 45～49歳	8 50～54歳	9 55～59歳
	10 60～64歳	11 65～69歳	12 70～74歳
	13 75歳以上		
③居住地区 (小学校区別) 回答はひとつ	選択肢	選択肢に含まれる字	
	1 青堀	大堀・青木・西川	
	2 富津	富津・新井・川名・篠部	
	3 飯野	下飯野・上飯野・本郷・前久保・二間塚	
	4 大貫	小久保・岩瀬・千種新田	
	5 吉野	西大和田・絹・相野谷・一色・障子谷・上・近藤・八田沼・中	
	6 佐貴	宝竜寺・花香谷・佐貴・亀沢・亀田・鶴岡・八幡・笹毛	
	7 天羽	湊・数馬・岩坂・更和・加藤・望井・台原・桜井・海良・売津 花輪・不入斗・長崎・横山・相川・梨沢・竹岡・金谷・萩生・ 金谷	
	8 環	上後・関尻・小志駒・岩本・山脇・田原・押切・六野・大森 寺尾・恩田・東大和田・田倉・高溝・宇藤原・志駒・山中 大川崎・大田和・関・御代原・豊岡	
④富津市内 在住年数 回答はひとつ	1 5年未満	2 5～9年	3 10～14年
	4 15～19年	5 20～24年	6 25年以上

⑤転入の有無 回答はひとつ	1 富津市で生まれ、市内に住み続けている 2 富津市で生まれ、市外に出たがまた戻ってきた 3 富津市外で生まれ、就学・就職(転職含む)を機に転入してきた 4 富津市外で生まれ、3以外の理由(親の仕事等)で転入してきた		
⑥居住形態 回答はひとつ	1 一戸建て(持家) 4 集合住宅(賃貸)	2 一戸建て(賃貸) 5 社宅・独身寮	3 集合住宅(持家) 6 その他
⑦世帯人数 回答はひとつ	1 単身(あなた1人) 4 4人	2 2人 5 5人以上	3 3人
⑧同居者 回答はいくつでも	1 配偶者 4 親(義理の親含む) 7 孫 10 いない(一人暮らし)	2 子ども(小学生以下) 5 兄弟・姉妹(義理の兄弟・姉妹含む) 8 パートナー 11 その他	3 子ども(中学生以上) 6 祖父母(義理の祖父母含む) 9 友だち

2. 富津市についてのあなたのお考えについておうかがいします

【問1】 あなたは、富津市に誇りや愛着を持っていますか。あてはまるものを 1つだけ選んで 番号に○印をつけてください。

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 はっきりと持っている | 2 漠然と持っている |
| 3 どちらともいえない | 4 あまり持っていない |
| 5 全く持っていない | 6 よくわからない |

【問2】 富津市の住みごこちはいかがですか。あてはまるものを 1つだけ選んで 番号に○印をつけてください。

- | | | |
|-----------|------------|-------------|
| 1 とても住みよい | 2 住みよい | 3 どちらともいえない |
| 4 住みにくい | 5 とても住みにくい | |

【問3】 あなたは、これからも富津市に住み続けたいと思いますか。今の地区に住み続けるだけではなく、市内の他地区への転居も含みます。あてはまるものを 1つだけ選んで 番号に○印をつけてください。

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1 ずっと住み続けたい(永住したい) | 2 しばらくは住み続けたい(永住は検討中) |
| 3 やがては別の市町村に移住したい | 4 すぐにでも別の市町村に移住したい |

【問 4】 あなたの、富津市での生活の満足度と重要度についておうかがいします。
あてはまるものを選んで番号に○印をつけてください。

	満足度					重要度				
	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 分からない	A 重要	B やや重要	C あまり重要ではない	D 重要ではない	E 分からない
1 災害への対策	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
2 防犯や交通安全対策	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
3 市民活動やコミュニティの支援	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
4 子育て支援	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
5 学習環境	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
6 福祉サービス	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
7 医療	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
8 健康増進の取組み	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
9 市民の交流拠点	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
10 買い物をする場所	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
11 働く場所の創出	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
12 地場産業の育成	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
13 観光産業の振興	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
14 地域情報の発信	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
15 仕事と生活の調和	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
16 住む場所	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
17 道路の整備	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
18 公共交通網の整備	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
19 上水道の整備	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
20 下水道・排水路の整備	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
21 有害鳥獣対策	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
22 デジタル化	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E

【問5】 あなたは、地域などで行っているさまざまな活動に参加・協力していますか。参加・協力しているものを次の中からすべて選んで番号に○印をつけてください。

- | | | |
|------------------|------------------|--------------------------|
| 1 地域の盆踊りや祭礼 | 2 道路・側溝等の清掃 | 3 防犯・防災活動 |
| 4 青年団・女性会・消防団の活動 | 5 P T A ・子ども会の活動 | 6 地区社会福祉協議会や老人クラブなどの福祉活動 |
| 7 花や緑を増やすなどの美化運動 | 8 環境保全活動 | |
| 9 その他(_____) | | |

【問6】 あなたは、問5のようなコミュニティ活動(地域のさまざまな活動)に今後も参加したいと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んで番号に○印をつけてください。

- | | | |
|-----------|---------------|--------------|
| 1 参加したい | 2 さそわれれば参加したい | 3 あまり参加したくない |
| 4 参加したくない | 5 わからない | |

【問7】 問6で「3. あまり参加したくない」または「4. 参加したくない」に○印をつけた人におうかがいします。コミュニティ活動に参加したくない理由は何ですか。あてはまるものを選んで番号に○印をつけてください(最大3つ)。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 仕事が忙しいから | 2 関心がないから |
| 3 行事が多く負担が大きいから | 4 活動内容がわからないから |
| 5 親しい人がいないから | 6 近所付き合いをしていないから |
| 7 趣味・遊興に時間を使いたいから | |
| 8 その他(_____) | |

【問8】 今後、富津市がより安全・安心なまちになるためには、どのような取組みが重要だと思いますか？下の表から3つまで選んで教えてください。

回答は回答欄に選んだ番号を書いて教えてください。

選んだ結果が1～2つの場合や「12 特にない」の場合は二つ目や三つ目の枠は空欄で問題ございません。 【3つまで記述】

一つ目： _____ 二つ目： _____ 三つ目： _____

表 安全・安心なまちになるための取組み

- | |
|---------------------------|
| 1 避難所や一時避難所の整備・充実 |
| 2 災害時用の食糧や資材などの備蓄 |
| 3 防犯灯、街路灯などの整備 |
| 4 防災・防犯などの情報の伝達手段の充実 |
| 5 応急医療体制の充実 |
| 6 人が多く集まる公共施設や文化施設などの耐震化 |
| 7 市民の防災意識を高めるための取組みの実施 |
| 8 市民が主体となって防災活動を実施する団体の充実 |
| 9 ハザードマップの整備 |
| 10 災害に強く、交通安全に配慮した道路等の整備 |
| 11 その他(_____) |
| 12 特にない |

【問9】 テレワークの推進や行政手続きのオンライン化、デジタル教科書、遠隔医療など AI（人工知能）やデジタルを活用した新しい取組みが社会全体で広がっています。

今後、富津市でデジタルを活用した取組みとして、どんなものが普及・浸透すると良いと思いますか？下の表から3つまで選んで教えてください。

回答は回答欄に選んだ番号を書いて教えてください。

選んだ結果が1～2つの場合や「12 特にない」の場合は二つ目や三つ目の枠は空欄で問題ございません。 【3つまで記述】

一つ目： _____ 二つ目： _____ 三つ目： _____

表 デジタルを活用した取組み

1	行政手続きのオンライン化
2	キャッシュレス決済の拡大
3	ベンチャー企業などを立ち上げやすい環境づくり(創業支援の強化)
4	デジタルを活用した農林水産業の生産性向上
5	観光客の来訪しやすさの向上や観光データを用いたマーケティング
6	デジタルを活用したインフラの運営や維持・管理
7	テレワークやワーケーション環境の整備
8	遠隔医療の充実
9	教育のデジタル化(デジタル教科書、遠隔授業配信など)
10	デジタルに不慣れな方へのサポート
11	その他(_____)
12	特にない

次期総合戦略においても、地域の実情に沿った課題に対し、地域の強みを生かした解決策を講じていくこと、富津市で生活する人が幸せになることが重要であると考えています。

次の問 10 から問 12 で回答いただいた内容は、来年度予定している富津市市民委員会でテーマにする予定です。

【問 10】 あなたが「富津市」から連想するキーワードを 3つ 教えてください。

--	--	--

【問 11】 あなたが思う富津市の「強み」だと思うものを下の表から 3つまで選んで教えてください。

回答は回答欄に選んだ番号を書いて教えてください。

選んだ結果が 1～2つの場合や「13 特にない」の場合は二つ目や三つ目の枠は空欄で問題ございません。 【3つまで記述】

一つ目： _____ 二つ目： _____ 三つ目： _____

表 富津市の「強み」だと思うもの

- | |
|----------------------|
| 1 海・山・豊かな自然、資源の豊かさ |
| 2 東京や横浜から近い・交通の便の良さ |
| 3 観光資源の豊かさ |
| 4 田舎・のんびり・住みやすい環境や制度 |
| 5 食資源の豊かさ・食べ物がおいしい |
| 6 団結力・人が優しい |
| 7 土地の広さ・地価の安さ・開発余地あり |
| 8 歴史と伝統 |
| 9 漁業の豊かさ |
| 10 農業の豊かさ |
| 11 温暖な気候 |
| 12 その他(_____) |
| 13 特にない |

【問 12】 富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、「市民が幸せを感じられるまち」を実現することが大切であると考えます。その実現のため、皆さんが今までに幸せだと感じた時や事柄について教えてください。下記解答欄に自由に記載ください。

--

3. 子育てや結婚について、あなたのお考えをおうかがいします

【問 13】 あなたの現在の子ども数は何人ですか。あてはまるものを 1 つだけ選んで番号に○印をつけてください。

- | | | |
|-----------|------|------|
| 1 子どもはいない | 2 1人 | 3 2人 |
| 4 3人 | 5 4人 | 6 5人 |

【問 14】 あなたにとって、理想的な子ども数は何人ですか。あてはまるものを 1 つだけ選んで番号に○印をつけてください。

- | | | |
|-----------------|------|------|
| 1 子どもは持たない/持てない | 2 1人 | 3 2人 |
| 4 3人 | 5 4人 | 6 5人 |

【問 15】 あなたは、富津市は子育てしにくいところだと思いますか。
あてはまるものを 1 つだけ選んで番号に○印をつけてください。

- | | | |
|------|--------|-------------|
| 1 思う | 2 思わない | 3 どちらともいえない |
|------|--------|-------------|

【問 16】 あなたは、富津市が子育てしやすい地域になるためには、何が必要だとお考えですか。あてはまると思われるものを下の表から 3 つまで選んで 教えてください。

回答は回答欄に選んだ番号を書いて教えてください。

選んだ結果が 1 ～ 2 つの場合は二つ目や三つ目の枠は空欄で問題ございません。

【3 つまで記述】

一つ目： _____ 二つ目： _____ 三つ目： _____

- | |
|-----------------------------------|
| 1 働く場の確保による経済的な安定 |
| 2 結婚・妊娠・子育てに関する周囲の理解(仕事と生活の調和の実現) |
| 3 結婚・妊娠・子育てに関する周囲の理解(家族の協力) |
| 4 子育てに関する相談機関 |
| 5 子育て世帯に対する地域(地区)住民の支援 |
| 6 安心して妊婦、子どもが受診できる病院、診療所 |
| 7 子どもを安心して預けられる幼稚園・保育所・託児所 |
| 8 放課後でも安心して子どもが過ごすことのできる施設やサービス |
| 9 その他(_____) |

【問 17】 あなたについて、おうかがいします。

あてはまるものを選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|----------|-----------|
| 1 結婚している | 2 結婚していない |
|----------|-----------|

【問 17-2】 【問 17】で「2 結婚していない」を選ばれた方に伺います。結婚されていない理由を差し支えない範囲で教えてください。あてはまると思われる理由を選んで番号に○印をつけてください(最大3つ)。

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1 結婚する時期でないから(若すぎるから) | 2 結婚することに関心を感じないから |
| 3 仕事(学業)にうちこみたいから | 4 趣味や娯楽を楽しみたいから |
| 5 独身の自由さや気楽さを失いたくないから | 6 適当な相手に巡り会わないから |
| 7 異性とうまく付き合えないから | 8 結婚資金が足りないから |
| 9 新婚生活の住居の目途が立たないから | 10 親や周囲が同意しない(だろう)から |
| 11 その他() | |
| 12 答えたくない | |

4. その他、富津市のまちづくりについてのあなたのお考えをおうかがいします

【問 18】 社会潮流の変化で地方創生に関する新しい政策を国で推進しています。国が推進する政策のうち、富津市において重要だと思う取組みを下の表から3つまで選んで教えてください。

回答は回答欄に選んだ番号を書いて教えてください。

選んだ結果が1～2つの場合や「9 特にない」の場合は二つ目や三つ目の枠は空欄で問題ございません。 【3つまで記述】

一つ目： _____ 二つ目： _____ 三つ目： _____

表 地方創生に関する新しい政策

- | |
|---|
| 1 持続可能なまちづくりや地域活性化に向けて SDGs を念頭においた取組み |
| 2 地域経済と連動した脱炭素実現に向けた取組み |
| 3 新しい技術やデジタル専門人材を活用した取組み |
| 4 年齢や障がいの有無などを問わずに誰もが居場所と役割をもつコミュニティづくり |
| 5 中心市街地の都市機能の充実 |
| 6 関係人口や交流人口の創出 |
| 7 地域活性化の専門家・スペシャリストによる指導 |
| 8 その他() |
| 9 特にない |

【問 19】 富津市について、あなたがイメージすることや将来の富津市のために思うことがあれば、教えてください。 【自由記述】

※質問は以上です。調査票は、同封の返信用封筒で 12 月 14 日(木)までにポストに投函してください。切手は不要です。

ご協力いただき誠にありがとうございました。

1.4 回答結果

配布数・有効回答数・有効回答率は以下の表のとおりであった。

表 アンケート配布数・有効回答数・有効回答率

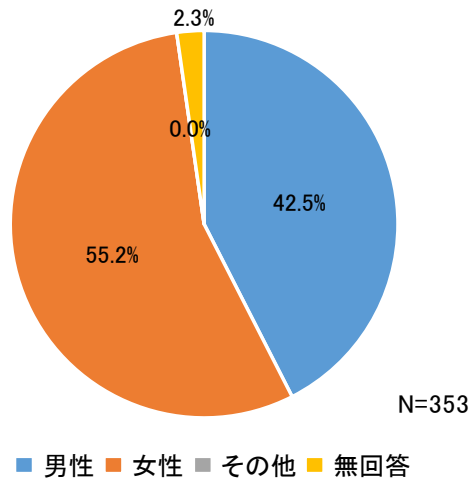
配布数	2,000
有効回答数	353
有効回答率	17.7%

2. 調査結果

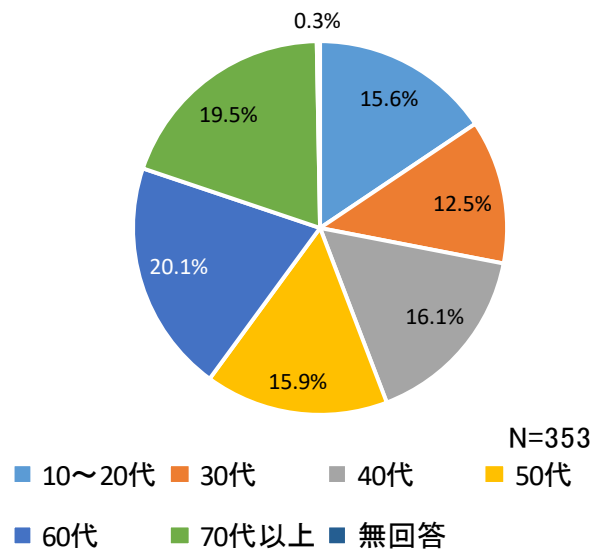
以降に分析結果を示す。なお、割合は四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がある。

2.1 回答者の属性

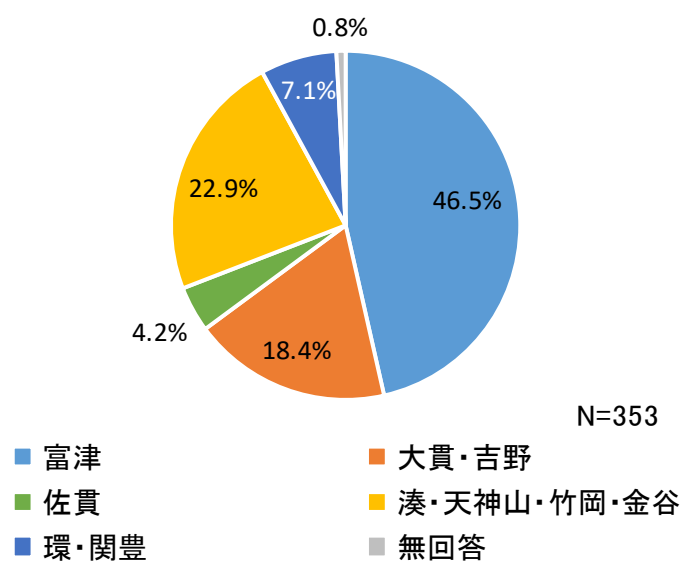
(1) 性別



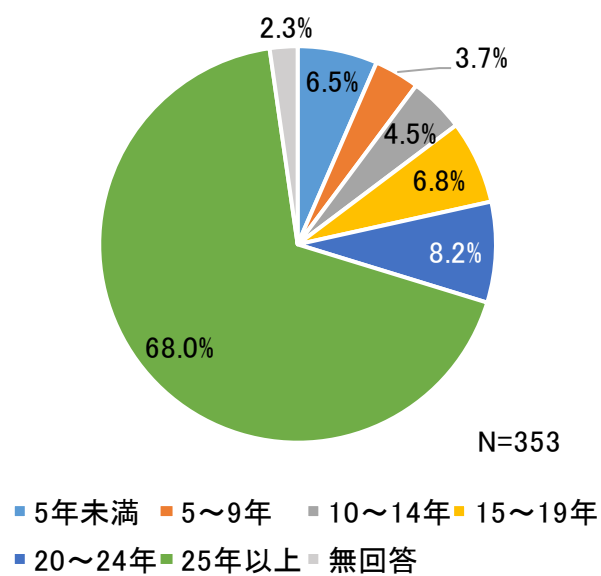
(2) 年齢階層



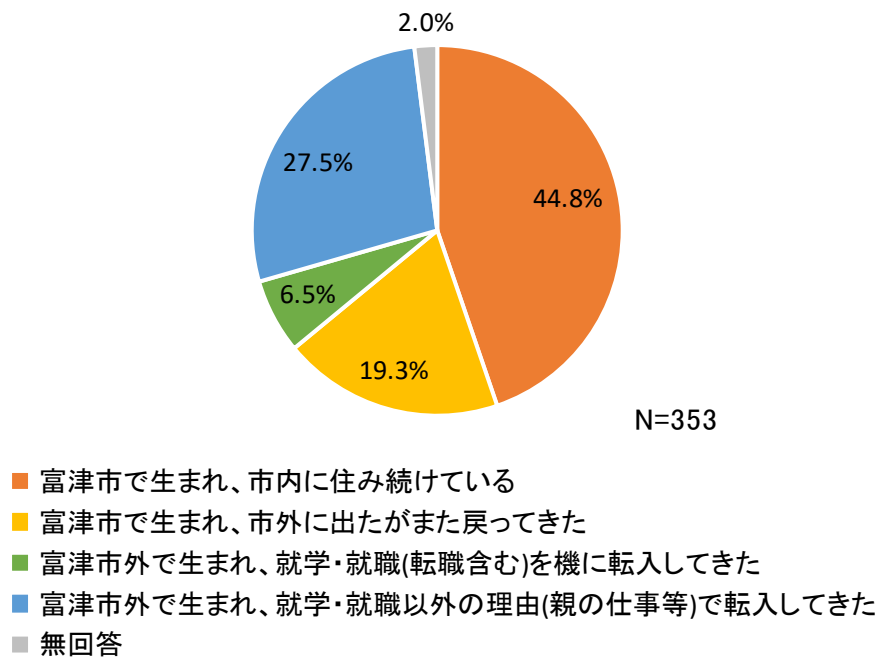
(3) 居住地区



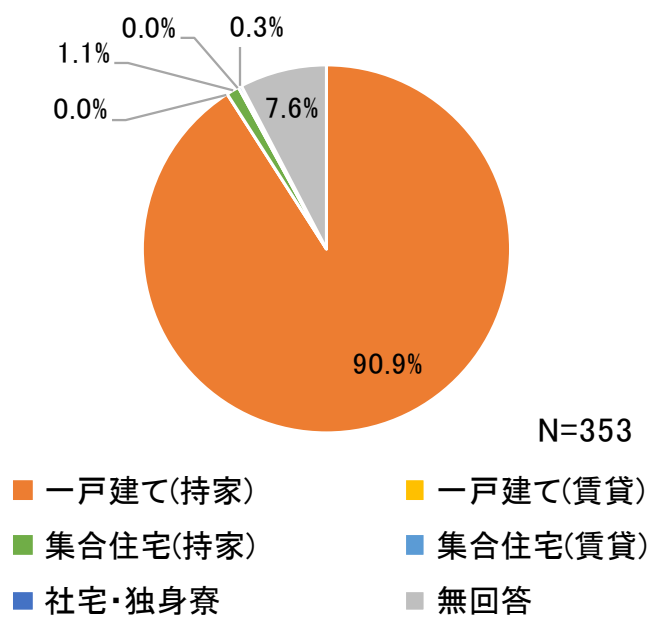
(4) 市内在住年数



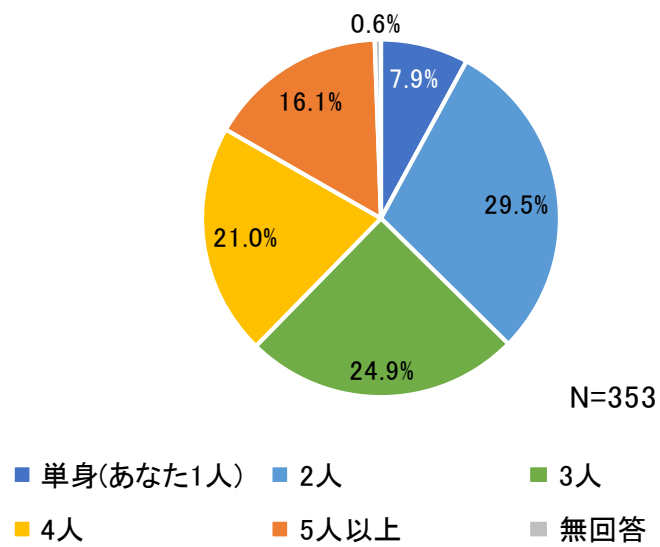
(5) 転入の有無



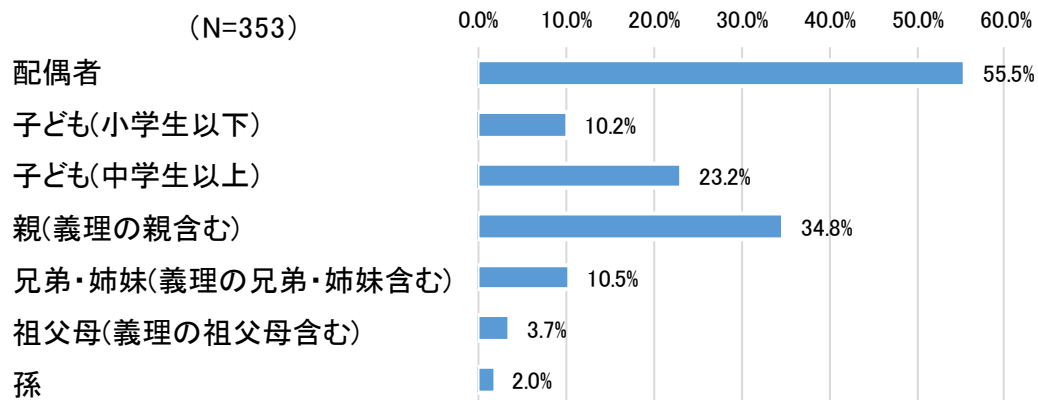
(6) 居住形態



(7) 世帯人数



(8) 同居者(複数回答可)



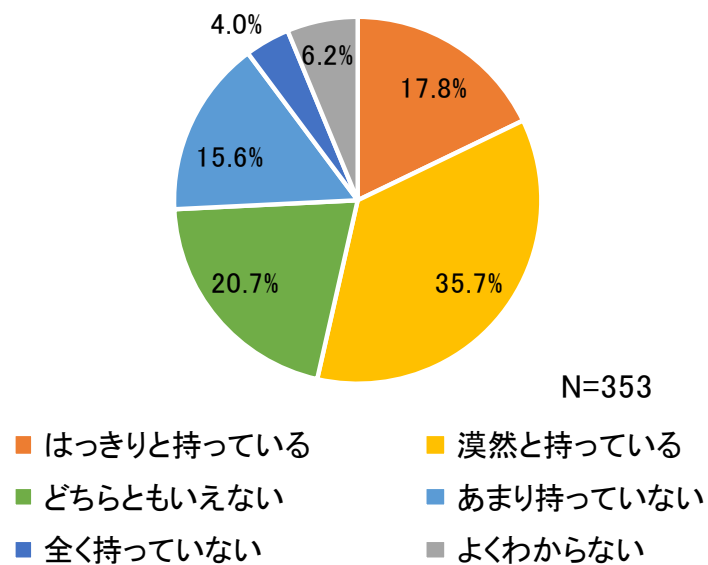
2.2 基礎集計結果

2.2.1 富津市について

(1) 富津市への誇り・愛着

【問1】 あなたは、富津市に誇りや愛着を持っていますか。あてはまるものを 1つだけ選んで 番号に○印をつけてください。

「はっきりと持っている」「漠然と持っている」を合わせた『持っている』は53.5%で、「ほとんど持っていない」「全く持っていない」を合わせた『持っていない』の19.6%を大きく上回っている。全体的な傾向として、市民は富津市に誇りや愛着を感じているといえる。

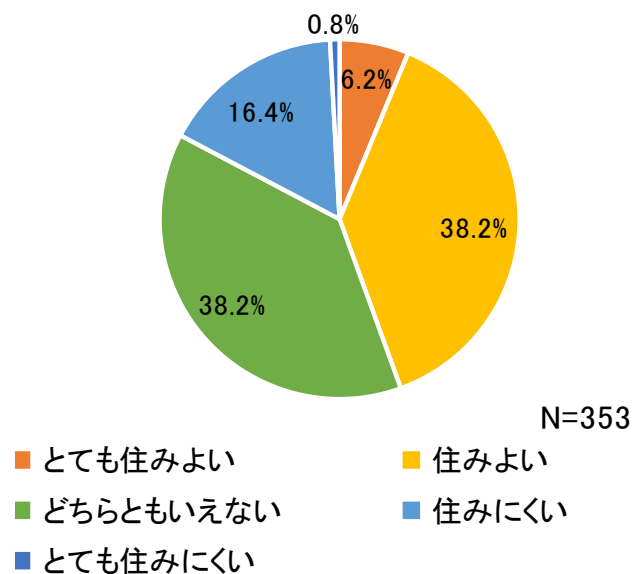


(2) 富津市の住みごこち

【問 2】 富津市の住みごこちはいかがですか。あてはまるものを 1つだけ選んで 番号に○印をつけてください。

「とても住みよい」「まあまあ住みよい」を合わせた『住みよい』は 44.4%で、「住みにくい」「とても住みにくい」を合わせた『住みにくい』の 17.2%を上回っている。全体的な傾向として、市民は富津市の住みごこちに満足しているといえる。

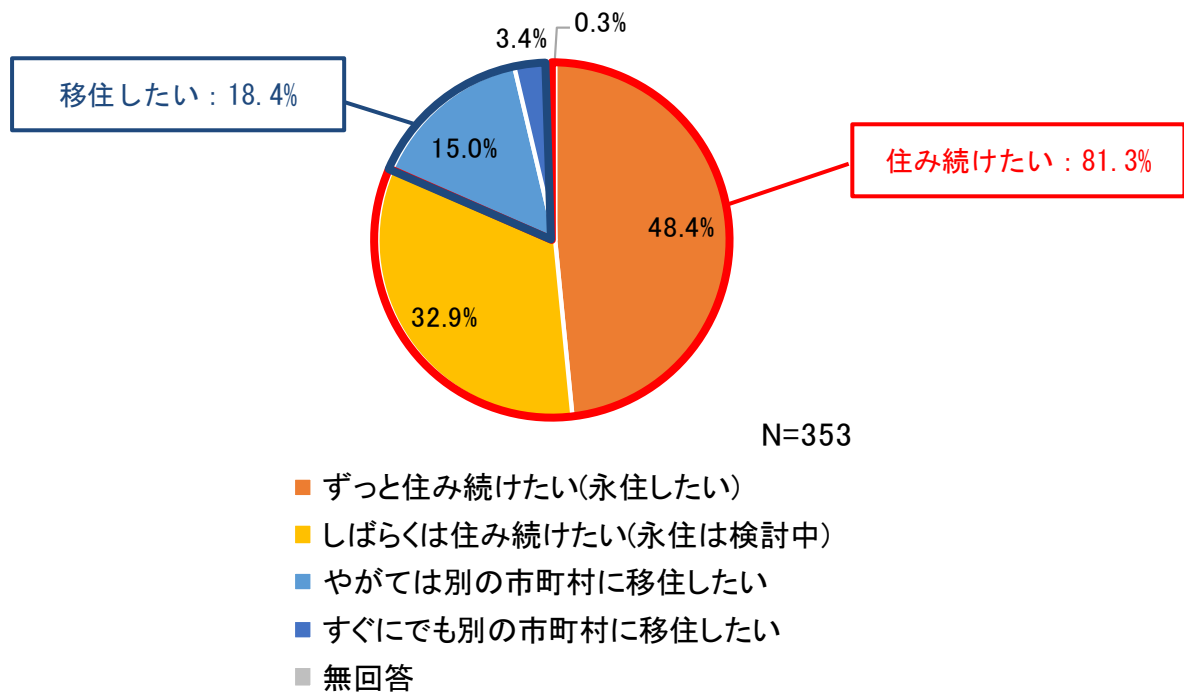
一方で、「どちらともいえない」と回答した人も 38.2%と多く、住みごこちについて良し悪しの判断がつかないと感じている人も多い。



(3) 富津市への定住意向

【問 3】 あなたは、これからも富津市に住み続けたいと思いますか。今の地区に住み続けるだけではなく、市内の他地区への転居も含みます。あてはまるものを 1つだけ選んで 番号に○印をつけてください。

「ずっと住み続けたい」「しばらくは住み続けたい」を合わせた『住み続けたい』は 81.3%で、「やがては別の市町村に移住したい」「すぐにでも別の市町村に移住したい」を合わせた『移住したい』の 18.4%を大きく上回っている。全体的な傾向として、市民の定住意向は高いといえる。



(4) 富津市での生活の満足度・重要度

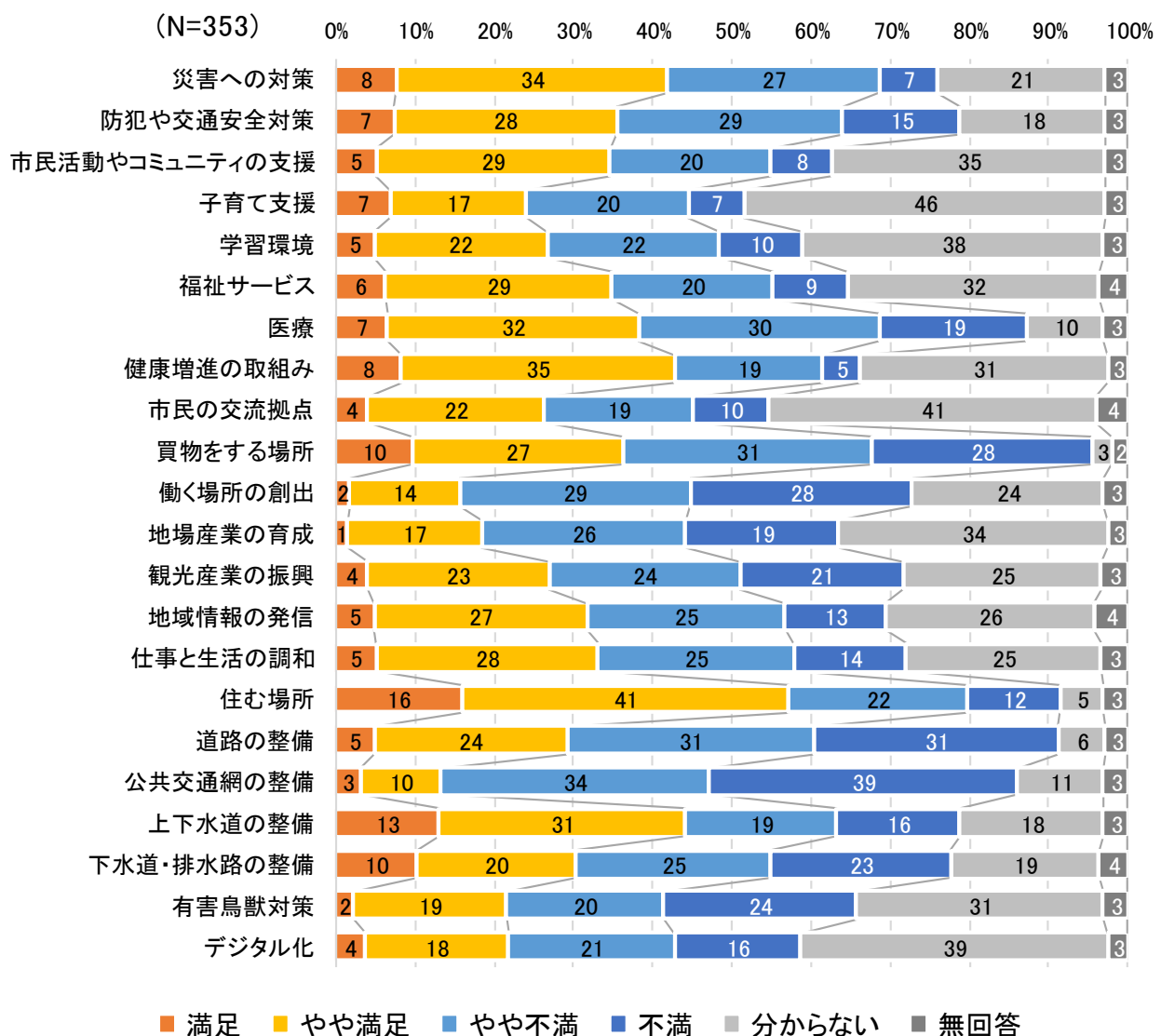
【問 4】 あなたの、富津市での生活の満足度と重要度についておうかがいします。

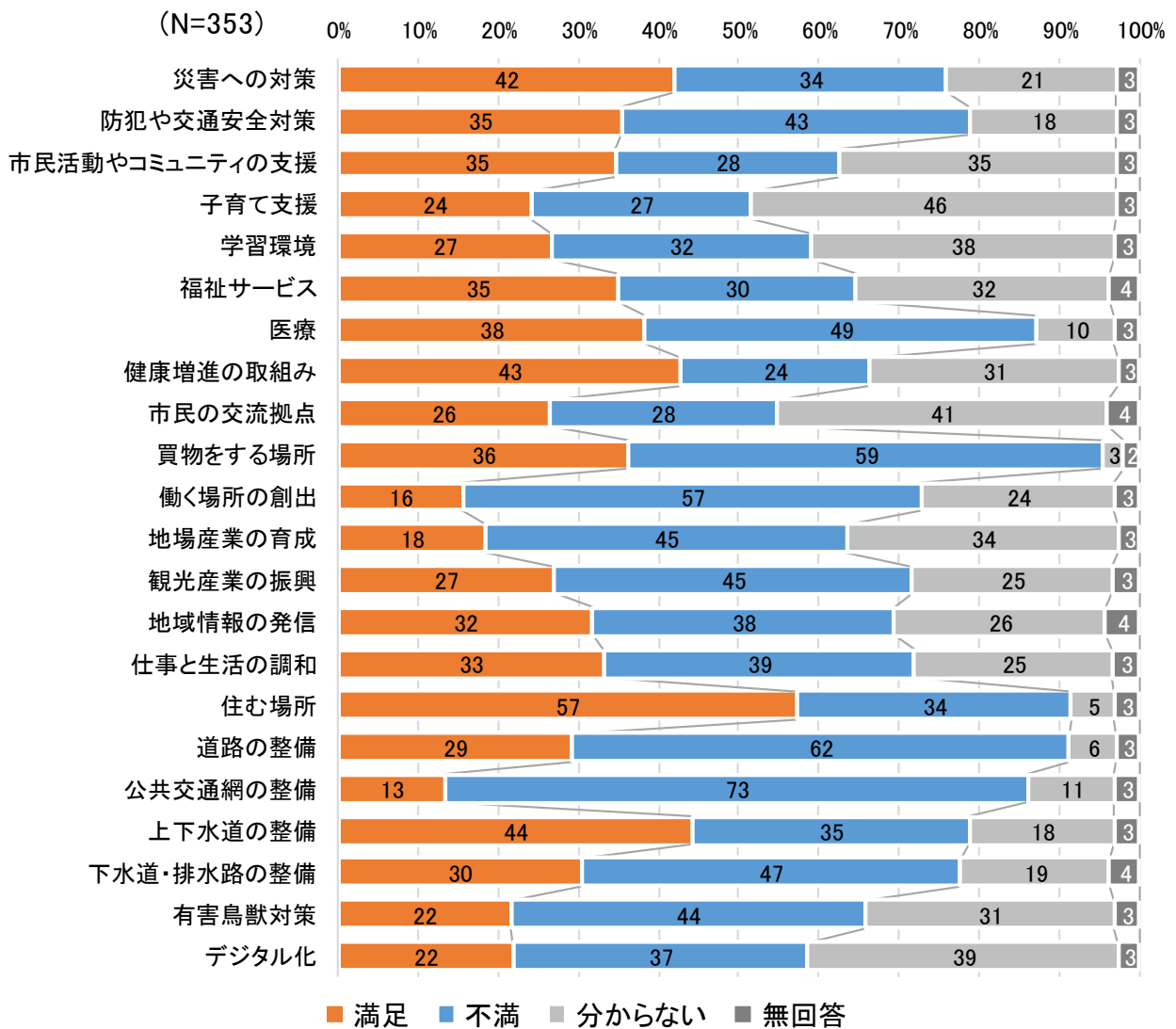
あてはまるものを選んで番号に○印をつけてください。

1) 満足度

特に「住む場所」は「満足」「やや満足」を合わせた『満足』の回答比率が57%であり、半数を上回っている。その他、「災害への対策」「市民活動やコミュニティの支援」「福祉サービス」「健康増進の取組み」「上下水道の整備」において、『満足』の回答比率が「やや不満」「不満」を合わせた『不満』の回答比率よりも上回っている。

また、特に「買物をする場所」「働く場所の創出」「道路の整備」に対する『不満』の回答比率が高く、50%を上回っている。

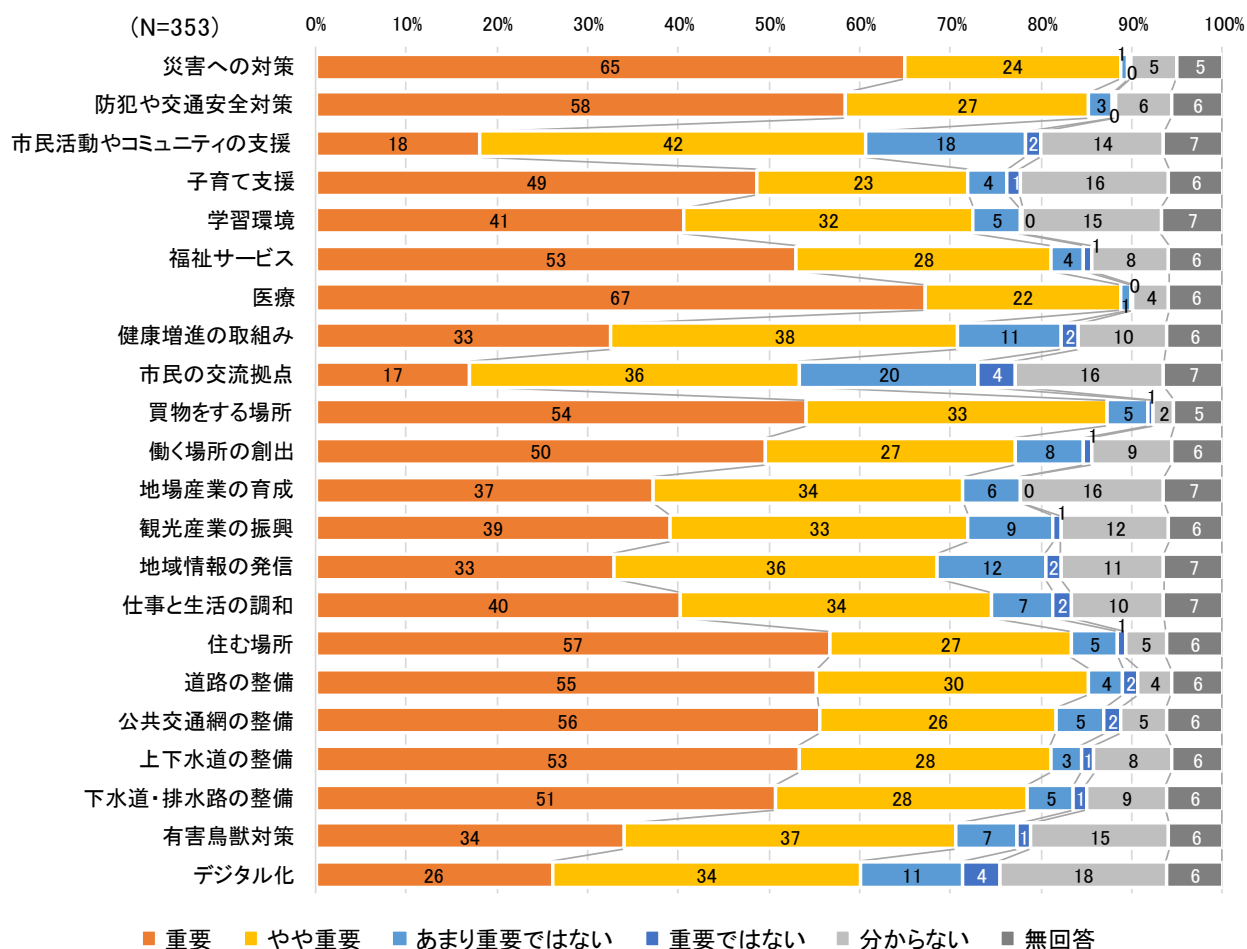




2) 重要度

全体的に「重要」「やや重要」を合わせた『重要』の回答比率が「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『重要ではない』の回答比率よりも上回っている。特に「災害への対策」「医療」については『重要』の回答比率が90%近くを占めており、かつ『重要ではない』の回答比率が1%とかなり低くなっている。

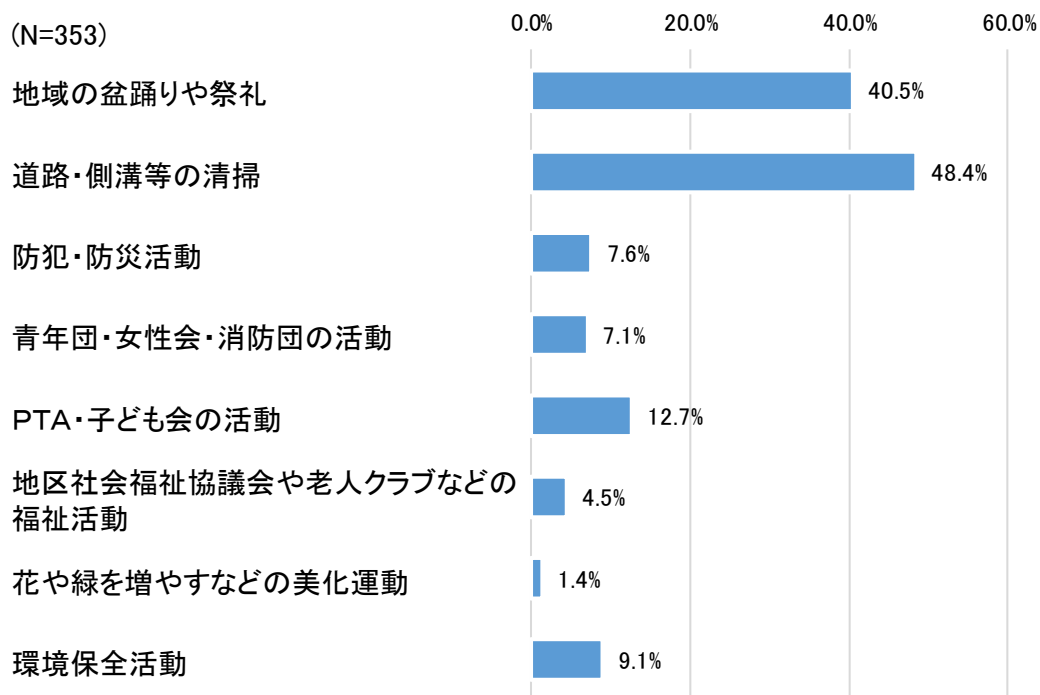
「市民活動やコミュニティの支援」「市民の交流拠点」「デジタル化」については他に比べて『重要』の回答比率が低くなっている。



(5) 参加している地域活動

【問5】 あなたは、地域などで行っているさまざまな活動に参加・協力していますか。参加・協力しているものを次の中からすべて選んで番号に○印をつけてください。

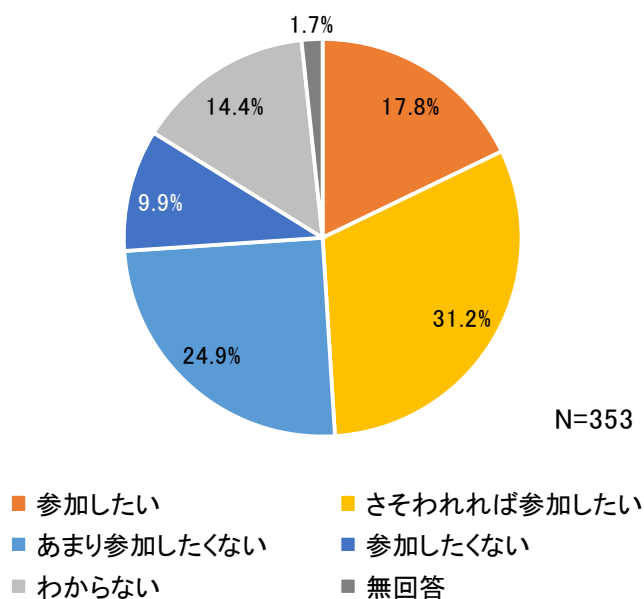
「道路・側溝等の清掃」「地域の盆踊りや祭礼」の比率が、他の項目と比較して高くなっている。



(6) 地域活動への参加意欲

【問6】 あなたは、問5のようなコミュニティ活動(地域のさまざまな活動)に今後も参加したいと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んで番号に○印をつけてください。

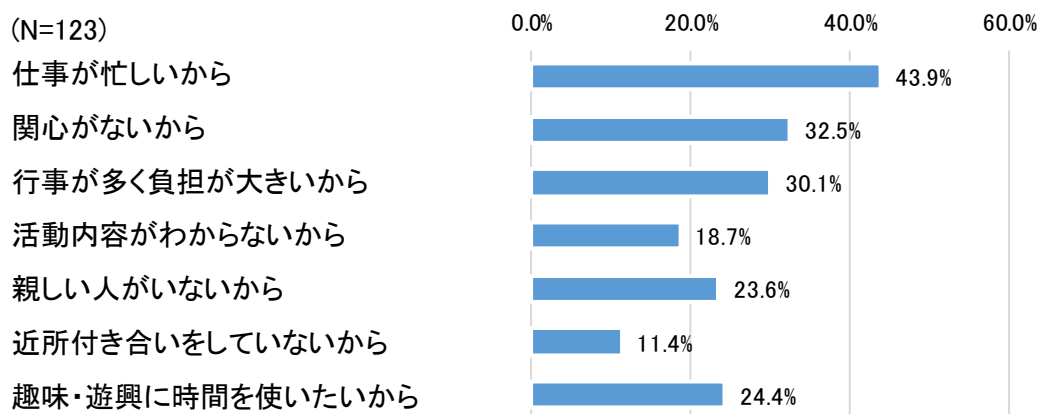
「参加したい」「さそわれれば参加したい」を合わせた『参加したい』は49.0%で、「あまり参加したくない」「参加したくない」を合わせた『参加したくない』の34.8%を上回っている。全体的な傾向として、市民のコミュニティ活動への参加意欲は高いといえる。



(7) 地域活動に参加しない理由

【問7】 問6で「3. あまり参加したくない」または「4. 参加したくない」に○印をつけた人におうかがいします。コミュニティ活動に参加したくない理由はなんですか。あてはまるものを選んで番号に○印をつけてください(最大3つ)。

「仕事が忙しいから」の比率が最も高く、次いで「関心がないから」「行事が多く負担が大きいから」となっている。



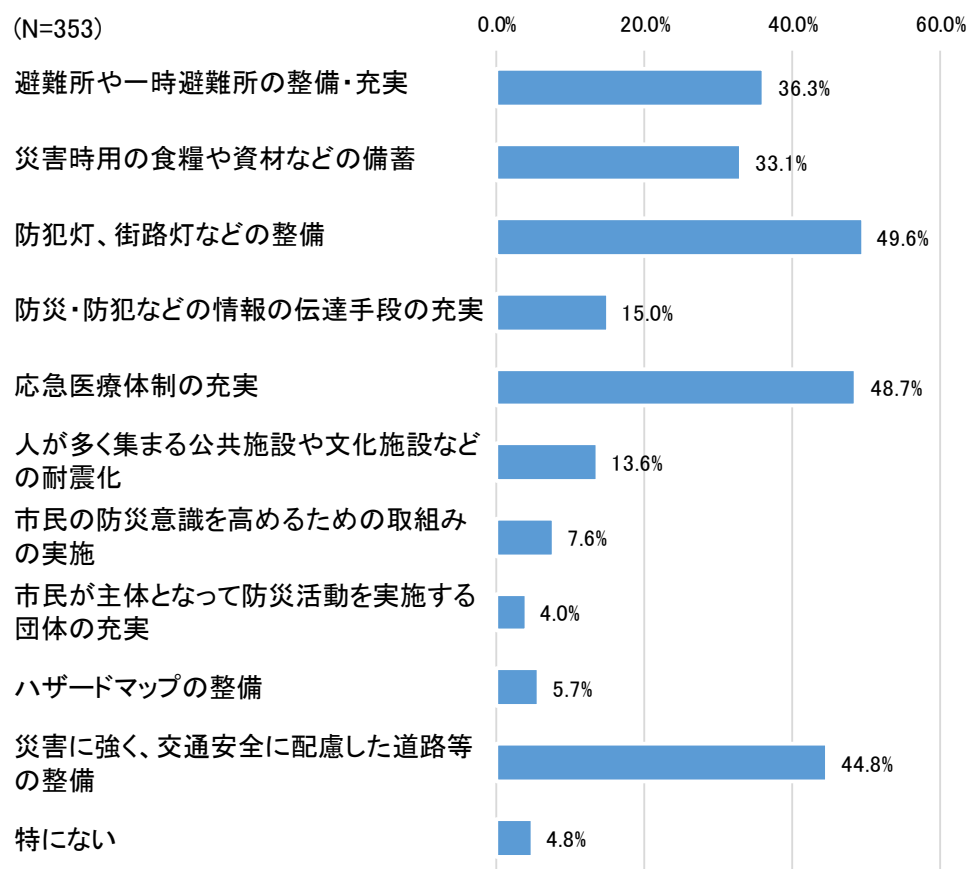
(8) 安心・安全なまちになるために重要なこと

【問8】 今後、富津市がより安全・安心なまちになるためには、どのような取組みが重要だと思いますが？下の表から3つまで選んで教えてください。

回答は回答欄に選んだ番号を書いて教えてください。

選んだ結果が1～2つの場合や「12 特にない」の場合は二つ目や三つ目の枠は空欄で問題ございません。 【3つまで記述】

「防犯灯・街路灯などの整備」の比率が最も高く、それと同程度で「応急医療体制の充実」「災害に強く、交通安全に配慮した道路等の整備」の比率も高くなっている。



(9) デジタルを活用した取組に対するニーズ

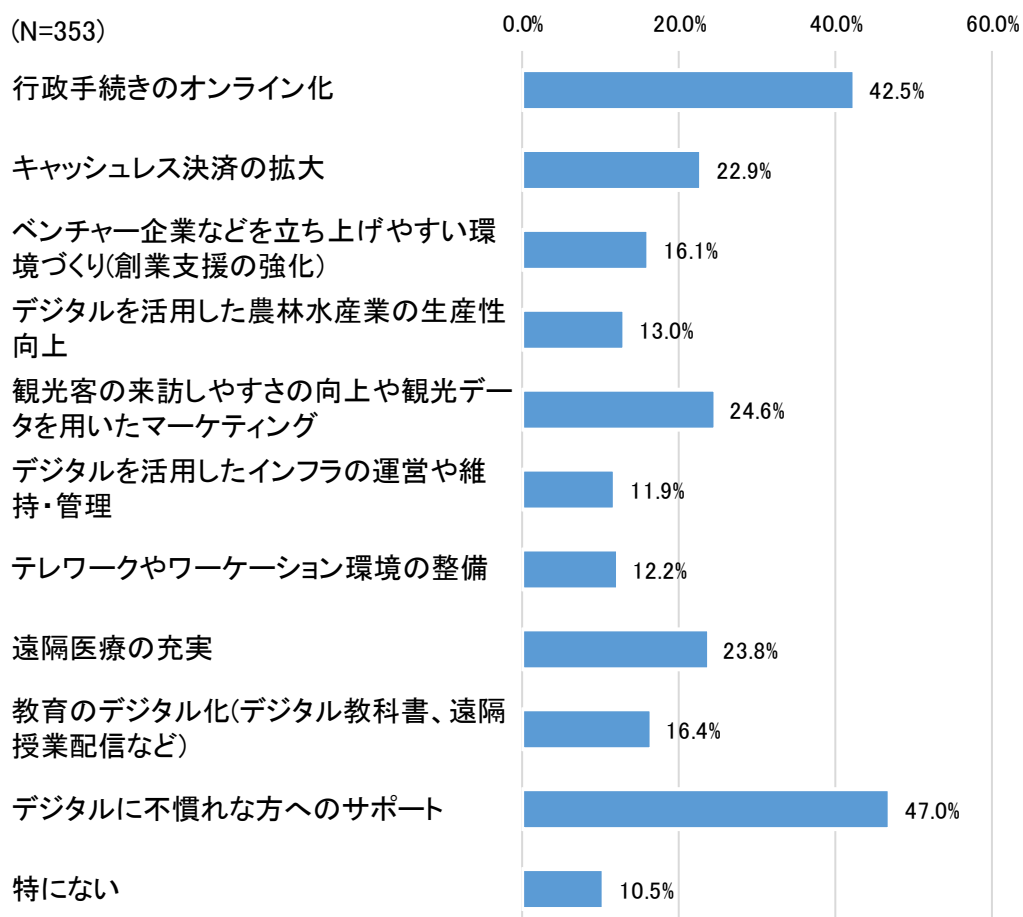
【問9】 テレワークの推進や行政手続きのオンライン化、デジタル教科書、遠隔医療など AI(人工知能)やデジタルを活用した新しい取組みが社会全体で広がっています。

今後、富津市でデジタルを活用した取組みとして、どんなものが普及・浸透すると良いと思いますか？下の表から3つまで選んで教えてください。

回答は回答欄に選んだ番号を書いて教えてください。

選んだ結果が1～2つの場合や「12 特にない」の場合は二つ目や三つ目の枠は空欄で問題ございません。 【3つまで記述】

「デジタルに不慣れな方へのサポート」の比率が最も高く、次いで「行政手続きのオンライン化」の比率が高くなっている。

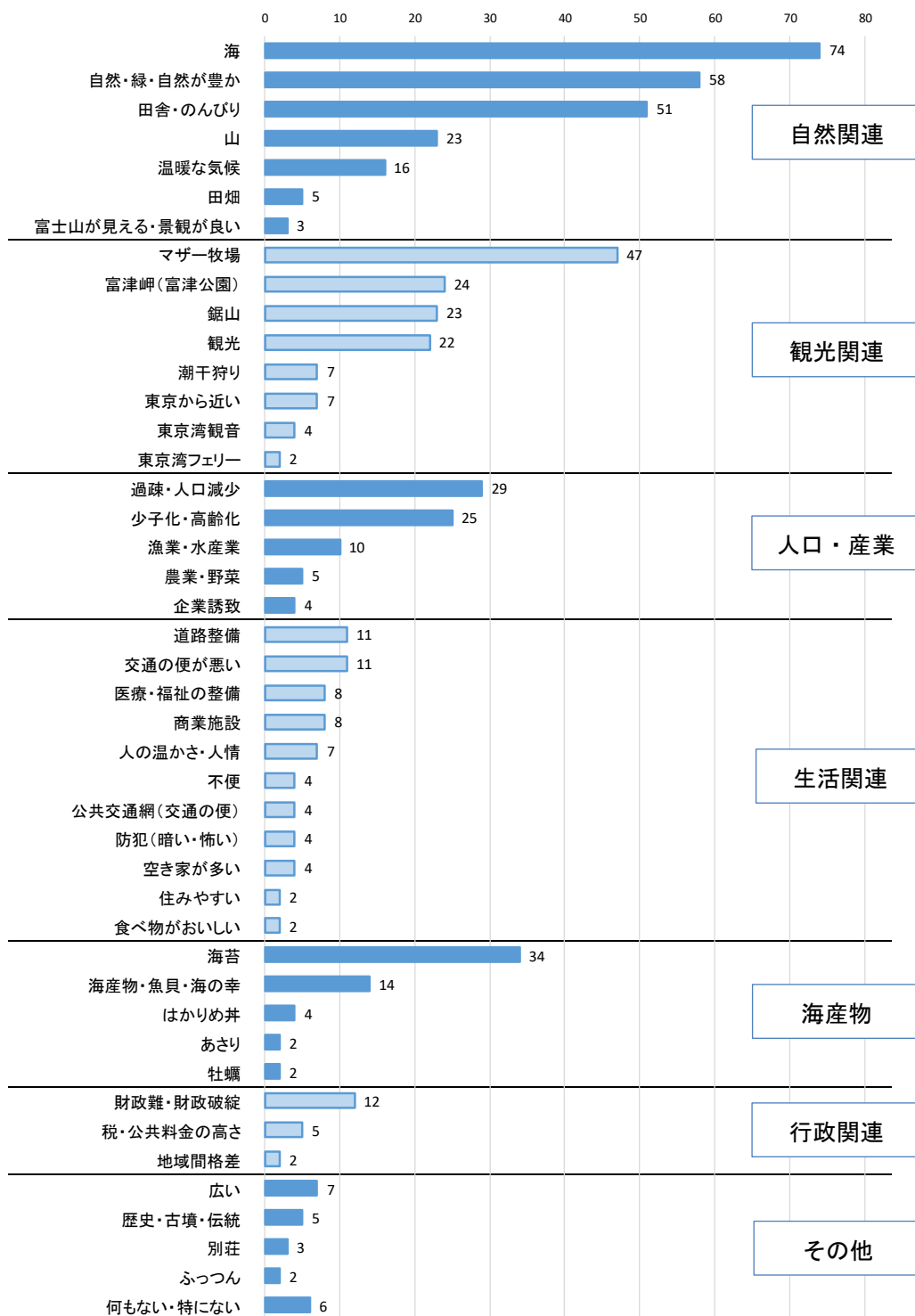


(10) 富津市から連想するキーワード

【問 10】 あなたが「富津市」から連想するキーワードを 3つ 教えてください。

カテゴリー別では「自然関連」の回答が最も多く、次いで「観光関連」「人口・産業」となっている。

個別回答では「海」の回答が最も多く、次いで「自然・緑・自然が豊か」「田舎・のんびり」「マザー牧場」となっている。



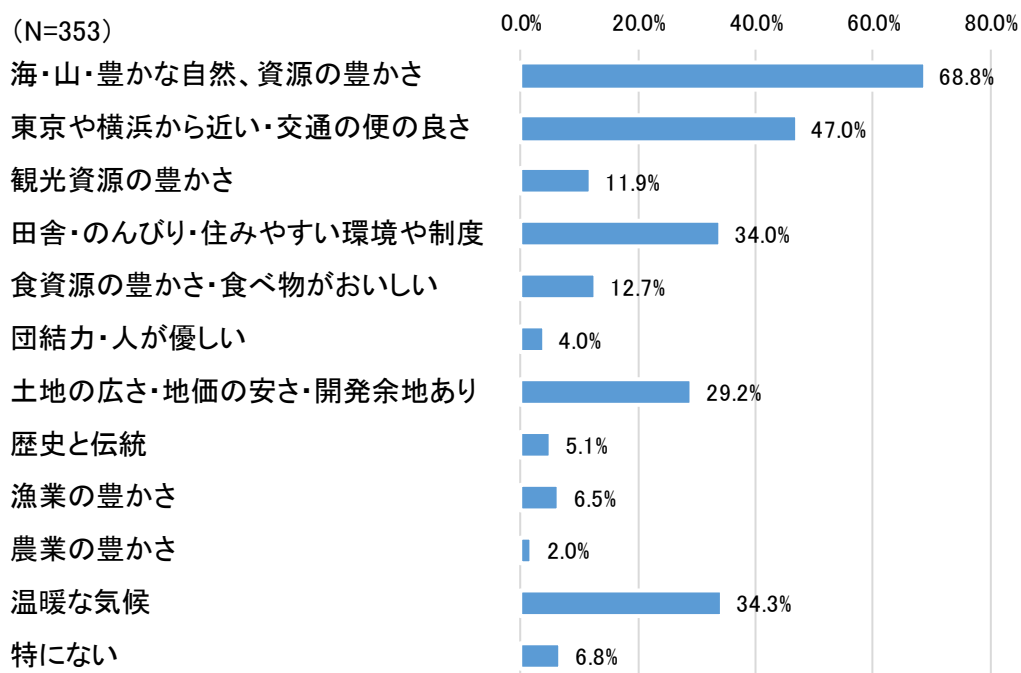
(11) 富津市の強み

【問 11】 あなたが思う富津市の「強み」だと思うものを下の表から3つまで選んで教えてください。

回答は回答欄に選んだ番号を書いて教えてください。

選んだ結果が1～2つの場合や「13 特にない」の場合は二つ目や三つ目の枠は空欄で問題ございません。 【3つまで記述】

「海・山・豊かな自然、資源の豊かさ」の回答が最も多く、次いで「東京や横浜から近い・交通の便の良さ」「温暖な気候」「田舎・のんびり・住みやすい環境や制度」「土地の広さ・地価の安さ・開発余地あり」の回答が多くなっている。



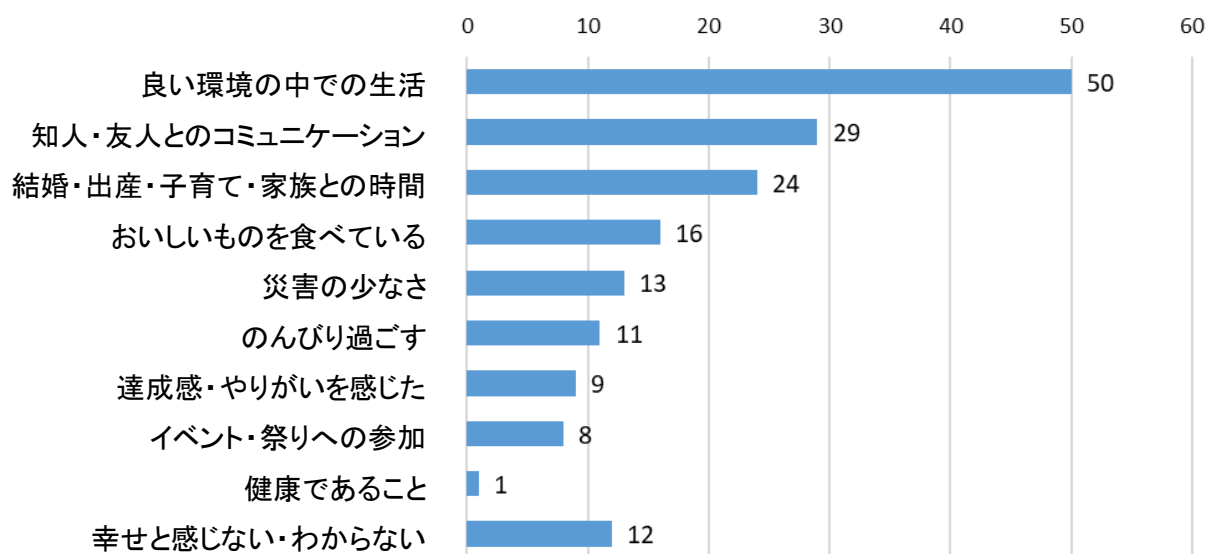
(12) 幸せだと感じた時・事

【問 12】 富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、「市民が幸せを感じられるまち」を実現することが大切であると考えます。その実現のため、皆さんが今までに幸せだと感じた時や事柄について教えてください。下記解答欄に自由に記載ください。

自由記述内容をカテゴリ分けし、カテゴリごとの回答数と回答内容を整理した。

1) カテゴリ別の回答数

「良い環境の中での生活」の回答が最も多く、次いで「知人・友人とのコミュニケーション」「結婚・出産・子育て・家族との時間」となっている。



2) カテゴリ別の回答内容

自由記述回答内容をカテゴリ別に整理した。(回答の一部は編集して掲載)

■良い環境の中での生活

車で少し走ったところの山道に緑や紅葉を楽しめる場所があると実感したとき
温暖な気候（一年を通じて過ごしやすい）
景色が良い場所がたくさんある事
市内に大型の店があり、何でもそろって買い物ができる事
イオン内に図書館ができたこと。
いつでも緑色の草木と地平線が見える海、暗いから星空が綺麗なこと。
町がきれいと感じた時
ゴルフ場が多い、釣りに行ける環境がいい、カインズホームがある。
温暖で豊かな自然。
ほど良い田舎、空気が美味しい、海が近い、アクアラインで東京、横浜が近い
まさに都会から近いほどよい田舎を感じられて、食や自然環境から小さな幸せ感じる生活。
温暖で気候に恵まれている
温暖な気候で、子供たちが小さい頃はお弁当をもって、ピクニックがとても楽しかった。海、山などでのんびり遊べて、子育てには最高だった。
温暖な気候のもと、食べ物がおいしい事
家庭菜園が出来る事です。
海、山、豊かな自然があり、広い公園があること
海からの景色とともに波の音が聞こえ、喧騒を離れた感覚。また、訪れた人々から来てよかったとの声を聞いたとき。
海が近い。
海で夕陽をみたとき
温暖な気候。
季節の移ろいが感じられる事
近くの美味しいピザをテイクアウトして富津海岸に車を横付けしてチル
空気がキレイ
自然の豊かさ
子育てへの支援が充実しているので、助かっている。(移動図書館、支援センターカナリエ、子育てLINE、生後2か月訪問 etc)
市役所が家から近い所に建った事
資源の豊かさ、温暖な気候
自然が多く、海のもの、山のものが豊富
自然が豊か。
自然の豊かさ
自然豊か
自然豊かで年寄りも1人で住むにはいい所だと思います。
自宅の近くに働く場所がある。
車を運転している時に富士山がみえた時。
夜、子供たちと散歩している時に蛍が光っているのをみれた時。
手入れをした後のきれいになった田畑の風景を見た時に思う
住居の近くにスーパー、コンビニ、学校、病院があり、年齢を重ねてそのありがたみを感じている。
春の昼時に窓を開け放し、遠い動物の鳴き声とそよ風が木々の葉の擦れる音とともに室内に入ってくる時
食資源の豊かさとのんびりと住みやすい環境。
静かな環境、星空
他県に比べ、南房総のため温暖である気候。平坦な道が多い。歩きやすい。海と対岸の景色を楽しめる。
大自然の中でストレスが発散できた事

朝、きれいな富士山が見えた時
鳥の声で目が覚めることができるのは、とても素敵なことだと思います。
庭の花木や鳥のさえずりなど温暖な気候の中での暮らし
都会の友達が富津に遊びに来たいと毎年数回泊まりにきて、富津の自然に触れて、楽しく過ごして、また来るよって、満足して帰ると富津に住んで良かったと幸せに思う。
都会過ぎず田舎過ぎずで住みやすいし、買い物もしやすい。自然が多いので、ゆっくり子供とお散歩できるので良い。
日が昇り始めるころの景観の美しさは、どこの地域でも経験がない。墨絵の町のように心がなごむ。
飯野に住む高齢者なので、散歩コースが沢山あるのがいい。特に富津公園は最高、ふれあい公園も田園地域もいい。イオンやスーパー、ドラッグストア、ホームセンターで買い物できるのはいい。図書館ができたのはいい。
富津市は災害が少ないと感じます。生活にしても近くに大企業が数社ありますので、仕事や生活がしやすく感じます。
海あり山ありのため、健康に良く食生活も新鮮な海、田、山等より生産される土地柄です。
毎日幸せと感じている。暮らしやすいし、温暖で東京にも近い。大きな災害も無い。日本一の市ではないか。

■知人・友人とのコミュニケーション

人に恵まれていること
ご近所をはじめ、地域の人々ののどかで親切な心。
ひとり親なので友達が協力してくれたこと
まわりの人達の温かさを感じる時
近隣の方の優しさ
家族や地域の人達とのつながり
近所づきあいが良い事
近所の人との交流
近隣の人達でのあいさつ等、優しい気持ちになれる。地域等の交流をする機会があると良いと思う。独居高齢者への民生委員の方の見守りは良かった。有難かった。
高校生の時、地元のパン屋さんが差し入れて沢山のパンを持ってきてくださったこと。大会の応援も来てくださり、人の温かさを知りました。
困っている人に手を差し伸べ、互いに協力し合えるまちの実現！ 大切な人が笑顔で健やかでいてくれること。
子育てを通し、交友関係が広がり、今でも継続して交流できることをありがたく思っています。
子供が泣いていたら近所の人々が声をかけてくれること。 困っていると助けてくれる。（見て見ぬふりをしない。）
子供のころ町内は人が群れていた。あちこちで人々の声掛けや笑い声があり、大人たちに守られているという幸せを感じながら育った。人にはやっぱり人だと思う。
通りすがりに挨拶しあえる。
周りの一言と笑顔と感謝がとっても大事
助け合い、互いのサポート 信頼関係の構築 コミュニティの場
障害児を育てています。迷惑をかけてばかりですが、近所の方が温かく見守ってくれていて、いつも頭を下げてばかりですが「みんなで見守っていかなきゃいけない子だから気にしないでいいのよ」といってもらえた時はこの地域に住んで良かったと思いました。「アレ？」と思ったときに躊躇なく声掛けしたり出来る環境を作ること、意識することが思い詰めて孤立してしまう親を無くしたり、お年寄りなどの防犯等にもつながるのかもしれない。
新規契農したが、地域の方々がとても親切にしてくれた
辛い事があっても、必ず励ましてくれたり、手を差し伸べてくれたりする人が周りにいること。
人が優しい。
人とのコミュニケーション
生まれ育った地において家庭を持ち、その後一人で子育てをしてきましたが、近くの方々に良く声をかけていただき、皆に見守られているなど感じておりました。心穏やかに過ごせたことは幸せなことだったと思います。

昔、地震があった時、歩いていた近くの家の人が大丈夫だった？とすぐに家から出てきてくれた時、人の優しさを感じ幸せも感じることができました。
地域の繋がりには住みやすさに直結しています。
地域の人々とのつながりの温かさ（清掃活動や祭りなど）を感じるにつけ、心が安らぎます。
定年後趣味の農作物を作れたり、また農作業をする中で近くの人との会話（情報交換）をして、生活している事に幸せを感じる。
富津市は何もない所だが、人情あふれていて災害も少なく住みやすいほうだと思います。
令和元年の台風被害により、長期停電があった際、人の温かさを再認識できましたし、災害対策ももっと誰かのため、自分のために取り組む必要があると感じました。

■結婚・出産・子育て・家族の時間

家族がいる事
孫が遊びに来てくれる。
愛犬と公園を散歩している時
温暖な気候で、子供たちが小さい頃はお弁当をもって、ピクニックがとても楽しかった。海、山などでのんびり遊べて、子育てには最高だった。
家族、親戚が身近にいること。助け合えること。
家族が健康で生活を送っているとき
家族で過ごす休日。子供の笑顔。
家族で農作業。ひとりで自然を満喫。
家族と仲良く生活すること
家族や地域の人達とのつながり
家庭でも職場でも笑って楽しくすごすことができた時
子供がお手伝いをしてくれた時
家庭を持った時、子供が産まれた時
結婚した時、旅行に行った時、仕事があり、住む家があり、適度に自分の時間がある事
結婚した時。
結婚して子供が無事生まれた事
子供、孫が生まれた時
子供が成長していく過程を見られた事
子供の学校活動。マンモス校はどうかなと思いますがある程度の競い合う場があり、見守り、応援出来ていた時は幸せでした。
子供の笑顔を見ている時が幸せです。
子供を産んで手続きをしに市役所に行った時、元気な赤ちゃんを産んでくれてありがとうと言われた時。凄く嬉しかったです。
毎日富士山を見ながら子どもが登校する、自然の中での子育てなど
大変なこともありましたが、家族が多かった頃が一番充実して楽しかったです。
普通に生活ができること。家族で美味しいものを食べて、のんびり過ごせること。

■おいしいものを食べている

食べ物がおいしい時
地元の食材を使用した料理を味わう事。
うまいものを食べた時（すし、ステーキ等）
温暖な気候のもと、食べ物がおいしい事
美味しいものを食べている時
富津産の新のりがおいしかったとき
海産物の豊富さ
新のりを食べておいしいと感じた時
美味しいご飯を食べた時や、綺麗な景色を見た時
美味しいものを食べた時。 富津ではじめて穴子やアジフライを食べた時に幸せを感じました。
美味しいもの甘いなどなどを食べた時
美味しい食事ができた時に幸せを感じます。これは主に外食を利用した時ですが、房総のある地域での海産を扱うレストラン、食事処では非常にレベルの高いものが提供されていると個人的に感じています。美味しいモノを食べたい時にはそこに訪れたいと思うようになりました。
富津の海でとれた魚、たこなどが美味しい 海苔が美味しい もっと海を大事にしたい
富津市内の特産物（例えばのりや貝などの海産物）を旬で食べた時
新海苔を食べた時
普通に生活ができること。家族で美味しいものを食べて、のんびり過ごせること。

■災害の少なさ

災害や事件、事故が少ない事
割合と災害が少ない。（東日本大震災や大水害などがあまりない。）
大きな犯罪が少ない。
災害が少ない方だと思う事
災害が少なく、温暖な気候に恵まれていること
他の地域より災害が少ない
他県と違って大きな災害も無く、商店、学校、病院等も近く、静かでのんびりできる。
台風15号以外は大きな災害を受けていないのは嬉しいです。
東京に近く、空港も近くで温暖な気候のために、とても住みやすく、他のところに比べて災害が少ない
富津市は何もない所だが、人情あふれていて災害も少なく住みやすいほうだと思います。
富津市は災害が少ないと感じます。生活にしても近くに大企業が数社ありますので、仕事や生活がしやすく感じます。
海あり山ありのため、健康に良く食生活も新鮮な海、田、山等より生産される土地柄です。
毎日幸せと感じている。暮らしやすいし、温暖で東京にも近い。大きな災害も無い。日本一の市ではないか。
2019年の台風15号で我が家は断水もせず、電気は4日程で復旧した時、本当にありがたかった。

■のんびり過ごす

のんびりして住みやすい。豊かな自然がすごくいい。
のんびりとしていて大きな事件などが少ない
海と山、自然の中でのんびり生活している時
閑静に過ごせる 裏を返せば、消費のために地方に行き、地方税を納めている
のんびり
家同士がひしめきあっていないため、のんびり暮らせる。
食資源の豊かさとのんびりと住みやすい環境。
静かに暮らせる
他県と違って大きな災害も無く、商店、学校、病院等も近く、静かでのんびりできる。
日々平和に暮らせている事です
普通に生活ができること。家族で美味しいものを食べて、のんびり過ごせること。

■達成感・やりがいを感じた

何の制限もなく好きなときに好きなことができること
試験に合格した時
くじで1等がでた時など趣味に没頭している時
釣りで色々な魚が釣れた時。
初めて給料をもらった時
仕事終わりの金曜日
市民体育大会での思い出。地域団結して取り組んだ達成感。
自宅からすぐ近くにある、陶芸教室を最近知り通い始めました。先生方がとても優しく、親切丁寧に教えてくださいます。創作作業は無心になれ、リフレッシュできます。また、作品が出来上がった時幸せを感じられます。
母校である富津中サッカー部が全国大会にでたとき

■イベント・祭りへの参加

コロナ禍で今まで祭礼などいろいろなイベントなど、我慢していたが、5類に移行してから4年ぶりの祭礼はとても幸せだった。
花火を近所の方と話しながら見たこと
好きなアーティストのLIVEに行けた事
最近子供向けのイベント等が増えている。
祭礼の準備運営
地域のためにやれた富津市民花火大会は実現できて良かったです。
地域の祭礼
地域の人々とのつながりの温かさ（清掃活動や祭りなど）を感じるにつけ、心が安らぎます。

■健康であること

病気がちなので、体の調子が良いとき

■幸せと感ない・わらない

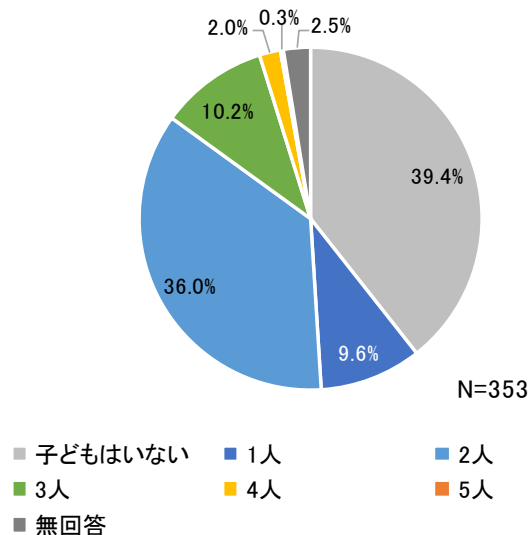
富津市だから・・・という理由で「幸せだ」と思ったことはないです。
はっきり言って幸せ感はありません。
わらない
わらない
わかりません
今特に住んでいて幸せ感はない
特にありません
特にない
特になし
特に無し
特に無し
サラリーマン家庭が増えているので富津市だから幸せを感じるなんてことはないと思います。

2.2.2 子育てや結婚について

(1) 現在の子どもの数

【問 13】 あなたの現在の子どもの数は何人ですか。あてはまるものを1つだけ選んで番号に○印をつけてください。

「子どもはいない」の回答比率が最も高く、次いで「2人」「3人」「1人」の順で高くなっている。

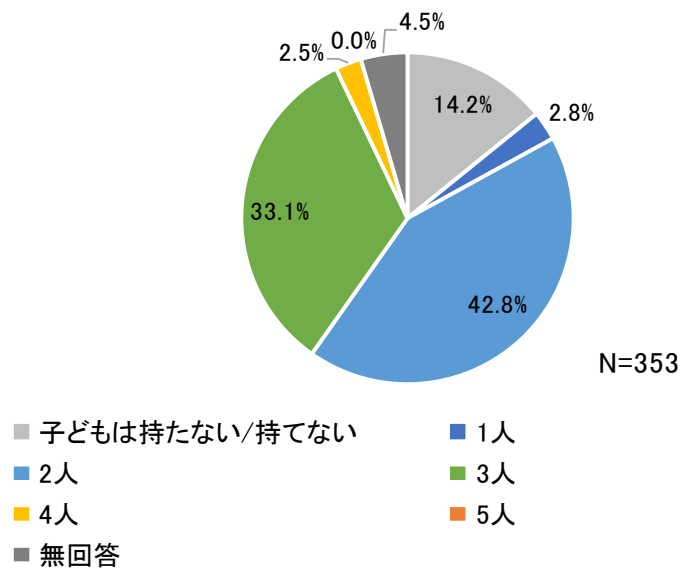


(2) 理想的な子どもの数

【問 14】 あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか。あてはまるものを1つだけ選んで番号に○印をつけてください。

「2人」の回答比率が42.8%と最も高く、次いで「3人」が多い。「子どもは持たない／持てない」の比率が、「1人」よりも高くなっている。

理想的な子ども数の平均値(加重平均)は、約2.1人である。

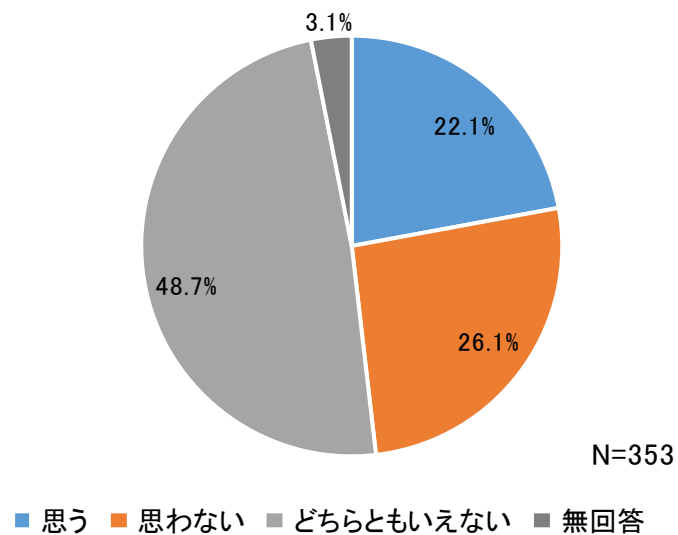


(3) 富津市の子育てのしにくさ

【問 15】 あなたは、富津市は子育てしにくいところだと思いますか。

あてはまるものを 1つだけ選んで 番号に○印をつけてください。

「思わない」は26.1%で、「思う」の22.1%を上回っているが、「どちらともいえない」が48.7%と最も比率が高くなっている。



(4) 子育てしやすい地域になるために必要なこと

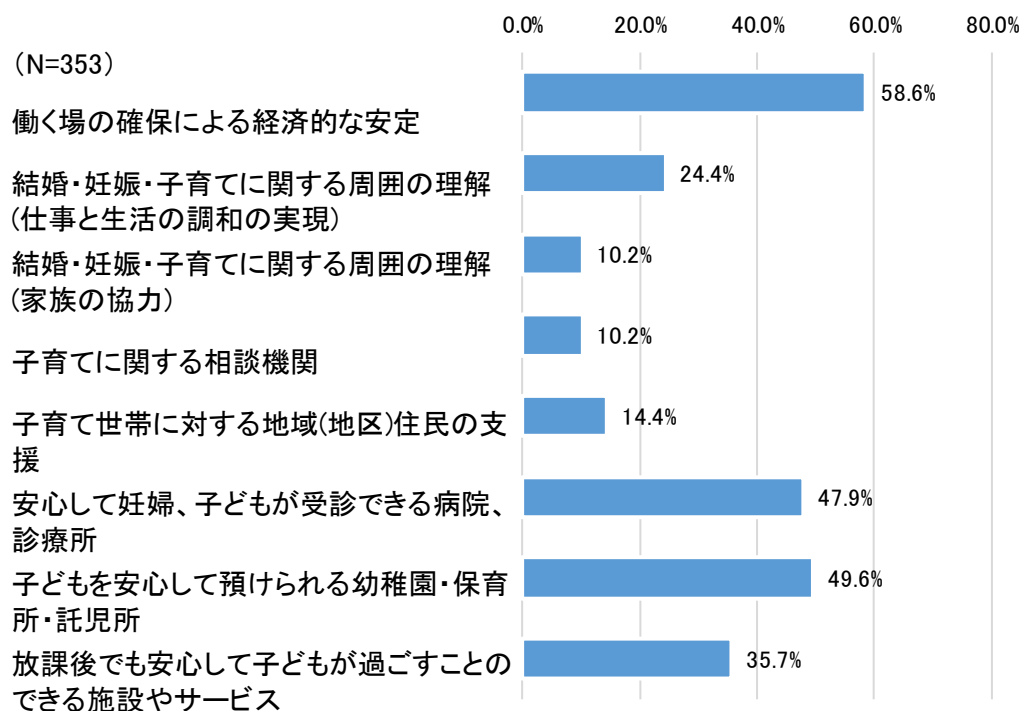
【問 16】 あなたは、富津市が子育てしやすい地域になるためには、何が必要だとお考えですか。あてはまると思われるものを下の表から3つまで選んで教えてください。

回答は回答欄に選んだ番号を書いて教えてください。

選んだ結果が1～2つの場合は二つ目や三つ目の枠は空欄で問題ございません。

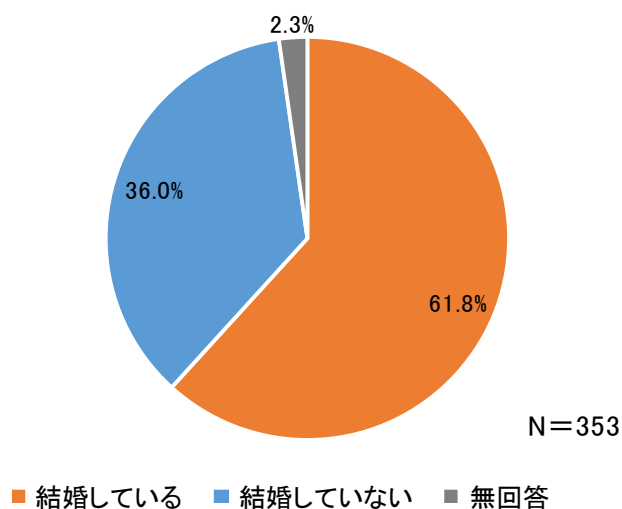
【3つまで記述】

「働く場の確保による経済的な安定」の比率が最も高く、次いで「子どもを安心して預けられる幼稚園・保育園・託児所」「安心して妊婦、子どもが受診できる病院、診療所」の比率が高くなっている。



(5) 結婚／未婚の内訳

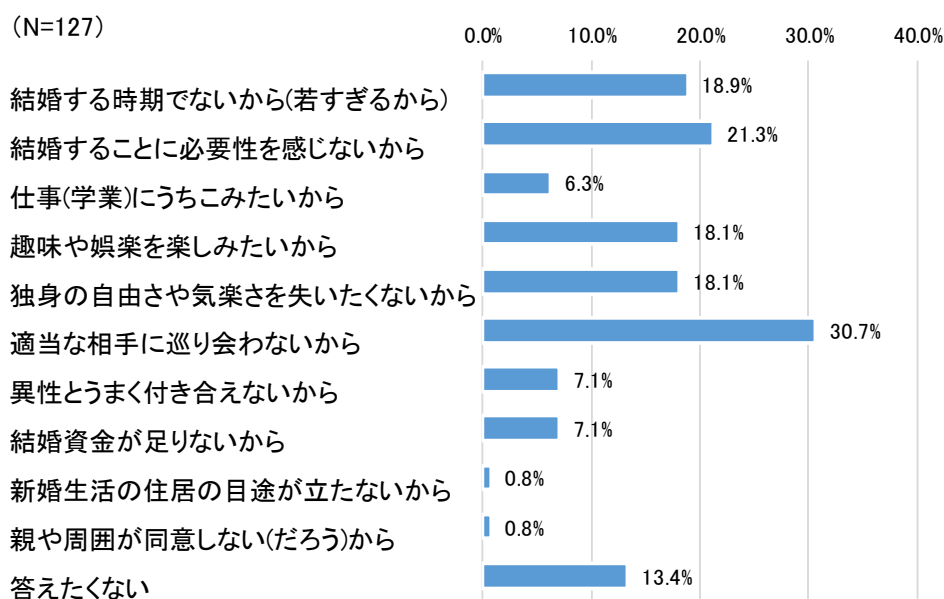
【問 17】 あなたについて、おうかがいします。
あてはまるものを選んで番号に○印をつけてください。



(6) 未婚者が結婚しない理由

【問 17-2】 【問 17】で「2 結婚していない」を選ばれた方に伺います。結婚されていない理由を差し支えない範囲で教えてください。あてはまると思われる理由を選んで番号に○印をつけてください(最大3つ)。

「適当な相手に巡り会わないから」の比率が最も高く、次いで「結婚することに関心を感じないから」「結婚する時期ではないから(若すぎるから)」「趣味や娯楽を楽しみたいから」「独身の自由や娯楽を失いたくないから」の順で比率が高くなっている。



2.2.3 その他の富津市のまちづくりについて

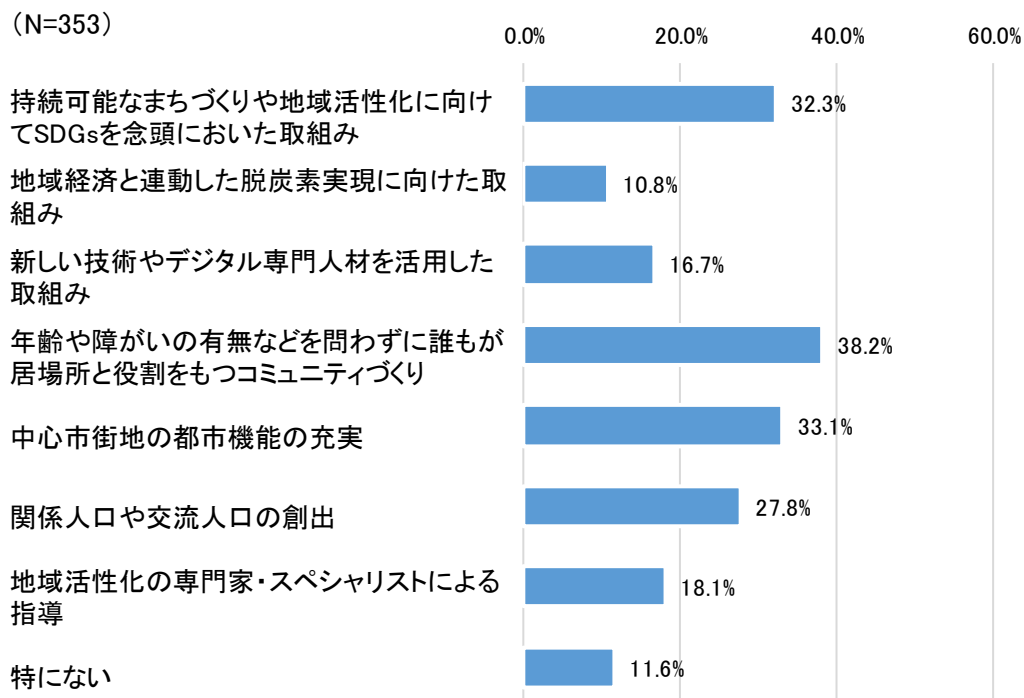
(1) 富津市において重要な国の政策

【問 18】 社会潮流の変化で地方創生に関する新しい政策を国で推進しています。国が推進する政策のうち、富津市において重要だと思う取組みを下の表から **3つまで選んで** 教えてください。

回答は回答欄に選んだ番号を書いて教えてください。

選んだ結果が1～2つの場合や「9 特にない」の場合は二つ目や三つ目の枠は空欄で問題ございません。 【3つまで記述】

「年齢や障がいの有無などを問わずに誰もが居場所と役割をもつコミュニティづくり」の比率が最も高く、次いで「中心市街地の都市機能の充実」「持続可能なまちづくりや地域活性化に向けて SDGs を念頭においた取組み」「関係人口や支流人口の創出」の順で比率が高くなっている。



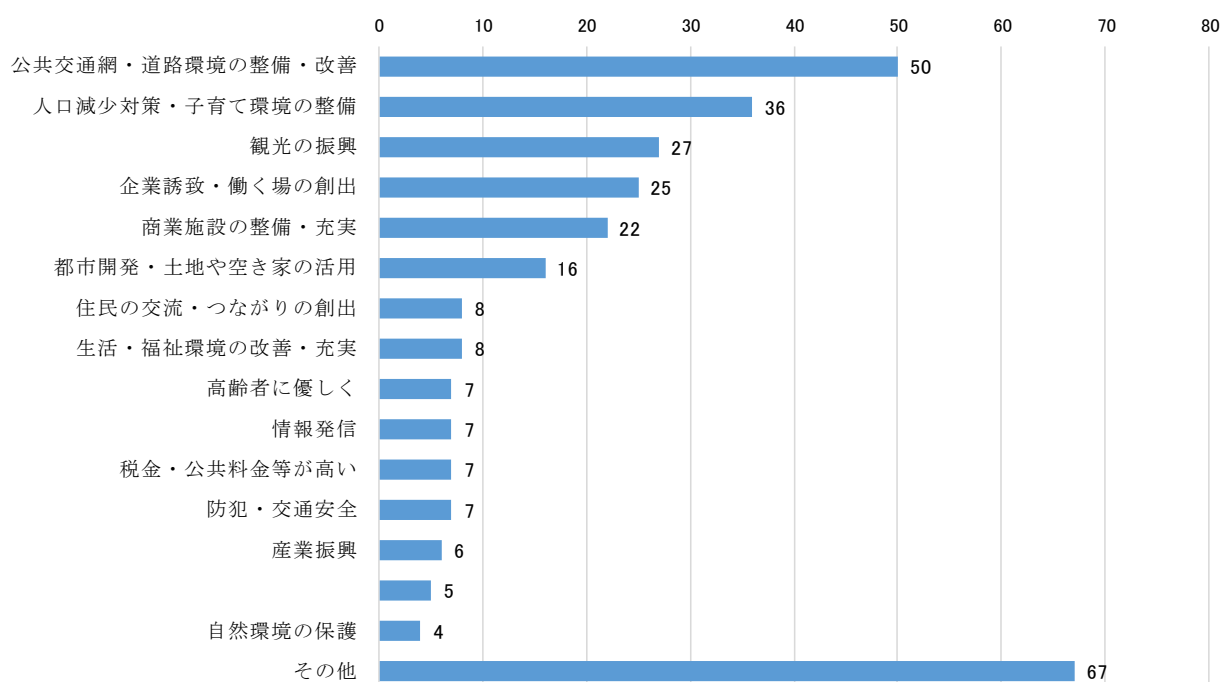
(2) 富津市についてイメージすること・将来の富津市のために思うこと

【問 19】 富津市について、あなたがイメージすることや将来の富津市のために思うことがあれば、教えてください。 【自由記述】

自由記述内容をカテゴリ分けし、カテゴリごとの回答数と回答内容を整理した。

1) カテゴリ別の回答数

「公共交通網・道路環境の整備・充実」の内容が最も多く、次いで「人口減少対策・子育て環境の整備」「観光の振興」「企業誘致・働く場の創出」「商業施設の整備・充実」「都市開発・土地や空き家の活用」の順に多くなっている。



2) カテゴリ別の回答内容

自由記述回答内容をカテゴリ別に整理した。(回答の一部は編集して掲載)

■公共交通網・道路環境の整備・改善

歩道の整備、散歩している時、雑草、木枝、ジャリ等で歩きにくい。
公共交通機関を拡充させるべき
日東バスの運賃が高いので一律、片道例えば、環から湊まで 200～300 円で利用できる様(本数も増やして)
電車の本数をもう少し増やしてほしいです。路線を複線化してほしいです。
東京湾口道路はいらないと思います。
駅に屋根をつけてほしいです。
道路を良くしてほしい。
白線が消えてる所が多いので、きれいにしたい。
道路が狭く劣悪な為、整備してほしい
青堀駅駅前ロータリーには屋根付き停留所が 3 か所設置済みであるが、ガードレールを撤去したりして君津駅までの循環バスや高速バスの発着に利用できるよう検討してほしい。
JR の活性化
JR 内房線の電車の本数が少ないので、増やせばもっと便利になると思います。
駅のホームに屋根がない。
高齢ドライバーの運転が怖いから、高齢者が運転しなくても良いように、バスの増加をしてください。
五井駅は駅にエレベーターがあるのに対して、上総湊に無いのが不便です。早急に富津市内の各駅エレベーター設置出来るように改良工事をして欲しいです。
若者・お年寄りが生活しやすい交通機関の充実
高齢者の自動車運転が気になるので、公共交通機関の発展をお願いしたい。
運転免許を返上後の交通手段のなさを思うに、大変不安になる。近くにスーパーが無く人の手を借りる。生協等を利用する等をせねばならなくなると思う。
交通網の発達
公共交通機関の充実 電車の本数も減り、バスもなくタクシーもない
公共交通網の充実
高齢化が進んだ場合、免許返納後の交通手段が整備されていないことの不安。通院(病院)、買い物(店舗)、コミュニティ活動の場が歩いて行ける近くに一つもない。
高齢化が進んでいます。老人が安心して暮らせる町づくりを要望します。特に足の確保、医療体制の充実をお願いします。
町を巡回するバスや年寄りに優しい町づくりをしてほしい。
富津市にある JR の駅のさびれ方が激しいと思います。
今よりも電車の本数を増やしてほしいです。
車でしかどこにも行けない。交通の便が悪いことや駅のバリアフリー化が全く整っていない。道路のガタガタすぎて歩くことさえ既に怖い道です。会社帰りに何度コケてしまった。
交通不便。
山間部は交通の便も悪く、買い物する場もなく住みにくく、これ以上悪化すれば生きづらくなると思われる。
交通の便の維持。
市民(特に老人)向けのバスが走り、ひと目につくような場所に公園を作り、総合商業施設を増やす。
自家用車が生活に必須であることが居住のハードルを上げていると感じます。公共バスの増設は難しいかもしれませんが、タクシー利用の補助などで交通の便への不安が払拭できれば社会の喧騒を離れた富津の土地は魅力的な居住地候補として皆に知っていただけるのではないのでしょうか
一人暮らしの方が多く、運転ができないと買い物ができません。不安しかありません。
公共交通機関の少なさ。買い物をするにしても一部地域しか栄えていない。

自動車がないと不便なので高齢者になった時の交通手段の確保が不安です。都会から移住して来ても同様です。
車が生活に必須である今日、道路拡張の充実により、安全を求む。
交通機関の充実等、電車が風で止まってしまったり、最終が早かったりちょっと不便です。
富津に入った途端単線になるので君津市などの隣接道路の拡張
青堀駅周辺の活性化。東口の道路拡張、上下水道の整備他。鉄道複線化促進。
子育ても大事だが高齢の人も多く、外出や買い物のための足を確保できるとよいと思う。
定住人口増(地域の活性化)に伴い、まず道路網の整備促進、地価の安さは評価するものの、道が狭く袋小路が多く、決して住みやすい環境とはいえない。
車に乗らない人の交通の不便さ。年寄りのサービスをもっと希望する。例えばバスの利用が無料とか。
東京湾口道路は必要ないと思います。『通り過ぎる街』になってしまうのではないかと…。
道路がでこぼこだったり、白線が消えていたり、木が伸びて見通しが悪い場所が多々あるので整備してほしい。
富津市の道路は幅が狭く、歩道のスペースがほとんどない道が多くありますので、雑草を刈っていただきたい。
小学生の通学が危険な所が多い。
道路整備と公共交通機関を充実させてほしい
電車の複線化。
富津岬から横須賀への横断道路を作ることによる地域活性化と市民税減額
老人のための循環マイクロバスをつくってほしいです。安い費用で病院、買い物に行けたらと思います。

■人口減少対策・子育て環境の整備

とにかく子供が増えて欲しい
とにかく人口減少対策が一番大切だと思います。
温暖であり、都内への通勤可能な範囲、テレワーク推奨される現代であること、等考えると木更津の羽鳥野のように子育て世代も呼べると思います。
人口減でひなびた生活に感じます。年齢ですので昔と比べてさみしく思います。
近隣の市と比べて保育料が高い。知り合いはそのため君津市に家を建てました。市税の収入のためにも子供の多い市になってほしい。
インフラ整備等も重要であるが、人口の減少が将来、商業施設の撤退、ひいては過疎化にもつながるのではないかなと思うので、予算をそいいう所にもかけても良いのではないかなと思う。
高等教育を受けた人材の流失抑制が足りない
子供を産むための病院も少なく、若い方が不安なのでは・・・
高齢化社会を支える、生産年齢人口が減少している。現状に対してどのような施策があれば、次世代も安泰できるのか。誰もが輝ける生活を送ることができるのかを考えると、教育、健康づくりではないかなと思います。
財政の問題や人口減少などについて、不安に感じています。特に人口減少については、周囲の少子化が深刻になっており特に心配しています。富津市の居住地としての魅力向上や、子育てしやすい環境づくりを進めてくださいますよう、期待しています。
子育て支援を充実させてほしい
子育て世帯には公園がすごく重要です。素晴らしく広い土地や景観があるのに、使えない遊具が多いです。直接的に市の管理ではないのかもしれませんが、遊具の補修や増設が子供が増える街に繋がると 생각합니다。
子育て世代に住んでもらえるようにどんな取り組みが必要が考えるべき
子育て支援、特に低年齢の保育施設や預け先の充実化、産婦人科病院の誘致など
子供が恵まれて学習が受けられかつ、のびのび育つ環境の充実を願います。
子供たちが安全、安心で買い物施設がある方がよいと思う。駄菓子屋もない。病院もない。子供達が安全に遊べる場所がない。ダメ、ダメばかりでつまらない。
子供達にお金を使ってほしい。
子供が仕事の関係で都会に流出している。

子育て支援をしても産婦人科がない。諸々理由＋税金が高ければ若手はどんどんいなくなってしまうと思います。
若い人が出会えて、結婚したいと思うサイトを作してほしい。人口を増やす為、アニメや IT の学校を作してほしい。
若い世帯が住みたいと思う町づくりが必要
若い世代が地元に残り、仕事や子育てがしやすいような町づくりをしてほしい。市の財源が少ない中で、企画していくのは大変ですが、魅力ある富津市をもっと PR して移住者を増やすなど、今後も努力をお願いします。
若い方達が定住してくれるような支援や、魅力ある市になるような政策を打ち出してほしい
小学校、中学校の統合は子供達の減少により、しかたないのかなと思いますが、大切な子供達が大人になり地元で勤務して、家庭をもって生活できる様な地域になってほしいものです。
少子化で仕方ないと思うが、保育所や学校の統廃合などで、近くの施設がなくなり遠くに通わないといけなくなるなど、子どもを産んでもだんだんと子育てしづらくなっていくのではないかと思います。またそれを理由に富津市から出ていく人も多くいると思う。
子供の教育、医療を充実し若者の移住が増えて住みやすい富津市になるといいなと思います。
人口が減っていてマイナスなイメージ。近隣の同じくらい田舎の地域でも、頑張っているところがあるのを見ると、富津市はおいていかれるなと感じる。
人口が年々減っている。みんなが幸せに住める様にする。
人口減少
子供にあまり子育てしやすいと思わない。
子育てできるよう保育士の増員などして、安心して子育てできる市へ。
税金が安くなって子育てが安心できるようにしてほしい。
過疎化、高齢化、人口減少を減速させる
富津市だけでなく全国的な話だが子育て支援の拡充！人口増につながる政策、子育て支援があると、子どもをもう 1 人産みたかったのに…と諦めずに済む。人口増にも繋がると思う。
富津市も人口は減っていくと思うので、働く親や子育てに関する支援に力を入れて頂きたい。
富津市民の人口増加対策。
毎月 50 人前後の人口減少で、先行きが暗い。

■観光の振興

アクアラインを渡ってきたツーリング客の目的地になるような休憩所・観光地の設置
沿岸部の観光地化 海水浴場周辺の再開発
観光資源について県立富津公園の民間企業参加型開発や天羽、金谷地区等の滞在型観光地への整備や撮影ロケーションの受け入れ誘致等々、まずは観光資源にしばった事業を一つずつ展開することが大切だと思います。
もっと観光に力を入れた街づくりをしてもらいたい
もっと観光等に力を入れ、商業活性化させ、地元で市民が働けるように。
観光で立ち寄りたい街、生活しやすく活気のある街になって欲しい
海岸線からの富士山を生かす
観光で関係人口を増やす。宿泊施設の充実。
観光の目玉となる施設の建設や企業誘致を積極的に行って、富津市の魅力発信に尽力して欲しいです。
観光業が盛んになればいい。
観光資源が豊富なのに全然いきてないので、チャンスしかありません！
観光事業の充実
今ある自然を大切にしたい開発(観光、仕事)をしてほしい。
観光事業を延ばして、市外からの観光客を増やしていくことが一つの方向性であるのかと私は思う。魅力的な食事や、体験を提供できる体制を構築していかなければならない。
観光事業として個性を活かした取り組み
現在はマザー牧場や鋸山近辺は現在でも活気がありますが富津地区、大佐和地区など昔が懐かしくなるくらい静かです。もっと、自然を活かしたりした観光都市を目指していただきたいです。
多くの観光地があるので、もっと外へアピールすべき(観光客での収入)

都心からの好アクセスな場所に立地しているため、豊かな自然を活用したアクティビティを更に活性化させ県内でも有数の観光都市としてイメージアップを図る。とにかく富津市に足を運んでもらい、体験してもらう。
東京湾越しに望む富士山や対岸の夜景の美しさは富津市の宝だと思う。その海岸線をどのように活用していくか、総合的なプランを立てて、計画的に整備・活用できるようにしてほしい。
観光資源を再整備し流入、移動人口、移住者を増加させる。
富津市の地形を活用した(海、畑、山)、地場産業、観光開発
小さくとも「キラリの光る」観光、自然、食材等を活かした穏やかな「まち」を期待しています。
富津市は自然の多いいい町です。都心から近いので観光に適していると思います。もっと観光スポットを増やし、観光客が多くなれば市民も潤い発展していくと思います。
もっと観光やイベントに力を入れて、沢山の人が集まる場所を作って欲しいです。現在あるジャンボプールももっとキレイに設備投資したりすればまた来なくなるし、海もあるのでサーフィンやパラグライダーなど出来ることがたくさんある。山側のアクティビティももっと増やしてほしい。富津市をもっと演出してほしい。今までと違った事を考えてほしい。
豊かな資源を生かし、観光客等の流入を図る。
豊かな自然を生かした観光開発
観光資源は豊富なので上手くアピールして人を呼び込めないかと思う。

■企業誘致・働く場の創出

色々な企業を誘致してほしい
企業誘致をする。
働く場所の創出
良い就職先が少ないと思うので人が市外に流出してしまうと思います。
企業誘致
イオンモールなどの空き店舗を使用した、テレワーク用のシェアオフィス、コワーキングスペース
もっと観光等に力を入れ、商業活性化させ、地元で市民が働けるように。
リタイヤして移住して来ましたが、働く場が余りに少なく子供達に富津市に住むことは進められない、産業政策・企業誘致などを進めていく必要があると思います。
観光の目玉となる施設の建設や企業誘致を積極的に行って、富津市の魅力発信に尽力して欲しいです。
企業が当市に進出するよう市長が先頭に立って行うべし。
若い方の働き場所があまりになさすぎるのでは・・・
今ある自然を大切にしたい開発(観光、仕事)をしてほしい。
企業を呼び込み観光と両立する様に環境を整備して欲しい。
正規の働き口も少なすぎる。
若い人が仕事出来る場所をつくらないと老人だけになってしまうと思います。
生産性が高い工業の企業誘致
働くところも少ない。
天羽地区には製造業が少ない。企業する方がいない→自動車工場の誘致
新たに富津市において事業を展開する事業主に対しより手厚い助成金制度などの整備を図り、雇用の拡大、人口の増加を目指すことにより税収の増加などが見込まれる。
働きやすい街
働く場が少ないと思います。
働く場所がもっとあったらいいと思います。
大学生等による創業支援の場を設けて下さり、新たな起業を考える人たちがいると思うので、ありがたいと感謝しています。
市内への企業誘致により、働く場所を増やし、他市・県からの人の流入を図る。
企業がもっときてほしい

■商業施設の整備・充実

商業施設の衰退
単純に商業施設が少なすぎる。
イオンモールの専門店の少なさどうにかなりませんか
イオンモール富津店に店をもっといれる。ユニクロと無印良品を復活させる。客が来るような店を入れる。
もっとメジャーなお店がほしい
もっと若者向けのお店が欲しい。
リサイクルショップが機密に行かないと無いので、1店舗は必要だと思う。
広い土地があるのもっと楽しくなる様な商業施設、スパなどあったら良いと思います。
道の駅や娯楽施設の誘致
何をしても君津や木更津まで行くことが多いので、富津市内に色々な物が増えていくと良いと思う。
せめて駅前に観光の方たち(地元の方ももちろん)にも喜ばれる立ち寄りの店やおみやげ店、食事処がほしい。
子供たちが安全、安心で買い物施設がある方が良いと思う。駄菓子屋もない。病院もない。子供達が安全に遊べる場所がない。ダメ、ダメばかりでつまらない。
総合商業施設を増やす。
お店が少ない。できても高齢者しかいないから流行らない。すぐつぶれる。
他市、他県にあるような少し大きめの道の駅があると良いと思う。海や山の幸と遊ぶところ(動物とのふれあいや乗馬体験、ドローンを飛ばせたり、普段乗れないものに乗れたり等)市内が広いので、市内の人も楽しめる小型のバスツアーとかグランピング施設と共同でイベントをやるとか。内陸地でも養殖できると聞いたので誘致するとか。
大型スーパーや遊園地、公園(袖ヶ浦公園のようなところ)があると嬉しい。
道の駅のような人が集まる場所を作る。
買い物をするスーパー(天羽地区)にも欲しいです。
富津イオンに図書館ができて、文化面でも近隣の市に追いついたので、福祉センターもイオンの中にできたら、便利だと思います。
富津イオンも土日以外はがらんとしています。外出しない人が増えている事実を生かし、チラシのような紙媒体での宣伝が効果がでるのではと思います。富津で経営を頑張っている小売業やサービス業に声をかけ、富津市全体の経済を回す事が活気づける事になるのではないのでしょうか。
スーパーマーケット等、店が少ないので買い物に不便な場所にいる人が困らないように何とかお願いしたいと思います。
木更津イオンのより大きい施設を作った方が人が来る

■都市開発・土地や空き家の活用

6 駅とも市街化地域が無くインフラを含め開発すべし
休耕田、畑が多く見られ何とか活用法はないものかと思う。
駅や幹線道路周辺の再開発
空き家を何とかして安く貸し出すこと・・・とかできないものではないでしょうか？！
空地の整備→土地活用
狭い道路を新設整備し、耕作放棄地、荒地などを宅地開発し、他市に比べて低コストで住宅が建設できるようにする。
遊休農地の活用
立地を活かした不動産開発の活性化(官民共同含)
代々、受け継がれた使われなくなった田畑の在り方を考えて頂きたい。
遊休地や廃校になった場所を活かした文化芸術施設の充実や若いアーティストを育てる場を作る土地の有効活用。
高齢化で休耕の田んぼが多くなっていますが、お米が作れる様な何か良い方法はないのでしょうか家の前の山が放置されていて木々が伸び放題で日当たりが悪くて困っているなので、そういった場所を調査して持ち主に整備してもらえるように働きかけてほしい。

特に大貫駅前位～の土地が借地になっている所が多い。空き家も含め空いている土地に新築して、移住してもらえれば、若い人達も増えて、子供も増え町が栄えてくるかなと思います。
休耕地、未利用地を解消する
富津市の地形を活用した(海、畑、山)、地場産業、観光開発、市外への人口流出防止、他県からの移住者の増の対策(空地、空き家、安価な土地を提供等)

■住民の交流・つながりの創出

自治会(区)の改革
公民館、市民会館等で週に何回か運動する。
コミュニティの場。気さくに話せる環境。
過疎化、高齢化が進んでも、暮らしやすい社会。自立して生活できても孤立しない地域性。
現存市民と新たな市民となった人たちの交流の場、コミュニケーションを図れる機会があれば、もっと市の未来があらゆる可能性が広がるのではないかと考えます。
自治会運営について、高齢者が多く、役員業務が負担という理由で、退会する世帯がでてきている。回覧物の集配、寄付金の集金納金等、これまでの業務を見直し、負担の軽減をはかる必要性を感じます。時代に合っていないと思います。
人が少ないけれど、そのぶん交流ができるところ
子供やお年寄りなど年齢問わず、居場所やそれぞれの役割をもてるコミュニティを充実させてほしい。

■生活・福祉環境の改善・充実

食品中心の移動スーパー
生活保護の基準が緩い
将来のことを考えるなら、観光業ばかりに注力するのではなく、市内に居住する人にとって、もっと生活しやすく、住むことによって受けられる恩恵がなければ定住し続けようとは思えない。
子供がいない家庭も生活が苦しいです。すべての方が住みやすい富津にしてください。今は子供ばかりにお金が渡り、高齢者の方にもゆとりある生活を望みます。
誰もが入所出来る老人ホームの創建
中心市街地の環境整備だけでなく中山間地の生活環境整備(高齢化、過疎化)の実施
福祉制度の改善
障がいがあっても生きていける

■高齢者に優しく

高齢化が進んだ場合、免許返納後の交通手段が整備されていないことの不安。通院(病院)、買い物(店舗)、コミュニティ活動の場が歩いて行ける近くに一つもない。
高齢化が進んでいます。老人が安心して暮らせる町づくりを要望します。特に足の確保、医療体制の充実をお願いします。
高齢化で買い物、通院などの不便な時がくるのではないのでしょうか。町を巡回するバスや年寄りに優しい町づくりをしてほしい。
高齢者に優しい地域であってほしい
自然は残し、若い人が働きやすく、高齢者に優しい町になってほしい。人の目があることで安心できる町作りをしてほしい。
子育ても大事だが高齢の人も多く、外出や買い物のための足を確保できるとよいと思う。
富津市は老人が多いイメージです。学校等の閉鎖で子供が少ないことがわかります。ここでの仕事がないからです。どうしても外に出て行きます。先細りの現状が変わったらいいなと思います。老人の方に優しい市でいて下さい。

■情報発信

観光資源、地場産業の整備・ブランディング、及び発信をもっとしていくこと。またそのために官民(産学)の検討、推進のスキームをもっと活用していくことが重要かと思います。
SNS の活用がうまくできていない。
SNS を利用して富津市の魅力をもっと発信して欲しい。
ふるさと納税品の充実やセールス力を上げてランキング上位にいてほしいです。
富津市の良いところを教えてもらう事で他市の皆様や他県にも情報発信できるのではないかと思います。まず富津市に居住されている皆様に理解をしていただき、自信をもって他市他県に情報発信することで、この市に発展があると思いました。
” 富津 ” という地名が広く知られるようになるように。例えば、江戸前オイスターでなく、富津オイスター、鋸山も ” 富津鋸山 ” で観光案内、マザー牧場も ” 富津マザー牧場 ” 等
市役所等から情報発信が少なく、何をやっているのかが見えてこない。

■税金・公共料金等が高い

水道代が近隣3市と比較して、かなり高いし年々上がると考えられる。生活のための基本支出を低くしてほしい。
水道料金が高い
財政が気になる。国保税が高い。
税金(市民税、所得税、消費税等)高い。特に市民税は他市より高額である。
税金が他の市より高い。
給食費も高い。
税金が安くなって子育てが安心できるようにしてほしい。

■防犯・交通安全

大堀中央のアンダーパスから右折するところが事故しそうで怖いです。
安全・防犯の為に街灯・歩道設備の充実を。
以前に比べて住居が増え、子供、高齢者も増えましたが、車が必須な土地柄なのは変わってません。安全が心配です。
通学路の整備をして欲しい。ガードレールの設置。
街路灯のない所が多く、人も車も危険。
富津公園付近で陸上の練習の方、マラソンしている方を良く見かけます。街灯をつけて頂けたら走りやすいだろうと健康の増進の為、町の活性化にもつながるのではないかと思います。ぜひとも街灯を増やして頂きたいです。
富津市はTV で、グルメや観光に注目されていると思うので、どんどんアピールしてもらいたい反面、いろいろな人が入って来ているので、防犯に気を付けています。

■産業振興

農業と漁業にもっと若い人の育成に力を入れて取り組んでほしいと思いました。
富津市の農漁業、工業、観光業を今一度見直し、地の利を生かした創生事業とは何かを考える機会だと思います。
余っている土地、豊かな海をどう利用していくか→今までと違う農漁業もいいのではないかと
農業において何か特徴のあるブランド品を作るようにしたら良いと思います。例えばイチゴでもさつまいもでも柿でも・・・
富津市の地形を活用した(海、畑、山)地場産業、観光開発
富津市の地場産業を助成してほしい。例えば海苔は自然環境の変化に伴い、厳しい状況と聞いています。

■医療体制の充実

高齢化が進んでいます。老人が安心して暮らせる町づくりを要望します。特に足の確保、医療体制の充実をお願いします。
市内に子供から高齢者まで通える、設備の整った大きな病院があると、安心して住み続けられると思う。
子供の教育、医療を充実し若者の移住が増えて住みやすい富津市になるといいなと思います。
耳鼻科や皮膚科があってほしい。
天羽地区の今後の医療が心配です。

■自然環境の保護

なるべく自然をなくさないで欲しい。機械化もそこまでいらない。機械もインターネット等の扱いが得意ではないので全てそうだと困る。
海を豊かにする対策が必要と思う。きれいな海は不用だ。海中に栄養分を増す事が必須だ。
大切な海を守り続けたい。
私が思うことは、生活環境を市民全員で美しくしていこうと行動していくことが一番大事だと思います。そういう雰囲気ができてくれば広い富津市ももっと魅力的になり住みたい人も増えてくるのではないのでしょうか。

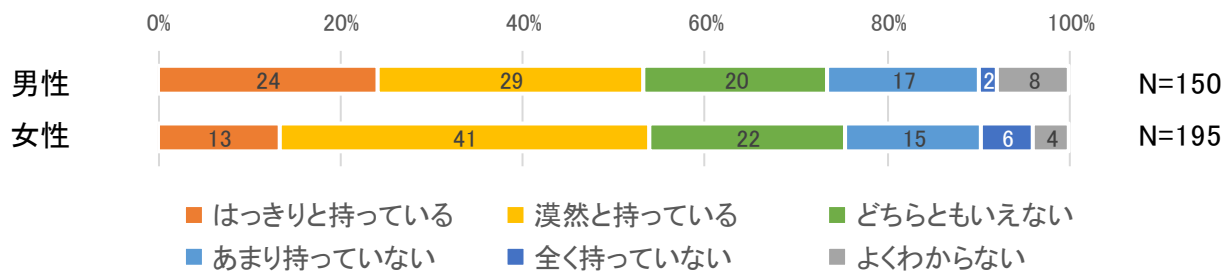
2.3 総合戦略の各基本目標に係る数値目標及び施策に係る目標値の達成状況の確認に関する分析

本節では、総合戦略の各基本目標（「富津市への誇りや愛着」「富津市での生活の満足度」「コミュニティ活動への参加意向」「富津市の子育て環境」）に関して、回答者の属性別に詳細に分析し、各目標に関する目標値の達成状況について確認した。

2.3.1 富津市への誇りや愛着（問1）

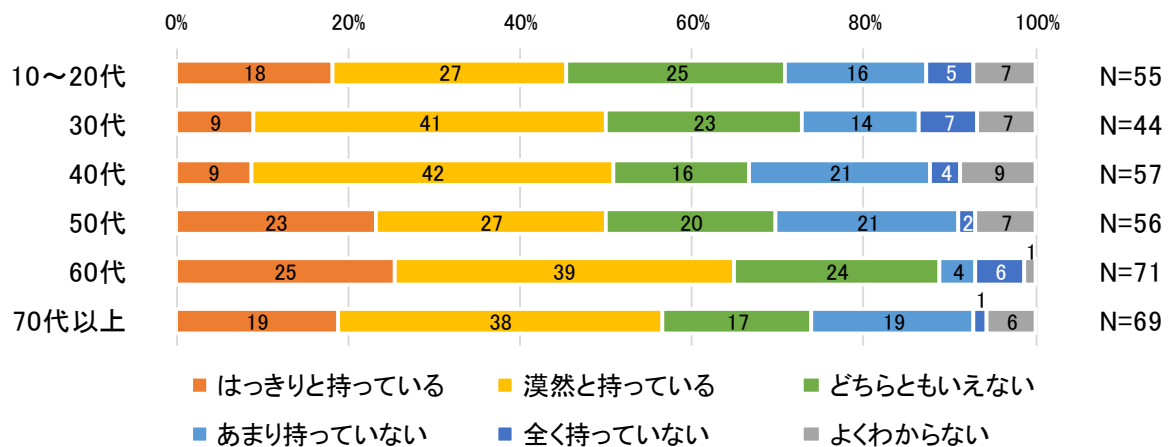
（1）性別

男性・女性で大きな差はないが、男性のほうが比較的誇りや愛着を「はっきり持っている」の回答比率が高くなっている。



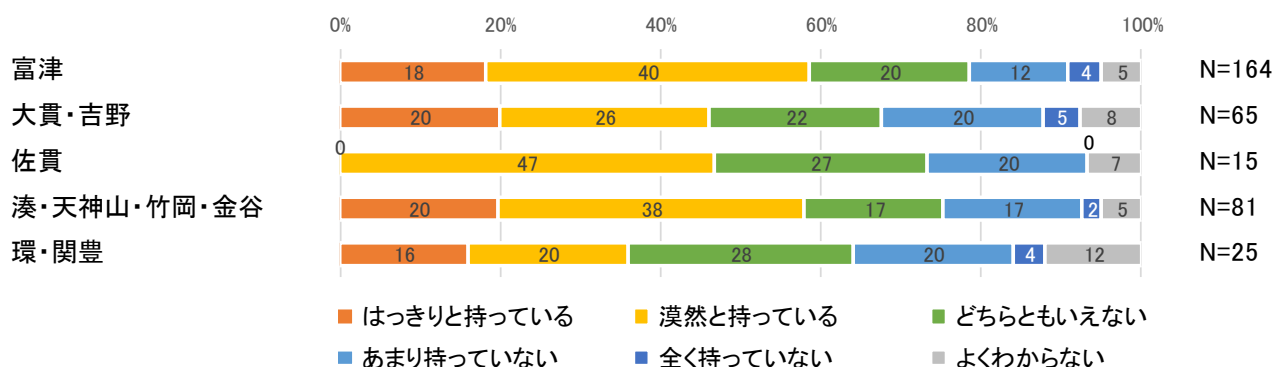
（2）年齢階層別

50代以上で誇りや愛着を「はっきりと持っている」の回答比率が高い。また、10～20代でも比較的比率が高くなっている。



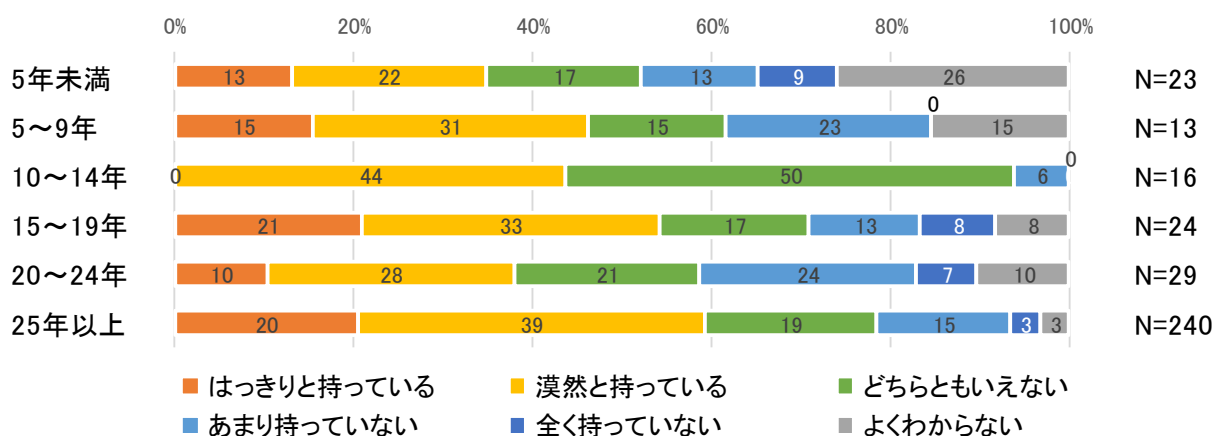
(3) 居住地区別

富津地区や湊・天神山・竹岡・金谷地区で比較的誇りや愛着を「はっきり持っている」「漠然と持っている」の回答比率が高くなっている。



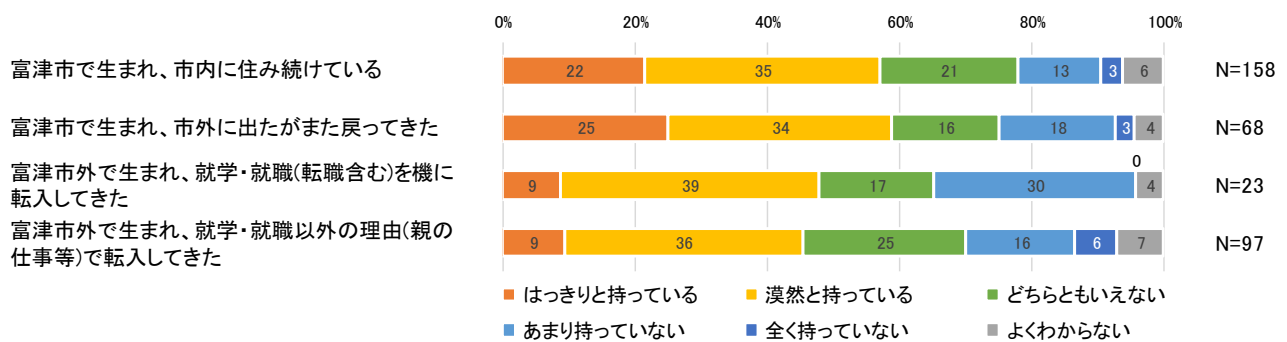
(4) 市内在住年数別

市内在住年数が長いほど誇りや愛着を「はっきり持っている」「漠然と持っている」の回答比率が高くなっている。



(5) 転入の有無別

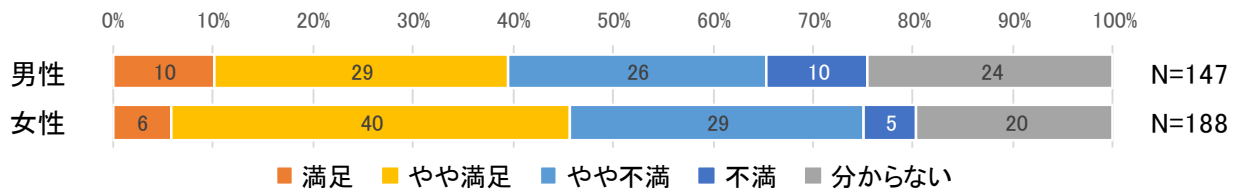
富津市で生まれた人は、誇りや愛着を「はっきりと持っている」の回答比率が高くなっている。



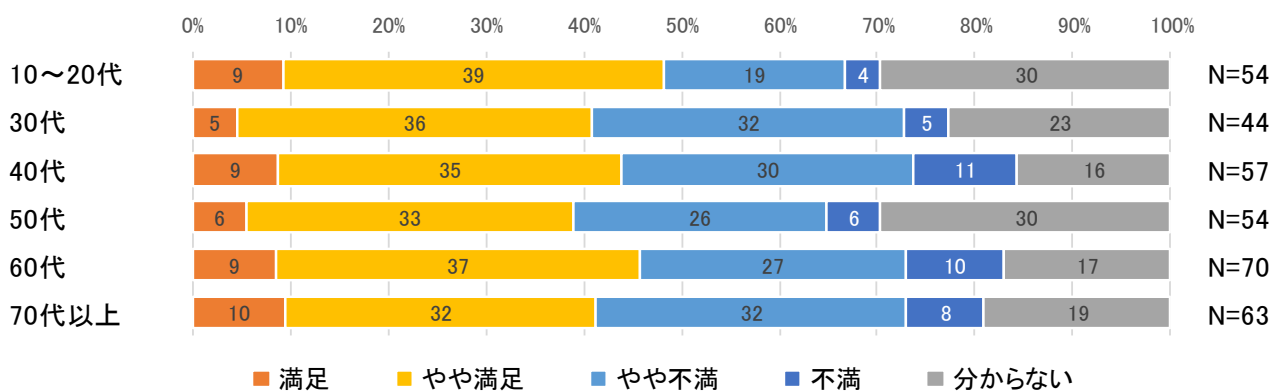
2.3.2 富津市での生活の満足度(問 4)

2.3.2.1 災害への対策

(1) 性別

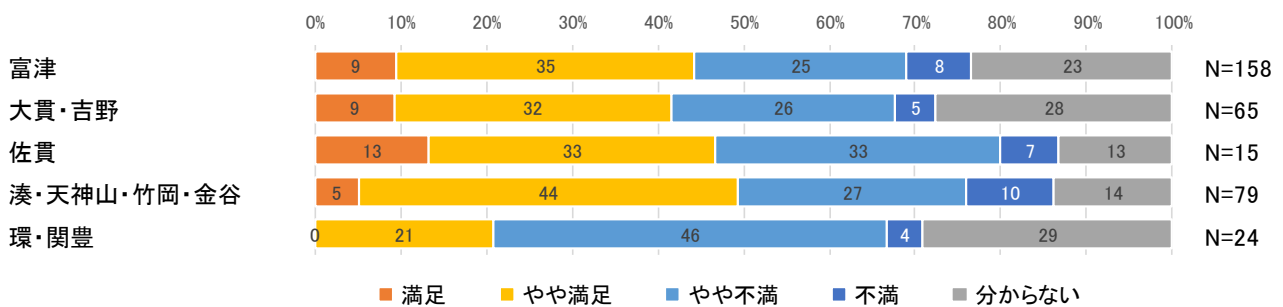


(2) 年齢階層別



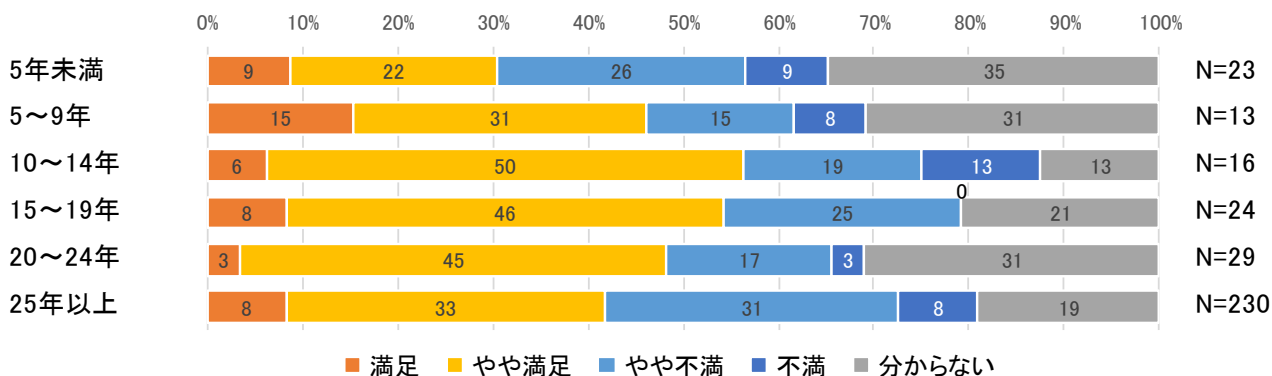
(3) 居住地区別

環・関豊地区で「やや不満」「不満」の回答比率が高くなっている。



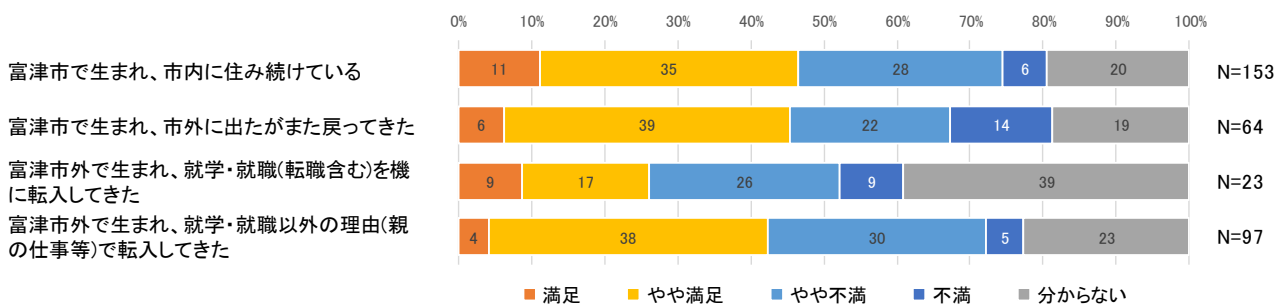
(4) 市内在住年数別

市内在住年数が5年未満の人は「満足」「やや満足」の回答比率が低くなっている。



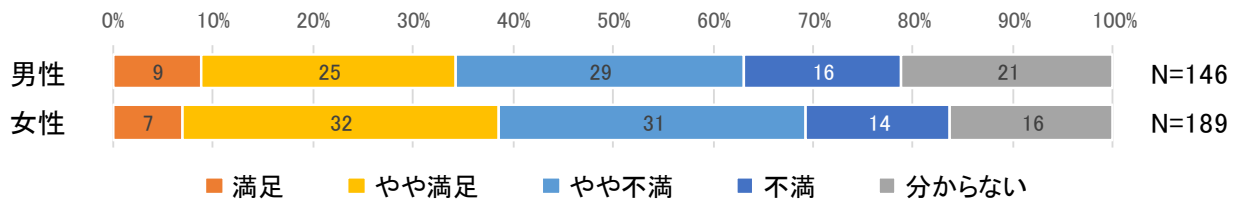
(5) 転入の有無別

「富津市外で生まれ、就学・就職を機に転入してきた」人は、比較的「満足」「やや満足」の回答比率が低くなっている。

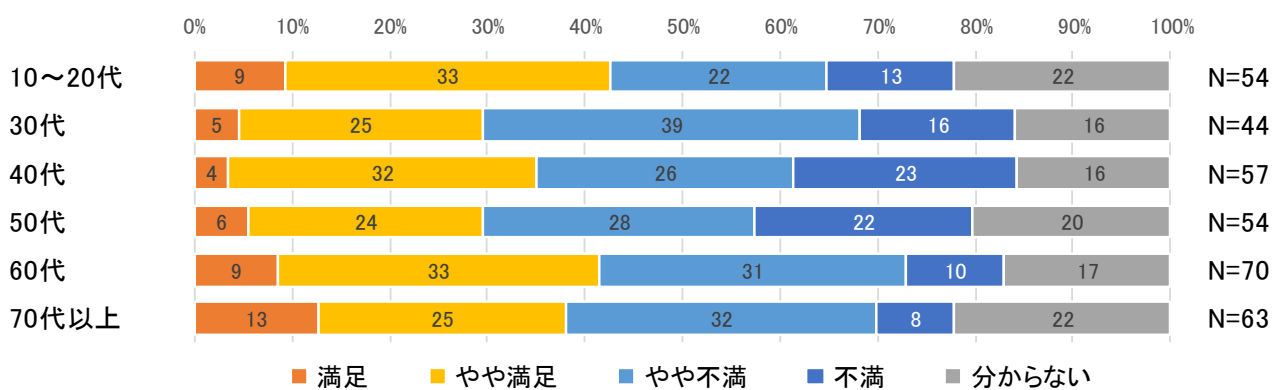


2.3.2.2 防犯や交通安全対策

(1) 性別

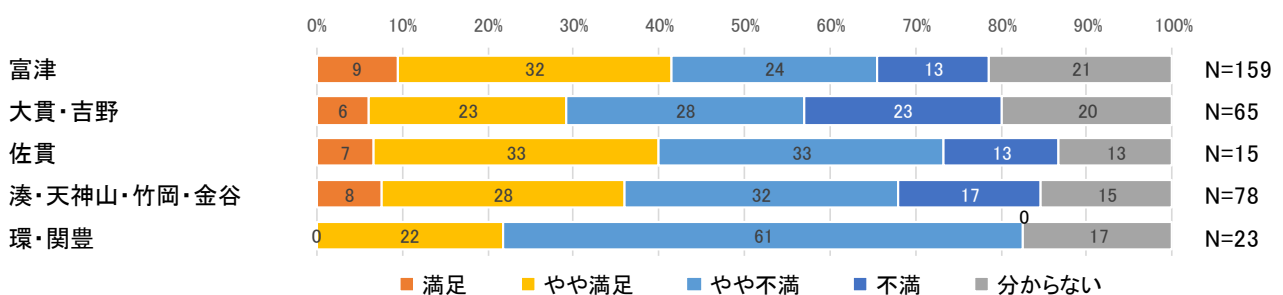


(2) 年齢階層別

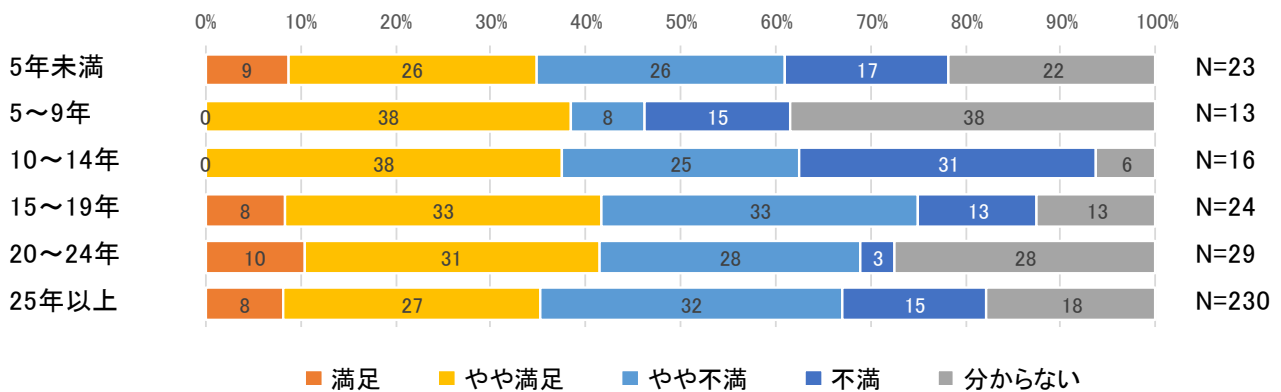


(3) 居住地区別

環・関豊地区で「やや不満」「不満」の回答比率が高くなっている。

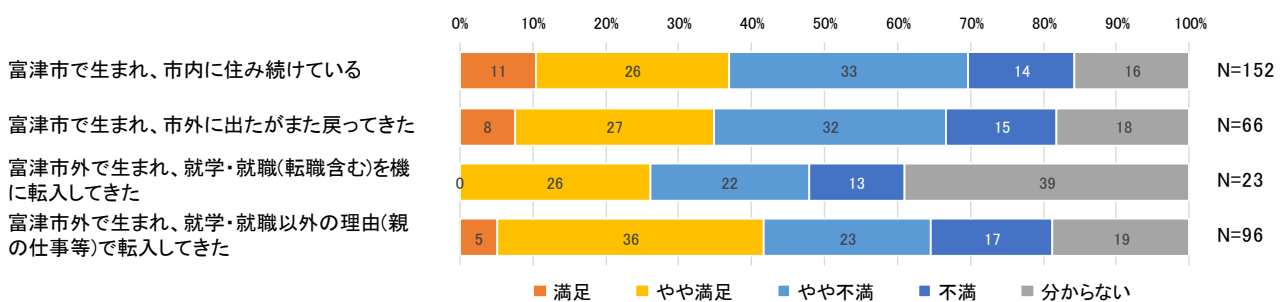


(4) 市内在住年数別



(5) 転入の有無別

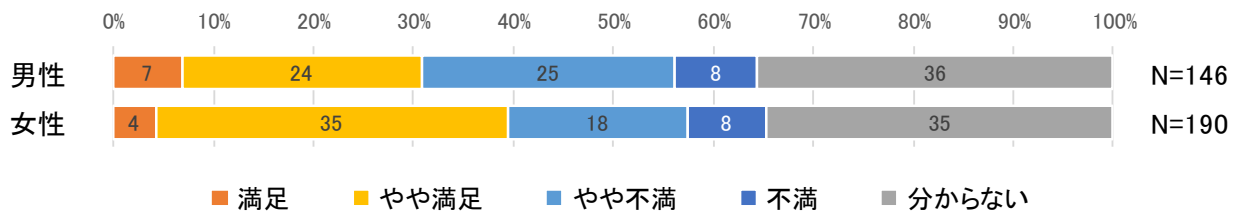
「富津市外で生まれ、就学・就職を機に転入してきた」人は、比較的「満足」「やや満足」の回答比率が低くなっている。



2.3.2.3 市民活動やコミュニティの支援

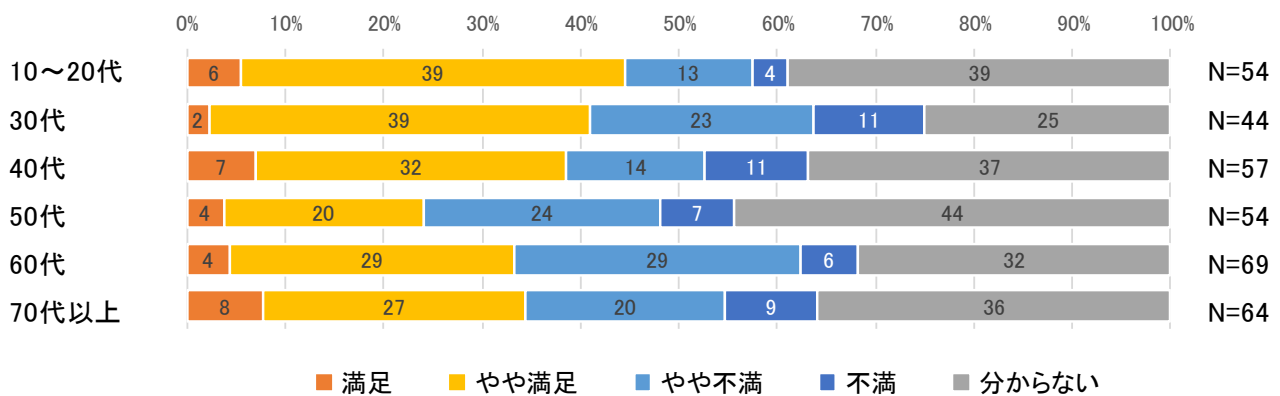
(1) 性別

女性の方が比較的「満足」「やや満足」の回答比率が高くなっている。



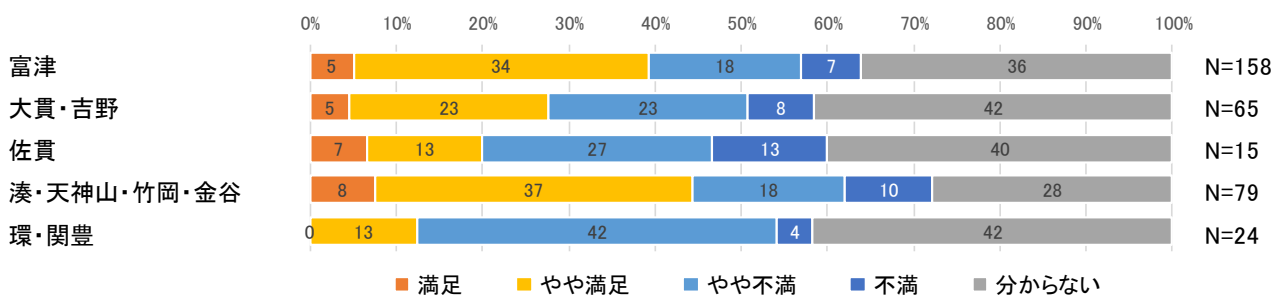
(2) 年齢階層別

若い世代の方が比較的「満足」「やや満足」の回答比率が高くなっている。一方で50代で「満足」「やや満足」の回答比率が低くなっている。

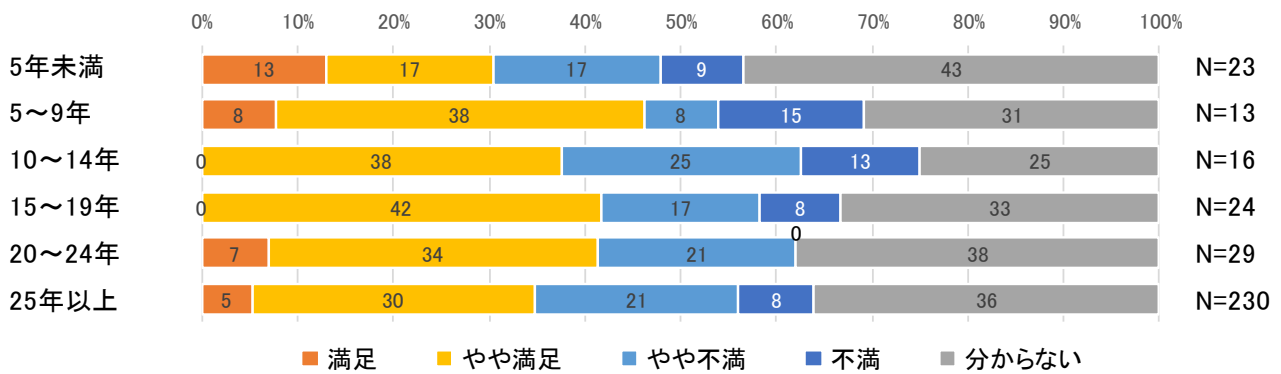


(3) 居住地区別

湊・天神山・竹岡・金谷エリアや富津エリアで満足度が高くなっている。

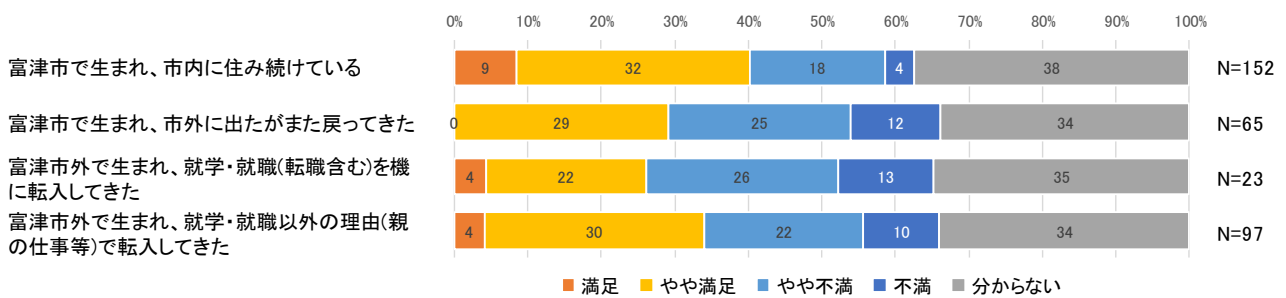


(4) 市内在住年数別



(5) 転入の有無別

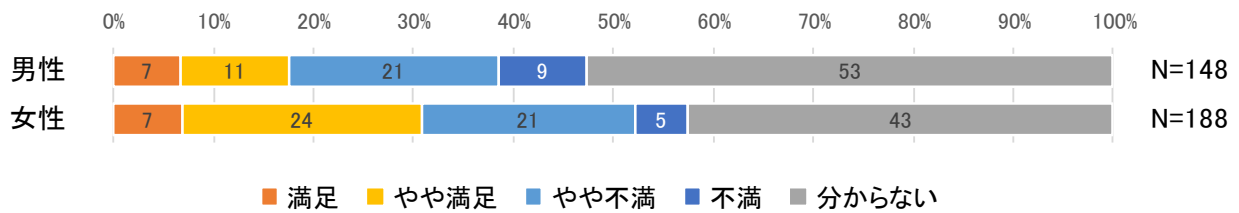
「富津市で生まれ、市内に住み続けている」人の満足度が比較的高くなっている。



2.3.2.4 子育て支援

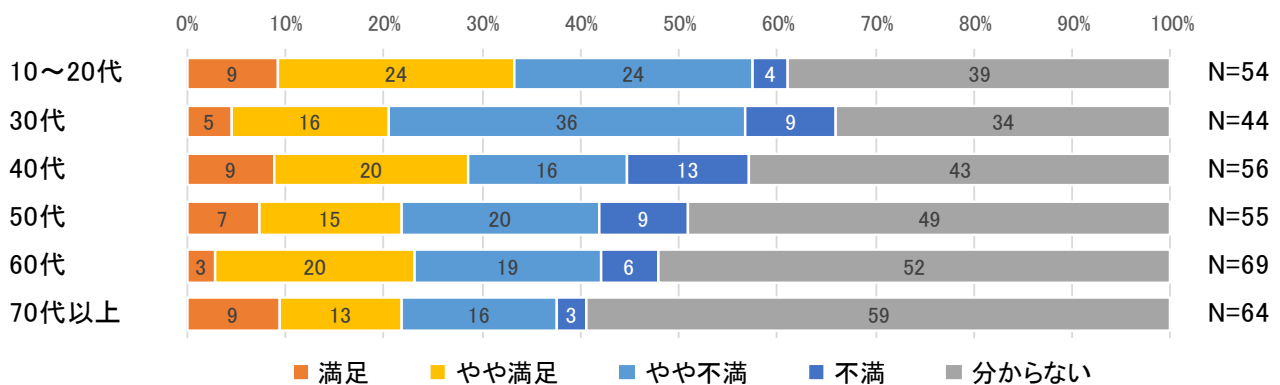
(1) 性別

女性の満足度が高くなっている。



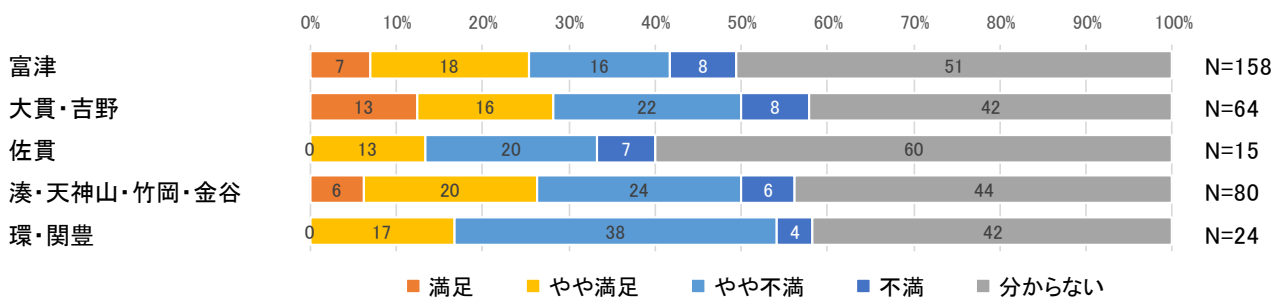
(2) 年齢階層別

子育て世代に属する40代以下で比較的満足度が高くなっている。一方で30代の満足度は10～20代、40台に比べて低くなっている。

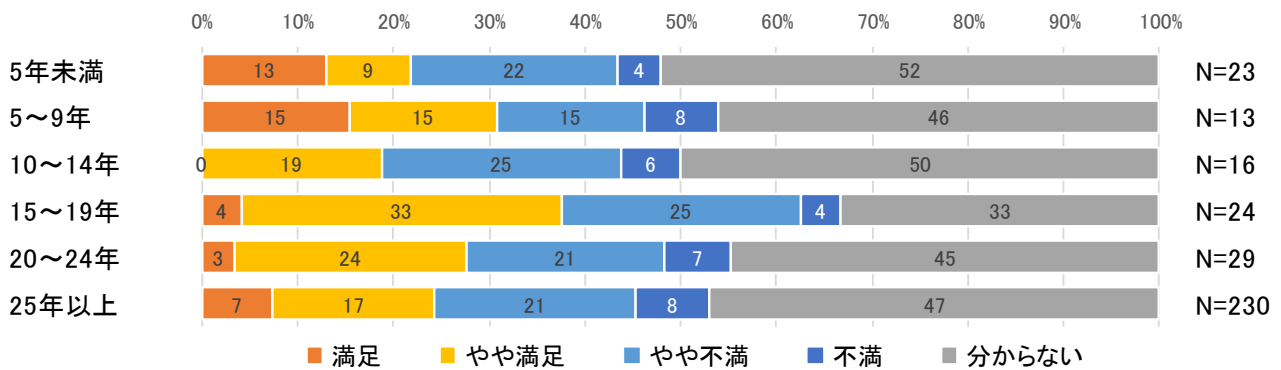


(3) 居住地区別

佐貫エリアや環・関豊エリアで満足度が低くなっている。

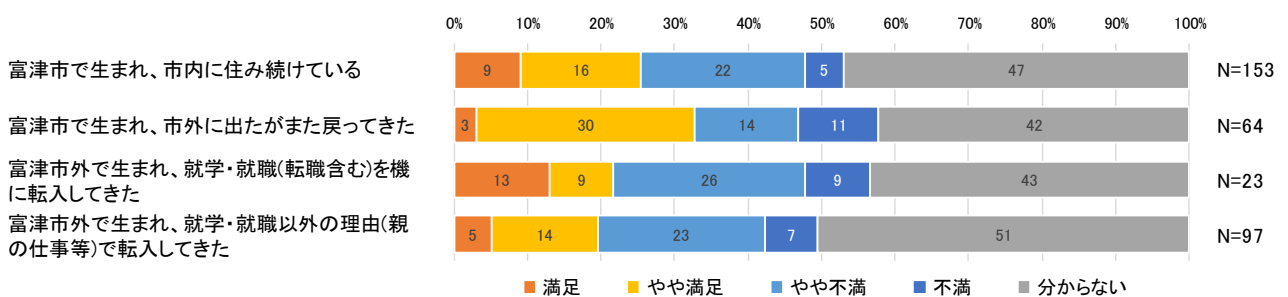


(4) 市内在住年数別



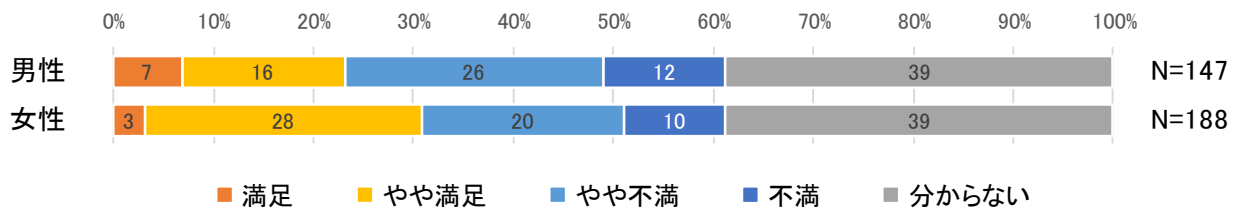
(5) 転入の有無別

富津市で生まれた人の方が比較的満足度が高くなっている。



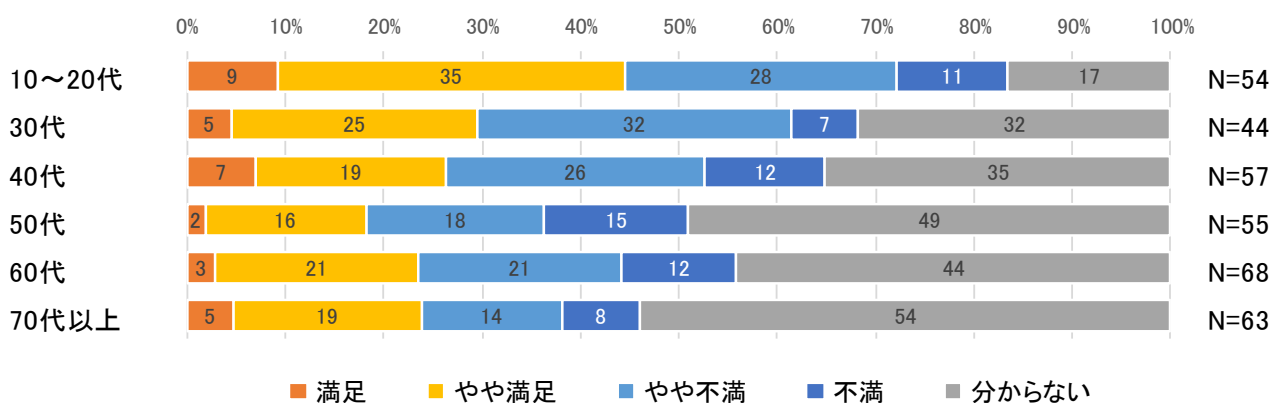
2.3.2.5 学習環境

(1) 性別



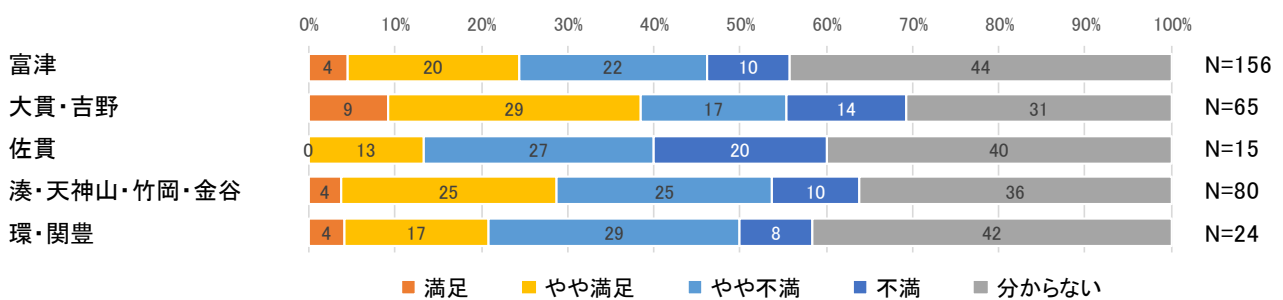
(2) 年齢階層別

10～20代の若い世代で満足度が高くなっている。

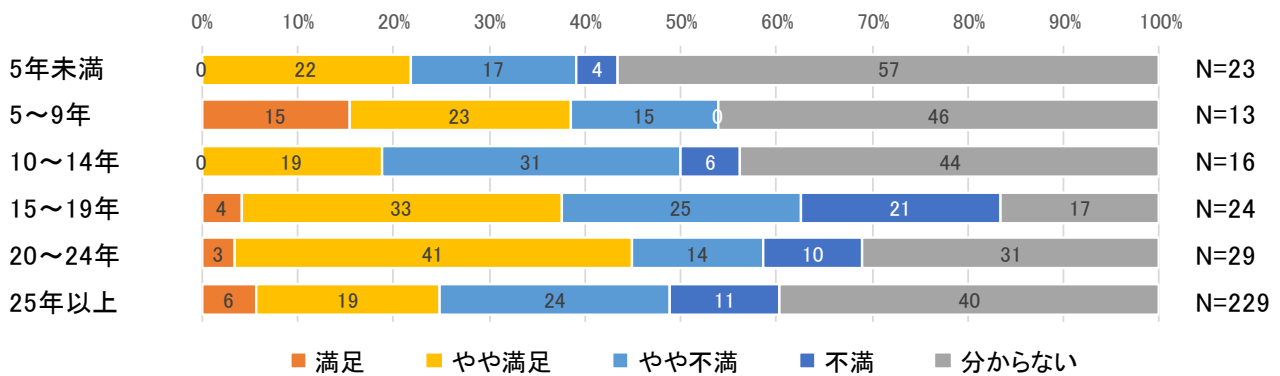


(3) 居住地区別

大貫・吉野エリアで特に満足度が高くなっている。

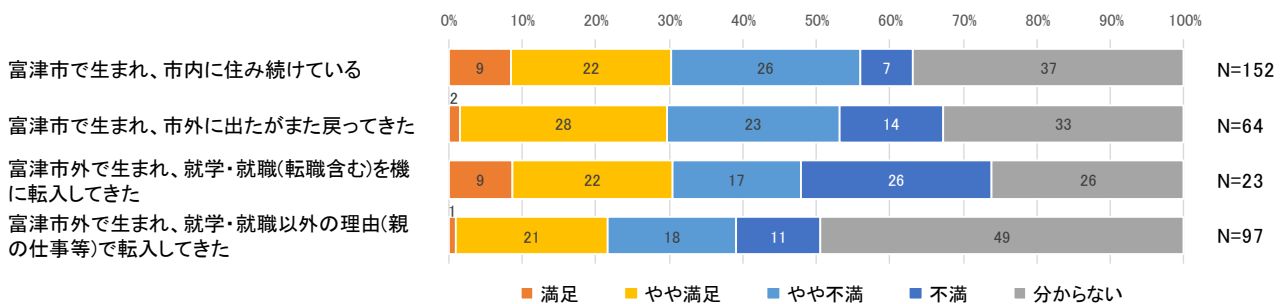


(4) 市内在住年数別



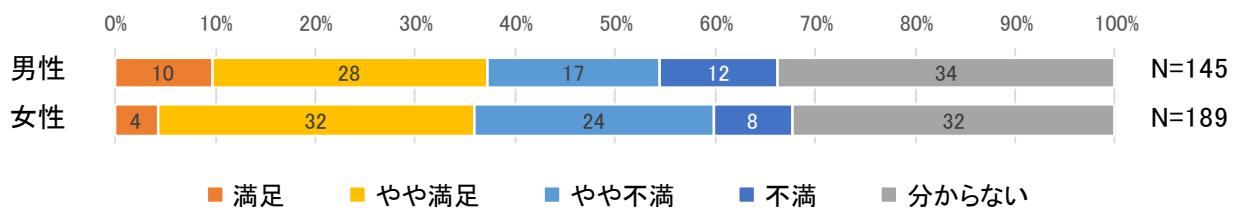
(5) 転入の有無別

「富津市外で生まれ、就学・就職以外の理由で転入してきた」人の満足度が低くなっている。



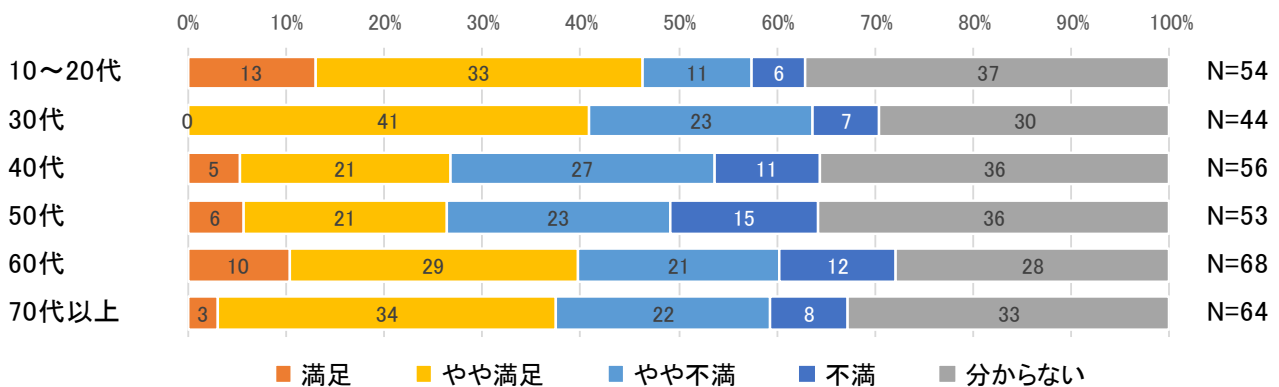
2.3.2.6 福祉サービス

(1) 性別

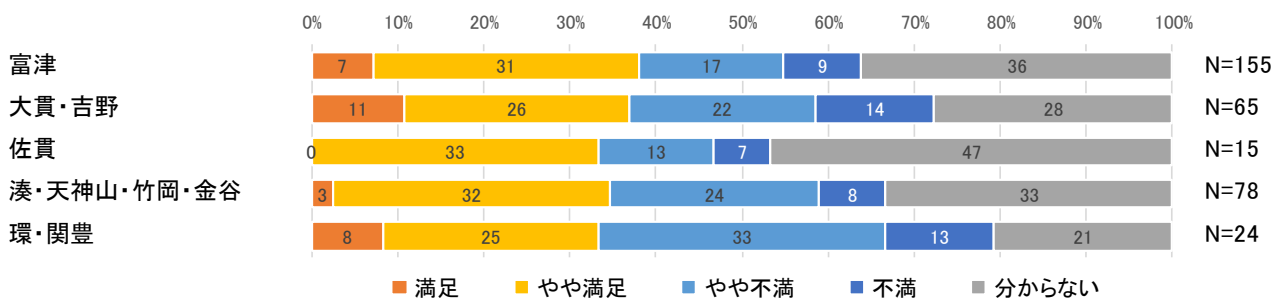


(2) 年齢階層別

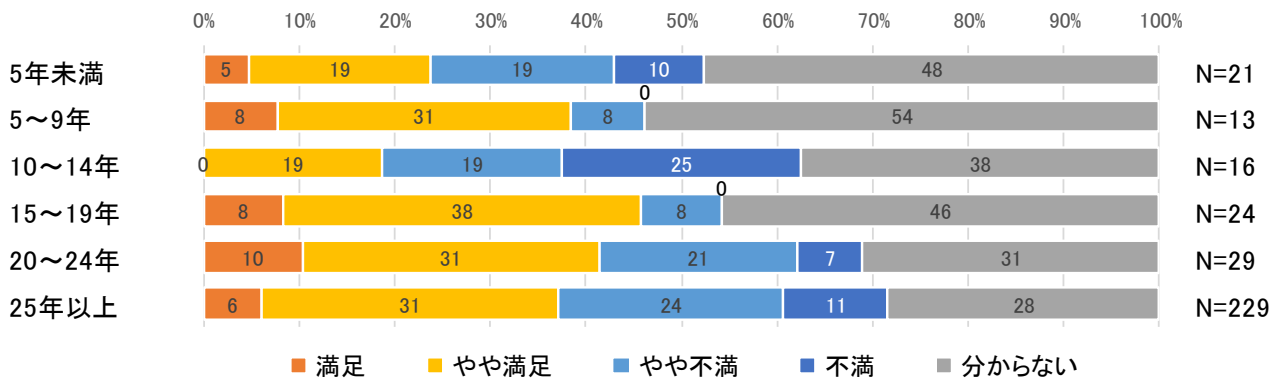
60代以上のほか、30代以下でも「満足」「やや満足」の回答比率が高くなっている。



(3) 居住地区別

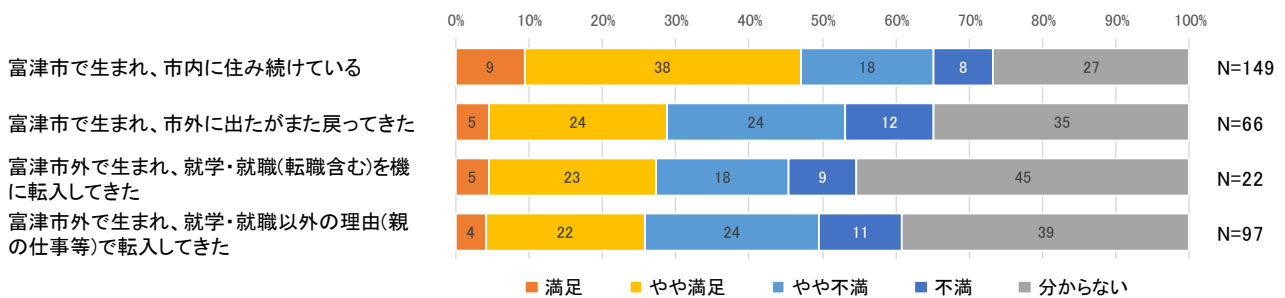


(4) 市内在住年数別



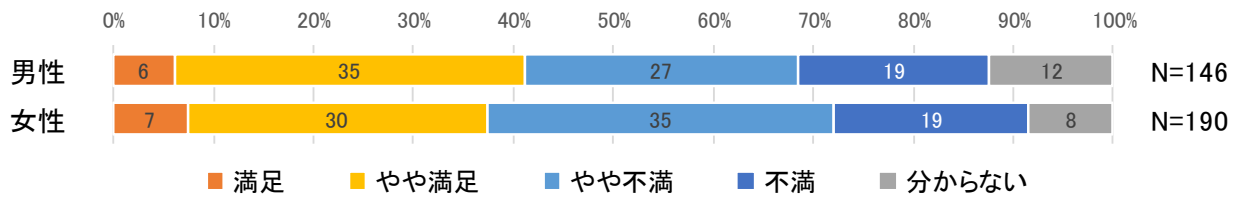
(5) 転入の有無別

「富津市で生まれ、市内に住み続けている」人の満足度が高くなっている。



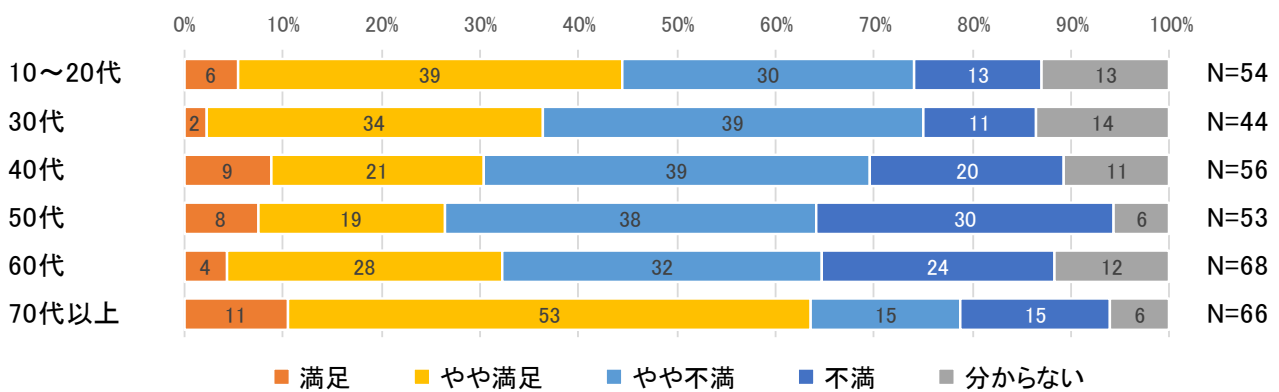
2.3.2.7 医療

(1) 性別



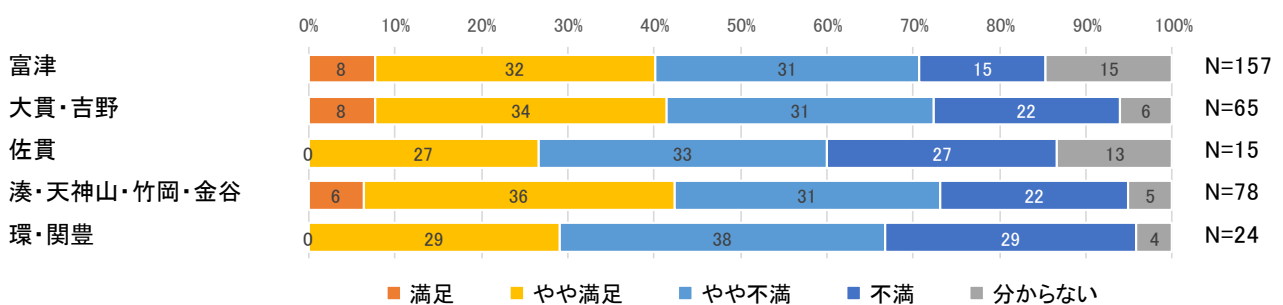
(2) 年齢階層別

70代以上の満足度が高くなっている。一方で40代～60代の満足度が低くなっている。

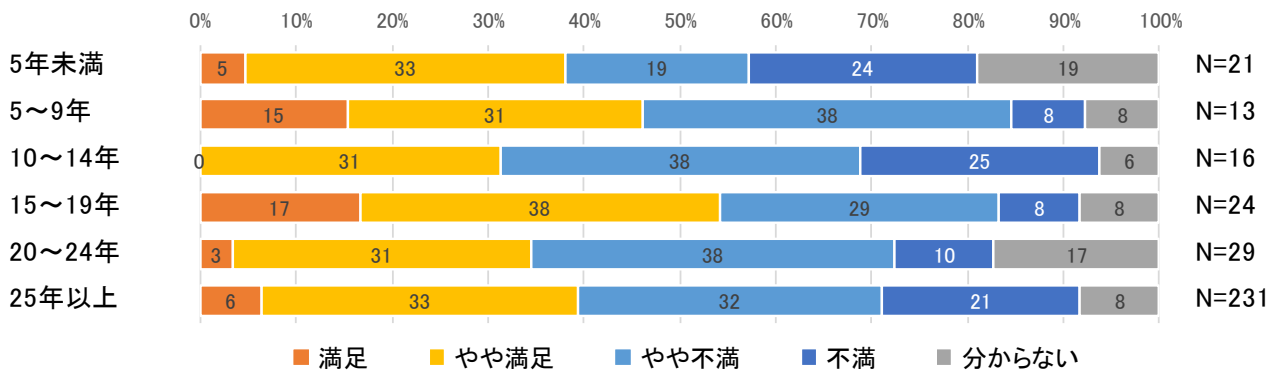


(3) 居住地区別

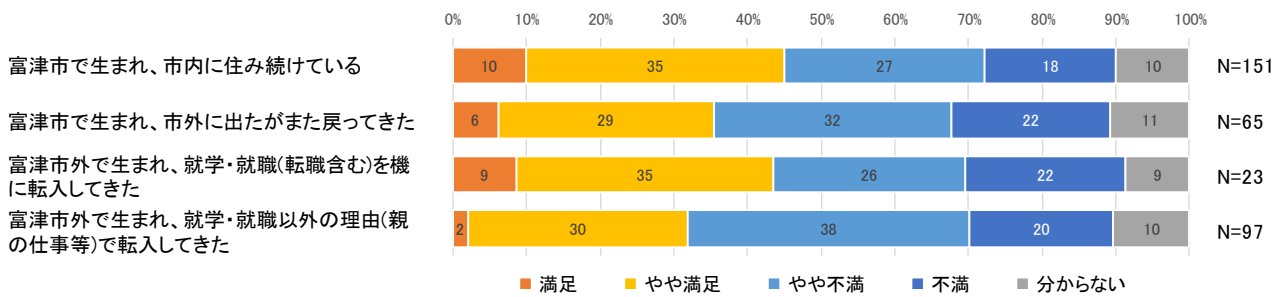
佐貫エリアや環・関豊エリアで満足度が低くなっている。



(4) 市内在住年数別



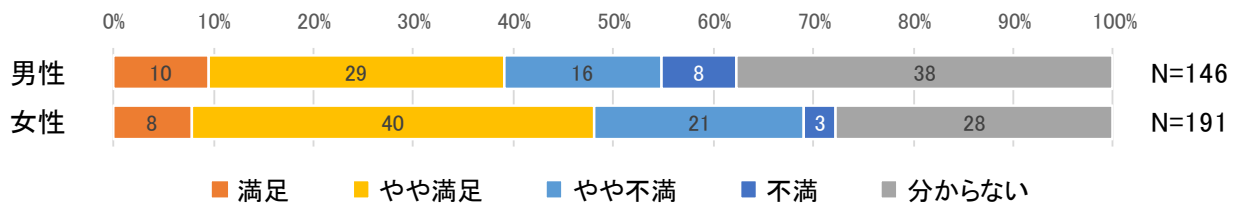
(5) 転入の有無別



2.3.2.8 健康増進の取組み

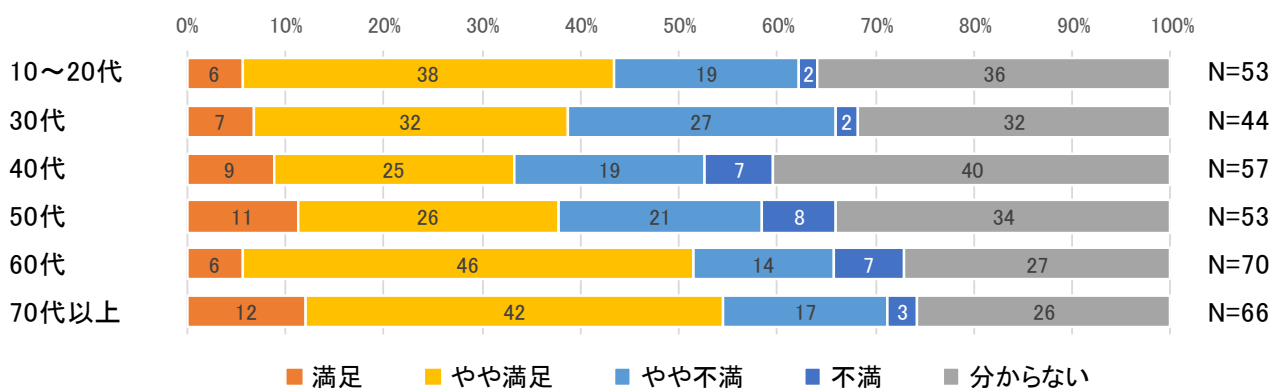
(1) 性別

女性の方が比較的満足度が高く、「満足」「やや満足」を合わせて 50%近くを占める。



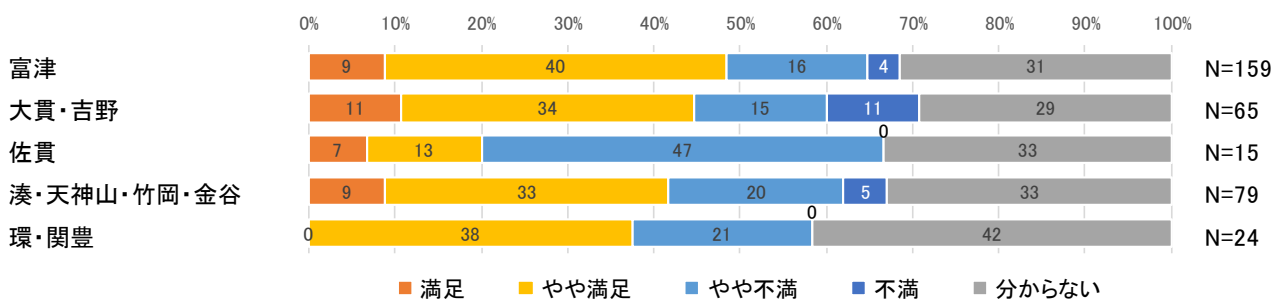
(2) 年齢階層別

60 代以上の高齢の方のほうが比較的満足度が高くなっている。



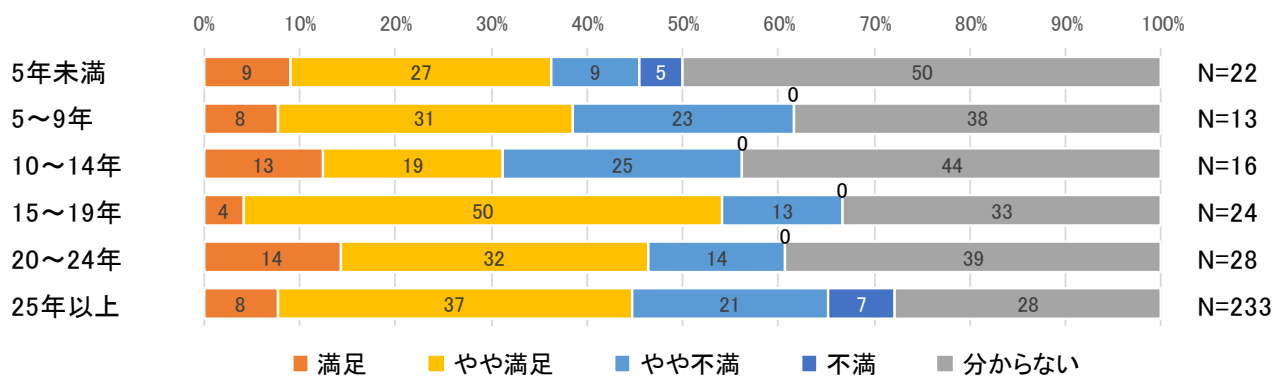
(3) 居住地区別

佐貫エリアの満足度が低くなっている。

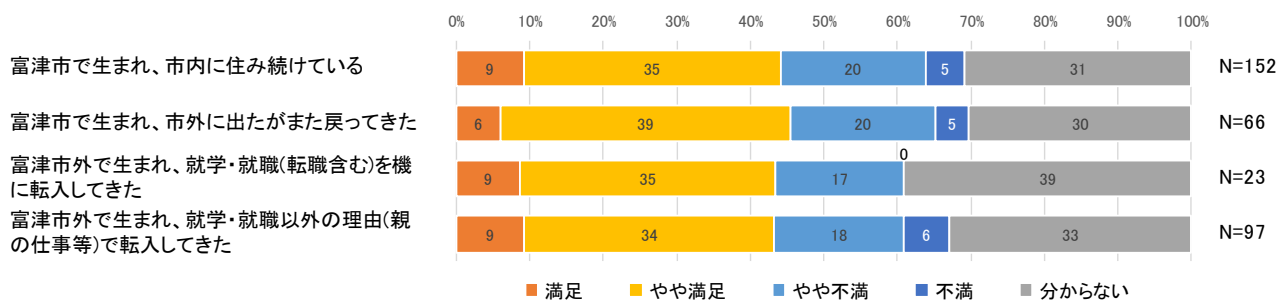


(4) 市内在住年数別

市内在住年数が長いほど比較的満足度が高くなっている。



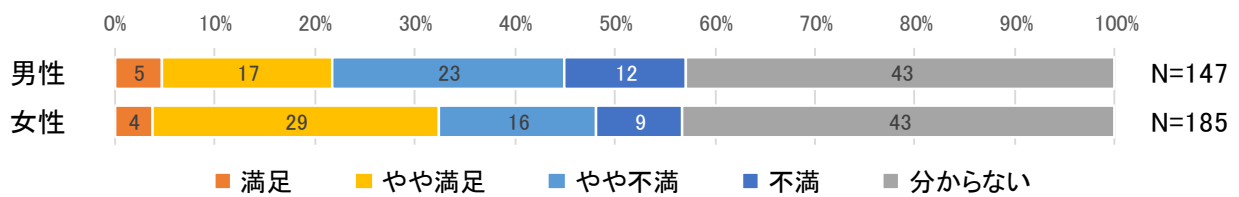
(5) 転入の有無別



2.3.2.9 市民の交流拠点

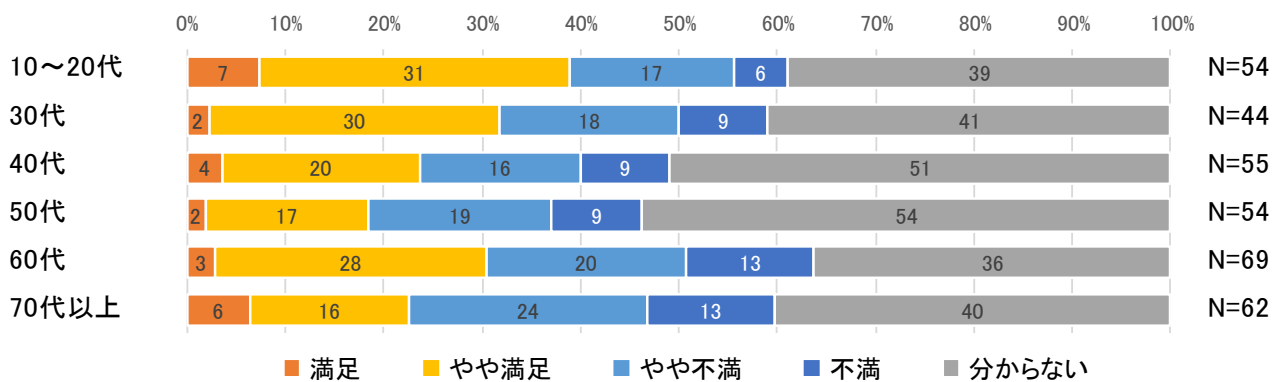
(1) 性別

女性の満足度が高くなっている。



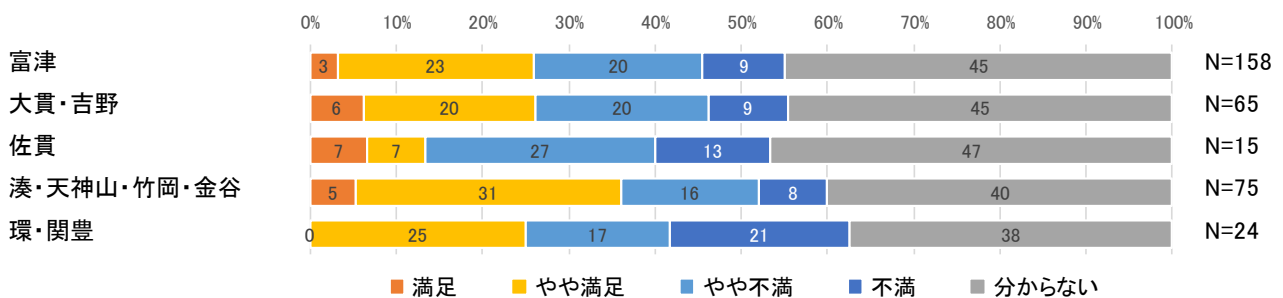
(2) 年齢階層別

10～20代で満足度が高くなっている。



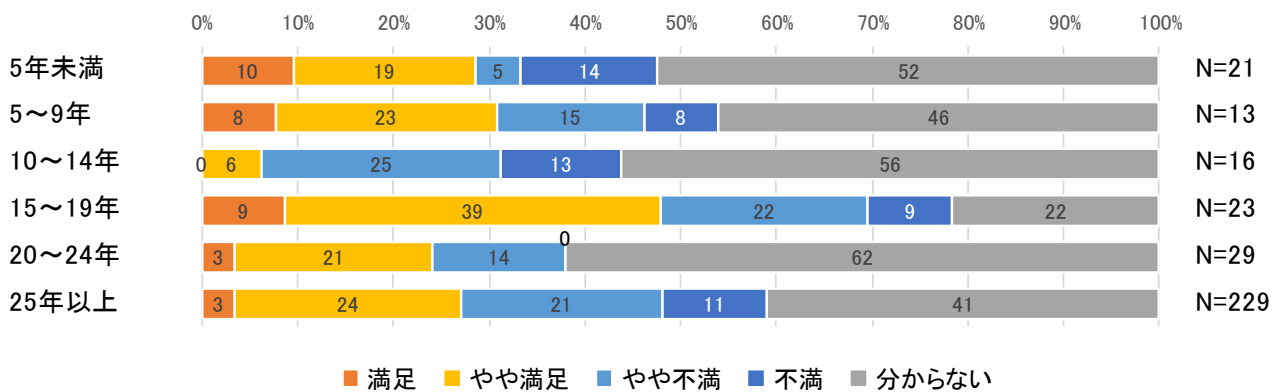
(3) 居住地区別

佐貴エリアでの満足度が低くなっている。



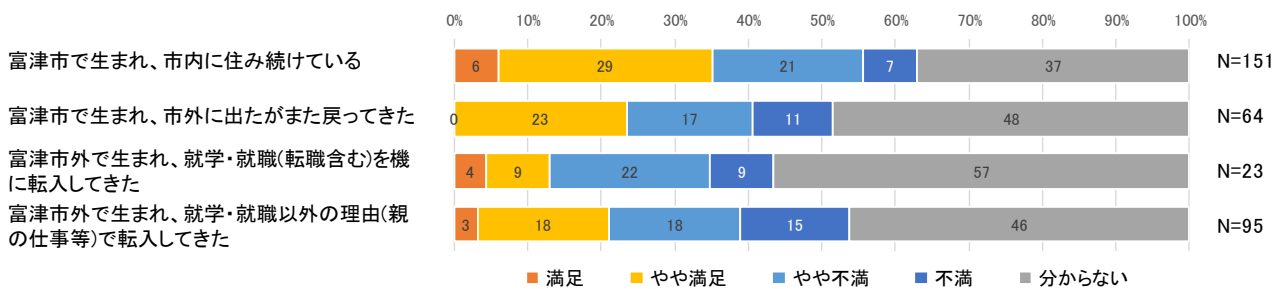
(4) 市内在住年数別

市内在住年数が10～14年の人の満足度が低くなっている。



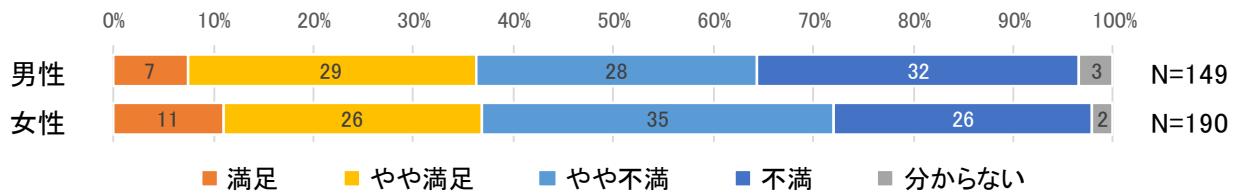
(5) 転入の有無別

「富津市で生まれ、市内に住み続けている」人の満足度が高くなっている。



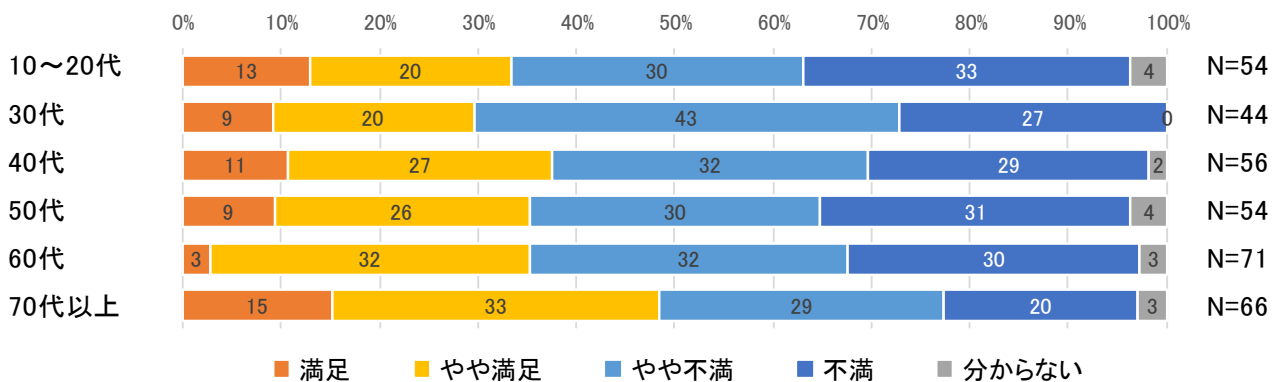
2.3.2.10 買物をする場所

(1) 性別



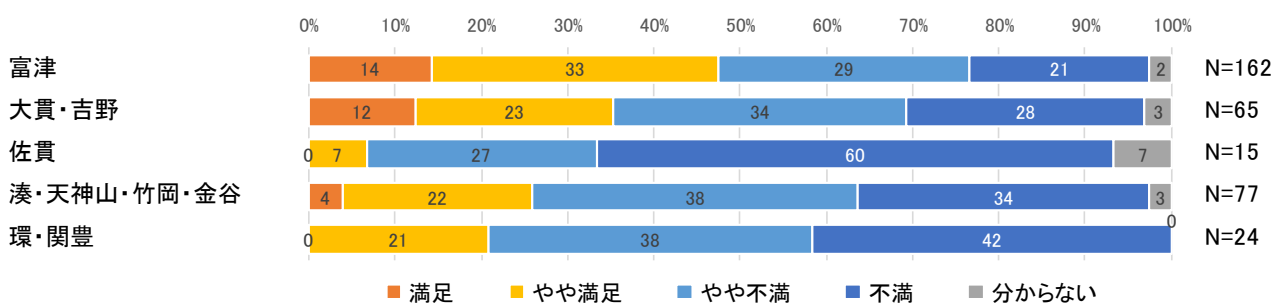
(2) 年齢階層別

70代以上の満足度が比較的高くなっている。



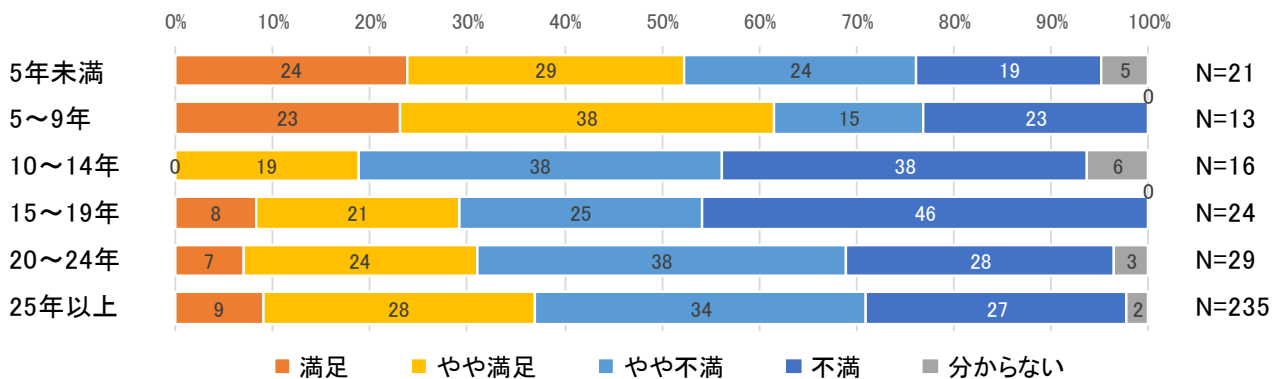
(3) 居住地区別

富津エリアや大貫・吉野エリアで満足度が高くなっている。一方で、佐貫エリアの満足度が低くなっている。

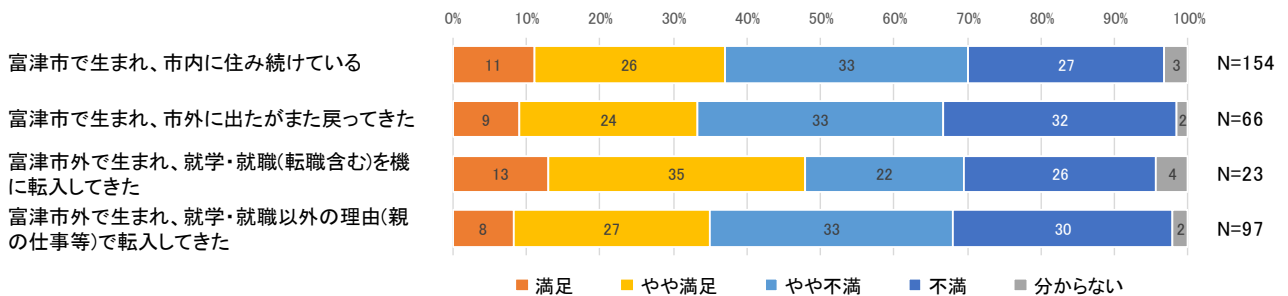


(4) 市内在住年数別

10年未満の比較的在住年数が短い人の満足度が高くなっている。

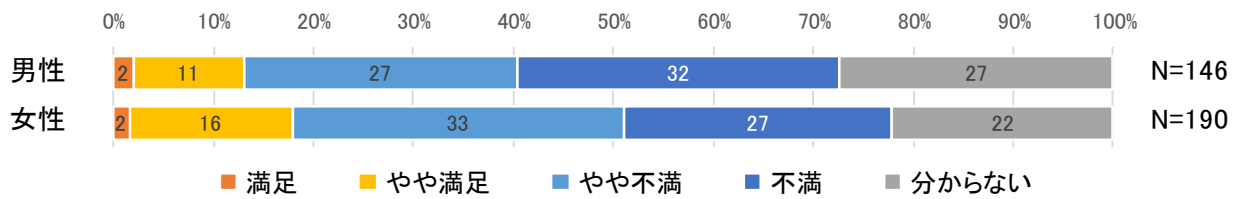


(5) 転入の有無別

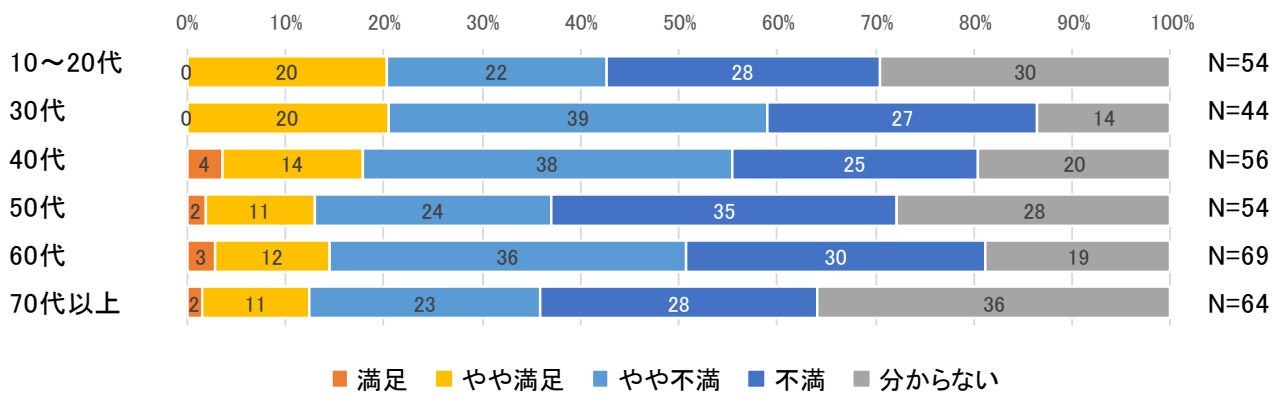


2.3.2.11 働く場所の創出

(1) 性別

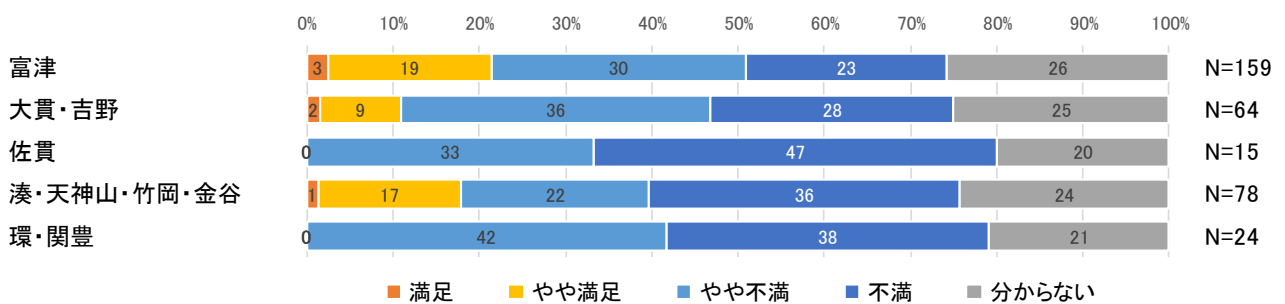


(2) 年齢階層別



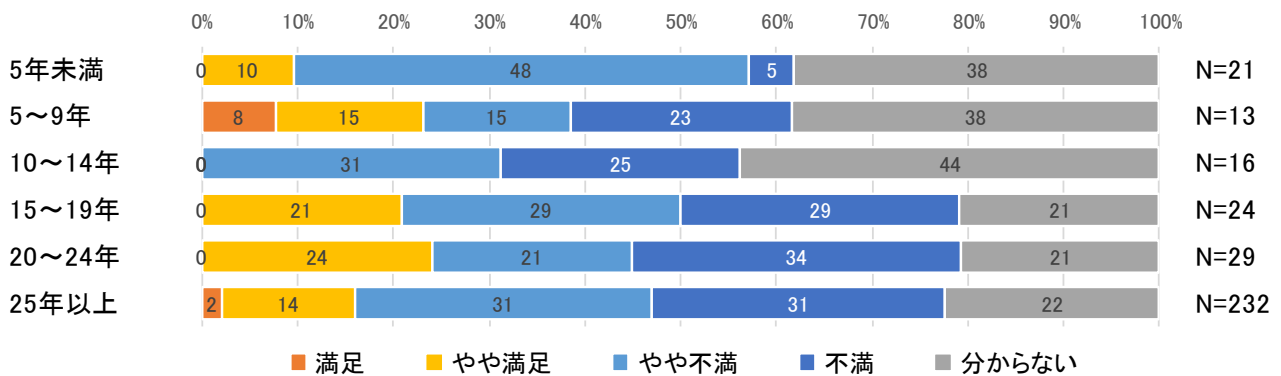
(3) 居住地区別

佐貫エリアや環・関豊エリアでは「満足」「やや満足」と回答した人がいない。



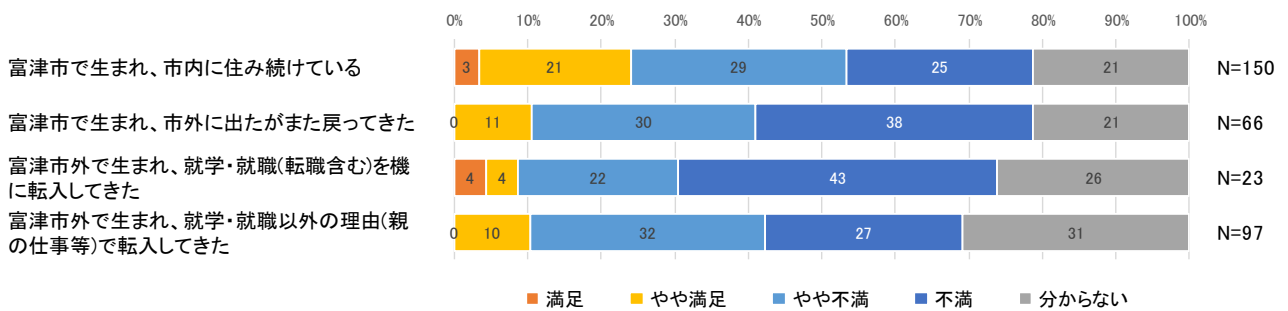
(4) 市内在住年数別

市内在住年数が10～14年の人で、「満足」「やや満足」と回答した人がいない。



(5) 転入の有無別

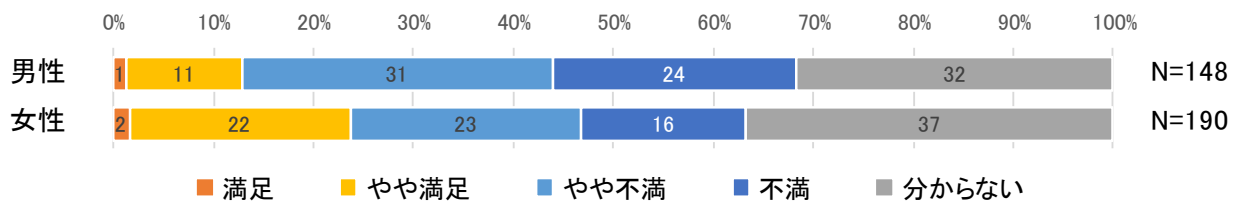
「富津市で生まれ、市内に住み続けている」人の満足度が高くなっている。



2.3.2.12 地場産業の育成

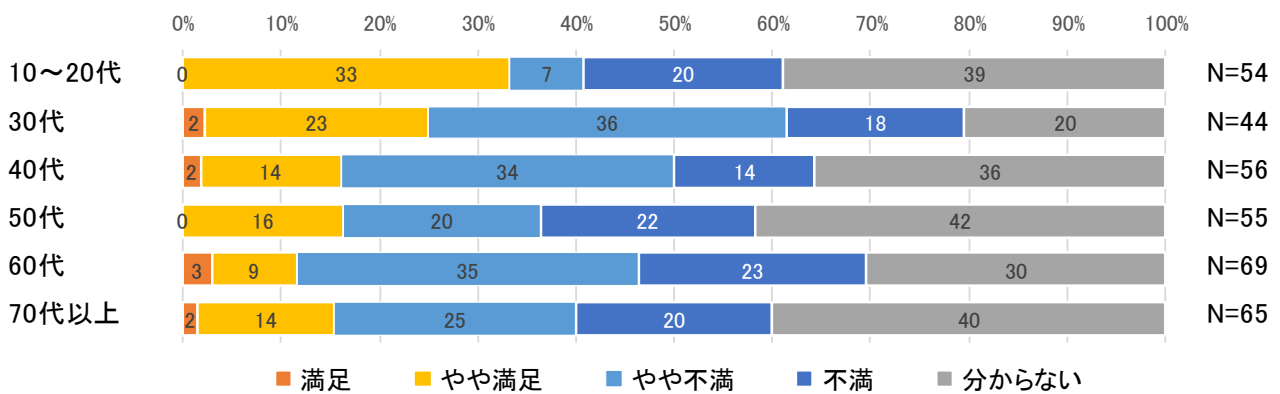
(1) 性別

女性の満足度が高くなっている。



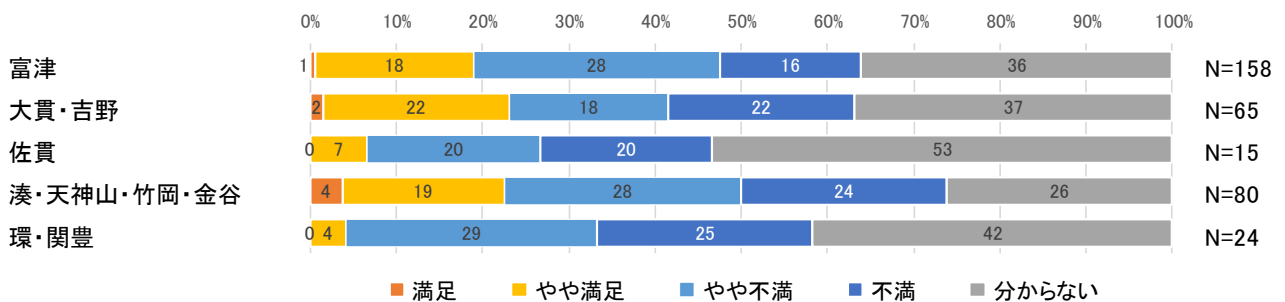
(2) 年齢階層別

10～20代で満足度が高くなっている。

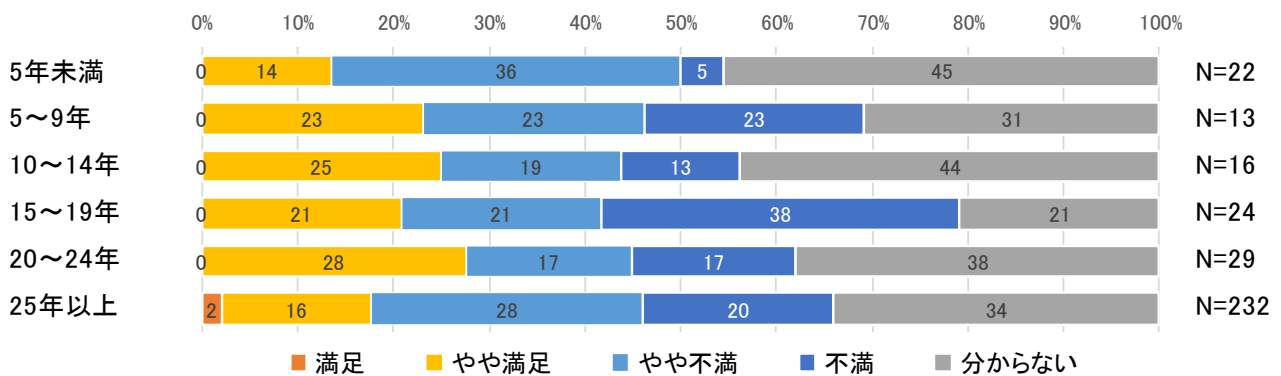


(3) 居住地区別

佐貫エリアや環・関豊エリアで満足度が低くなっている。

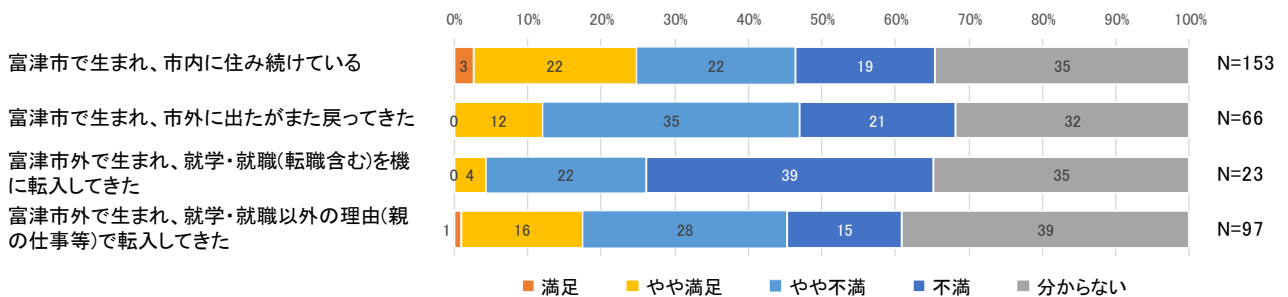


(4) 市内在住年数別



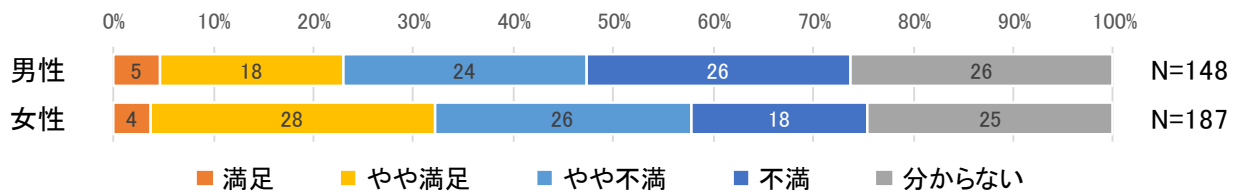
(5) 転入の有無別

「富津市で生まれ、市内に住み続けている」人の満足度が高くなっている。



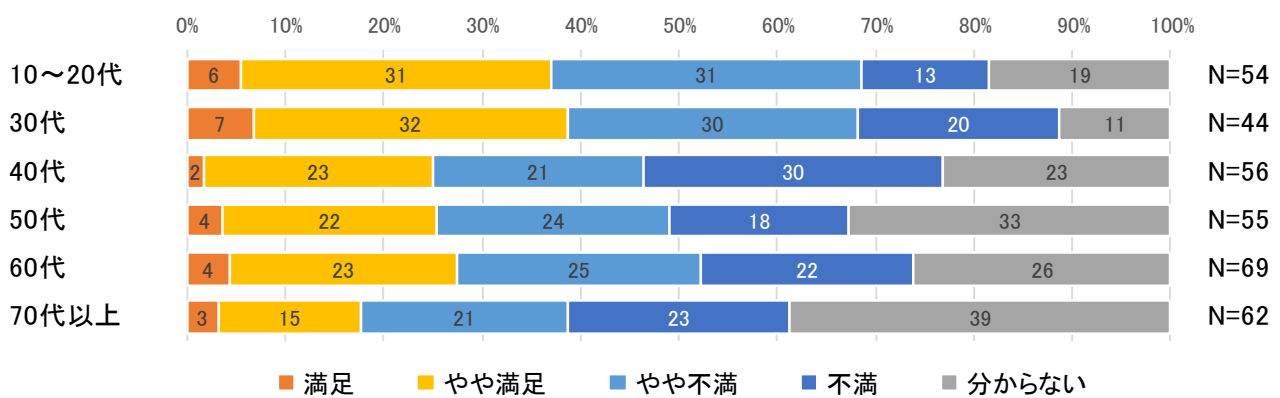
2.3.2.13 観光産業の振興

(1) 性別



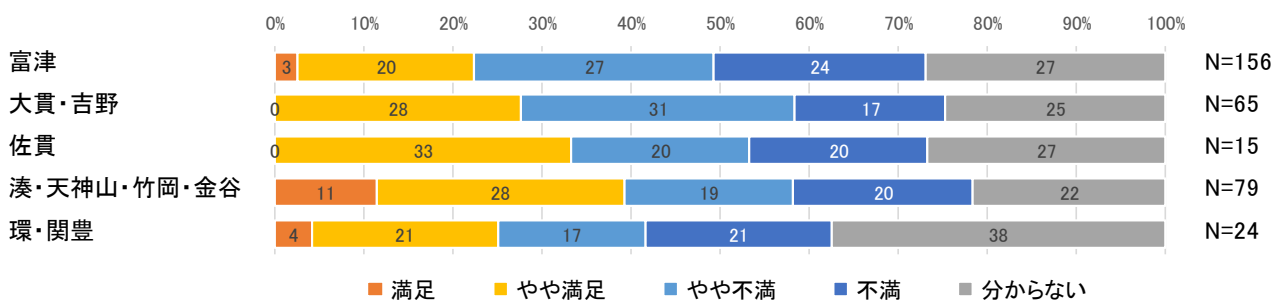
(2) 年齢階層別

30代以下の若い世代の満足度が高くなっている。



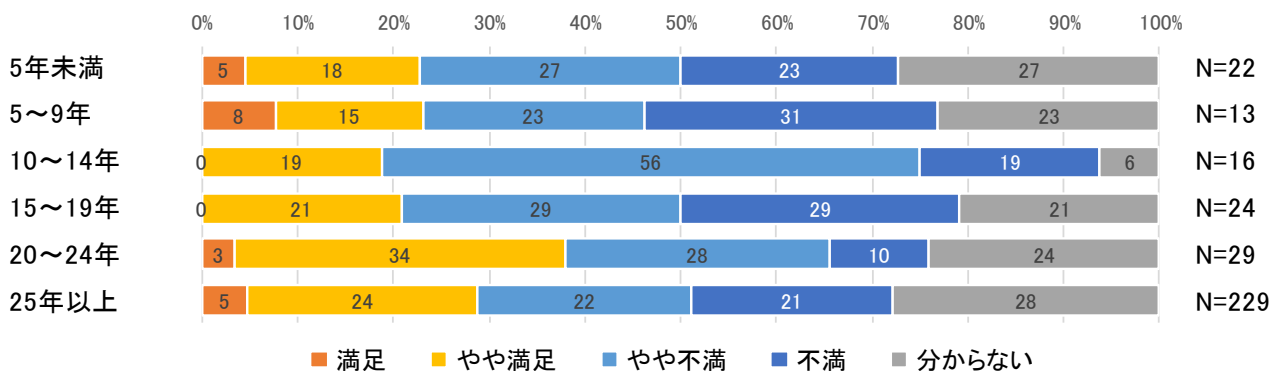
(3) 居住地区別

湊・天神山・竹岡・金谷エリアでの満足度が比較的高くなっている。



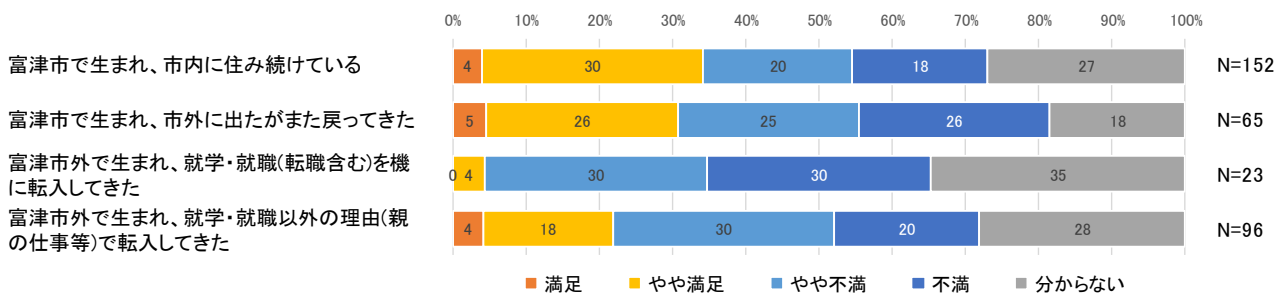
(4) 市内在住年数別

市内在住年数が20年以上の人の満足度が高くなっている。



(5) 転入の有無別

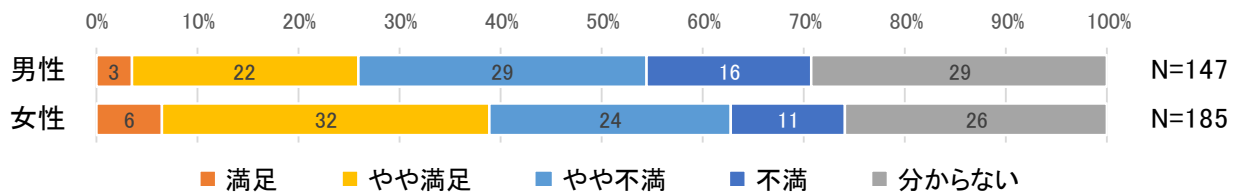
富津市で生まれた人は満足度が高くなっている。一方で、「富津市で生まれ、就学・就職を機に転入してきた」人の満足度が低くなっている。



2.3.2.14 地域情報の発信

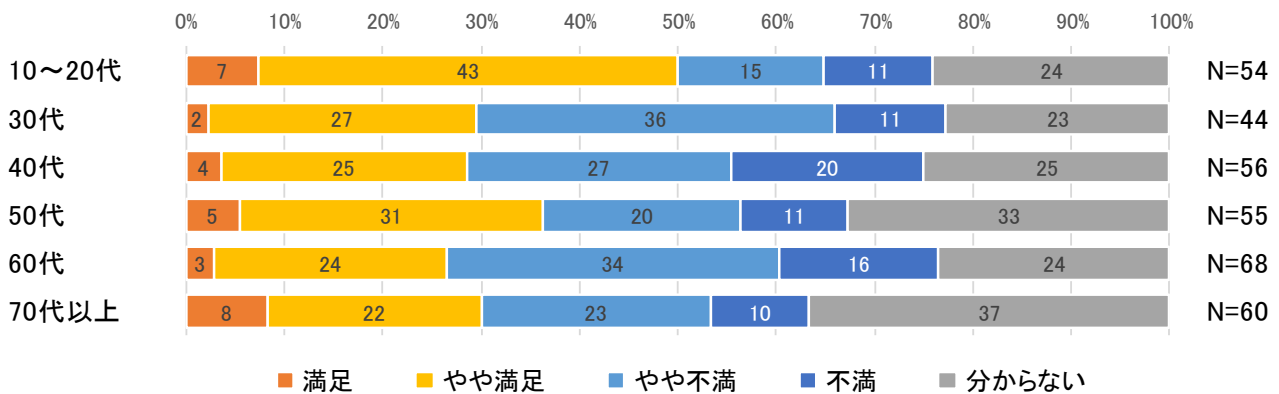
(1) 性別

女性の満足度が高くなっている。



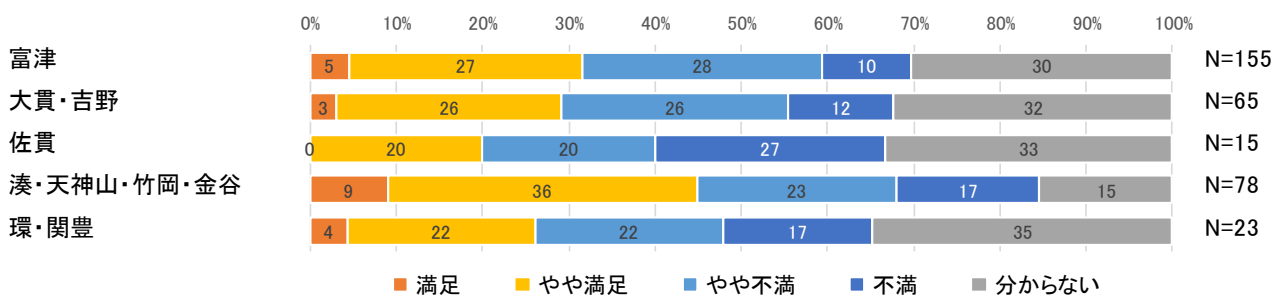
(2) 年齢階層別

10～20代では「満足」「やや満足」の回答比率が高いが、上の年代になると「やや不満」「不満」「わからない」の比率が高くなっている。



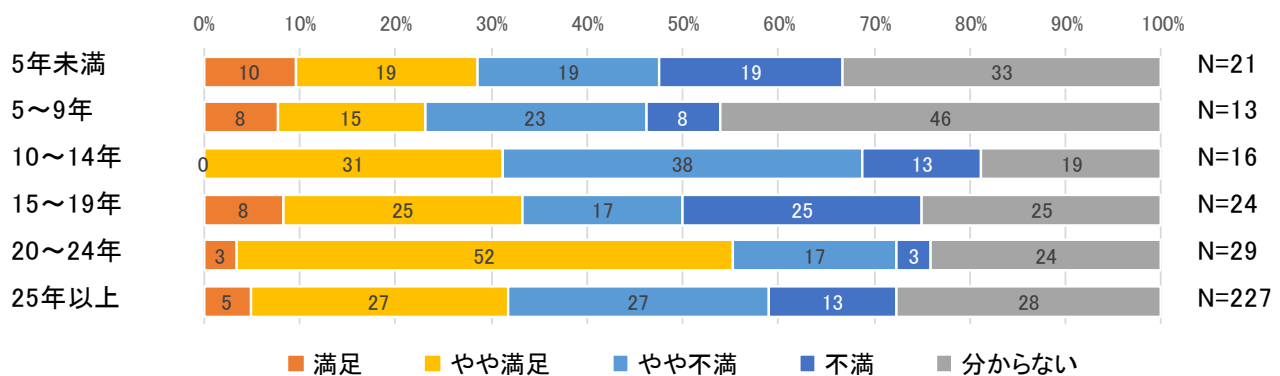
(3) 居住地区別

湊・天神山・竹岡・金谷エリアで満足度が高くなっている。

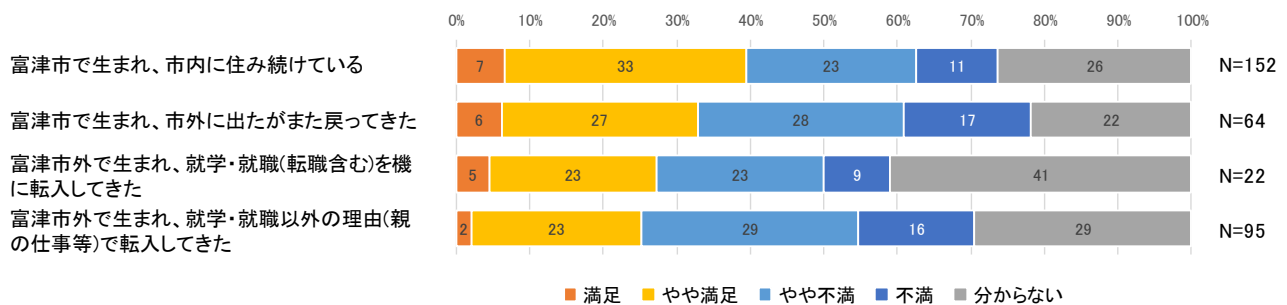


(4) 市内在住年数別

市内在住年数が 20～24 年の人の満足度が高くなっている。

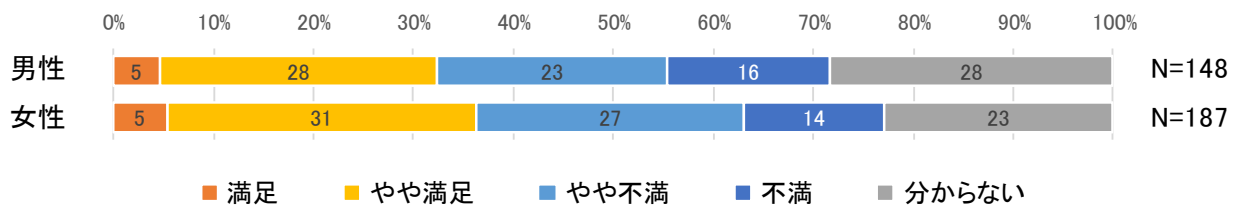


(5) 転入の有無別

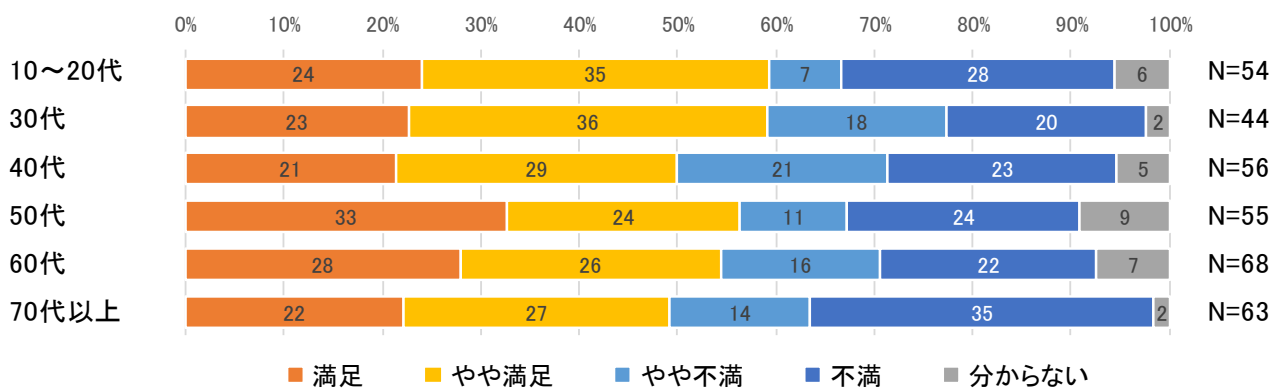


2.3.2.15 仕事と生活の調和

(1) 性別

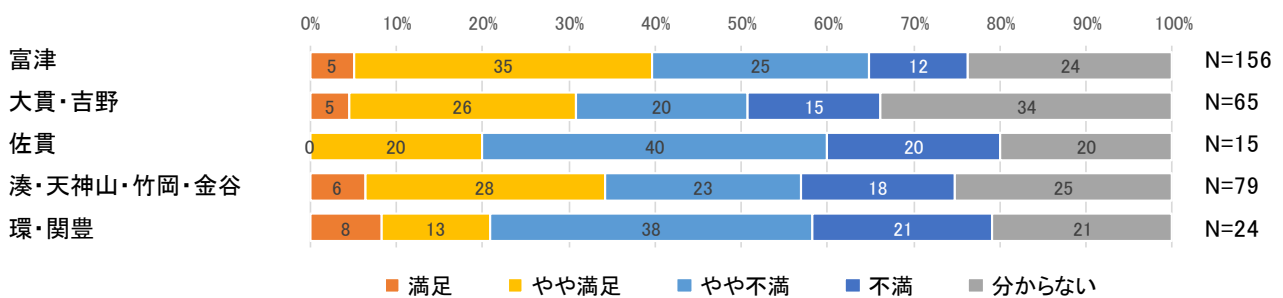


(2) 年齢階層別



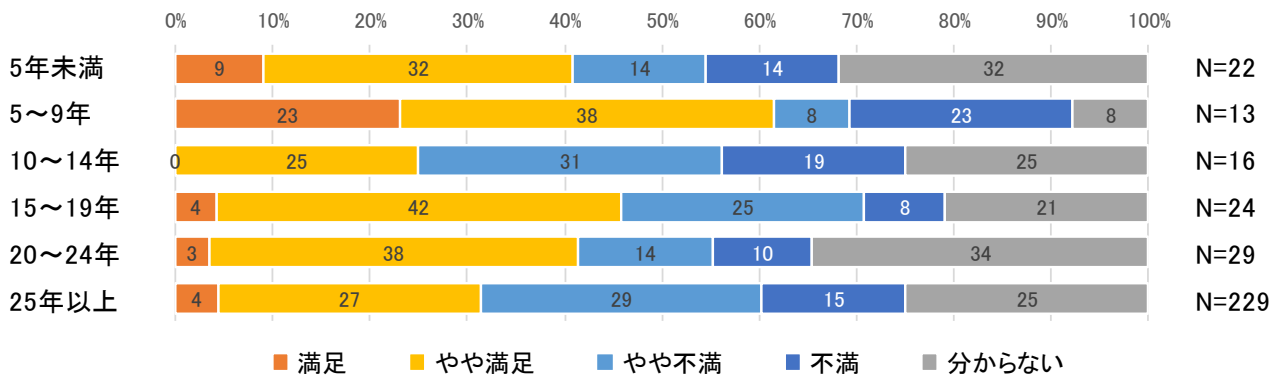
(3) 居住地区別

佐貫エリアや環・関豊エリアで満足度が低くなっている。

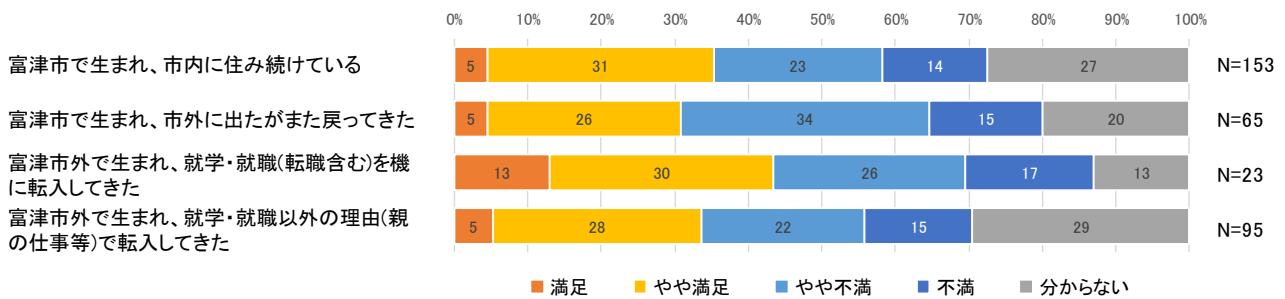


(4) 市内在住年数別

市内在住年数が5～9年の人の満足度が高くなっている。一方で、10～14年の人は満足と回答した人がいない。

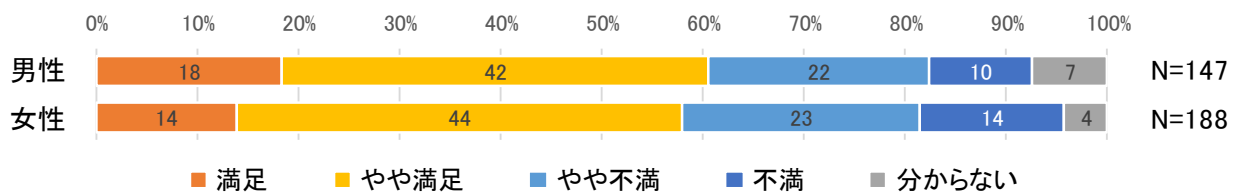


(5) 転入の有無別



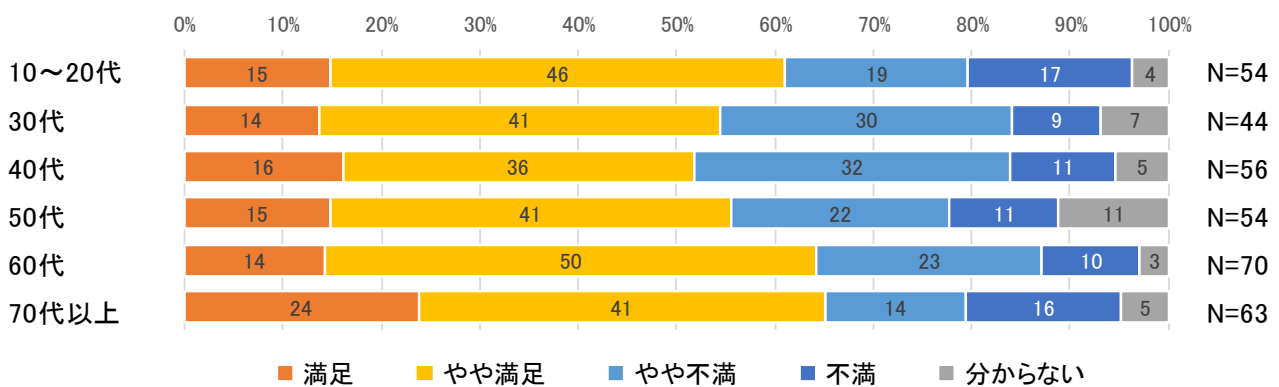
2.3.2.16 住む場所

(1) 性別



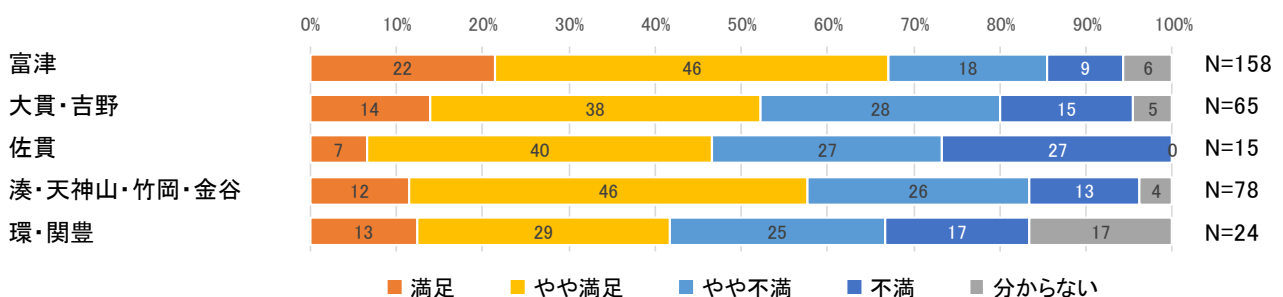
(2) 年齢階層別

30代～50代で比較的満足度が低くなっている。



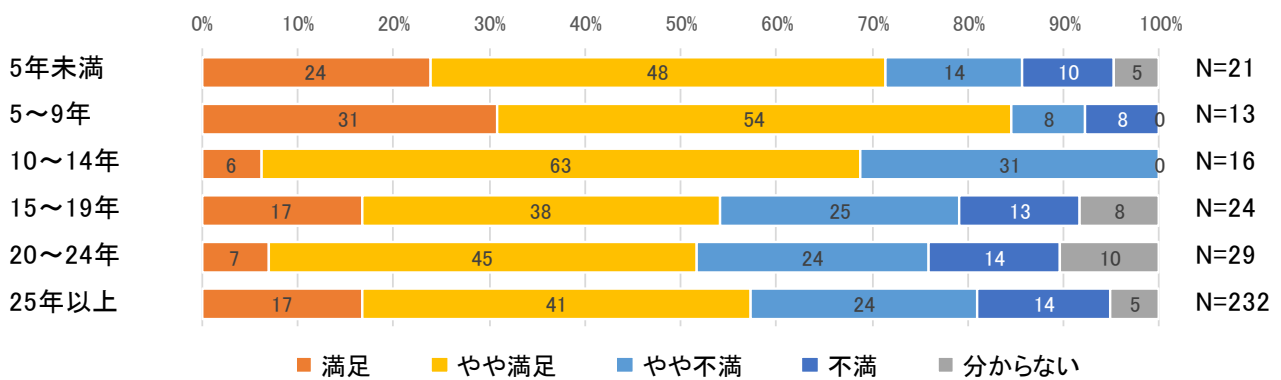
(3) 居住地区別

富津エリアで満足度が高い一方で、佐貫エリアや環・関豊エリアでは比較的満足度が低くなっている。

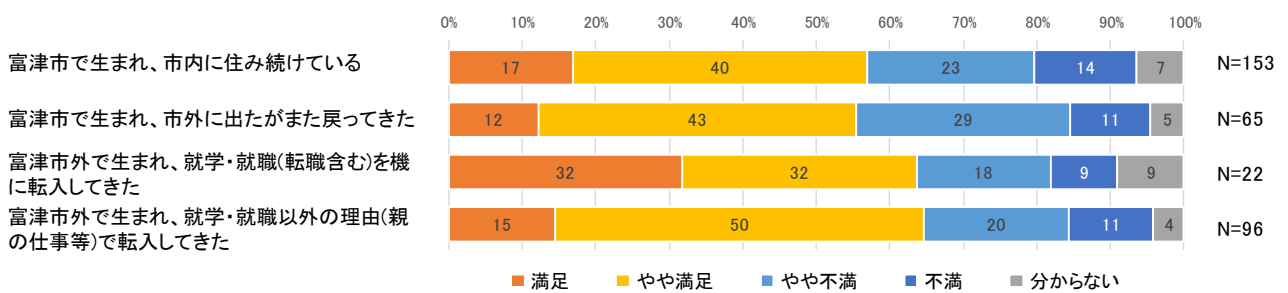


(4) 市内在住年数別

10年未満の比較的居住年数の短い人で満足度が高い傾向となっている。

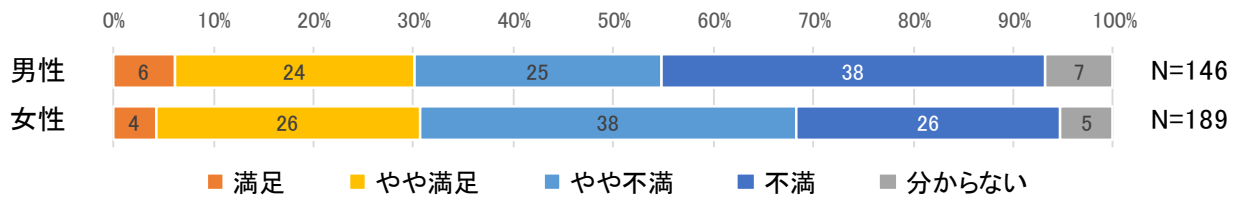


(5) 転入の有無別

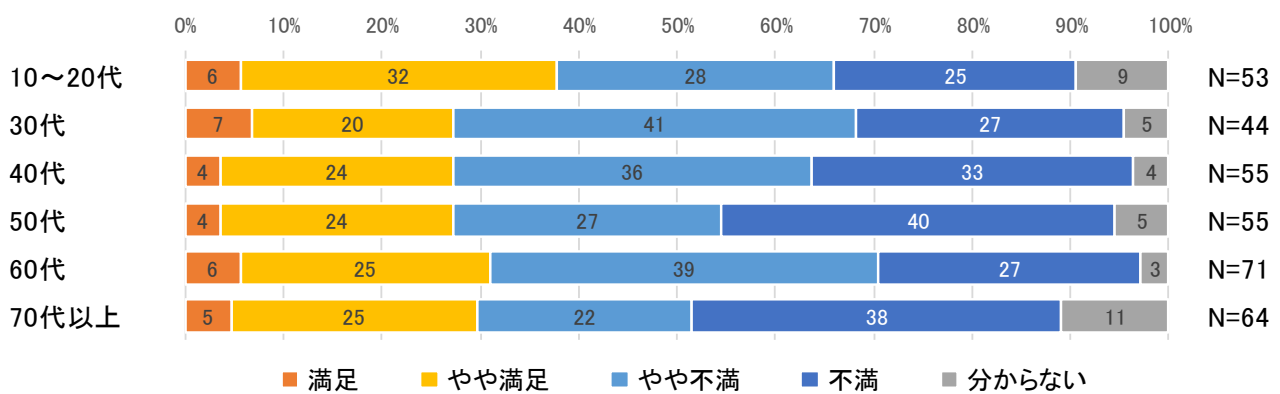


2.3.2.17 道路の整備

(1) 性別

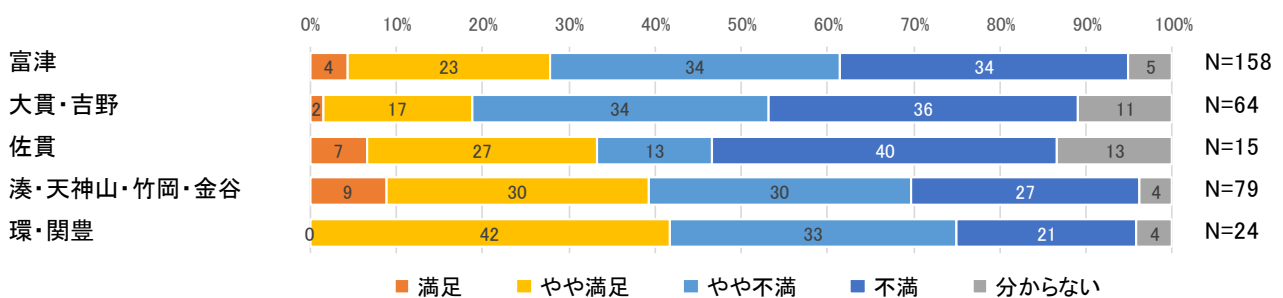


(2) 年齢階層別



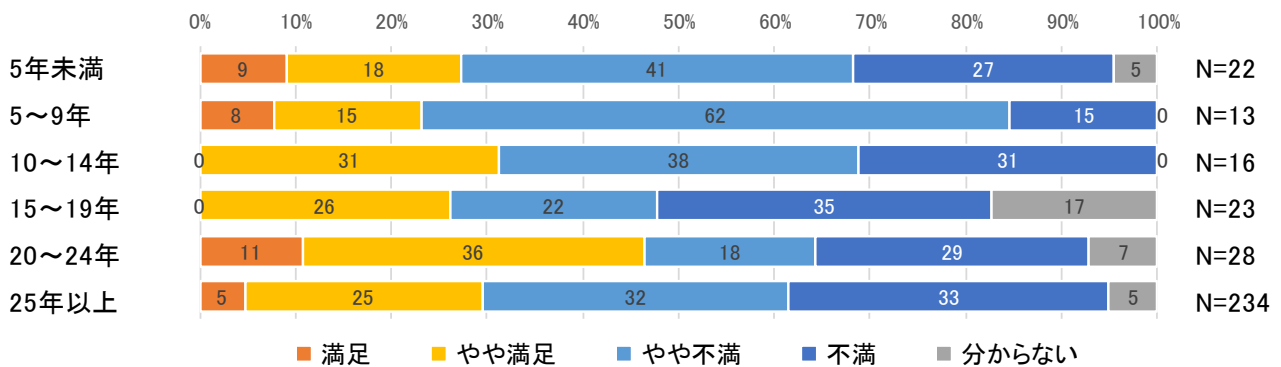
(3) 居住地区別

大貫・吉野エリアでの満足度が低くなっている。

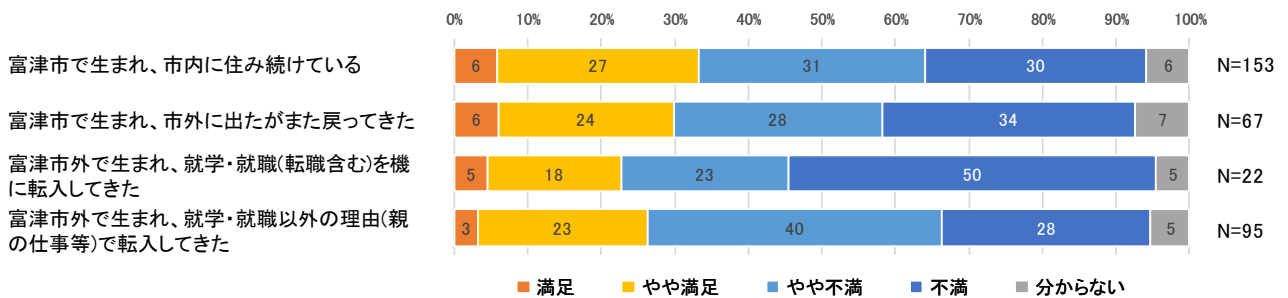


(4) 市内在住年数別

市内在住年数が 20～24 年の人の満足度が高くなっている。

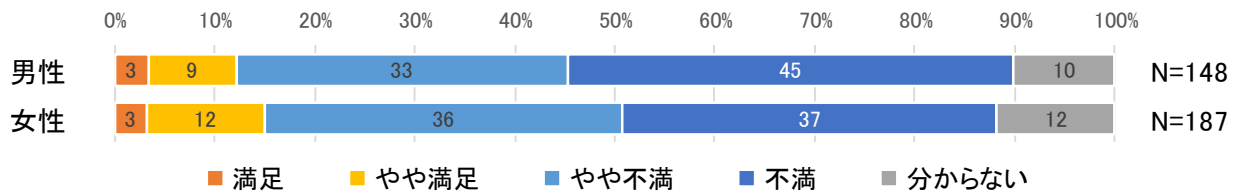


(5) 転入の有無別



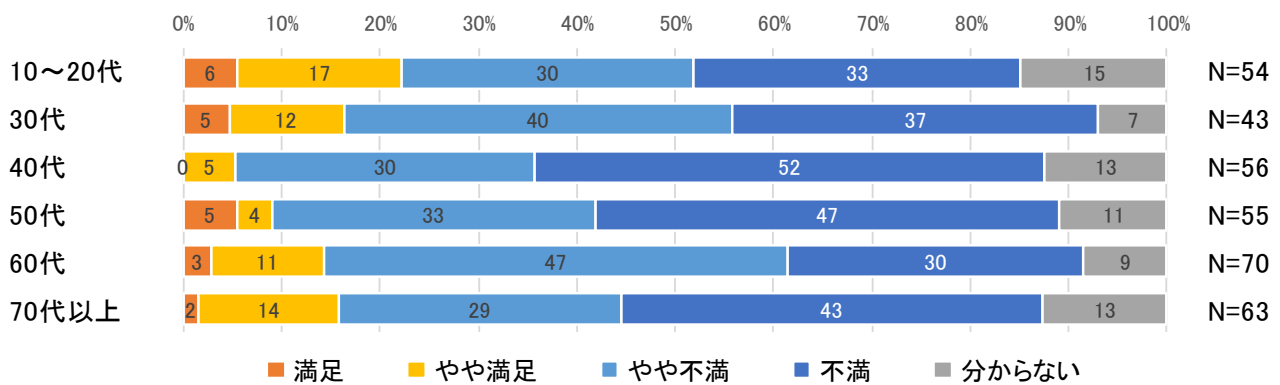
2.3.2.18 公共交通網の整備

(1) 性別



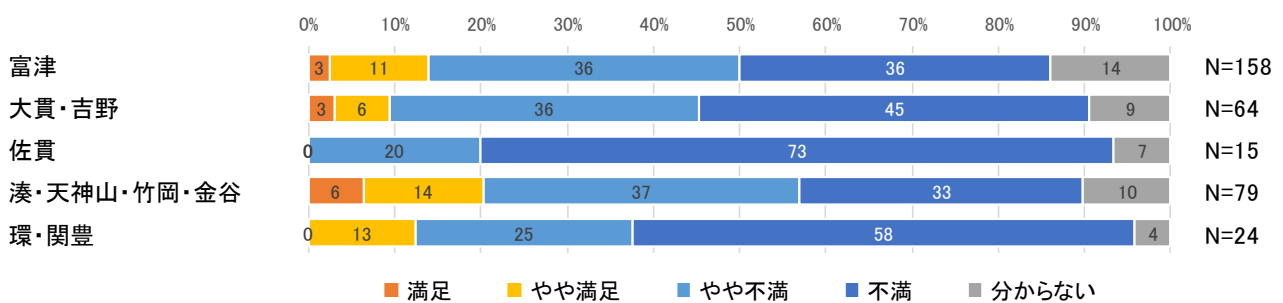
(2) 年齢階層別

30代以下や60代以上で満足度が比較的高くなっているが、40代・50代では満足度が低くなっている。



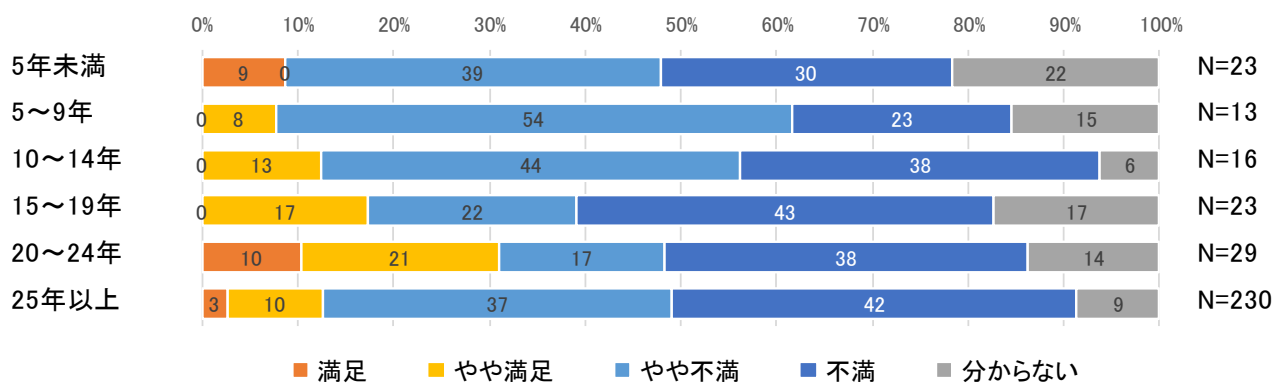
(3) 居住地区別

富津エリアや湊・天神山・竹岡・金谷エリアで満足度が高い一方で、佐貫エリアでは「満足」「やや満足」と回答した人がいない。



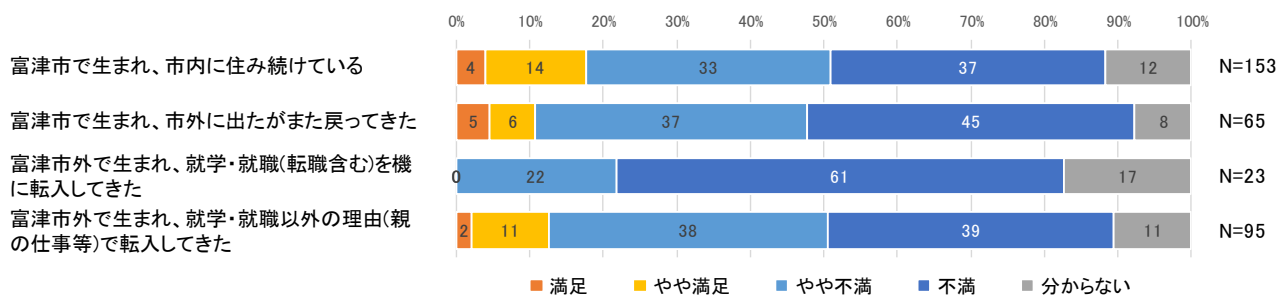
(4) 市内在住年数別

市内在住年数が 20～24 年の人の満足度が高くなっている。



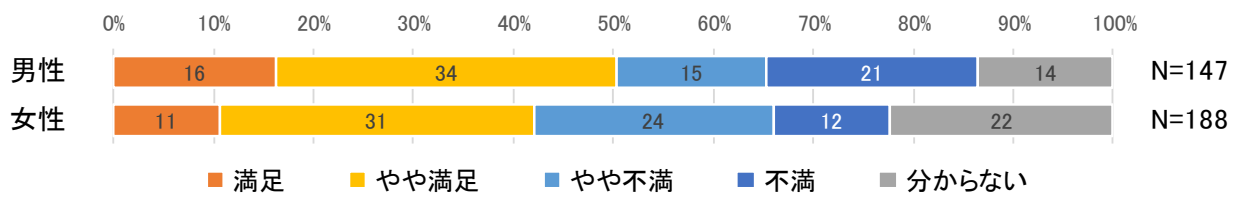
(5) 転入の有無別

「富津市外で生まれ、就学・就職を機に転入してきた」人の中で「満足」「やや満足」と回答した人がいない。

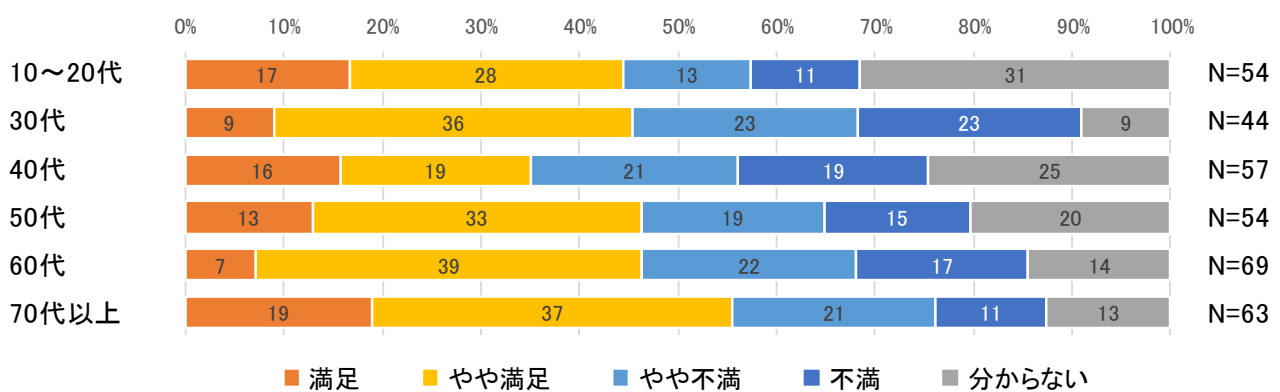


2.3.2.19 上下水道の整備

(1) 性別

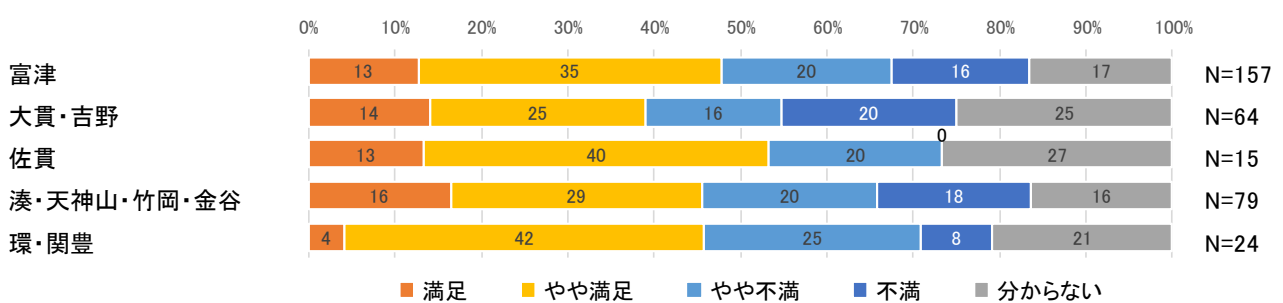


(2) 年齢階層別



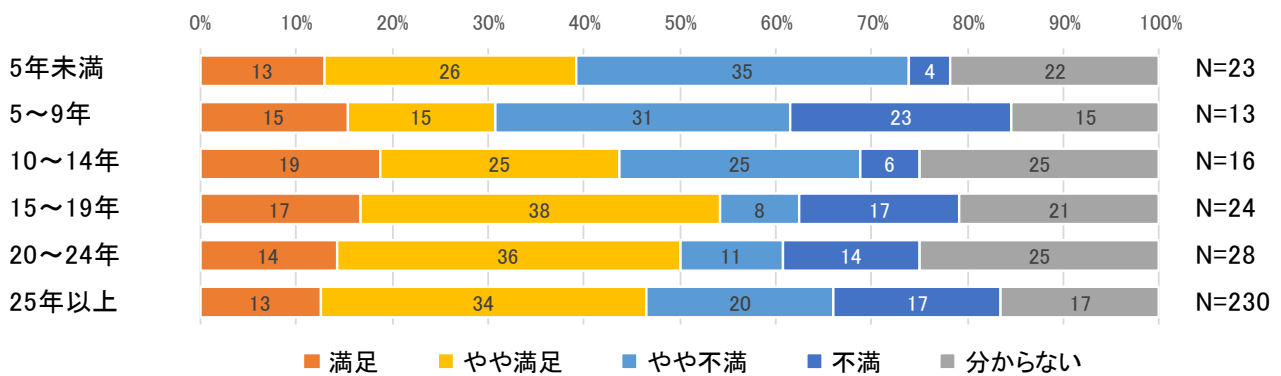
(3) 居住地区別

地区別に大きな満足度の差はないが、佐貫エリアでは比較的満足度が高く、「不満」と回答した人がいない。

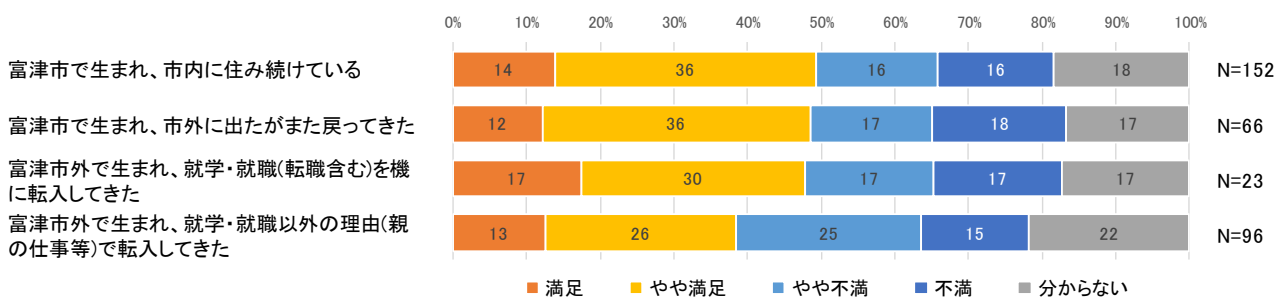


(4) 市内在住年数別

市内在住年数が 5～9 年の人の満足度が低い。

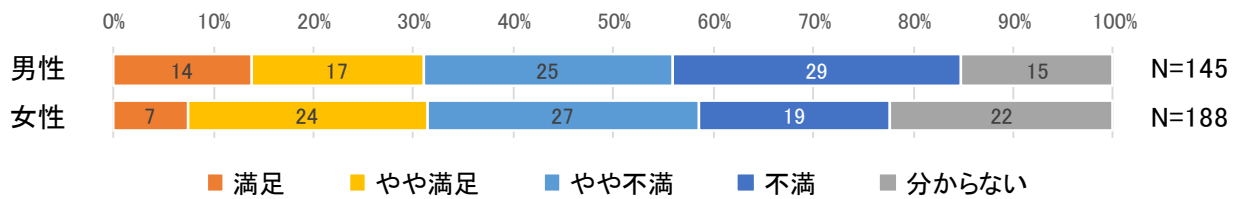


(5) 転入の有無別



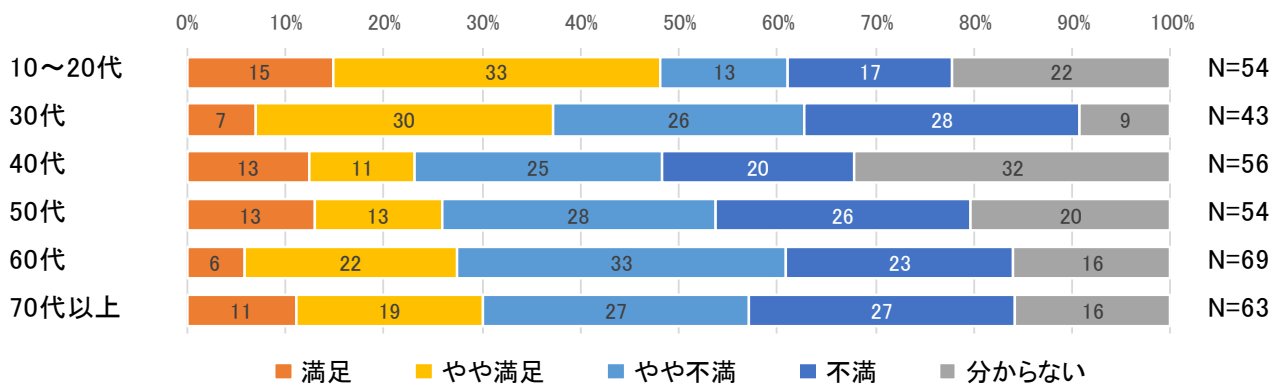
2.3.2.20 下水道・排水路の整備

(1) 性別



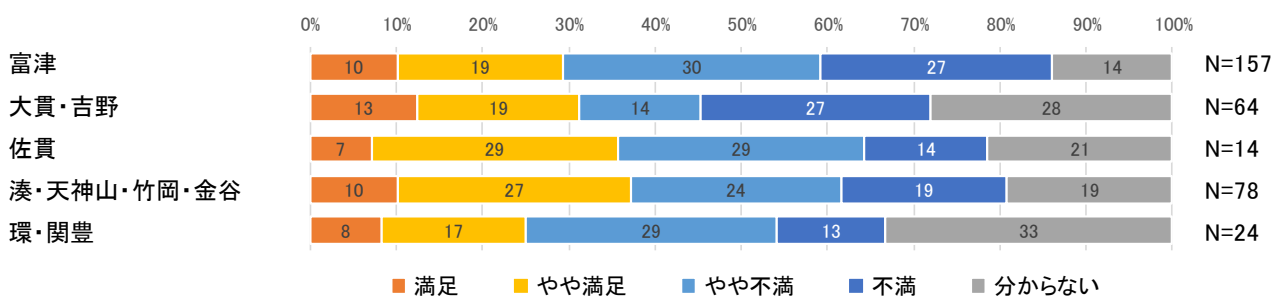
(2) 年齢階層別

30代以下の若い世代の満足度が高くなっている。



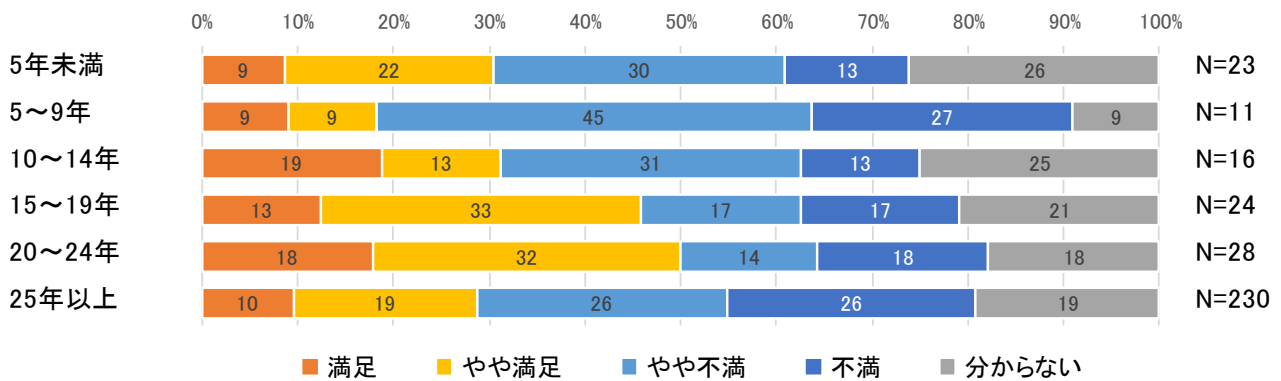
(3) 居住地区別

環・関豊エリアでの満足度が比較的低くなっている。

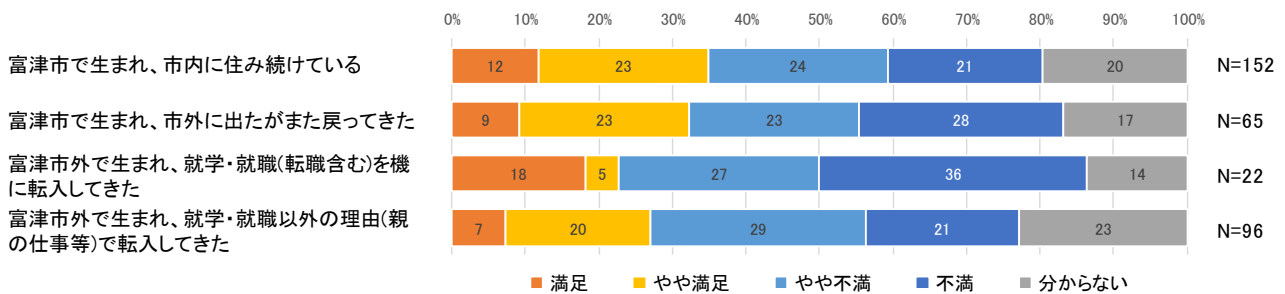


(4) 市内在住年数別

市内在住年数が 15～24 年の人の満足度が比較的高くなっている。

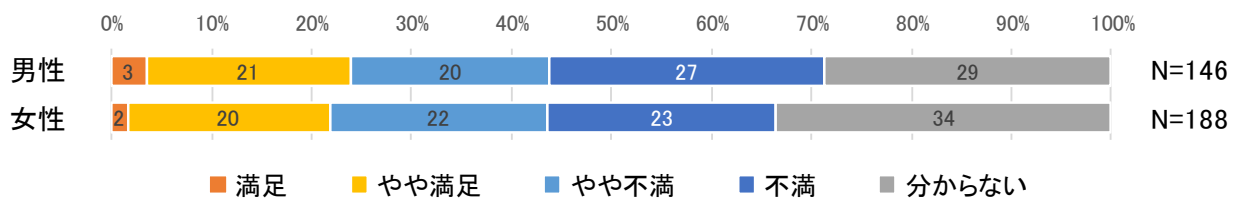


(5) 転入の有無別



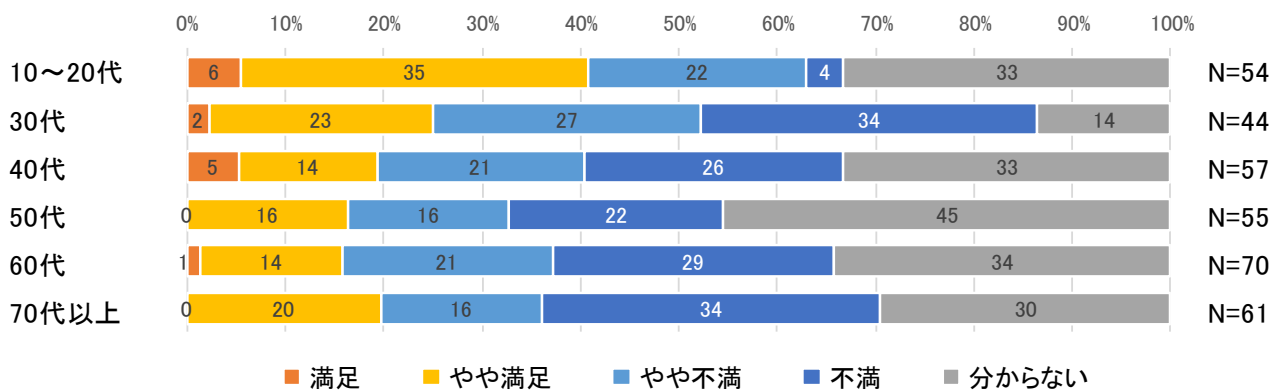
2.3.2.21 有害鳥獣対策

(1) 性別



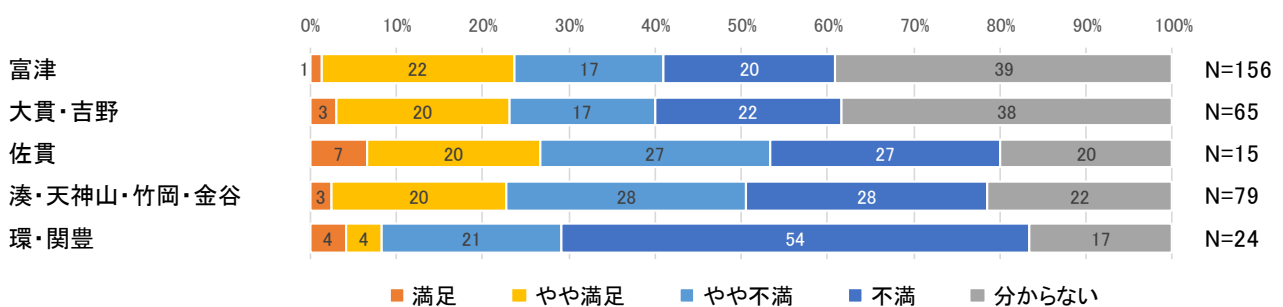
(2) 年齢階層別

10～20代の満足度が高くなっている。



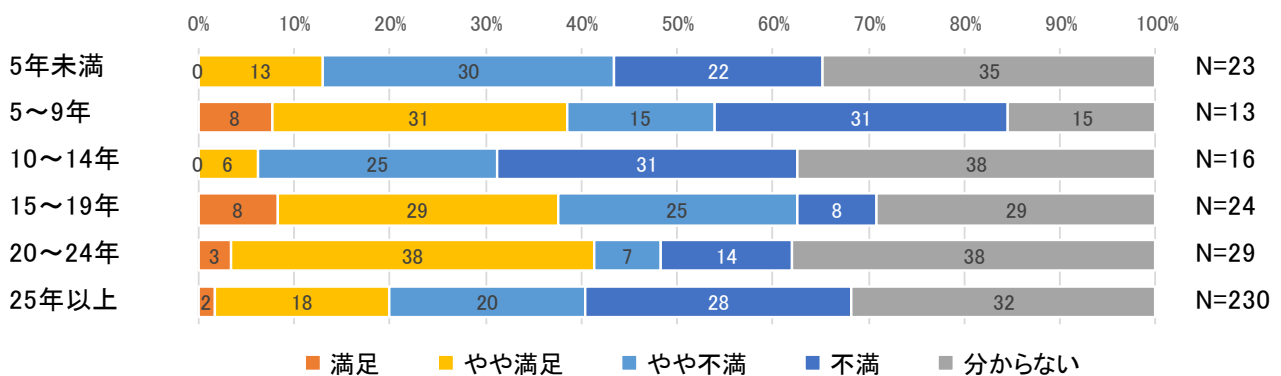
(3) 居住地区別

環・関豊エリアでの満足度が低くなっている。



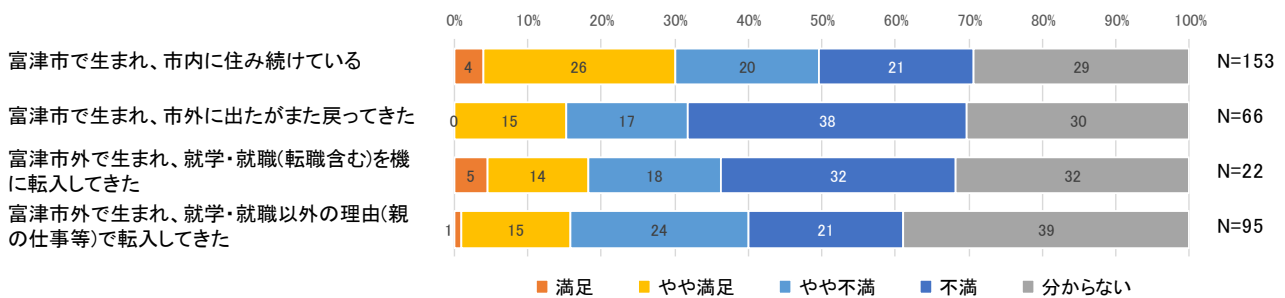
(4) 市内在住年数別

市内在住年数が5～9年の人の満足度が特に低くなっている。



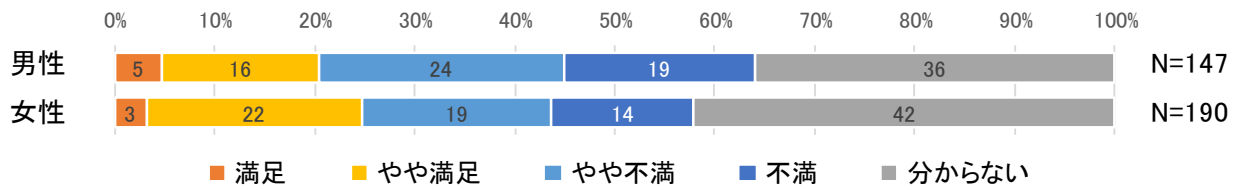
(5) 転入の有無別

「富津市で生まれ、市内に住み続けている」人の満足度が高くなっている。



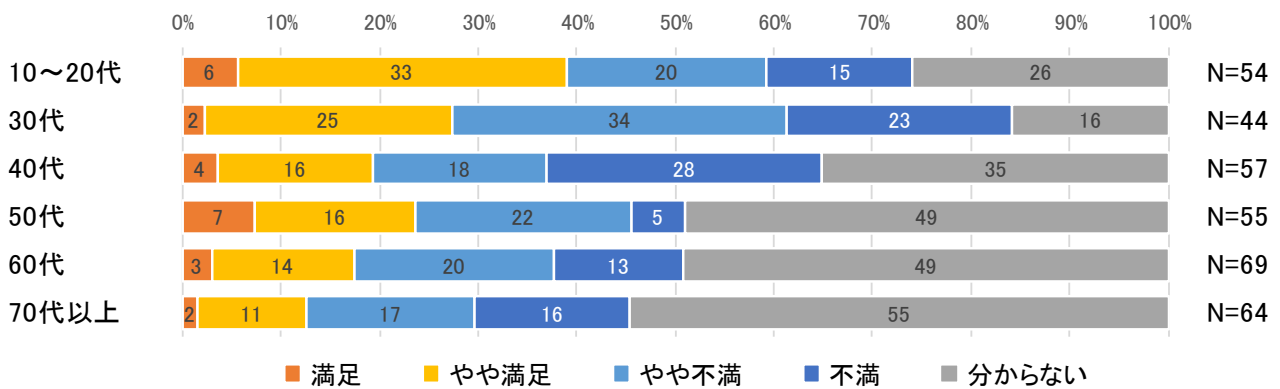
2.3.2.22 デジタル化

(1) 性別

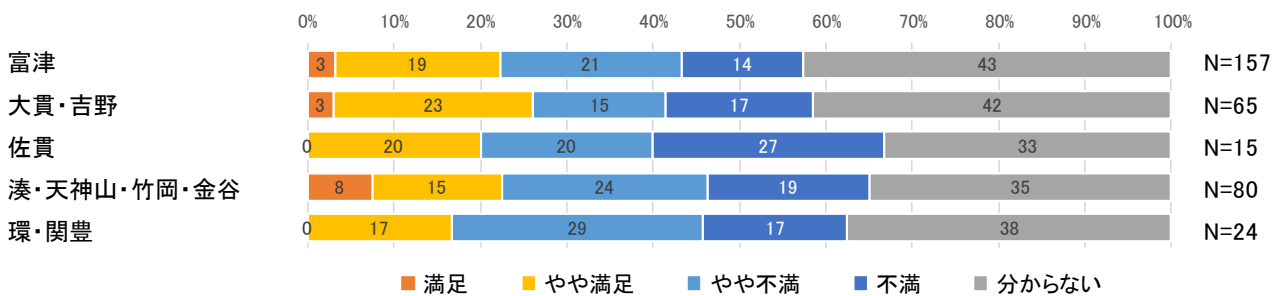


(2) 年齢階層別

若い世代ほど満足度が高い傾向になっている。

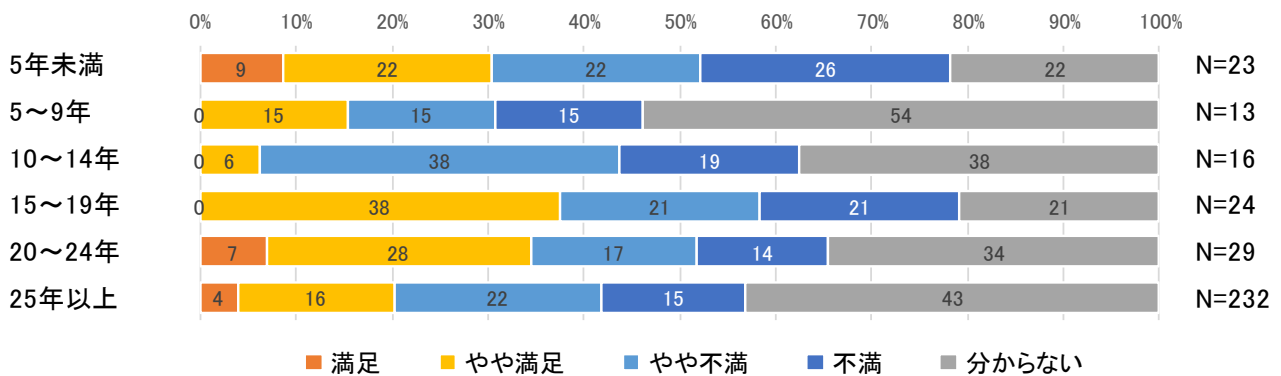


(3) 居住地区別



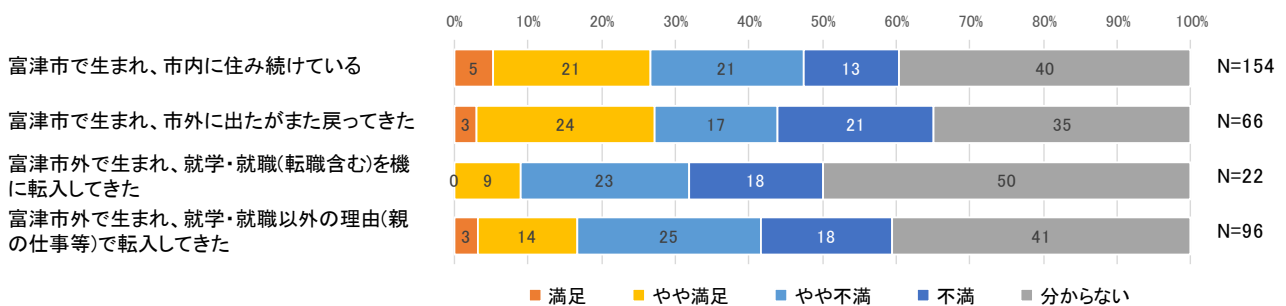
(4) 市内在住年数別

市内在住年数が10～14年の人の満足度が低くなっている。



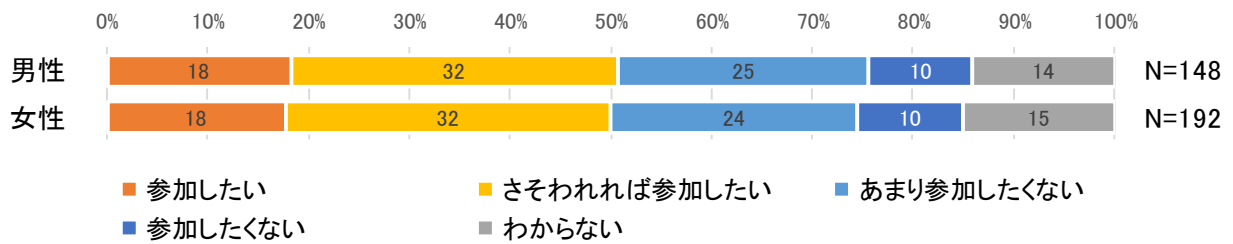
(5) 転入の有無別

富津市内で生まれた人の満足度が高くなっている。



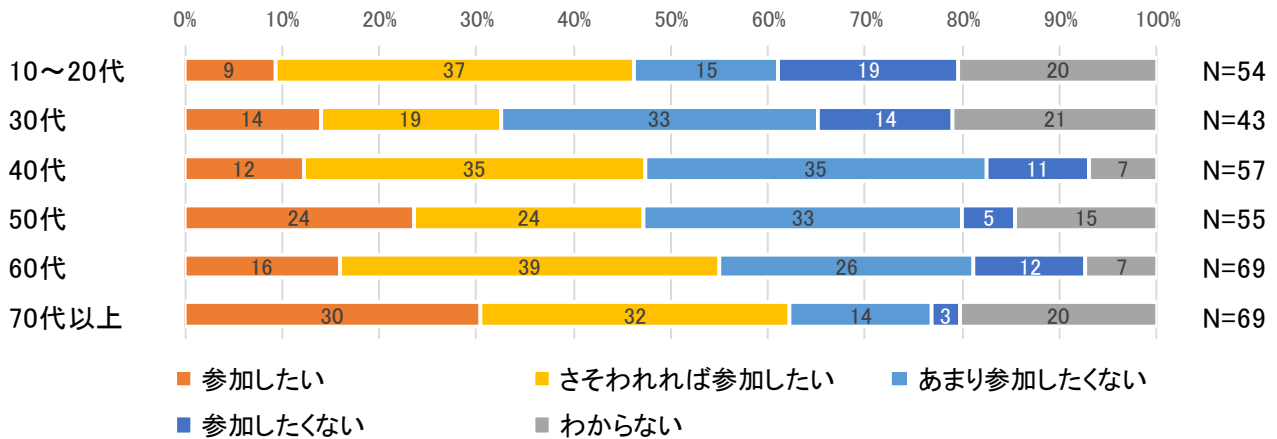
2.3.3 地域活動への参加意欲(問 6)

(1) 性別



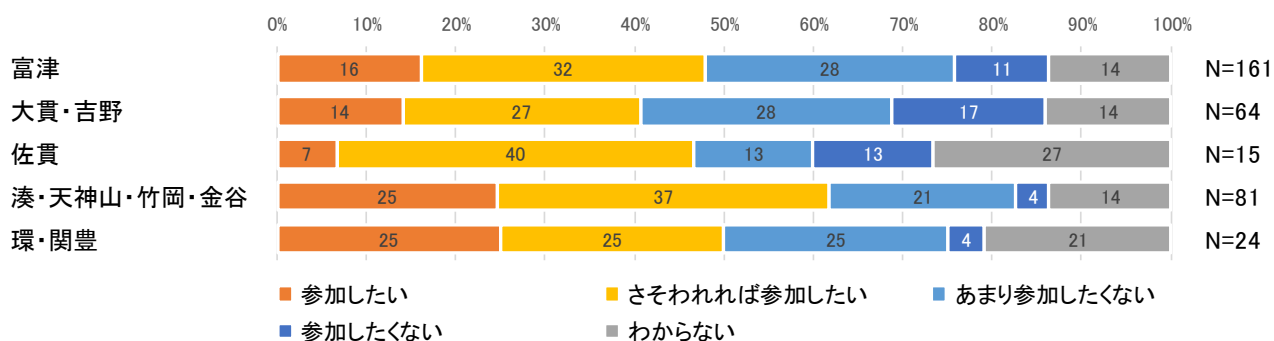
(2) 年齢階層別

上の年代になるほど参加意向が大きい。



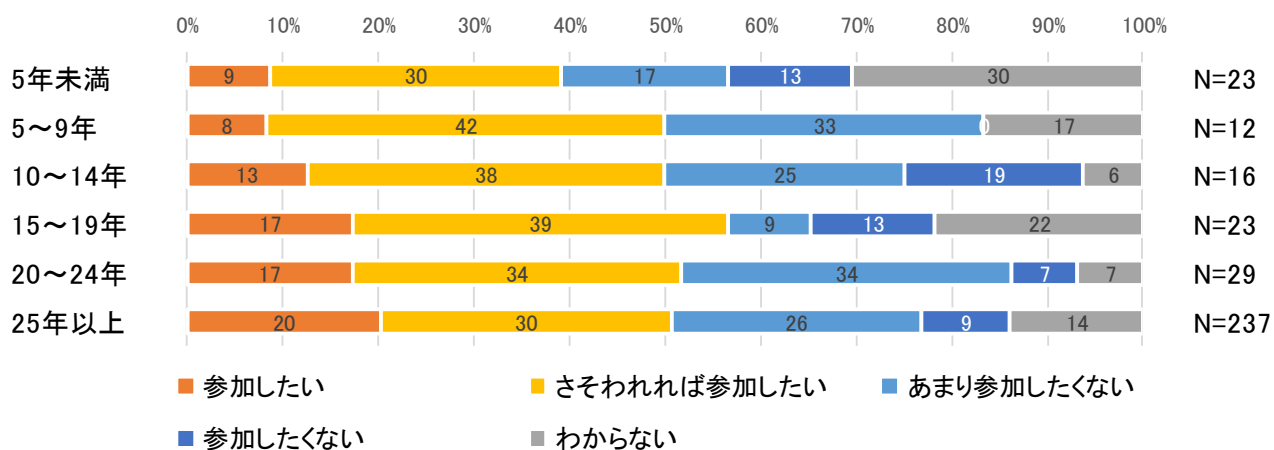
(3) 居住地区別

湊・天神山・竹岡・金谷エリアでの参加意向が比較的大きくなっている。



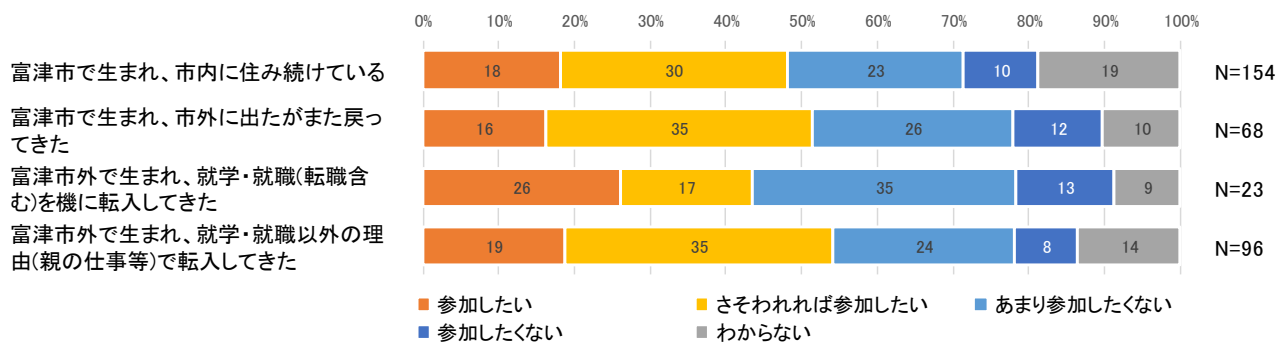
(4) 市内在住年数別

市内在住年数が長いほど参加意向が大きくなっている。



(5) 転入の有無別

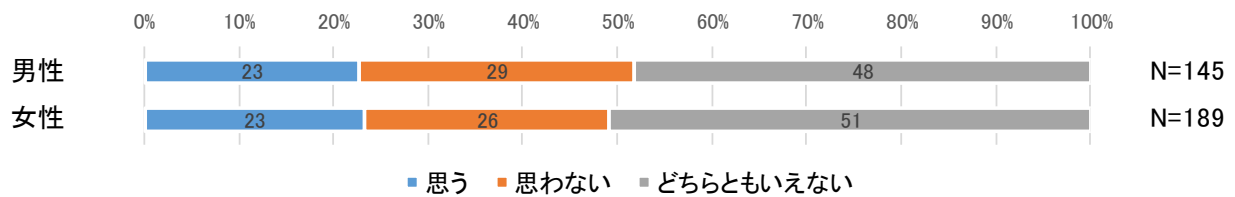
「富津市外で生まれ、就学・就職以外の理由で転入してきた」人の参加意向が大きく、「参加したい」「さそわれれば参加したい」を合わせると 50%以上となっている。



2.3.4 富津市の子育てのしにくさ(問 15)

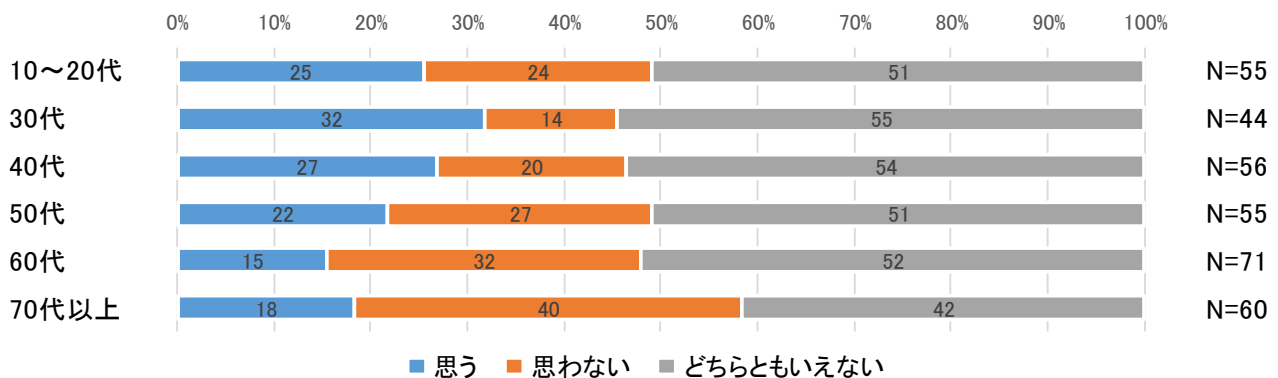
(1) 性別

性別により大きな差はみられない。



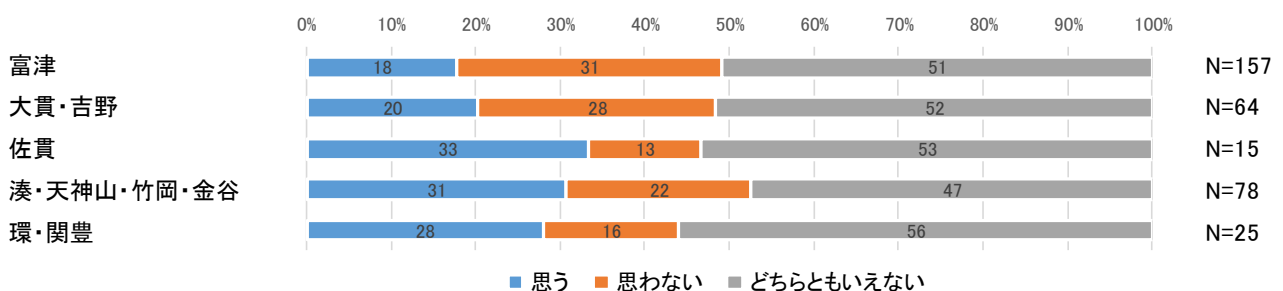
(2) 年齢階層別

特に子育て世代に該当する人の多い30代において、「子育てしにくいと思う」の回答比率が高い。



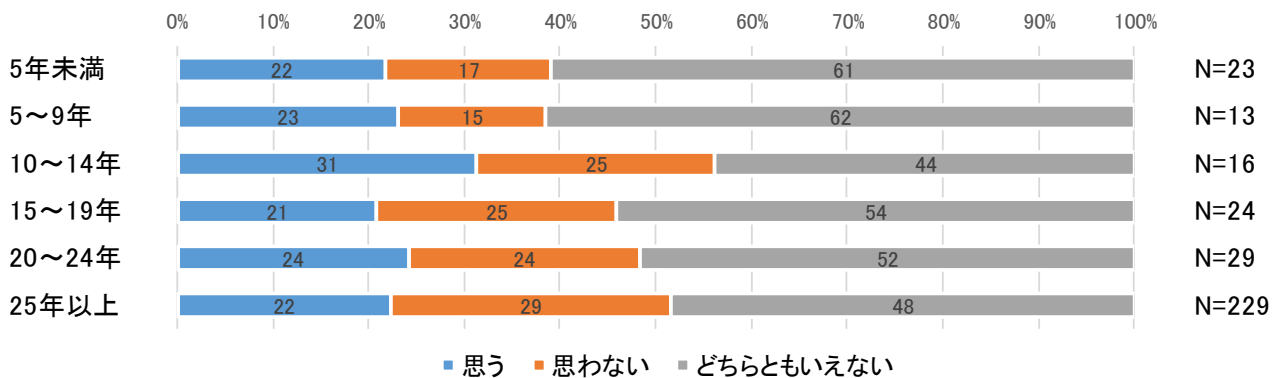
(3) 居住地区別

富津エリアや大貫・吉野エリアでは「子育てしにくいと思う」の回答比率が比較的低いが、その他のエリアでは30%近くの人が「子育てしにくいと思う」と回答している。



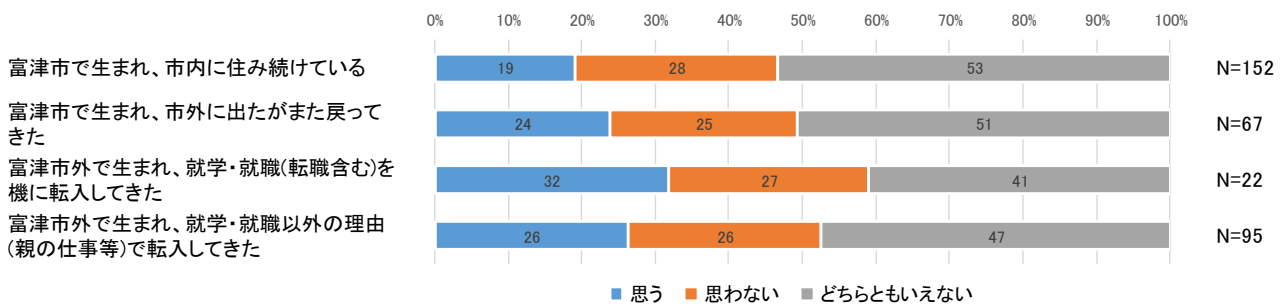
(4) 市内在住年数別

市内在住年数が10～14年の人で「子育てしにくいと思う」の回答比率が高くなっている。



(5) 転入の有無別

「富津市外で生まれ、就学・就職を機に転入してきた」人で「子育てしにくい」の回答比率が高くなっている。



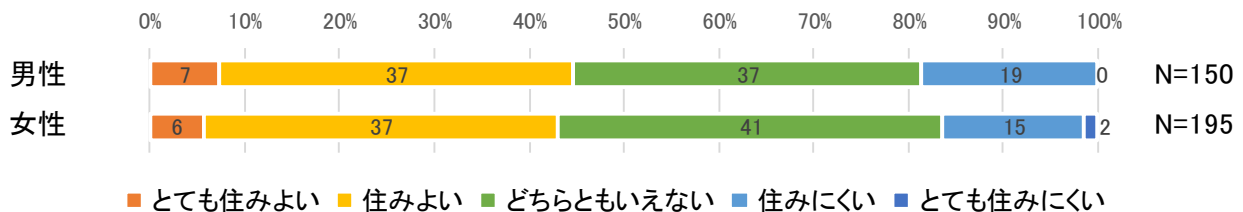
2.4 回答者属性別にみた詳細分析

本節では、総合戦略の各基本目標以外の項目に関して、回答者の属性別に詳細に分析した。

2.4.1 富津市の住みごころ(問2)

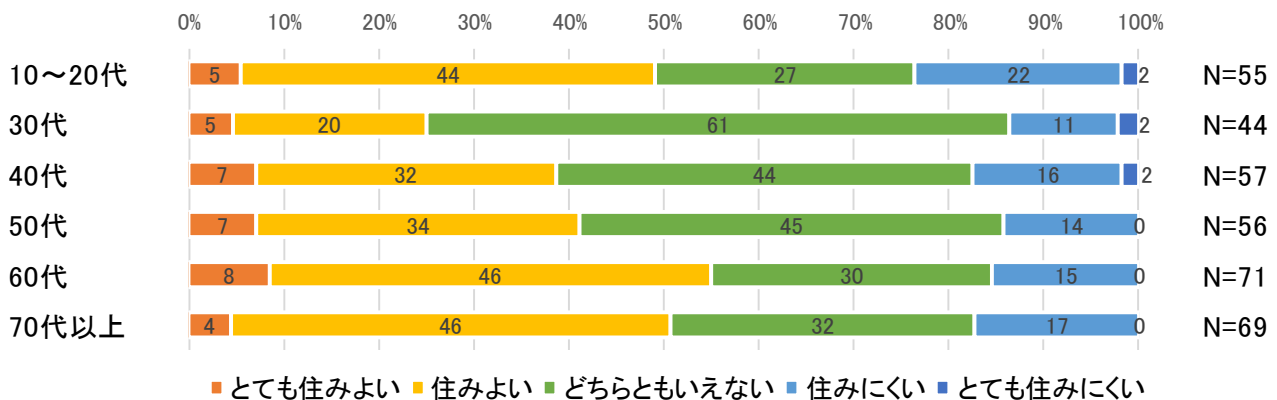
(1) 性別

性別により大きな差はみられない。



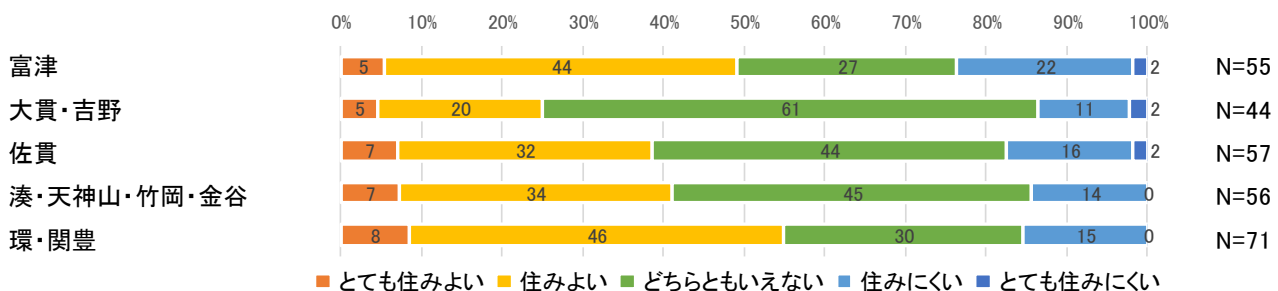
(2) 年齢階層別

10～20代や60代以上で「とても住みよい」「住みよい」の回答比率が高くなっている。一方で、30代は「とても住みよい」「住みよい」の回答比率が低くなっている。



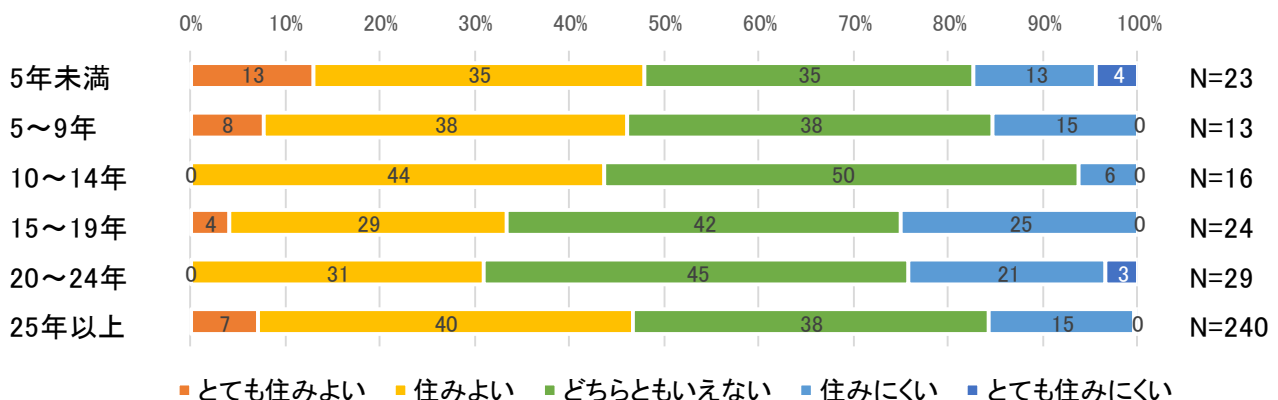
(3) 居住地区別

大貫・吉野エリアで「とても住みよい」「住みよい」の回答比率が低くなっている。



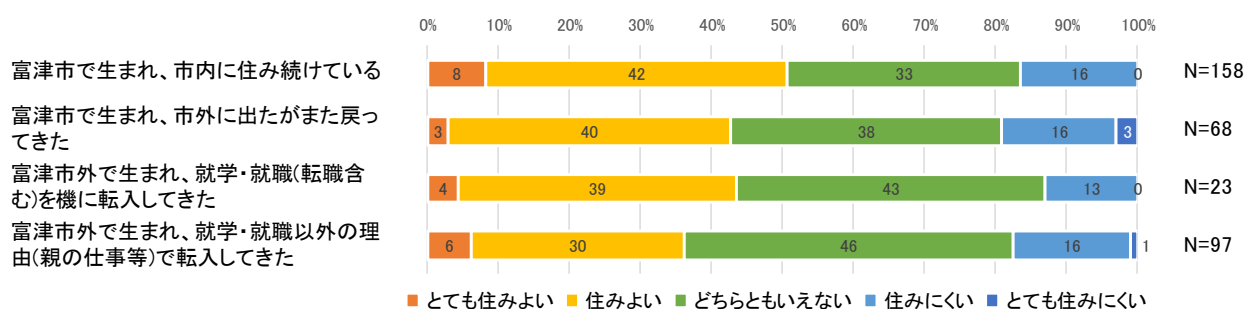
(4) 市内在住年数別

市内在住年数が15～24年の人で「とても住みよい」「住みよい」の回答比率が低くなっている。



(5) 転入の有無別

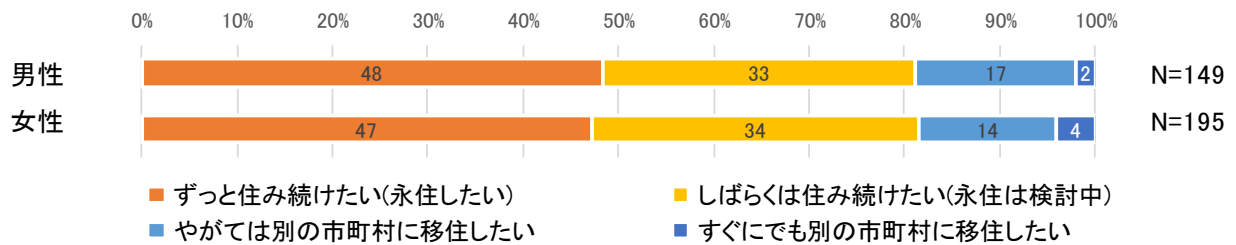
「富津市で生まれ、市内に住み続けている」人で「とても住みよい」「住みよい」の回答比率が高くなっている。



2.4.2 富津市への定住意向(問3)

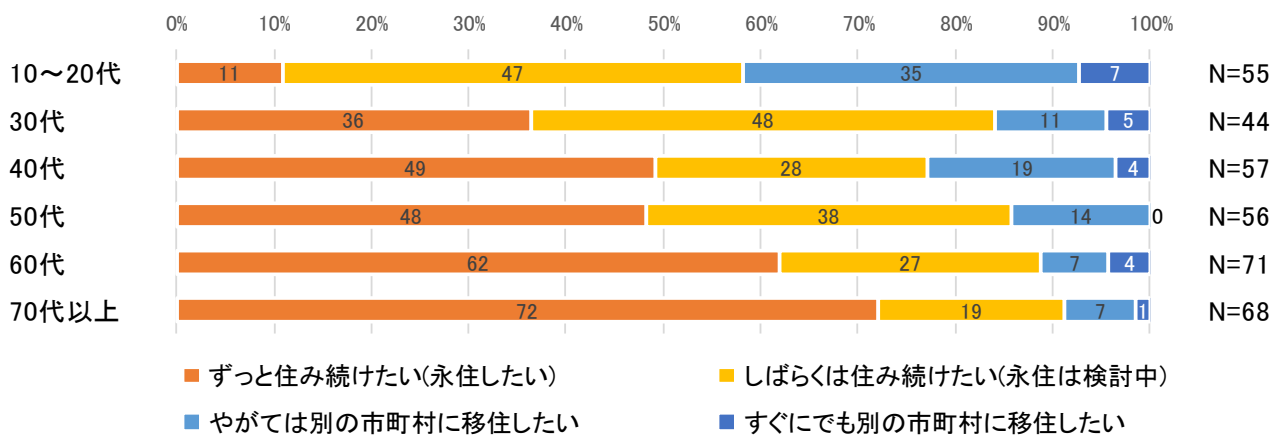
(1) 性別

性別による大きな差はみられない。



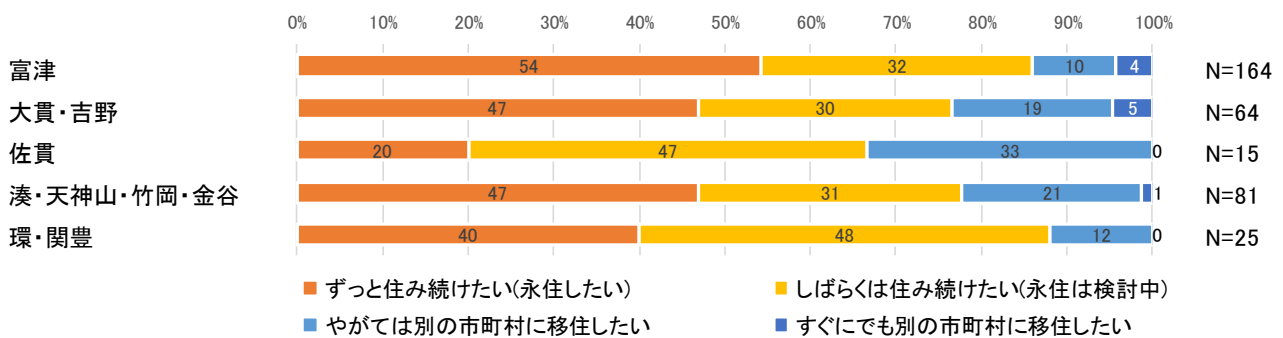
(2) 年齢階層別

上の世代になるほど「ずっと住みたい」の回答比率が高い傾向になっている。特に70代以上については、約72%の人で永住意向がある。一方で、10～20代の永住意向は約11%に留まっている。



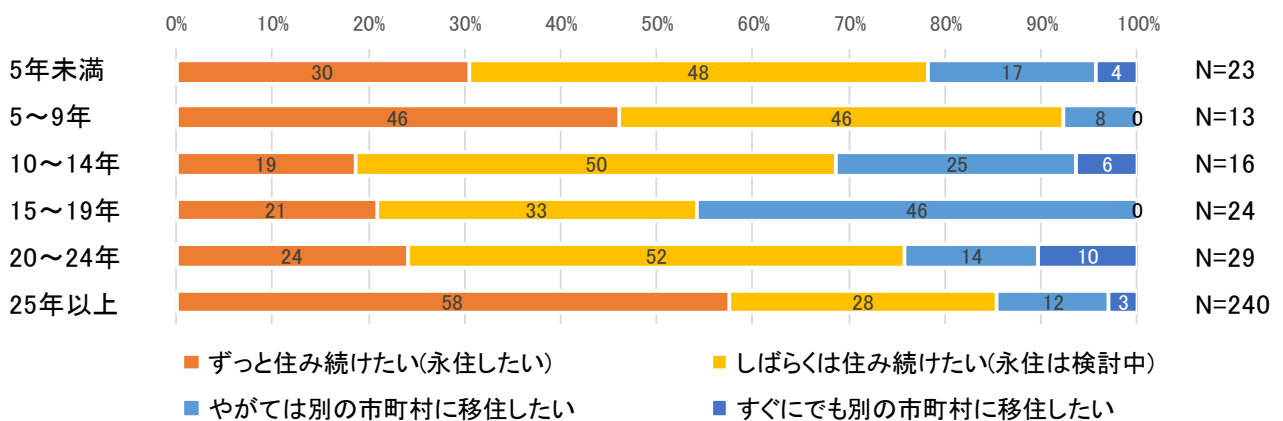
(3) 居住地区別

佐貫エリアでの永住意向が低くなっている。



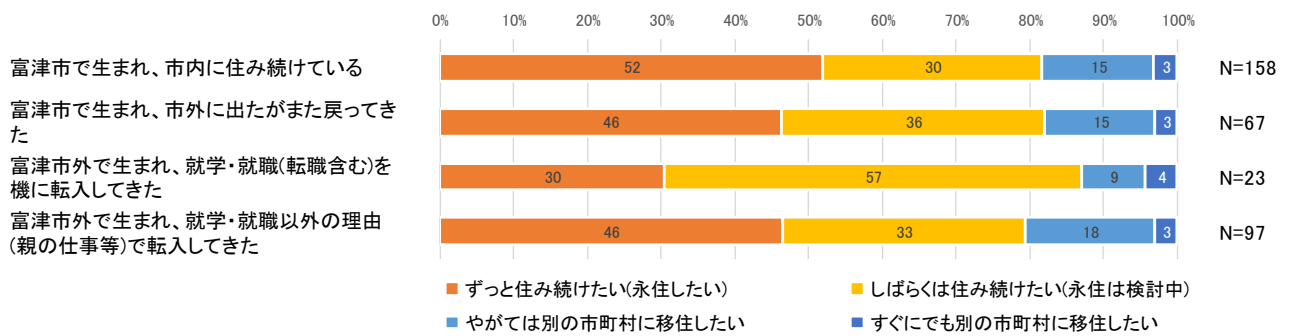
(4) 市内在住年数別

市内在住年数が 10～24 年の人の永住意向が低くなっている。一方で、市内在住年数が 25 年以上の人の永住意向は高く、半数以上の割合を占めている。



(5) 転入の有無別

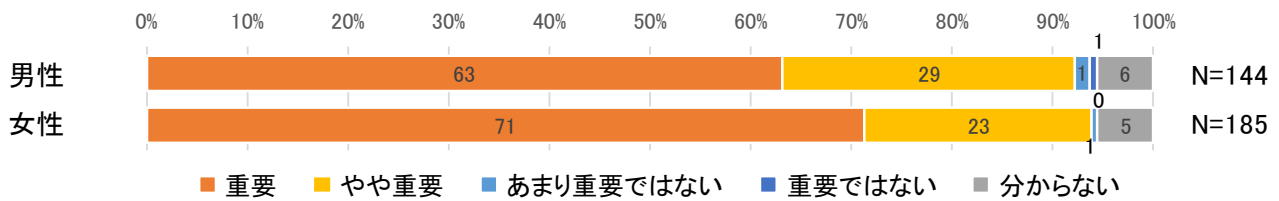
「富津市外で生まれ、就学・就職を機に転入してきた」人の永住意向が低くなっている。



2.4.3 富津市での生活の重要度(問4)

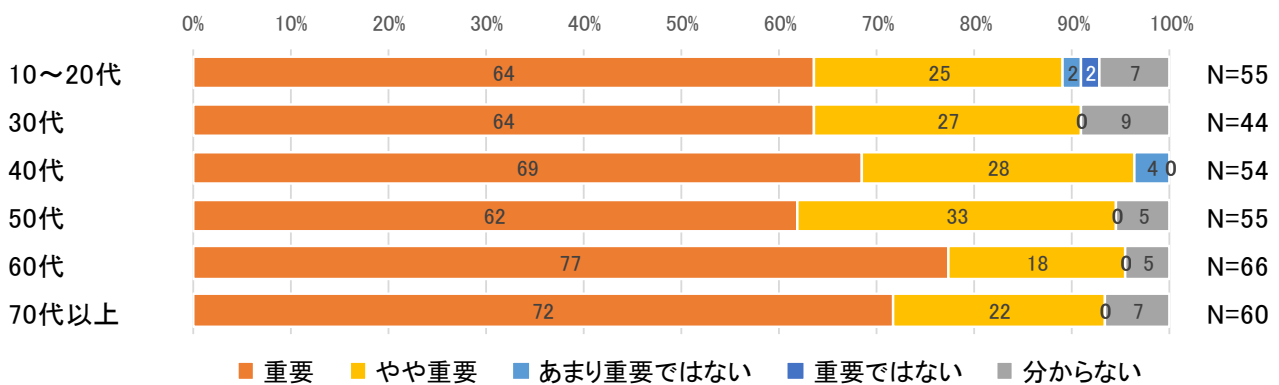
2.4.3.1 災害への対策

(1) 性別



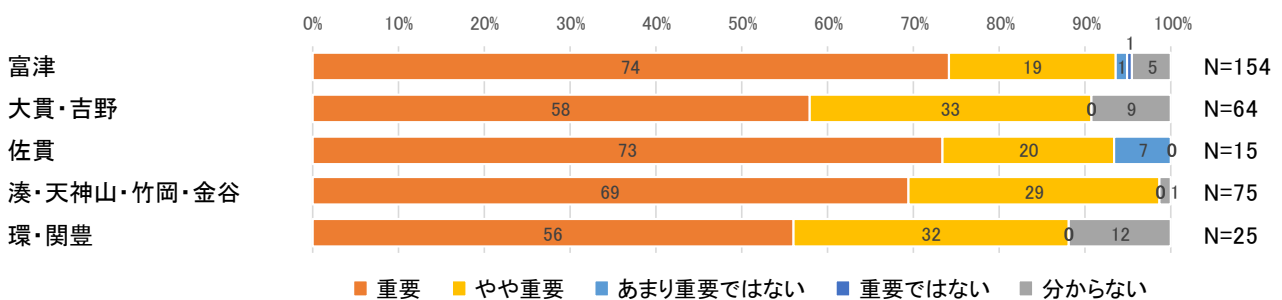
(2) 年齢階層別

特に60代以上で「重要」の回答比率が高くなっている。



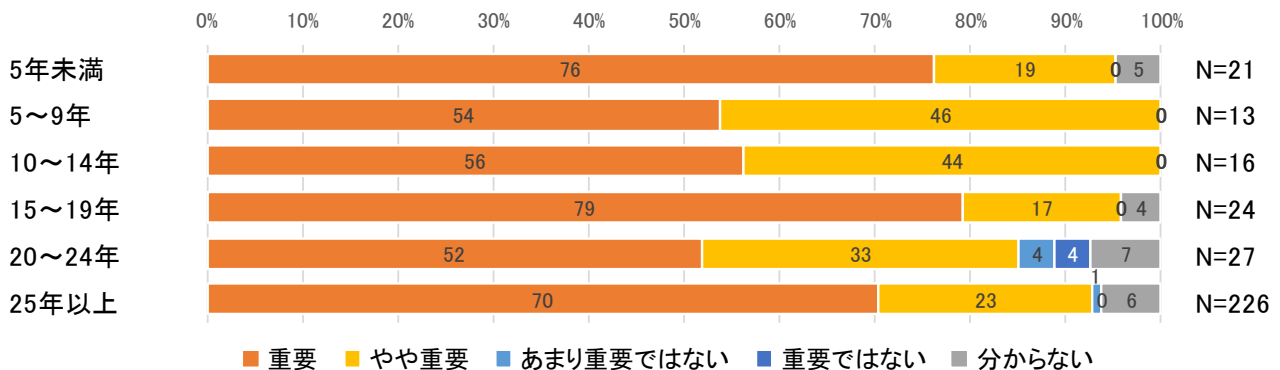
(3) 居住地区別

大貫・吉野エリアや環・関豊エリアでは比較的「重要」の回答比率が低くなっている。

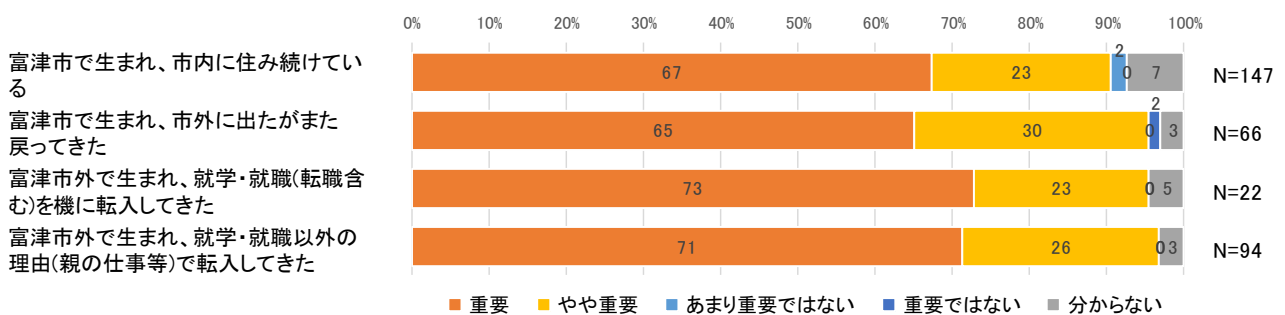


(4) 市内在住年数別

市内在住年数が 20～24 年の人は比較的「重要」の回答比率が低く、「あまり重要ではない」「重要ではない」の回答比率が高くなっている。

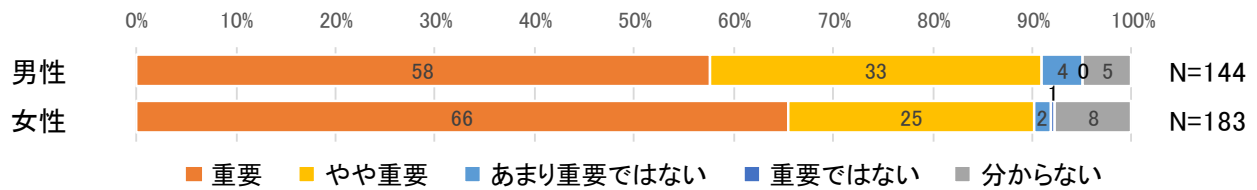


(5) 転入の有無別

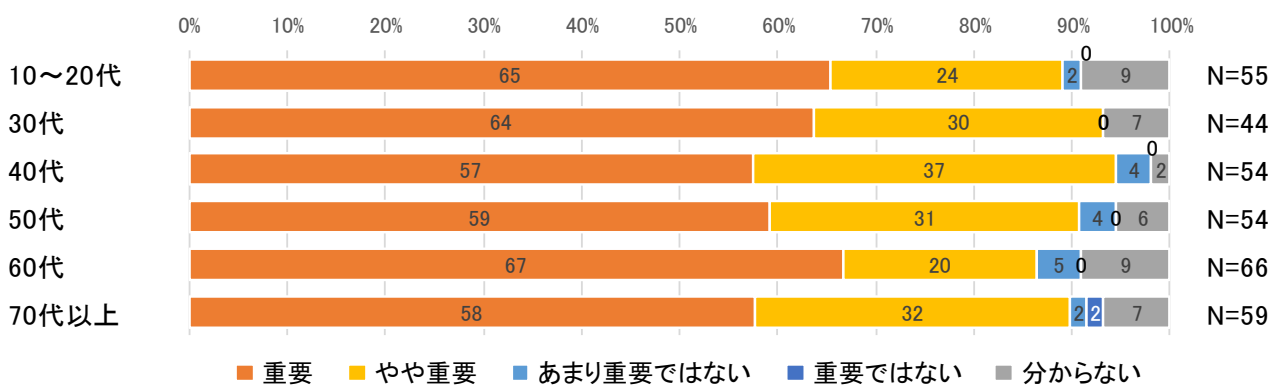


2.4.3.2 防犯や交通安全対策

(1) 性別

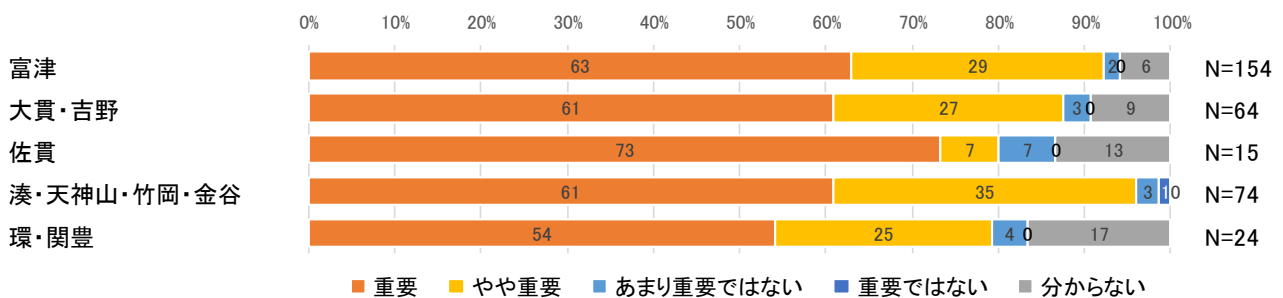


(2) 年齢階層別



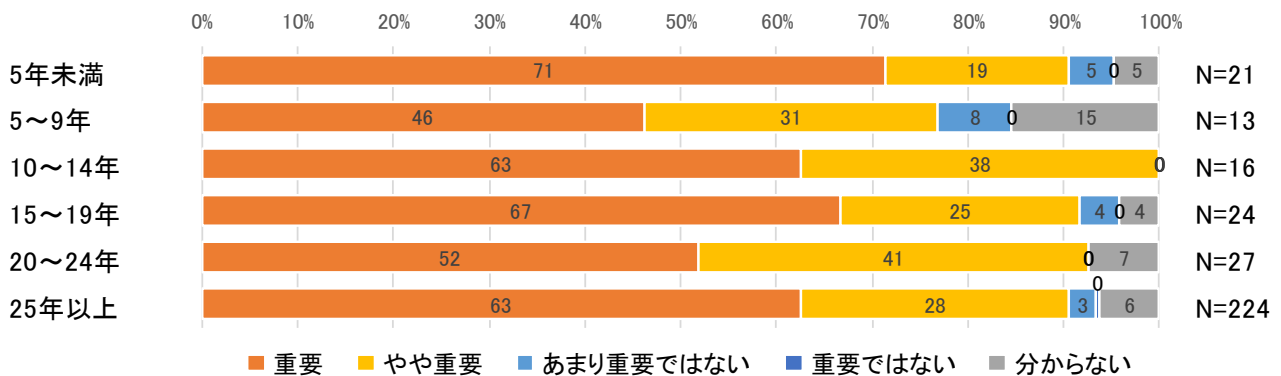
(3) 居住地区別

佐貫エリアで比較的「重要」の回答比率が高くなっている。

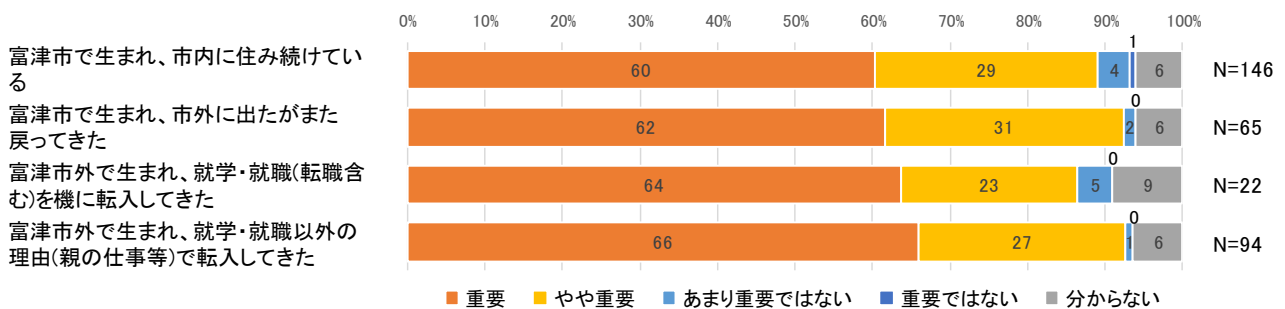


(4) 市内在住年数別

特に市内在住年数が5年未満の人で「重要」の回答比率が高くなっている。

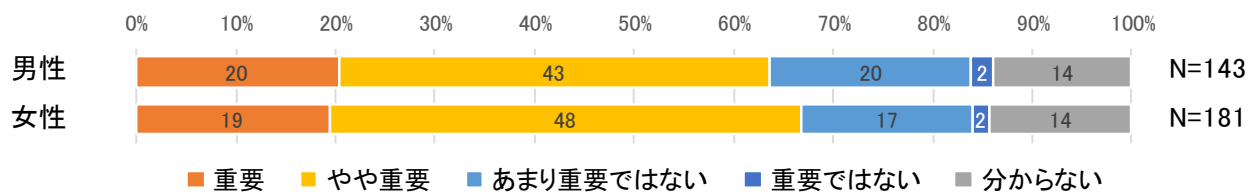


(5) 転入の有無別



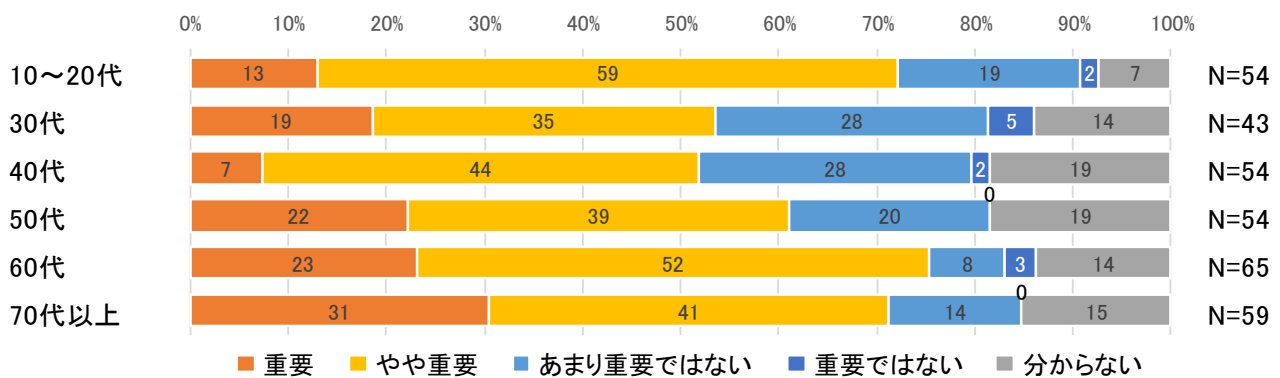
2.4.3.3 市民活動やコミュニティの支援

(1) 性別



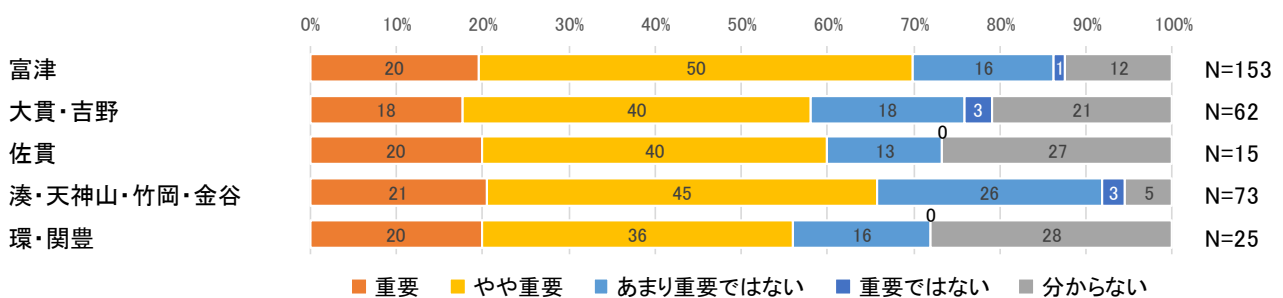
(2) 年齢階層別

上の年代であるほど重要度が高い傾向になっている。

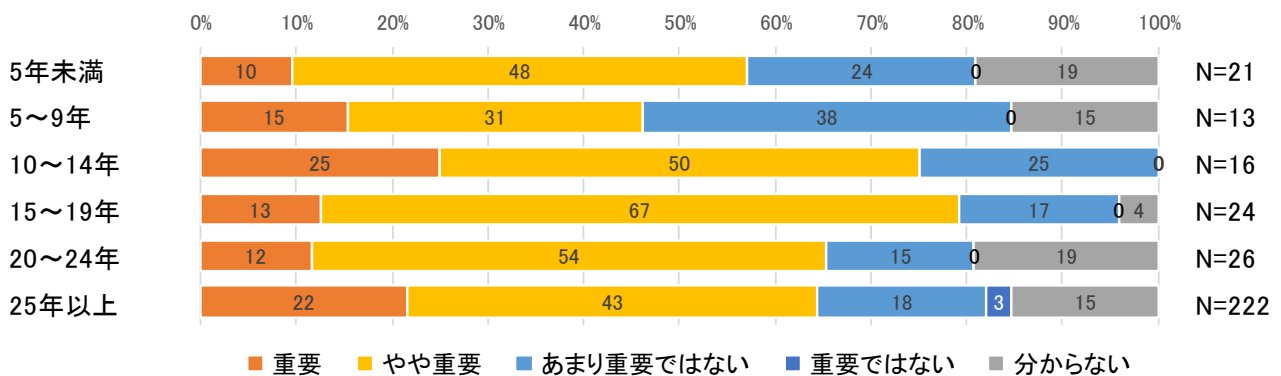


(3) 居住地区別

特に富津エリアでは「重要」「やや重要」の回答比率が高くなっている。

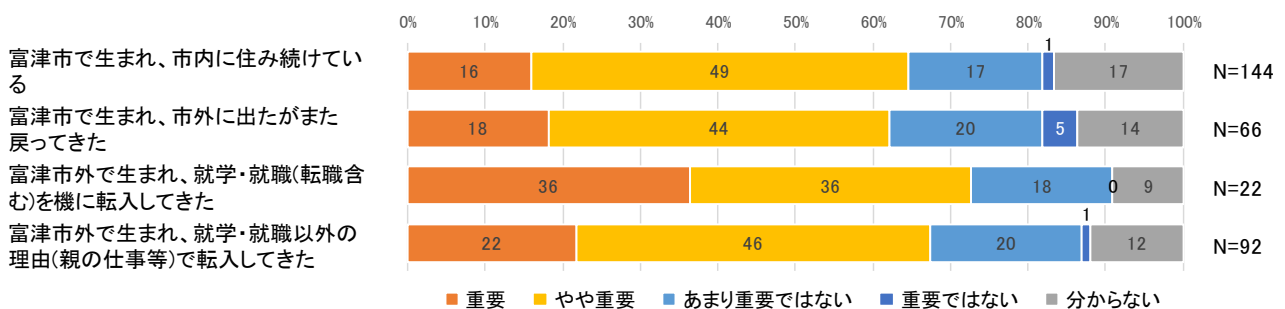


(4) 市内在住年数別



(5) 転入の有無別

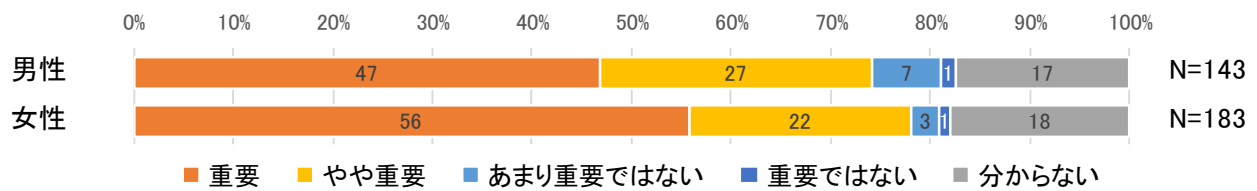
「富津市外で生まれ、就学・就職を機に転入してきた」人で「重要」の回答比率が比較的高くなっている。



2.4.3.4 子育て支援

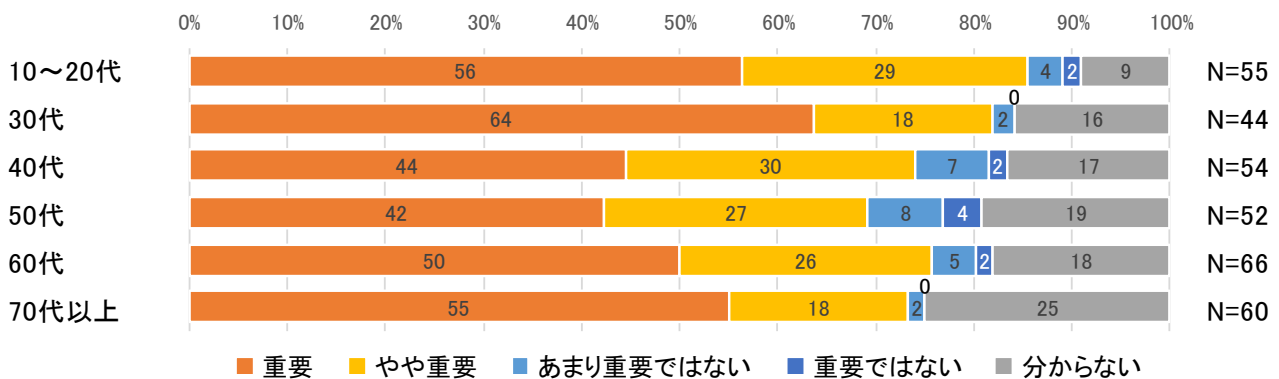
(1) 性別

男性よりも女性の方が「重要」の回答比率が高くなっている。



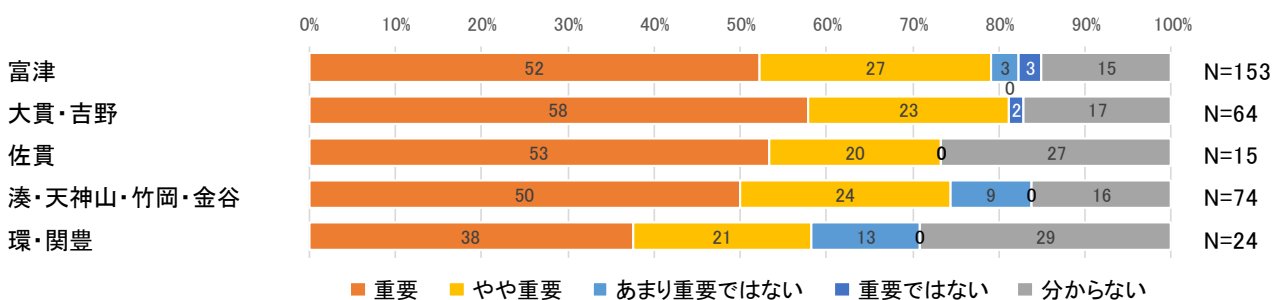
(2) 年齢階層別

30代以下で「重要」の回答比率が高くなっている。一方で、40代・50代は「重要」の回答比率が比較的低い。



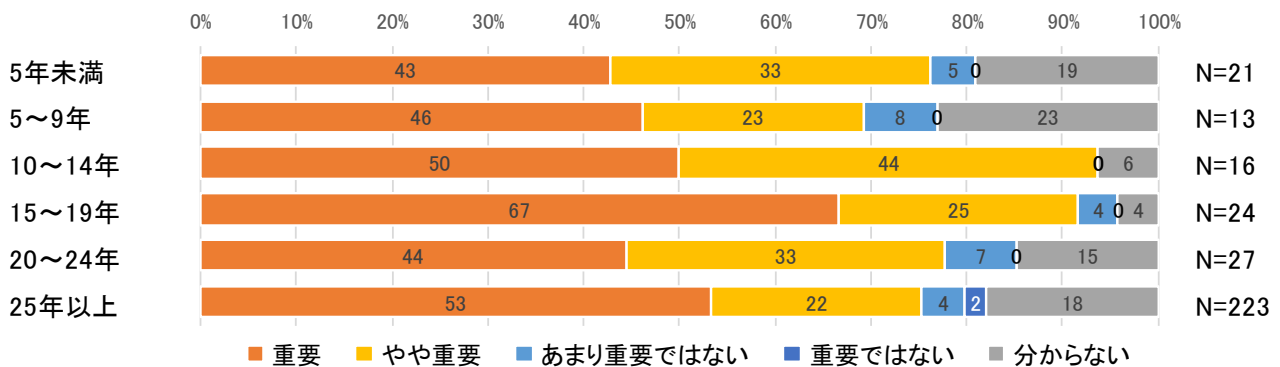
(3) 居住地区別

環・関豊エリアでは「重要」「やや重要」の回答比率が比較的低くなっている。

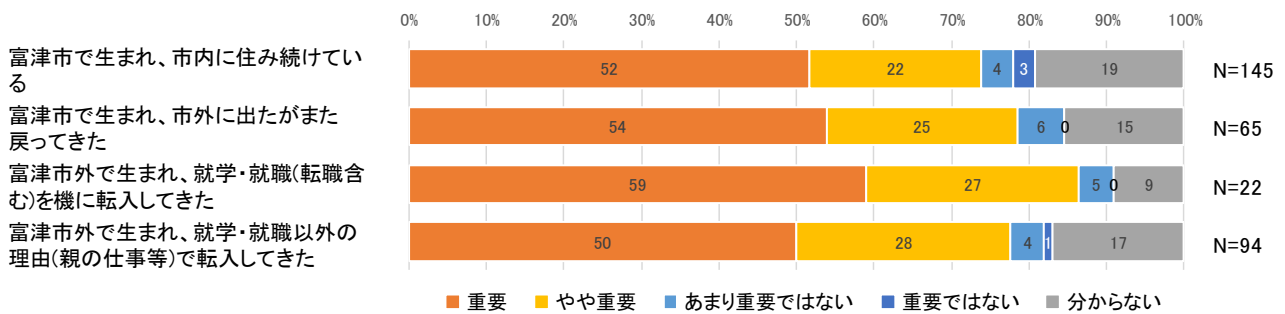


(4) 市内在住年数別

特に市内在住年数が15～19年の人で「重要」の回答比率が高くなっている。

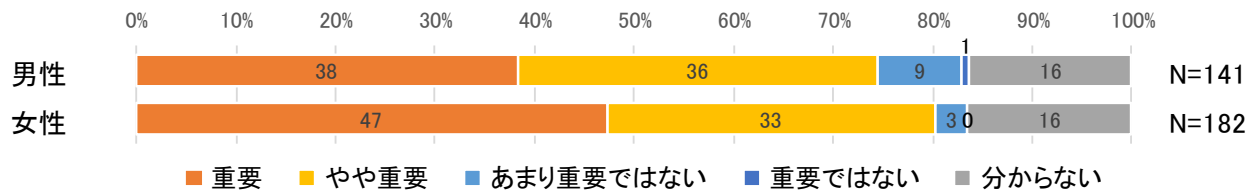


(5) 転入の有無別



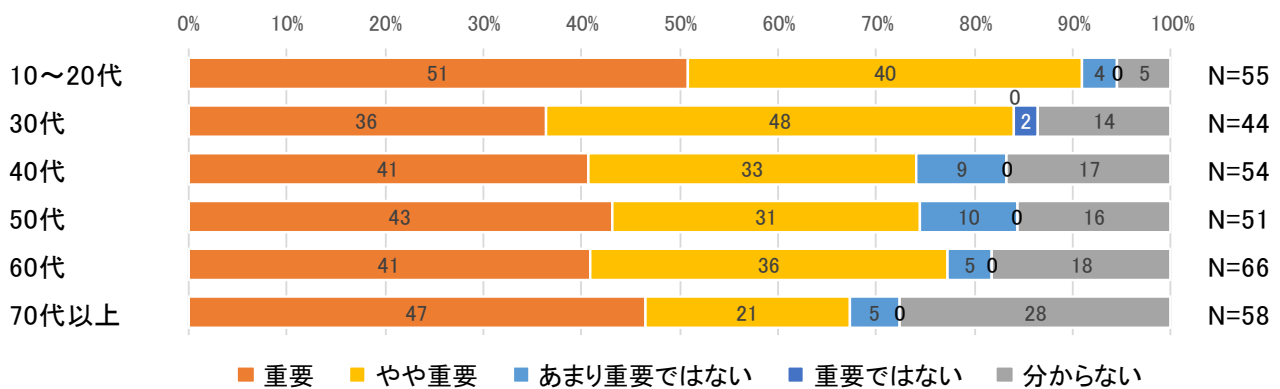
2.4.3.5 学習環境

(1) 性別



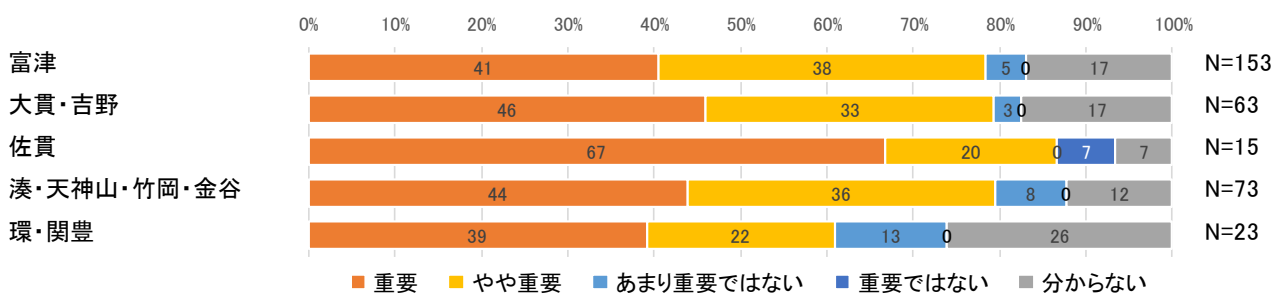
(2) 年齢階層別

10～20代での重要度が比較的高くなっている。



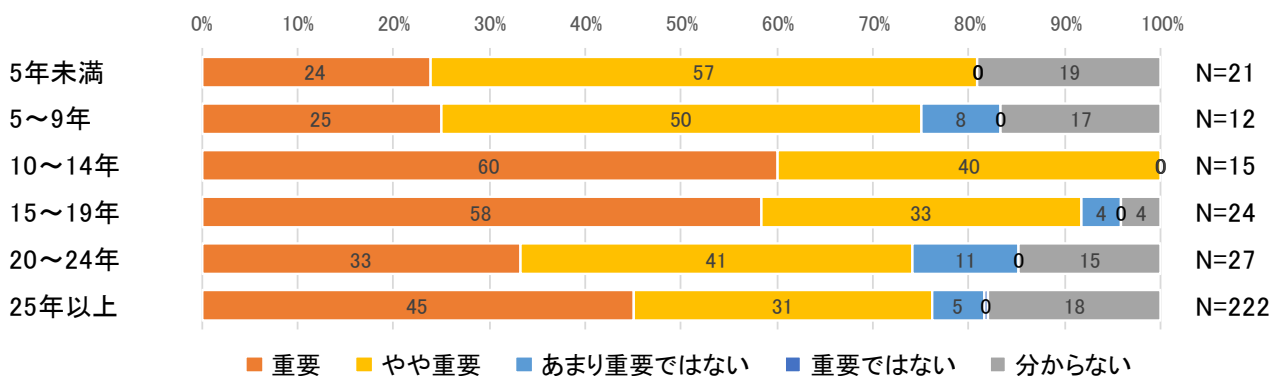
(3) 居住地区別

佐貫エリアでの重要度が比較的高くなっている。



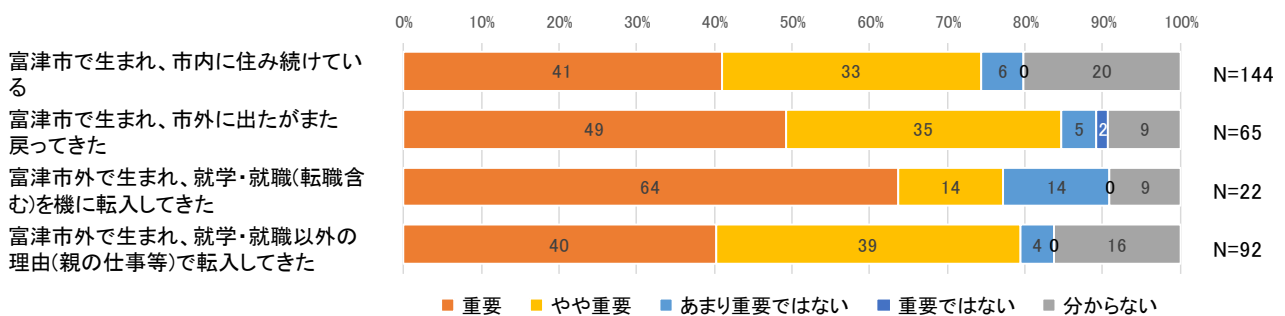
(4) 市内在住年数別

市内在住年数が10～19年の人で重要度が比較的高くなっている。



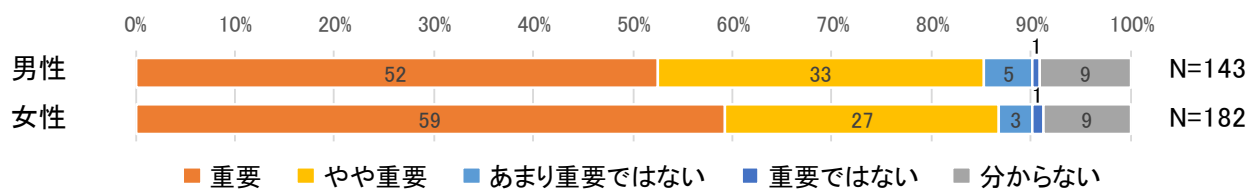
(5) 転入の有無別

「富津市外で生まれ、就学・就職を機に転入してきた」人で特に「重要」の回答比率が高くなっている。



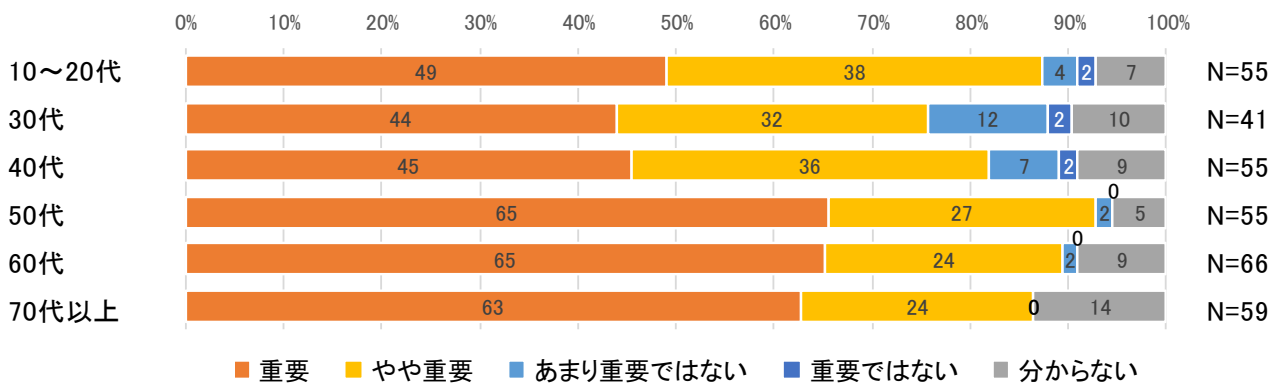
2.4.3.6 福祉サービス

(1) 性別



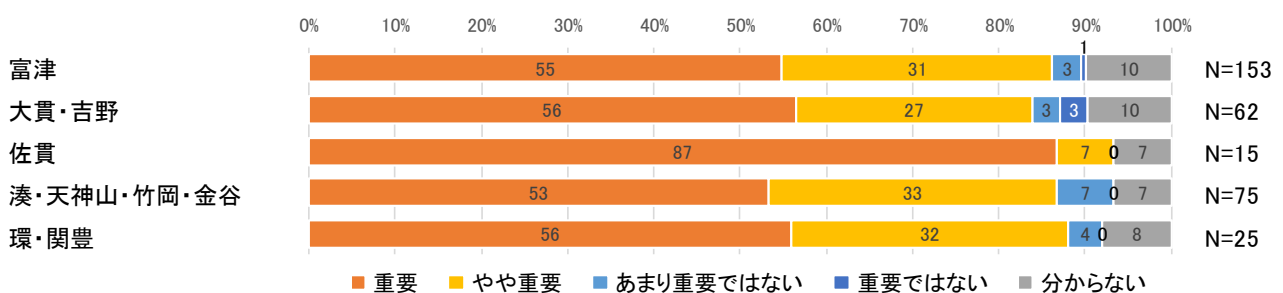
(2) 年齢階層別

50代以上で重要度が高くなっている。



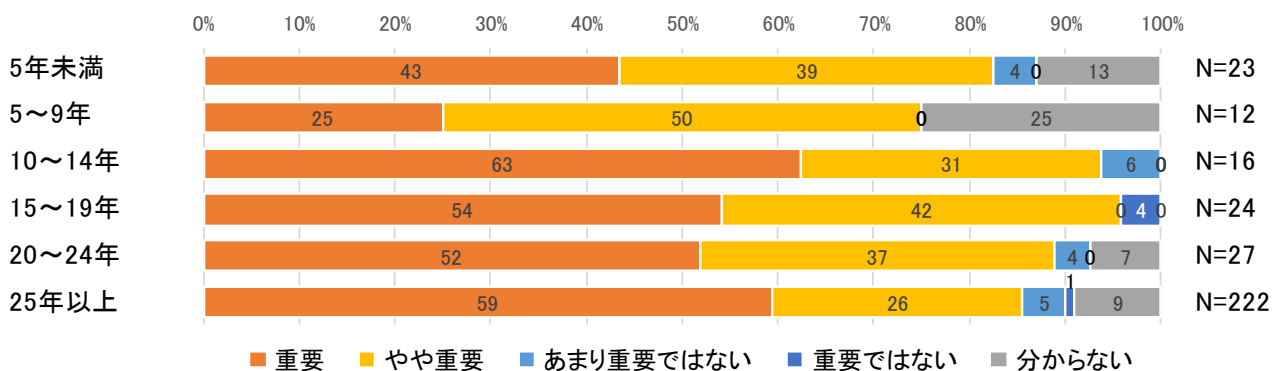
(3) 居住地区別

佐貫エリアで「重要」の回答比率が高くなっている。

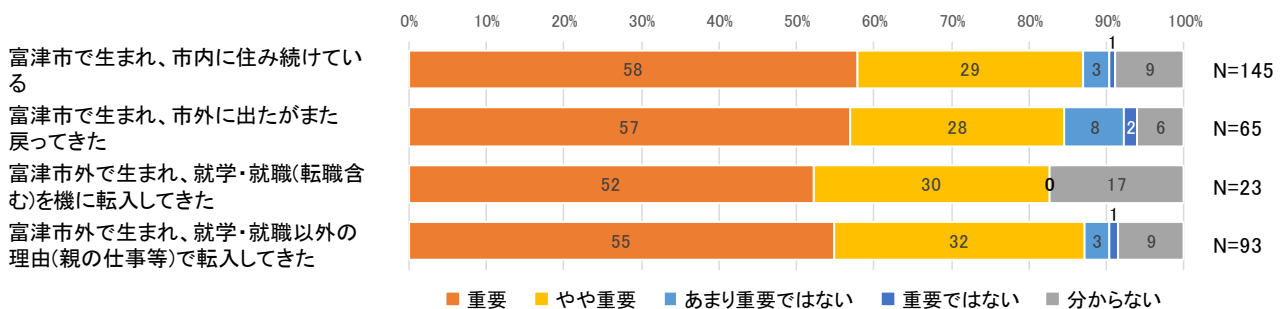


(4) 市内在住年数別

市内在住年数が長いほど「重要」の回答比率が高い傾向になっている。

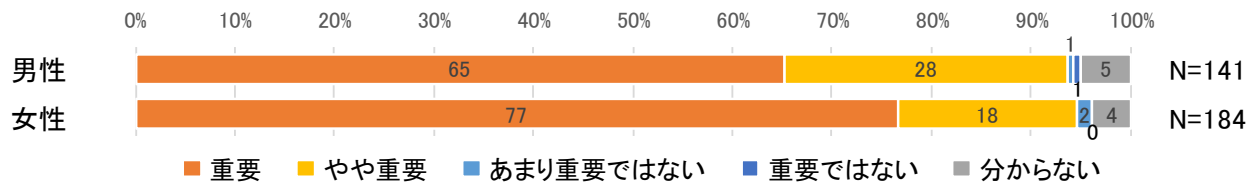


(5) 転入の有無別



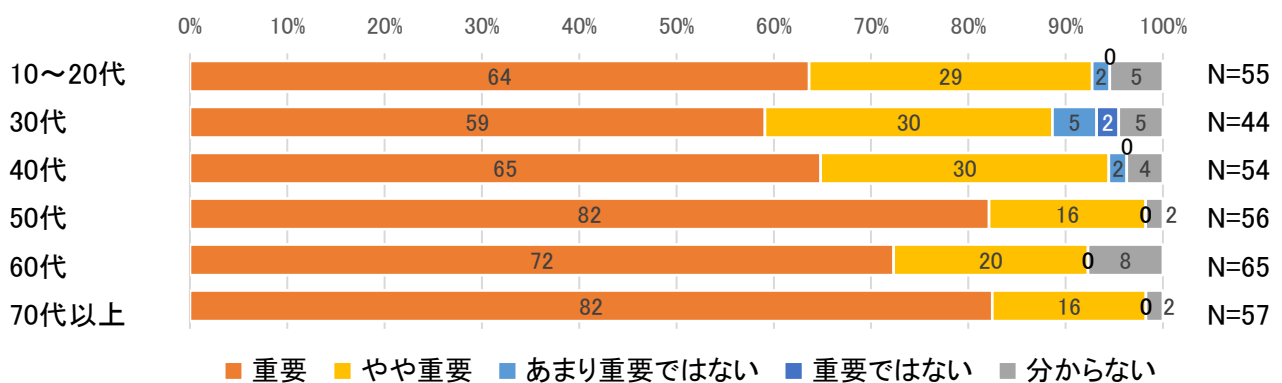
2.4.3.7 医療

(1) 性別

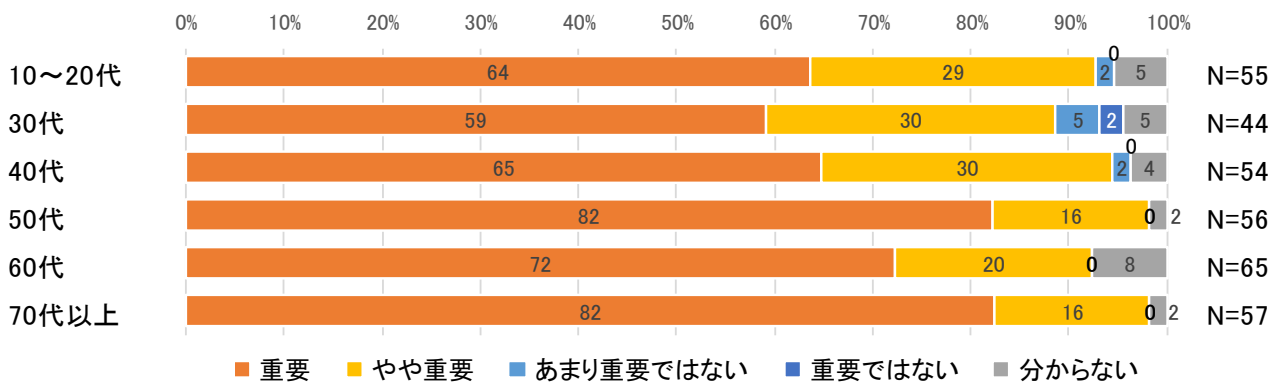


(2) 年齢階層別

上の年代になるほど「重要」の回答比率が高い傾向になっている。

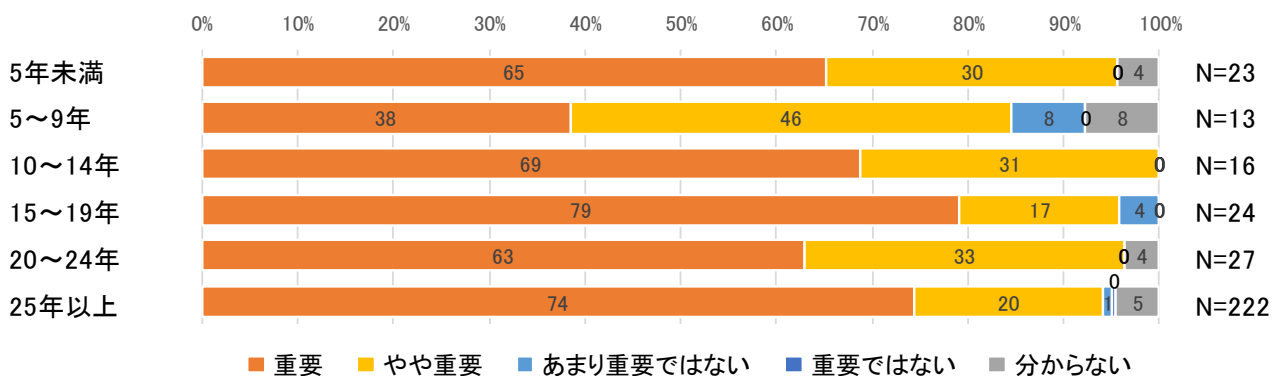


(3) 居住地区別

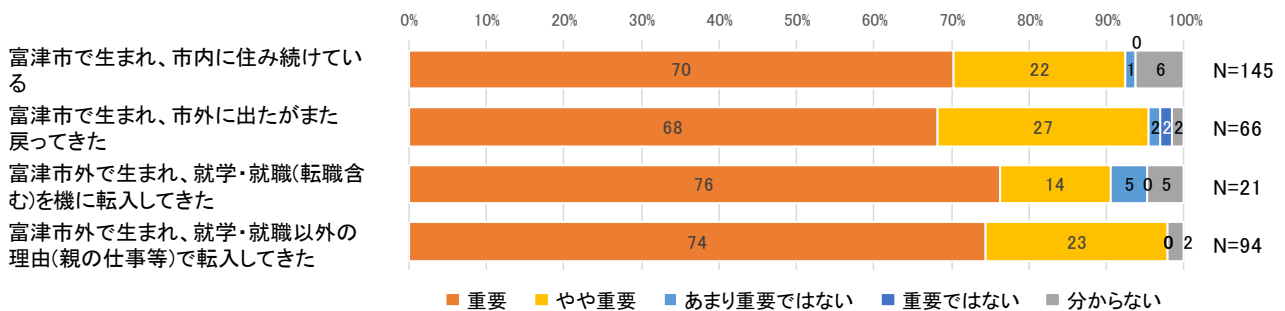


(4) 市内在住年数別

市内在住年数が5～9年の人は比較的「重要」の回答比率が低くなっている。

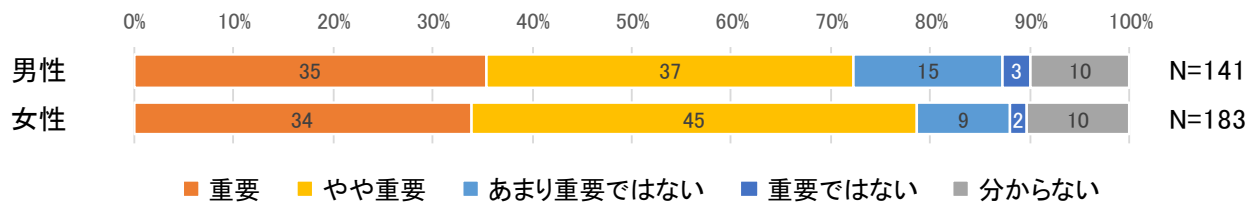


(5) 転入の有無別



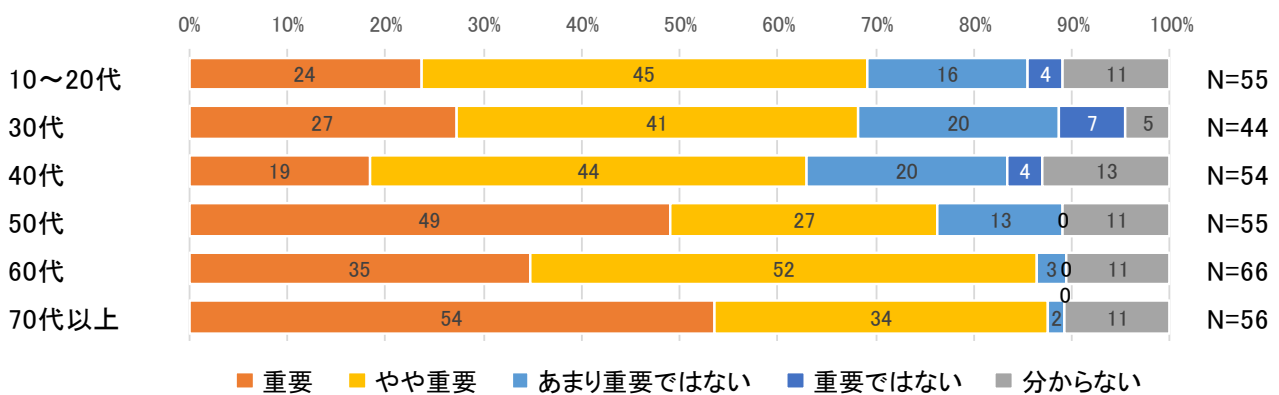
2.4.3.8 健康増進の取組み

(1) 性別

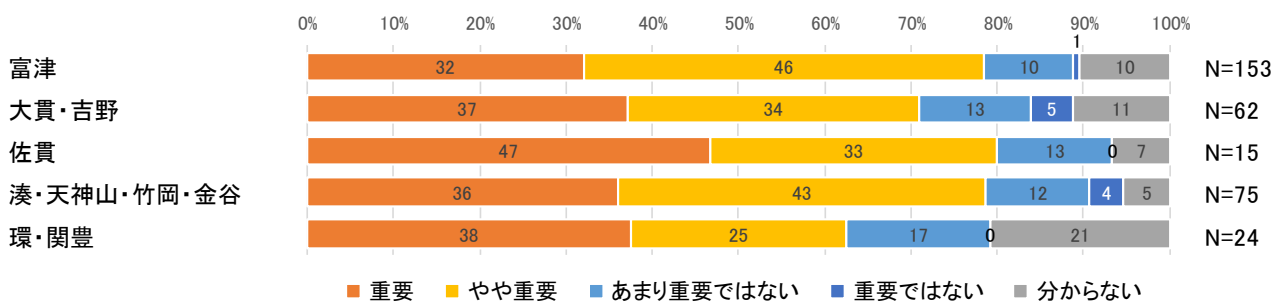


(2) 年齢階層別

上の年代になるほど「重要」の回答比率が高い傾向になっている。

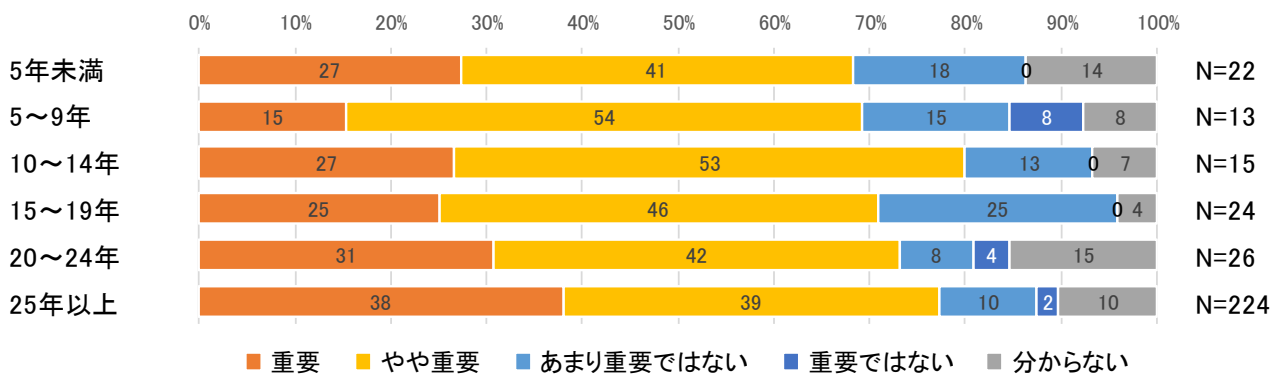


(3) 居住地区別

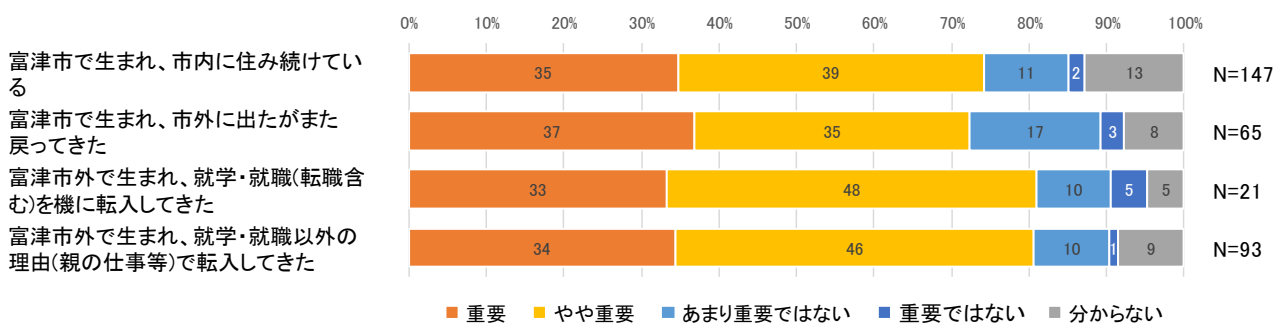


(4) 市内在住年数別

市内在住年数が長いほど比較的「重要」の回答比率が高い傾向になっているが、市内在住年数が5～9年の人は「重要」の回答比率が低くなっている。

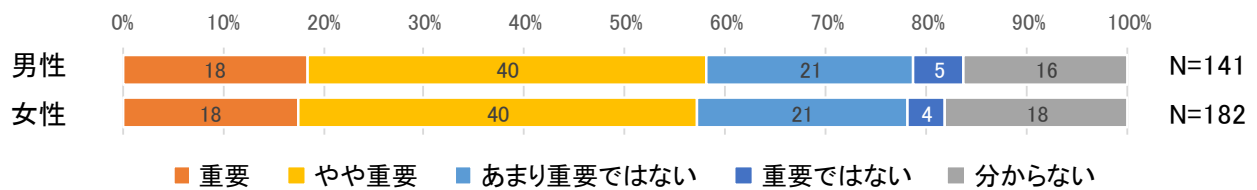


(5) 転入の有無別



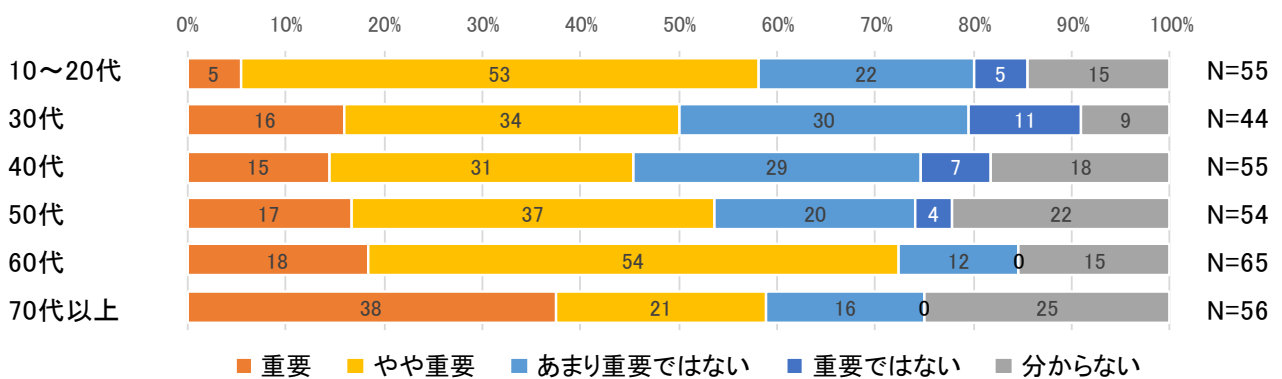
2.4.3.9 市民の交流拠点

(1) 性別

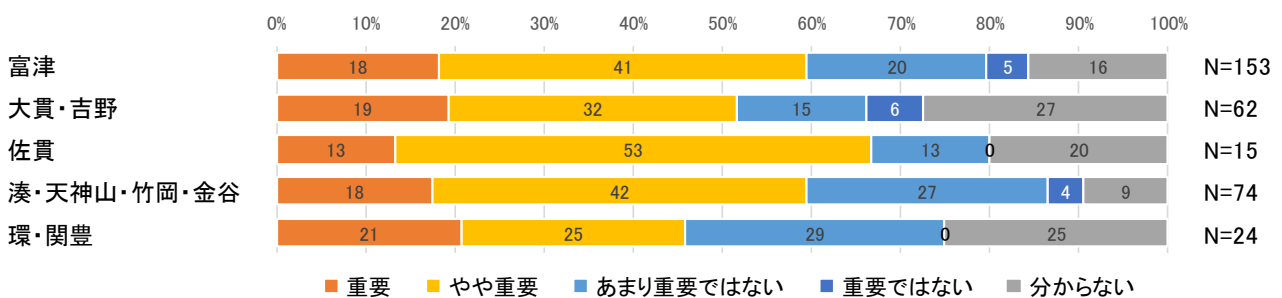


(2) 年齢階層別

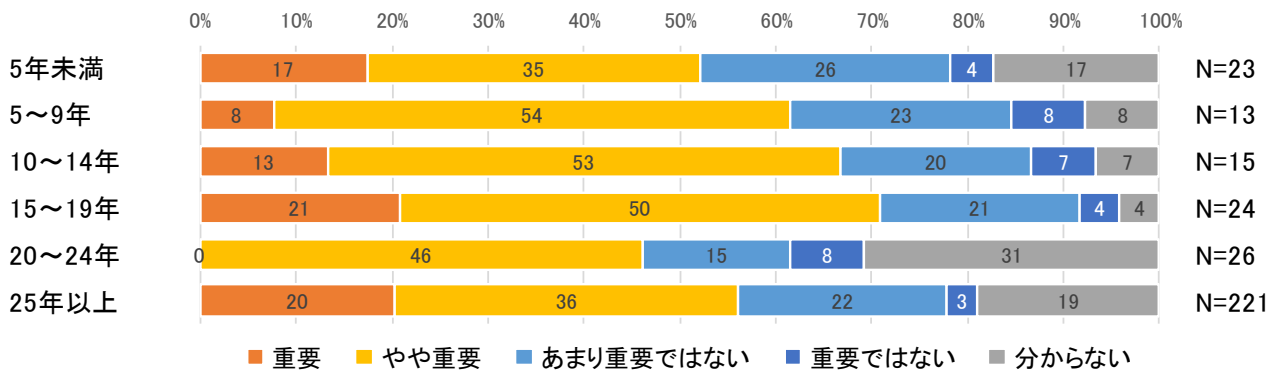
上の年代になるほど「重要」の回答比率が高い傾向になっている。10～20代では「重要」の回答比率が10%以下になっている。



(3) 居住地区別

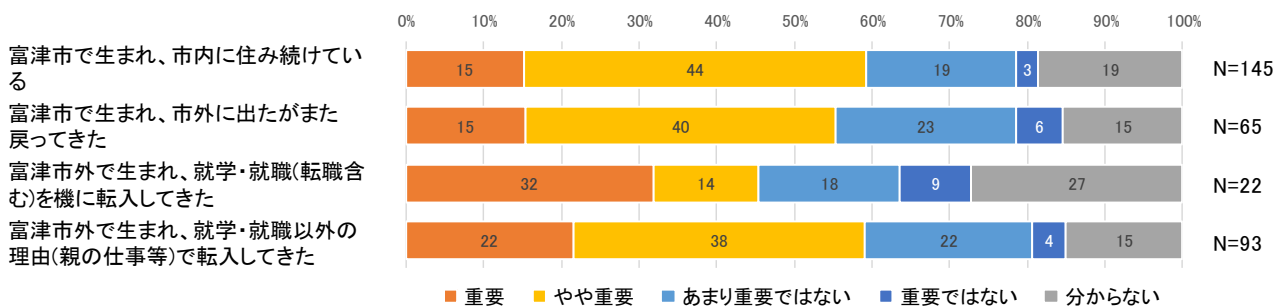


(4) 市内在住年数別



(5) 転入の有無別

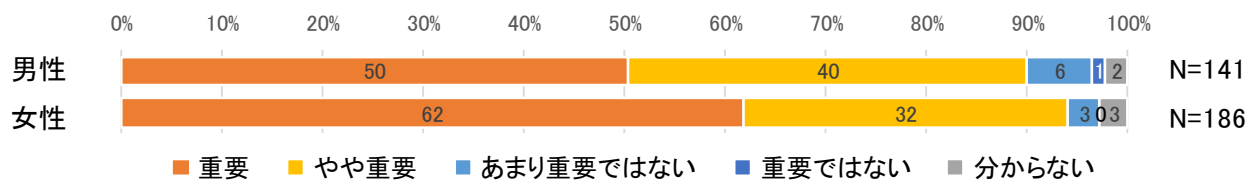
「富津市外で生まれ、就学・就職を機に転入してきた」人で比較的「重要」の回答比率が高くなっている。



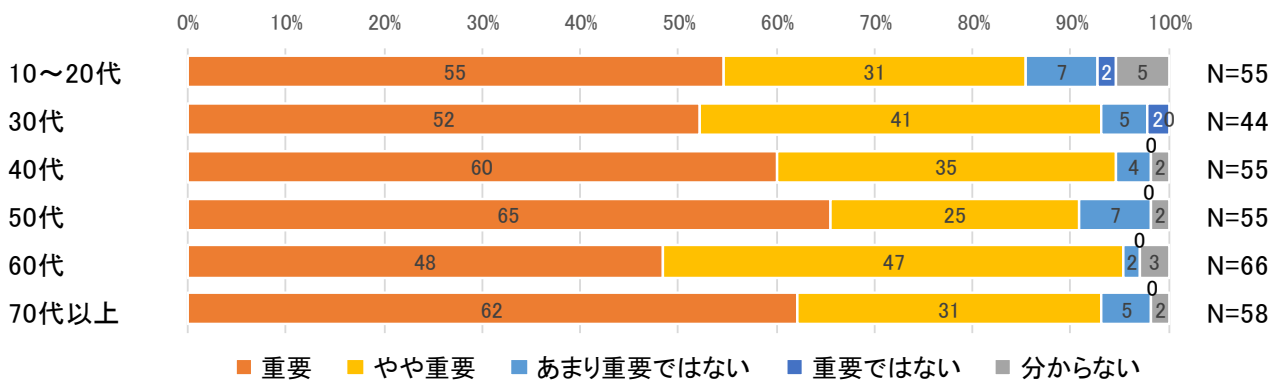
2.4.3.10 買物をする場所

(1) 性別

男性よりも女性のほうが「重要」の回答比率が高くなっている。

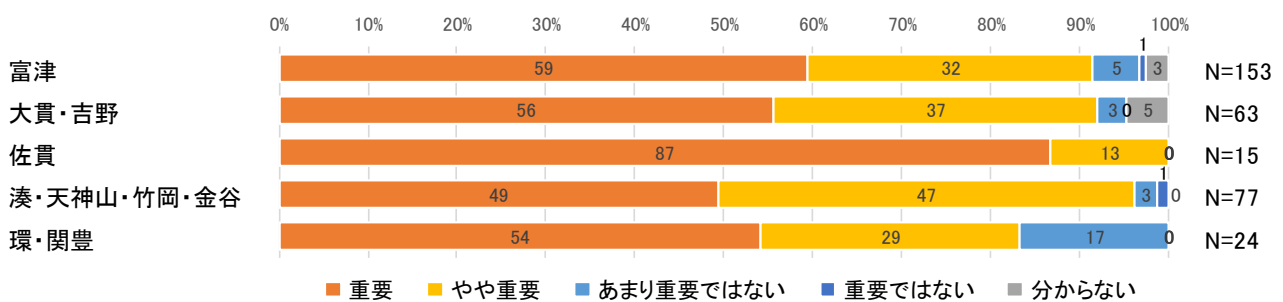


(2) 年齢階層別



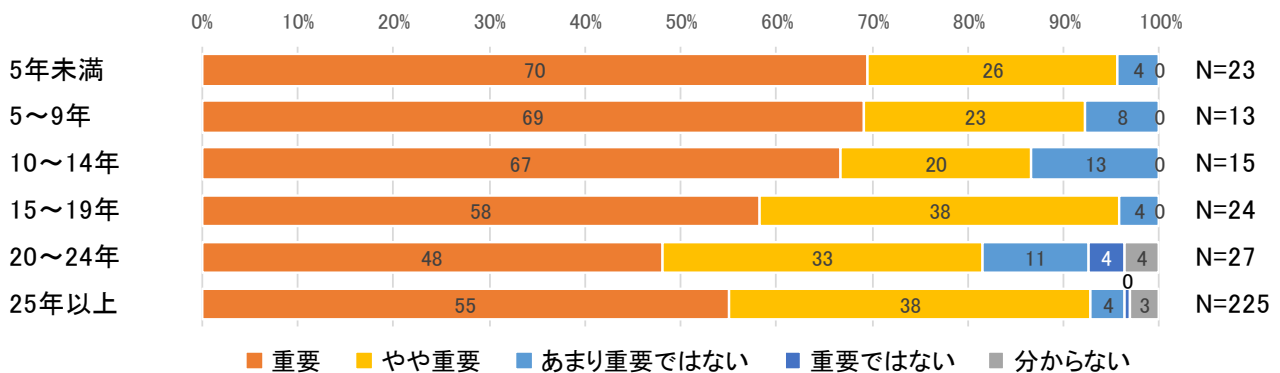
(3) 居住地区別

佐貫エリアで「重要」の回答比率が比較的高くなっている。

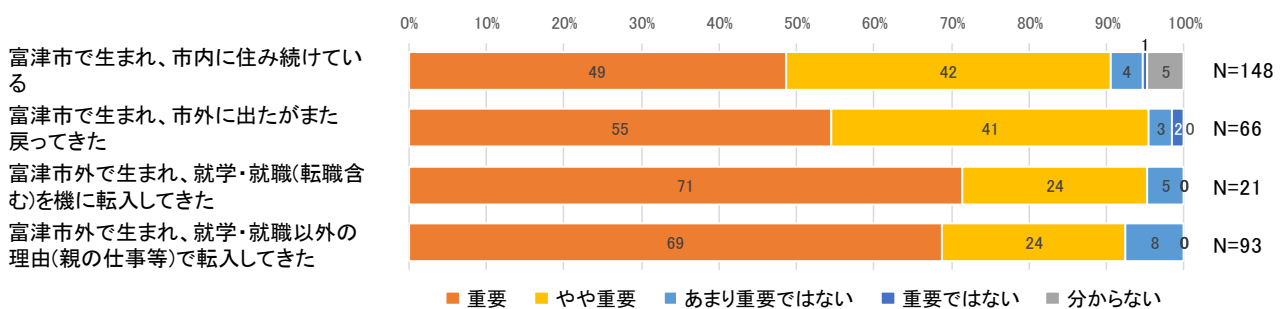


(4) 市内在住年数別

市内在住年数が短いほど「重要」の回答比率が高い傾向になっている。



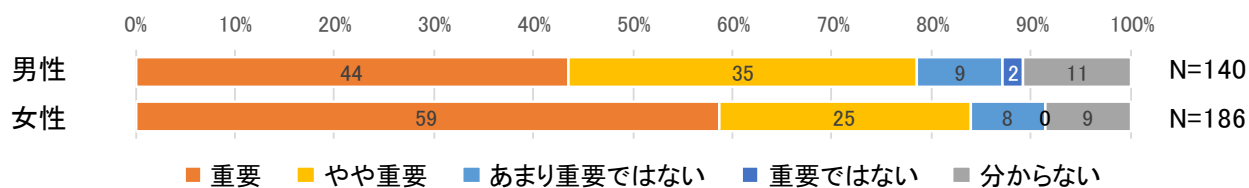
(5) 転入の有無別



2.4.3.11 働く場所の創出

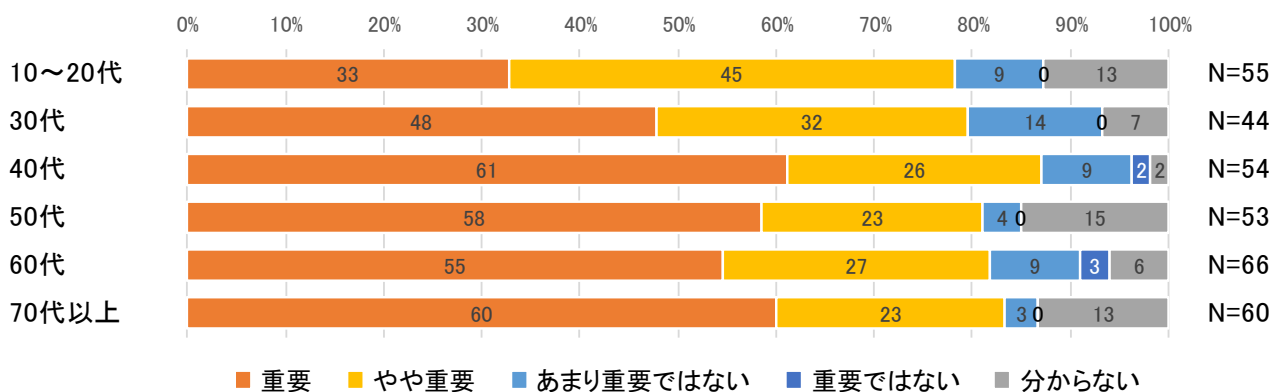
(1) 性別

男性よりも女性のほうが「重要」の回答比率が高くなっている。

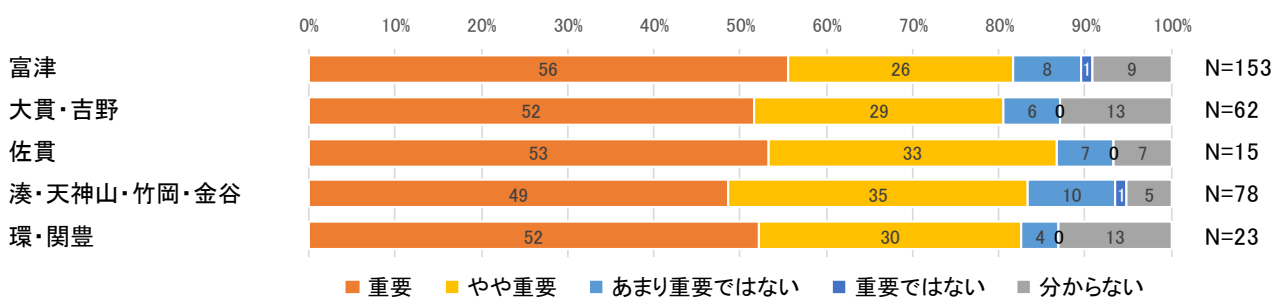


(2) 年齢階層別

上の年代になるほど「重要」の回答比率が高い傾向になっている。

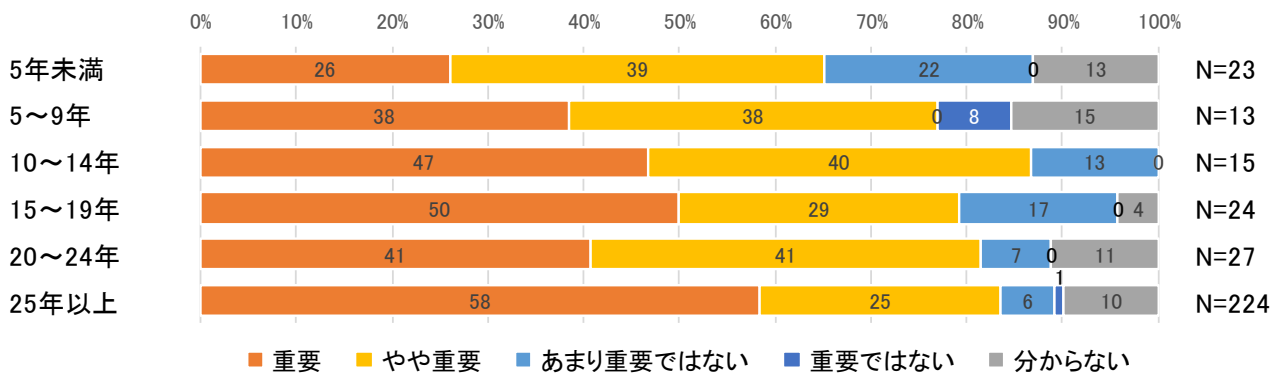


(3) 居住地区別

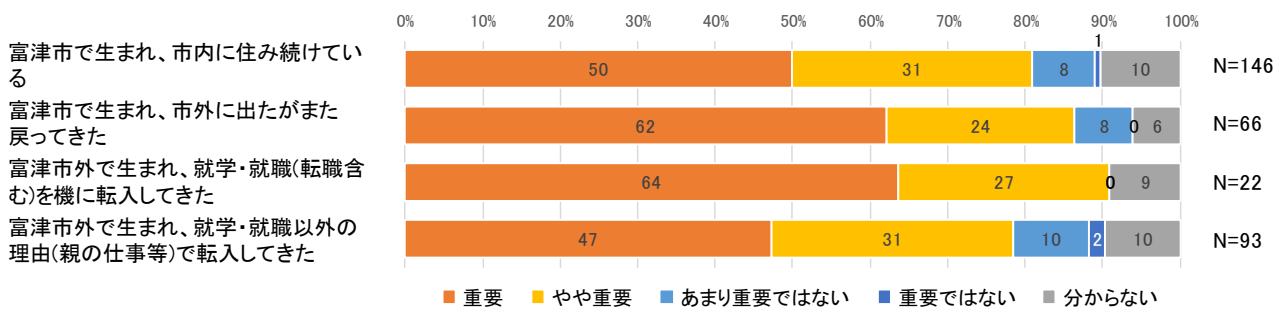


(4) 市内在住年数別

市内在住年数が長いほど「重要」の回答比率が高い傾向になっている。

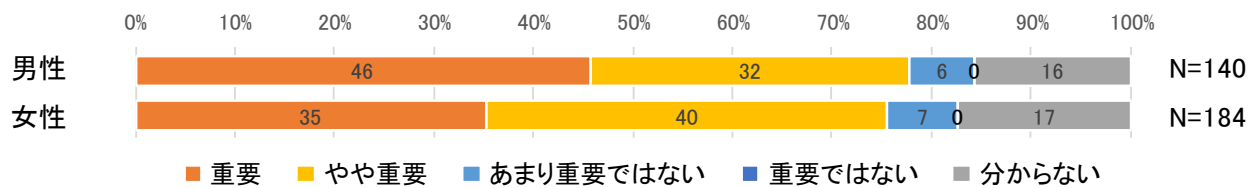


(5) 転入の有無別



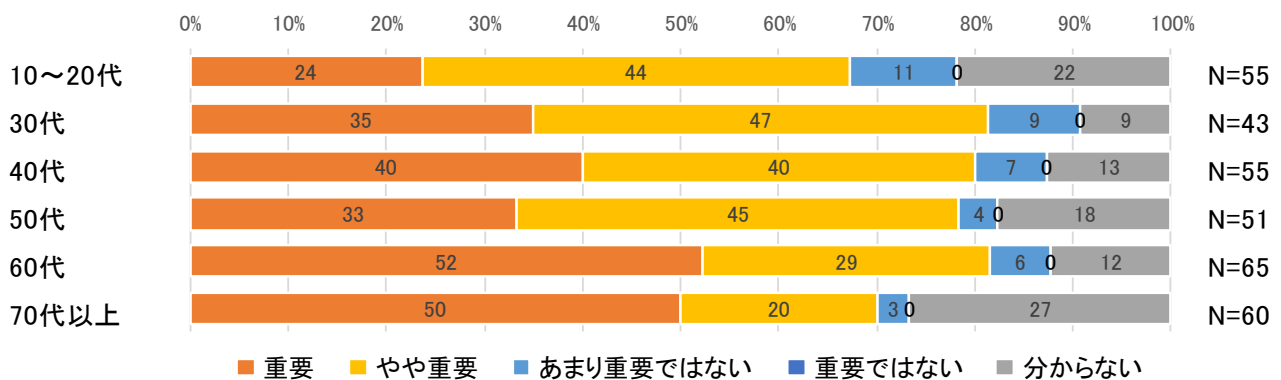
2.4.3.12 地場産業の育成

(1) 性別



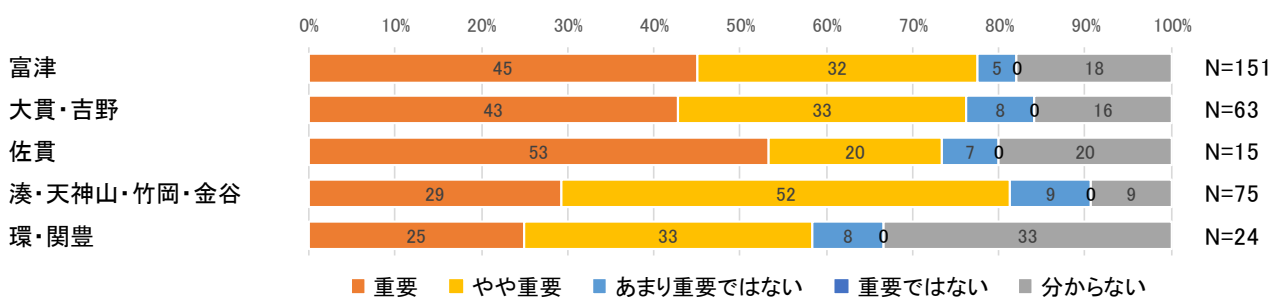
(2) 年齢階層別

上の年代になるほど「重要」の回答比率が高い傾向になっている。

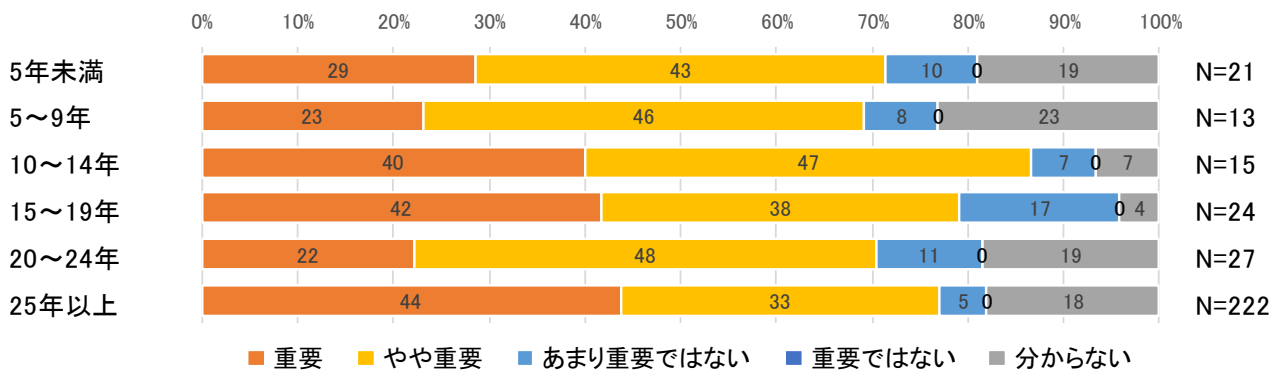


(3) 居住地区別

湊・天神山・竹岡・金谷エリアや環・関豊エリアで「重要」の回答比率が低くなっている。

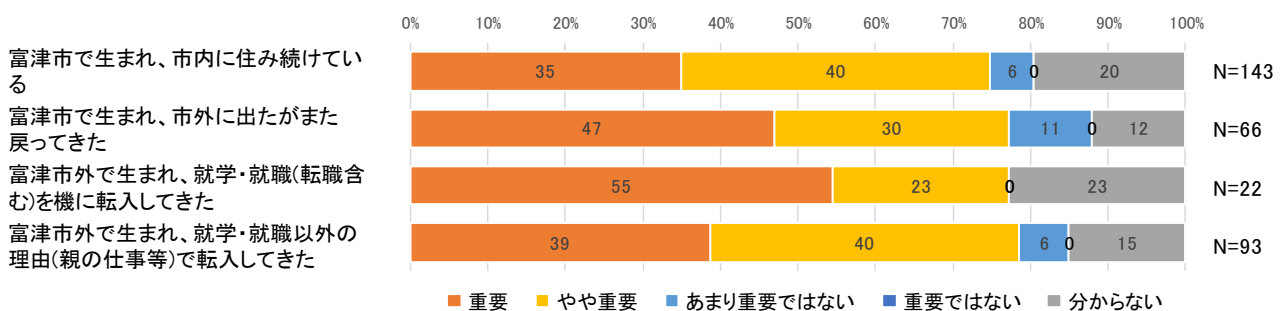


(4) 市内在住年数別



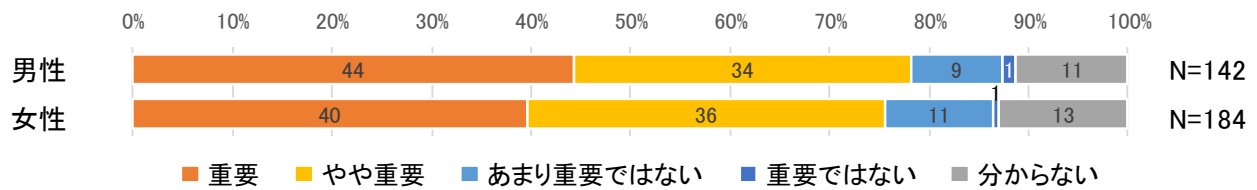
(5) 転入の有無別

「富津市外で生まれ、就学・就職を機に転入してきた」人で「重要」の回答比率が比較的高くなっている。

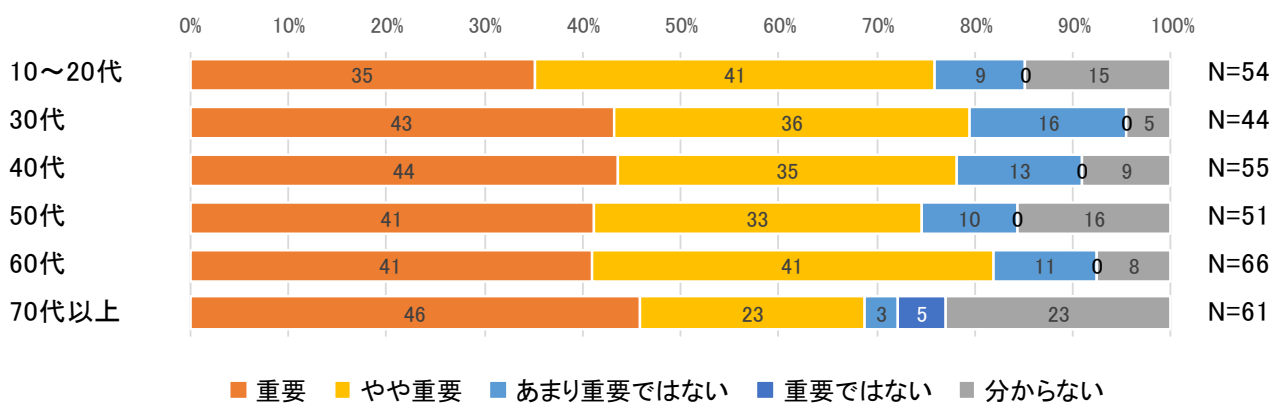


2.4.3.13 観光産業の振興

(1) 性別

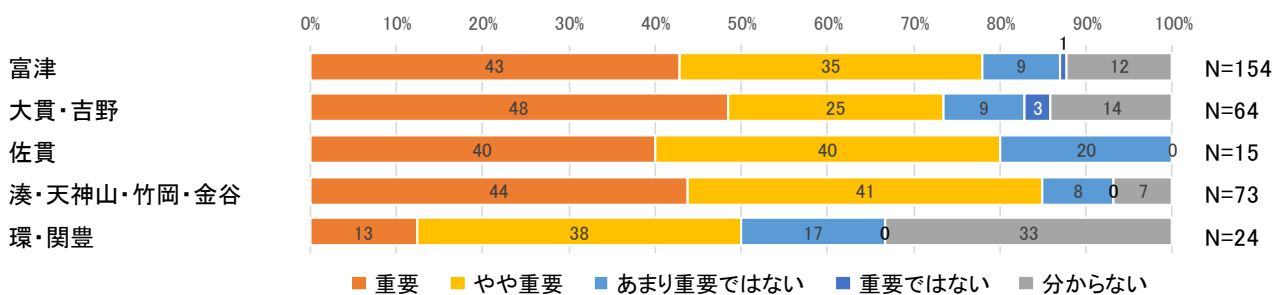


(2) 年齢階層別



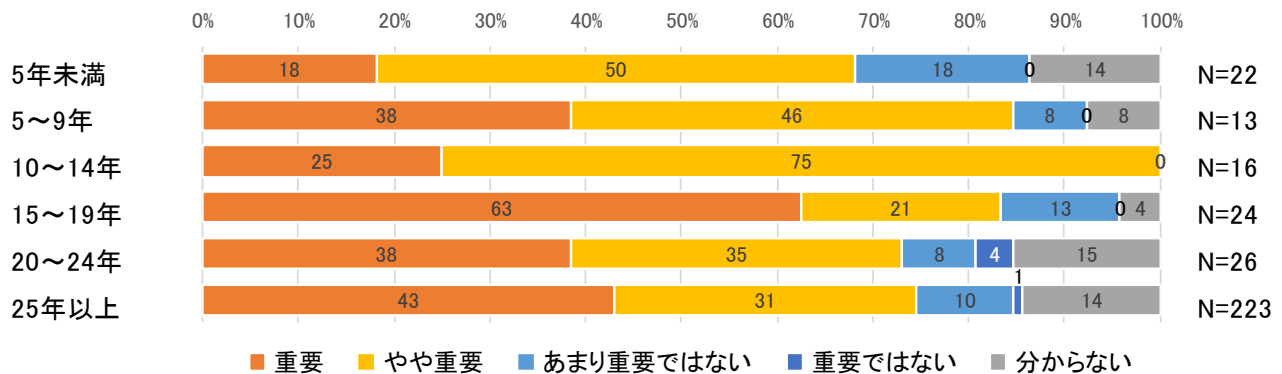
(3) 居住地区別

環・関豊エリアでは重要度が低くなっている。

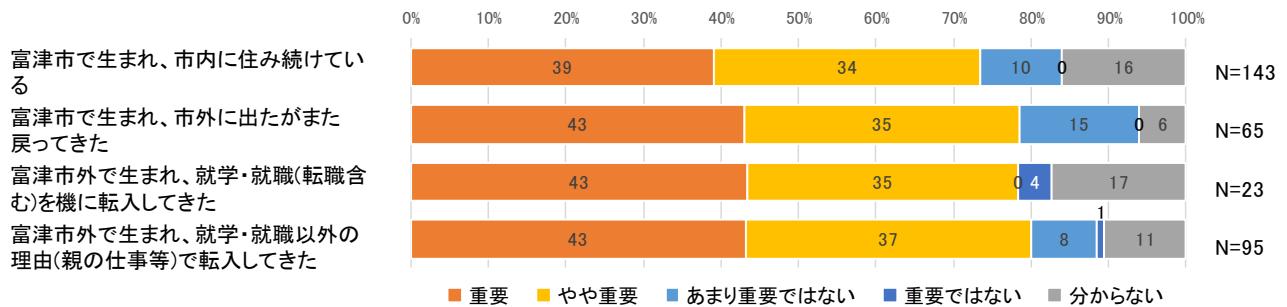


(4) 市内在住年数別

市内在住年数が15～19年の人で特に「重要」の回答比率が高くなっている。

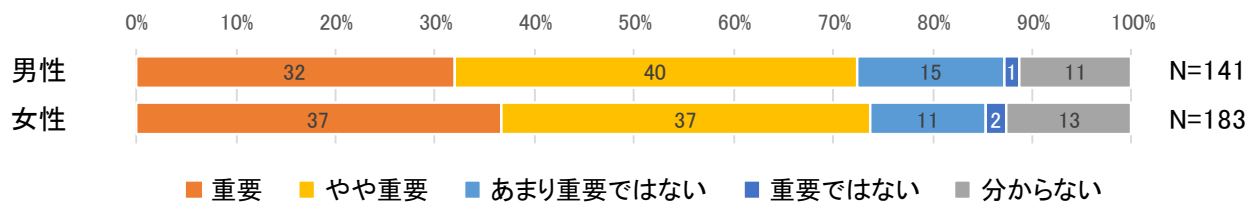


(5) 転入の有無別



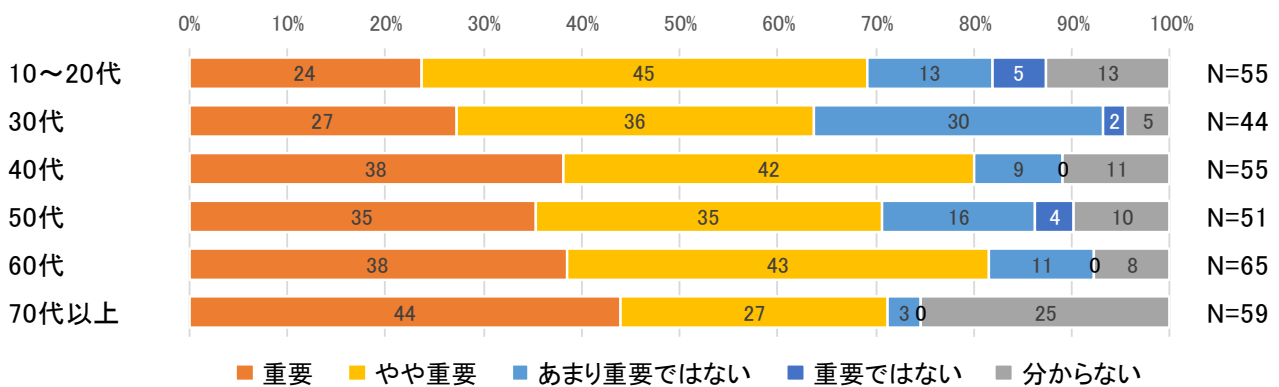
2.4.3.14 地域情報の発信

(1) 性別

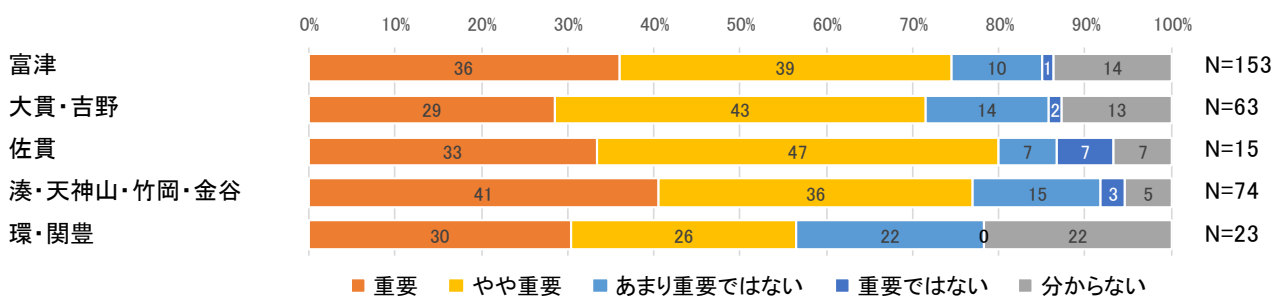


(2) 年齢階層別

上の年代になるほど「重要」の回答比率が高い傾向になっている。

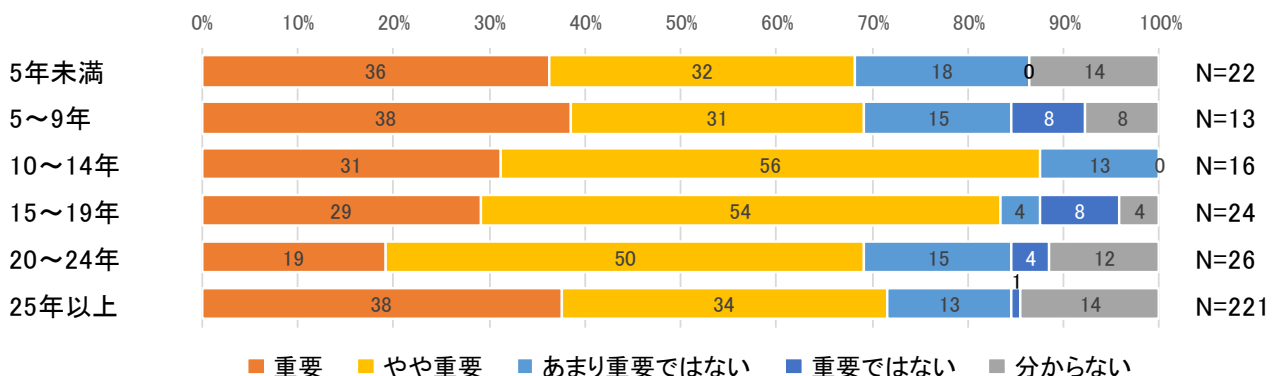


(3) 居住地区別



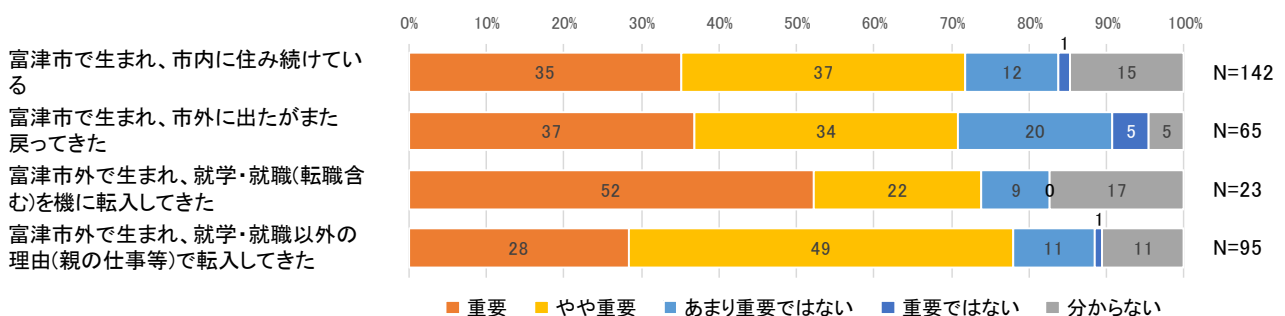
(4) 市内在住年数別

市内在住年数が 20～24 年の人で「重要」の回答比率が比較的低くなっている。



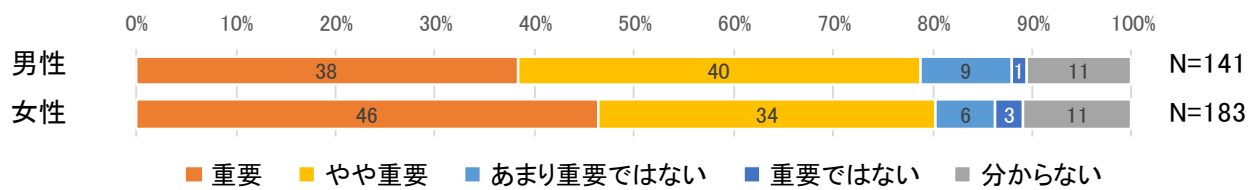
(5) 転入の有無別

「富津市外で生まれ、就学・就職を機に転入してきた」人で「重要」の回答比率が比較的高くなっている。



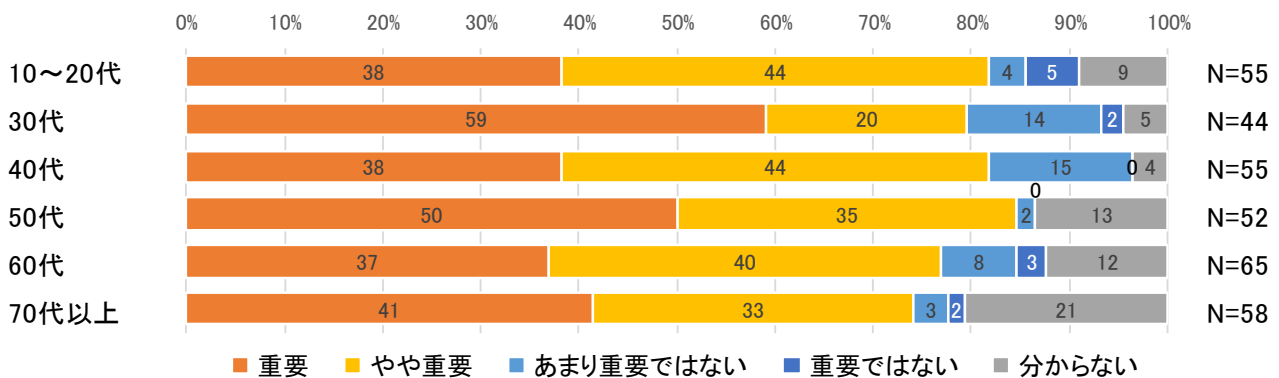
2.4.3.15 仕事と生活の調和

(1) 性別

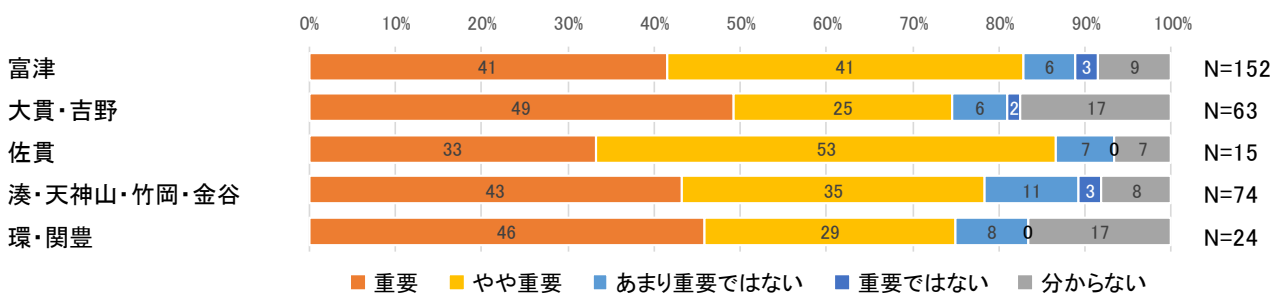


(2) 年齢階層別

30代で「重要」の回答比率が比較的高くなっている。

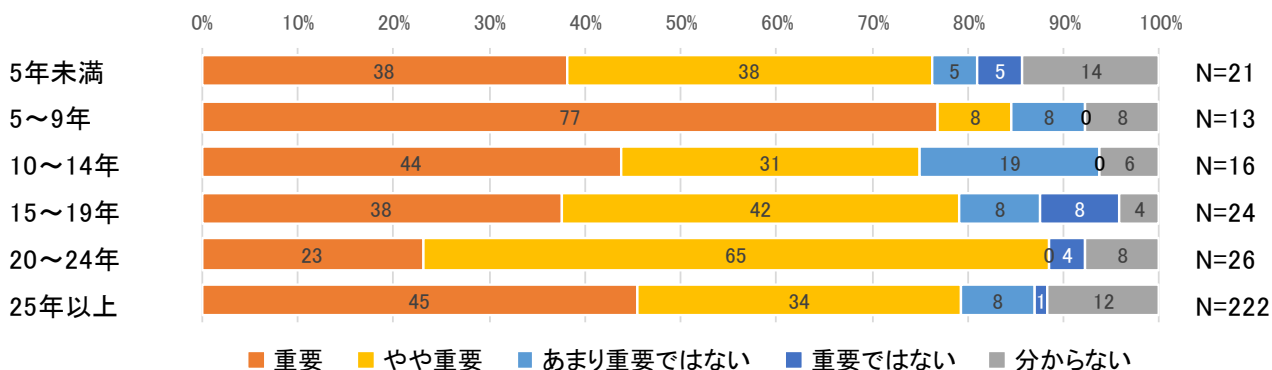


(3) 居住地区別



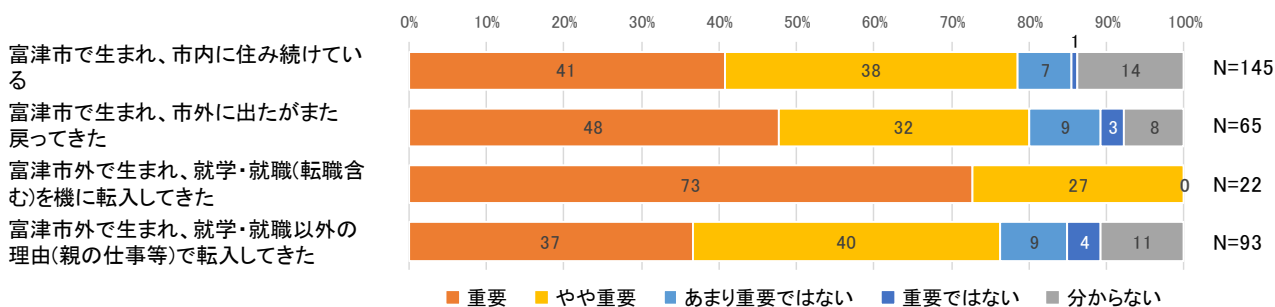
(4) 市内在住年数別

市内在住年数が5～9年の人では「重要」の回答比率が高くなっている。



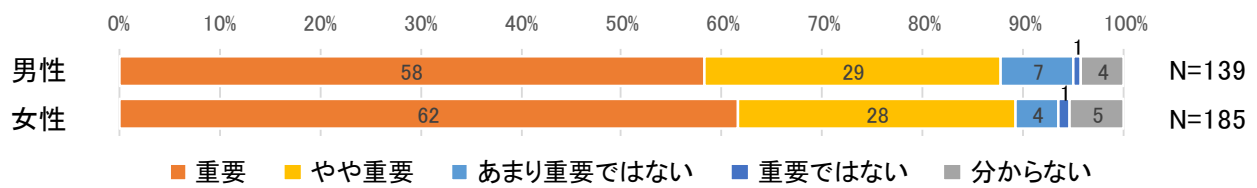
(5) 転入の有無別

「富津市外で生まれ、就学・就職を機に転入してきた」人で「重要」の回答比率が比較的高くなっている。

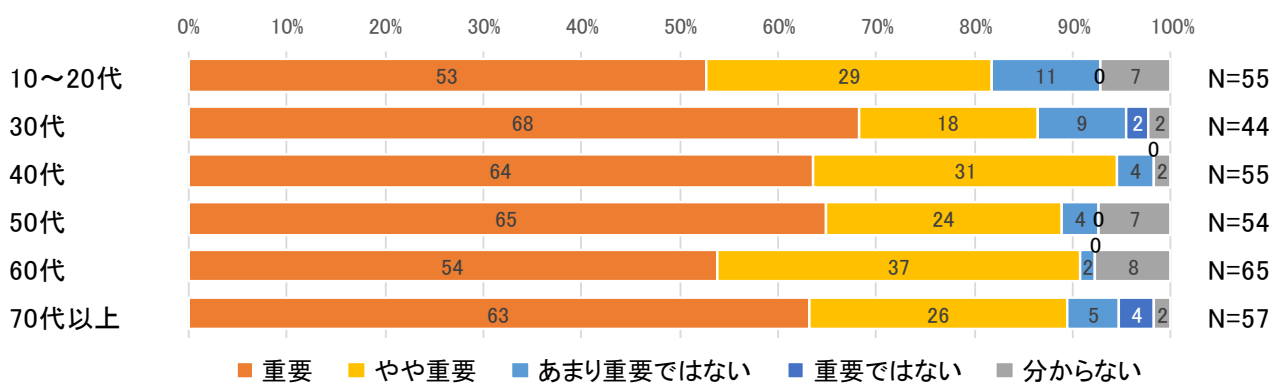


2.4.3.16 住む場所

(1) 性別

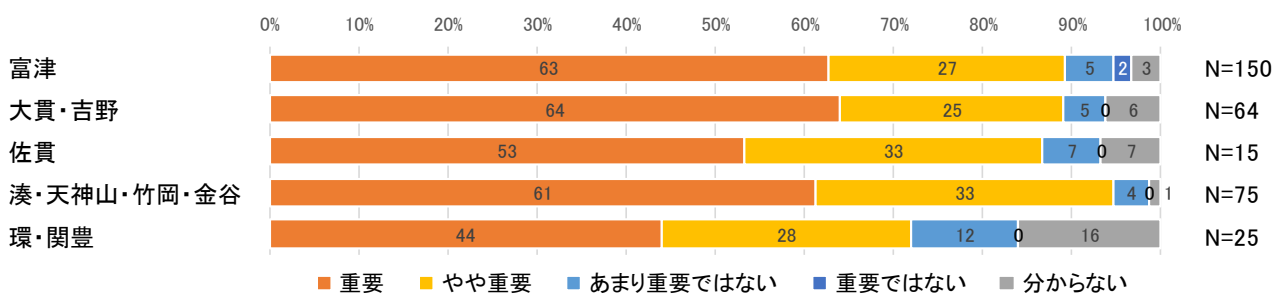


(2) 年齢階層別



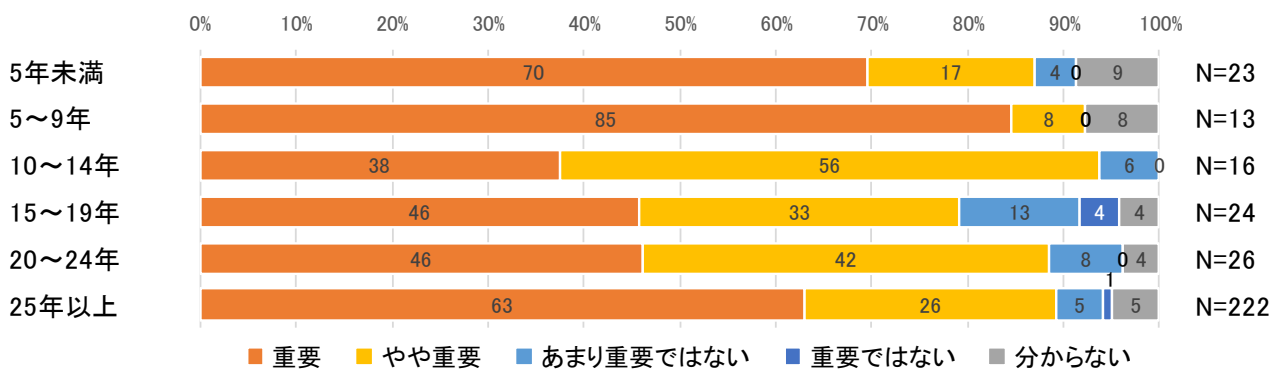
(3) 居住地区別

環・関豊エリアでは重要度が比較的低くなっている。



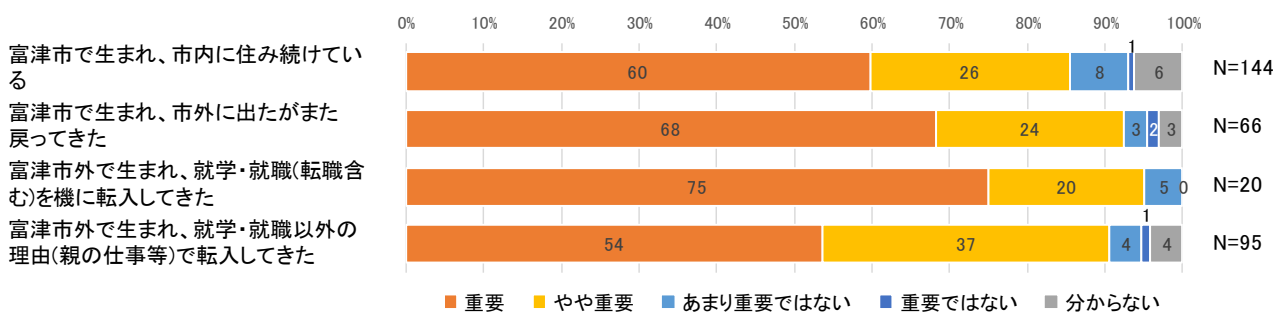
(4) 市内在住年数別

市内在住年数が10年未満の人で「重要」の回答比率が高くなっている。



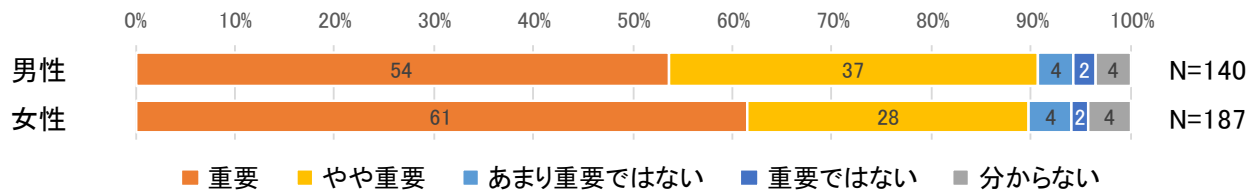
(5) 転入の有無別

「富津市外で生まれ、就学・就職以外の理由で転入してきた」人で「重要」の回答比率が比較的小さくなっている。

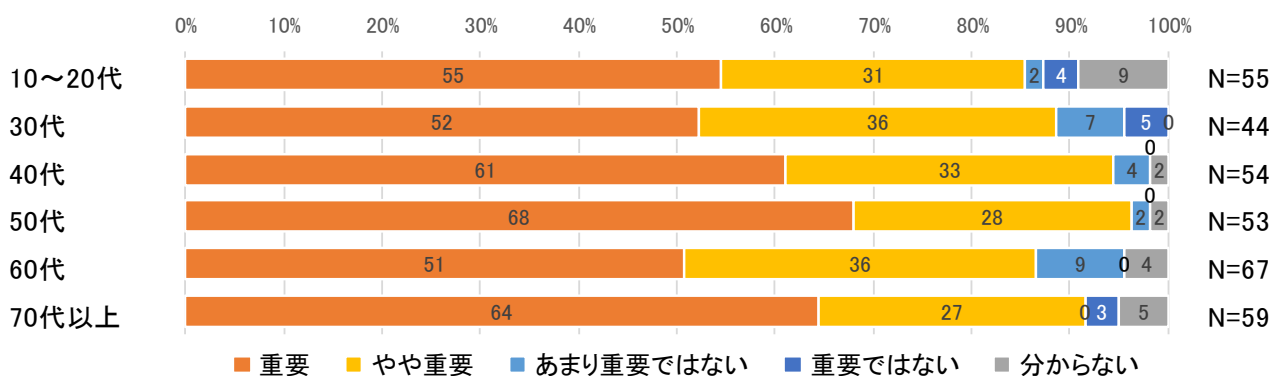


2.4.3.17 道路の整備

(1) 性別

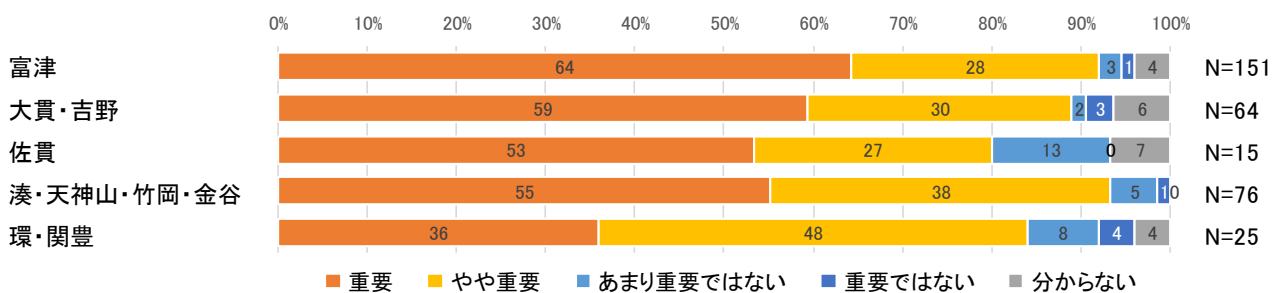


(2) 年齢階層別



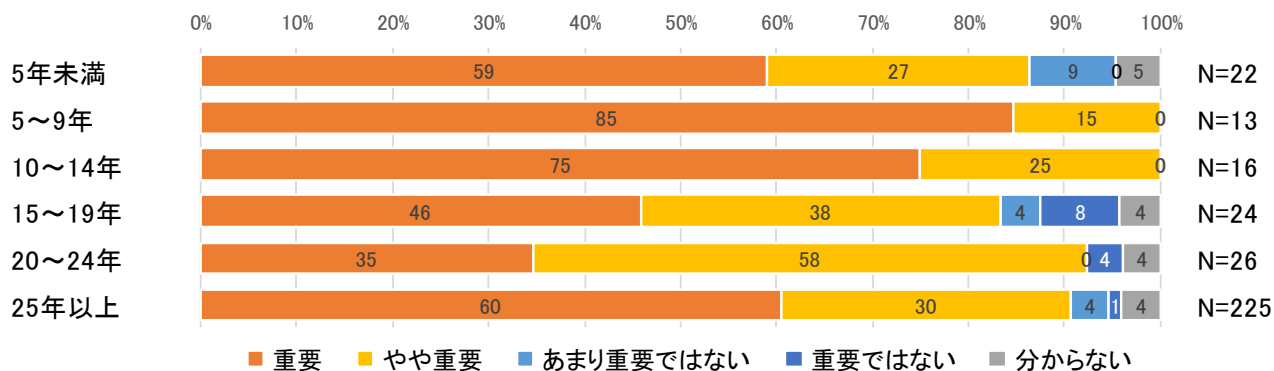
(3) 居住地区別

環・関豊エリアでは「重要」の回答比率が比較的低くなっている。



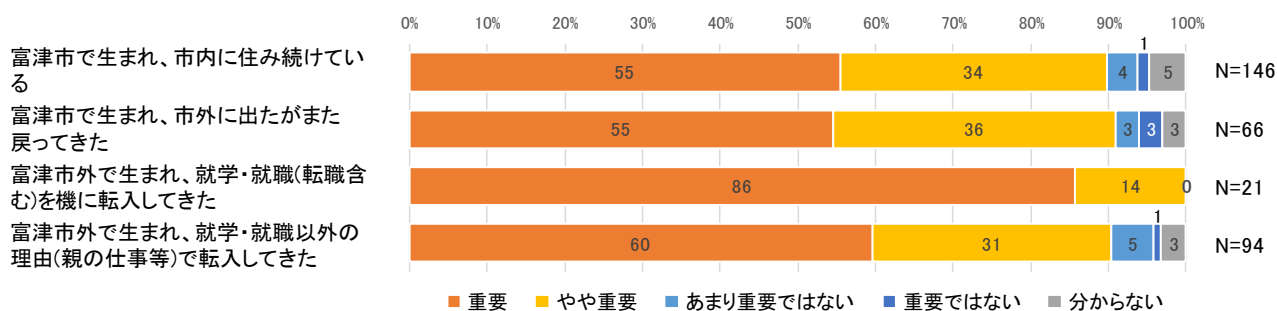
(4) 市内在住年数別

市内在住年数が 20～24 年の人は「重要」の回答比率が比較的小さくなっている。



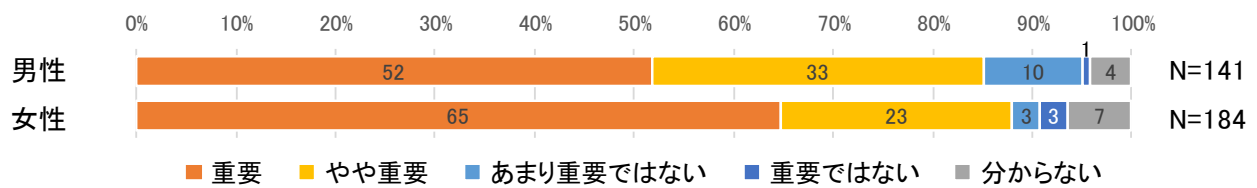
(5) 転入の有無別

「富津市外で生まれ、就学・就職を機に転入してきた」人で「重要」の回答比率が比較的高くなっている。



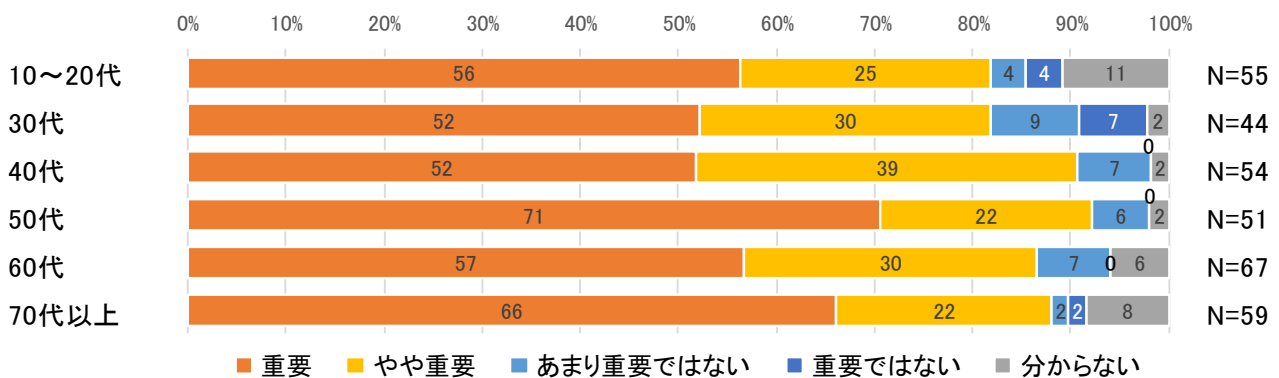
2.4.3.18 公共交通網の整備

(1) 性別



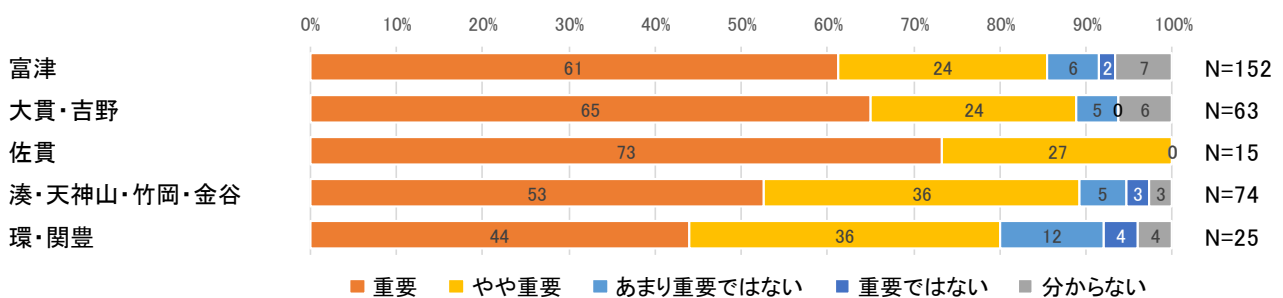
(2) 年齢階層別

50代以上の方は「重要」の回答比率が比較的高くなっている。

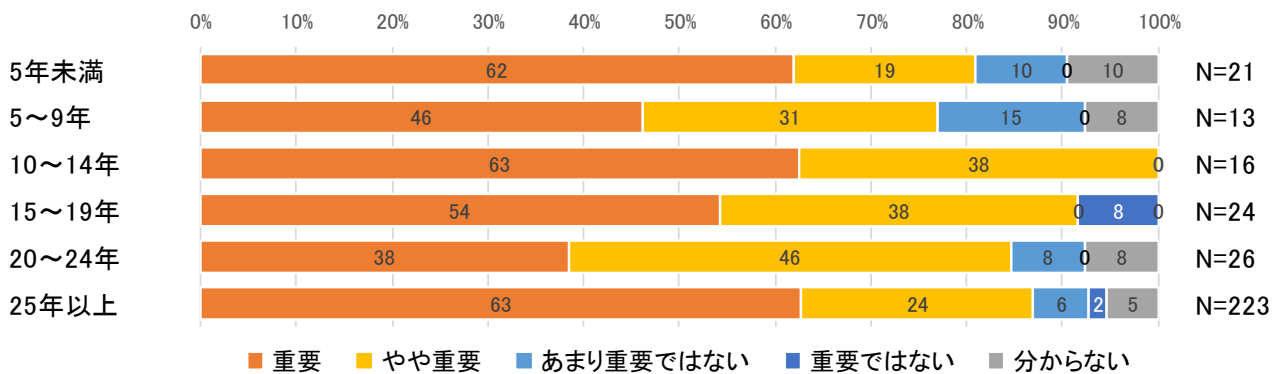


(3) 居住地区別

佐貫エリアでの重要度が特に高い。一方で、環・関豊エリアや湊・天神山・竹岡・金谷エリアでは「重要」の回答比率が比較的低くなっている。

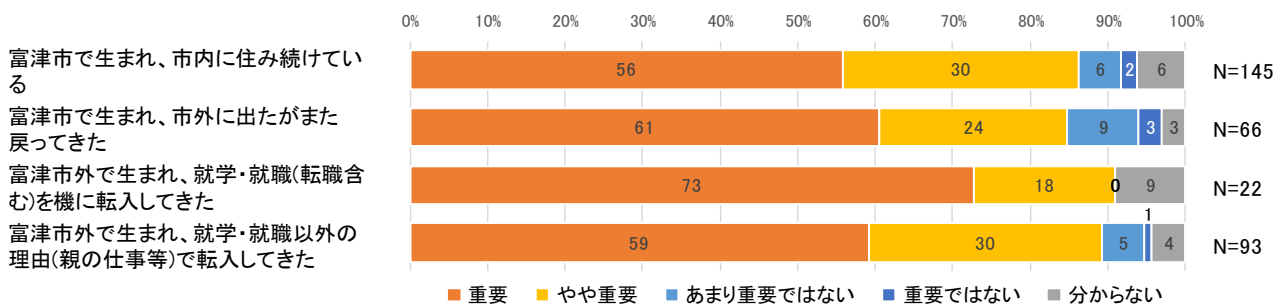


(4) 市内在住年数別



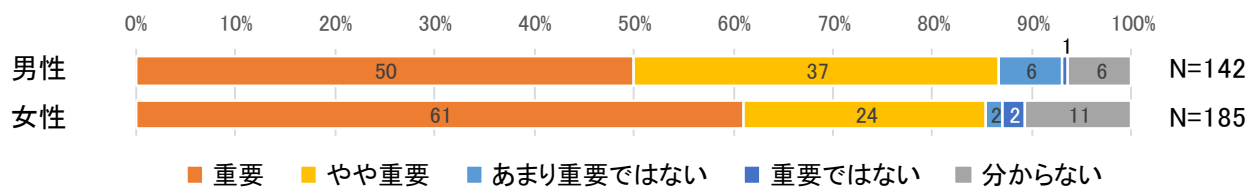
(5) 転入の有無別

「富津市外で生まれ、就学・就職を機に転入してきた」人で「重要」の回答比率が比較的高くなっている。



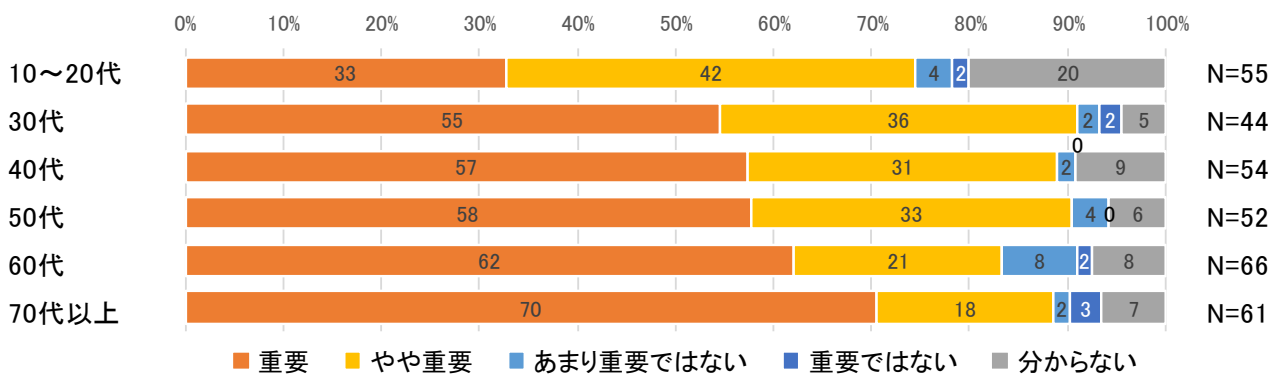
2.4.3.19 上下水道の整備

(1) 性別

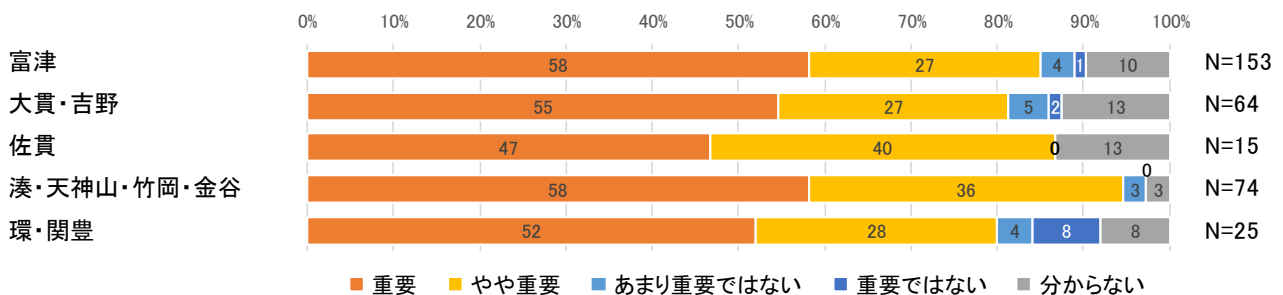


(2) 年齢階層別

上の年代になるほど「重要」の回答比率が高い傾向になっている。

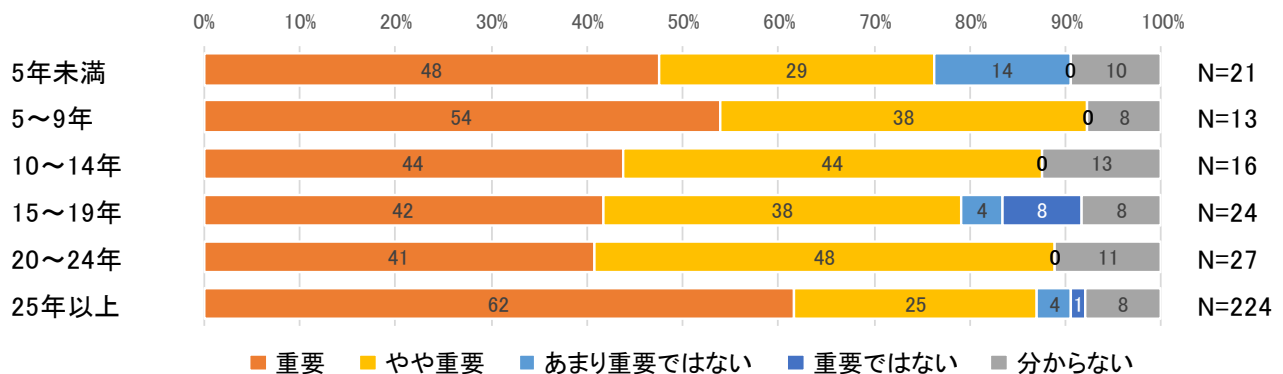


(3) 居住地区別

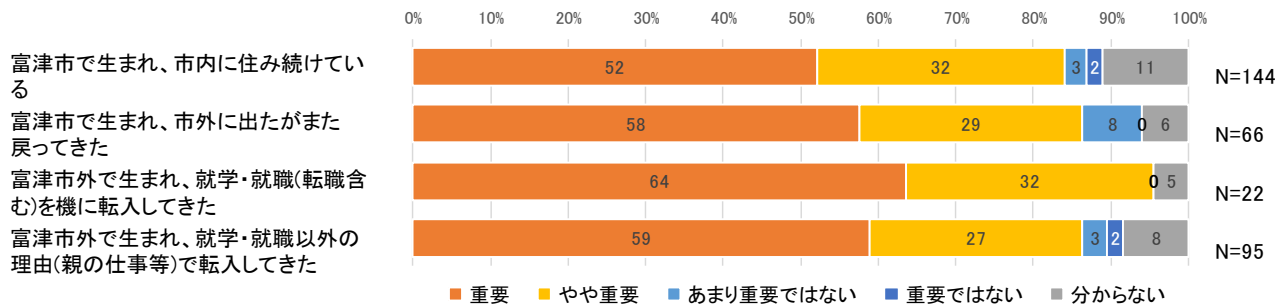


(4) 市内在住年数別

市内在住年数が25年以上の人は「重要」の回答比率が比較的高くなっている。

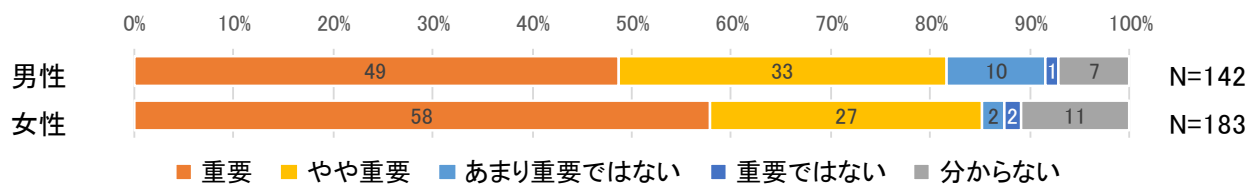


(5) 転入の有無別



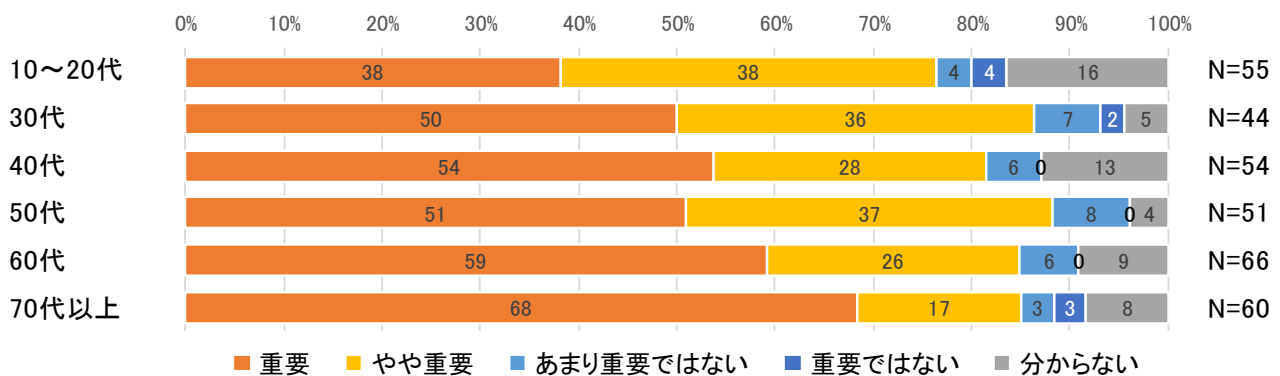
2.4.3.20 下水道・排水路の整備

(1) 性別



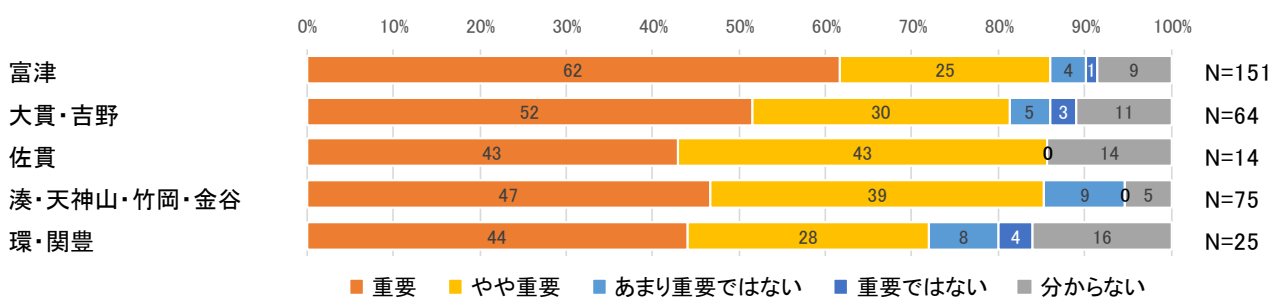
(2) 年齢階層別

上の年代になるほど「重要」の回答比率が高い傾向になっている。



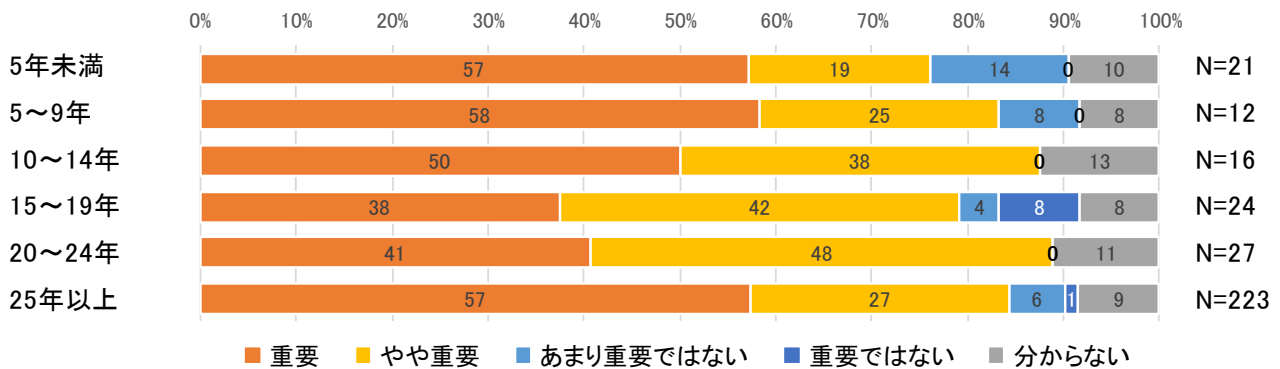
(3) 居住地区別

富津エリアで「重要」の回答比率が比較的高くなっている。

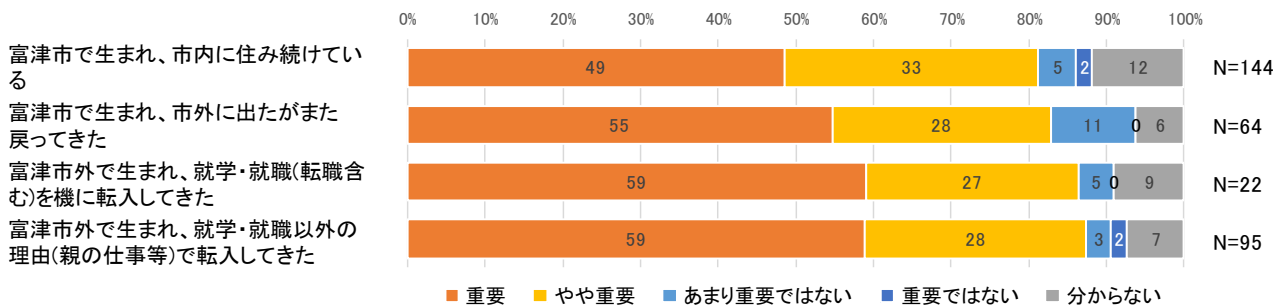


(4) 市内在住年数別

市内在住年数が15～24年の人は「重要」の回答比率が比較的低くなっている。

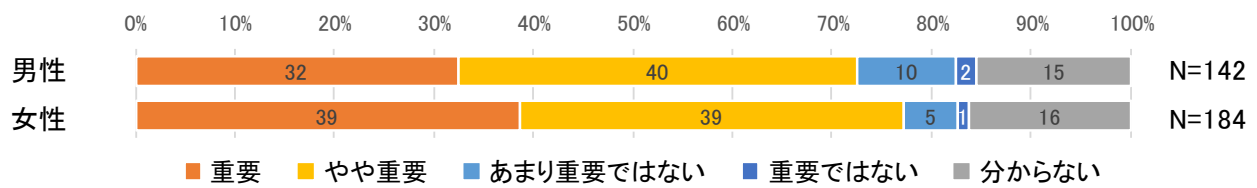


(5) 転入の有無別



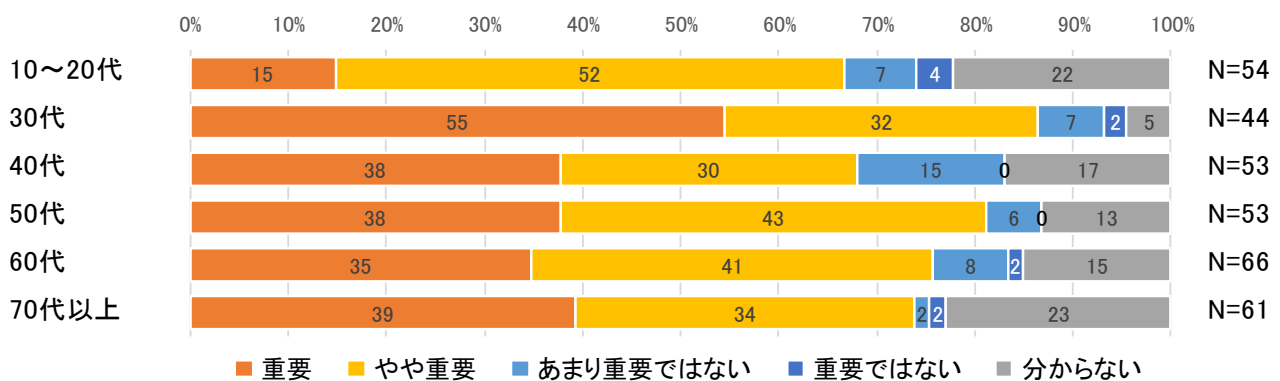
2.4.3.21 有害鳥獣対策

(1) 性別



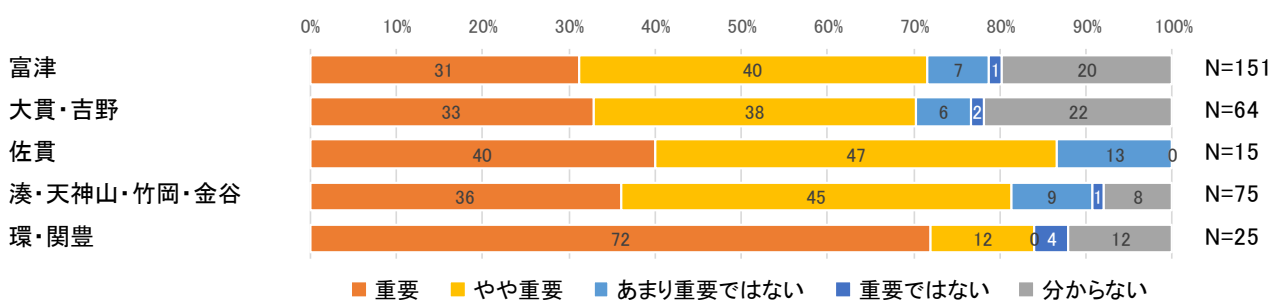
(2) 年齢階層別

10～20代では「重要」の回答比率が低くなっている。



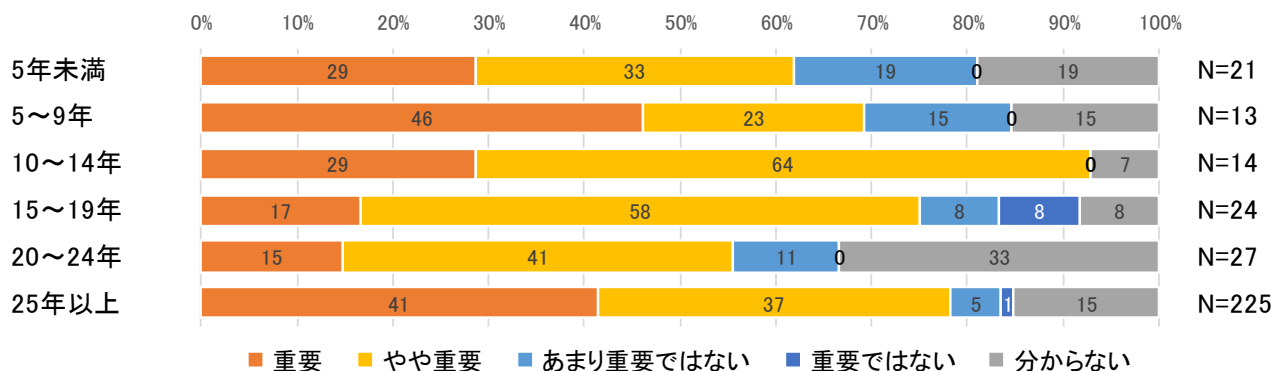
(3) 居住地区別

環・関豊エリアでは「重要」の回答比率が高くなっている。

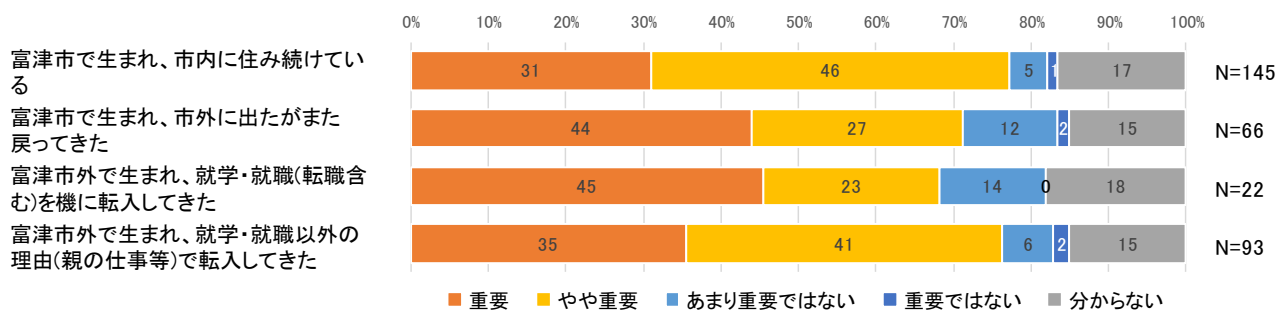


(4) 市内在住年数別

市内在住年数が 5～9 年や 25 年以上の人では「重要」の回答比率が比較的高くなっている。

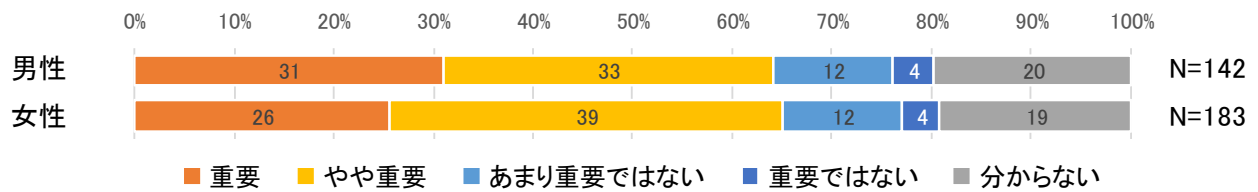


(5) 転入の有無別



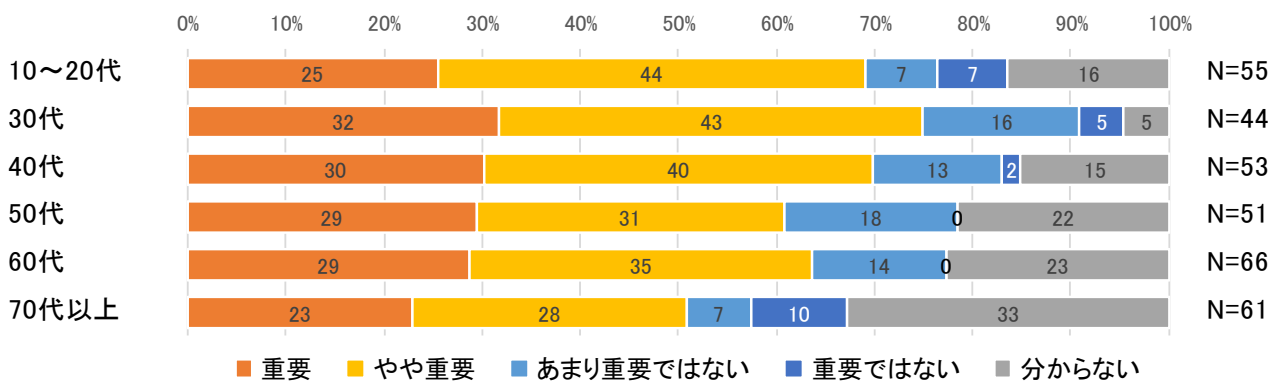
2.4.3.22 デジタル化

(1) 性別

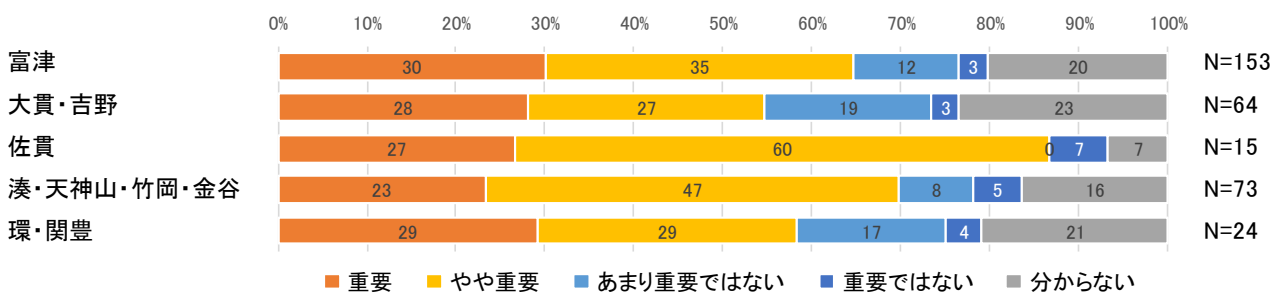


(2) 年齢階層別

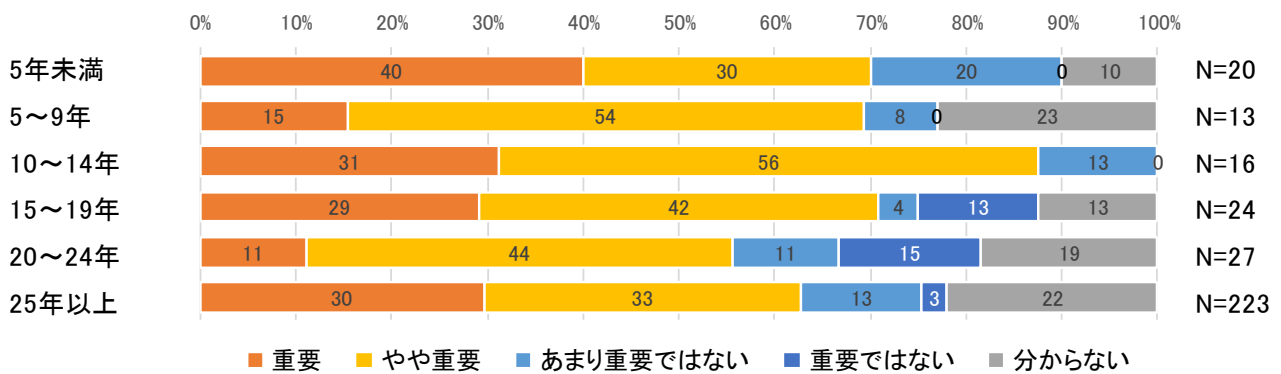
若い世代であるほど重要度が高い傾向になっている。



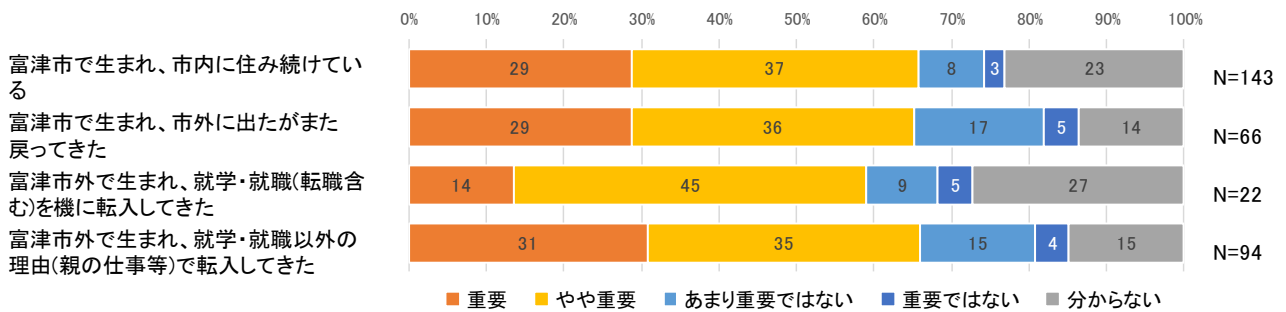
(3) 居住地区別



(4) 市内在住年数別



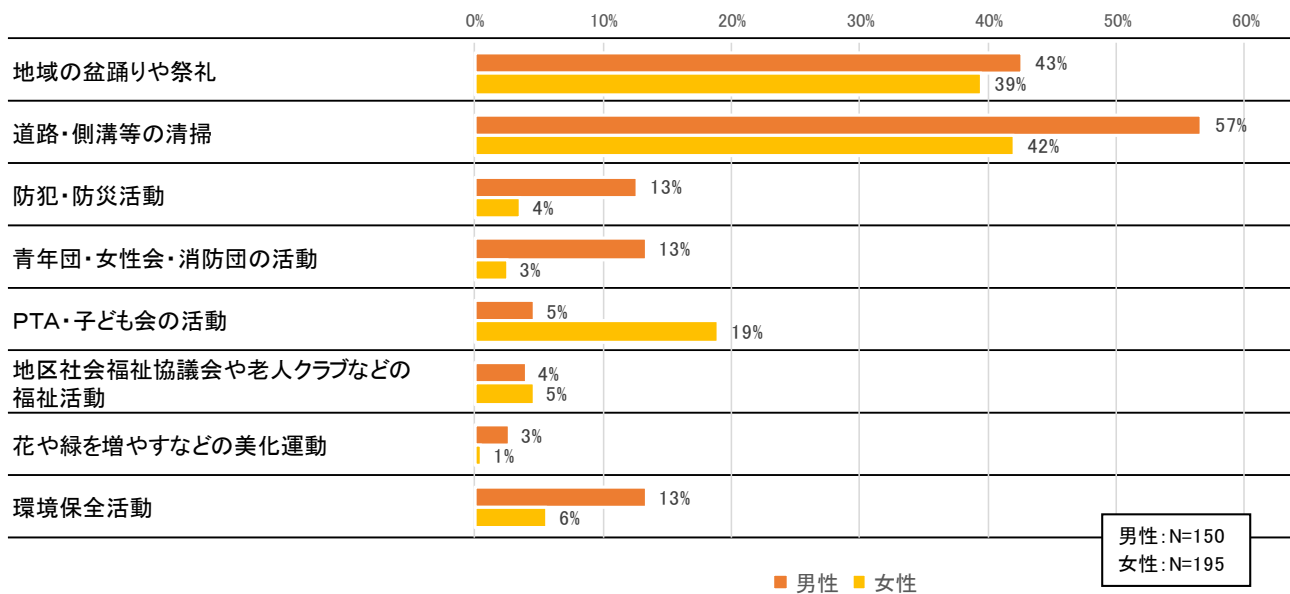
(5) 転入の有無別



2.4.4 参加している地域活動(問5)

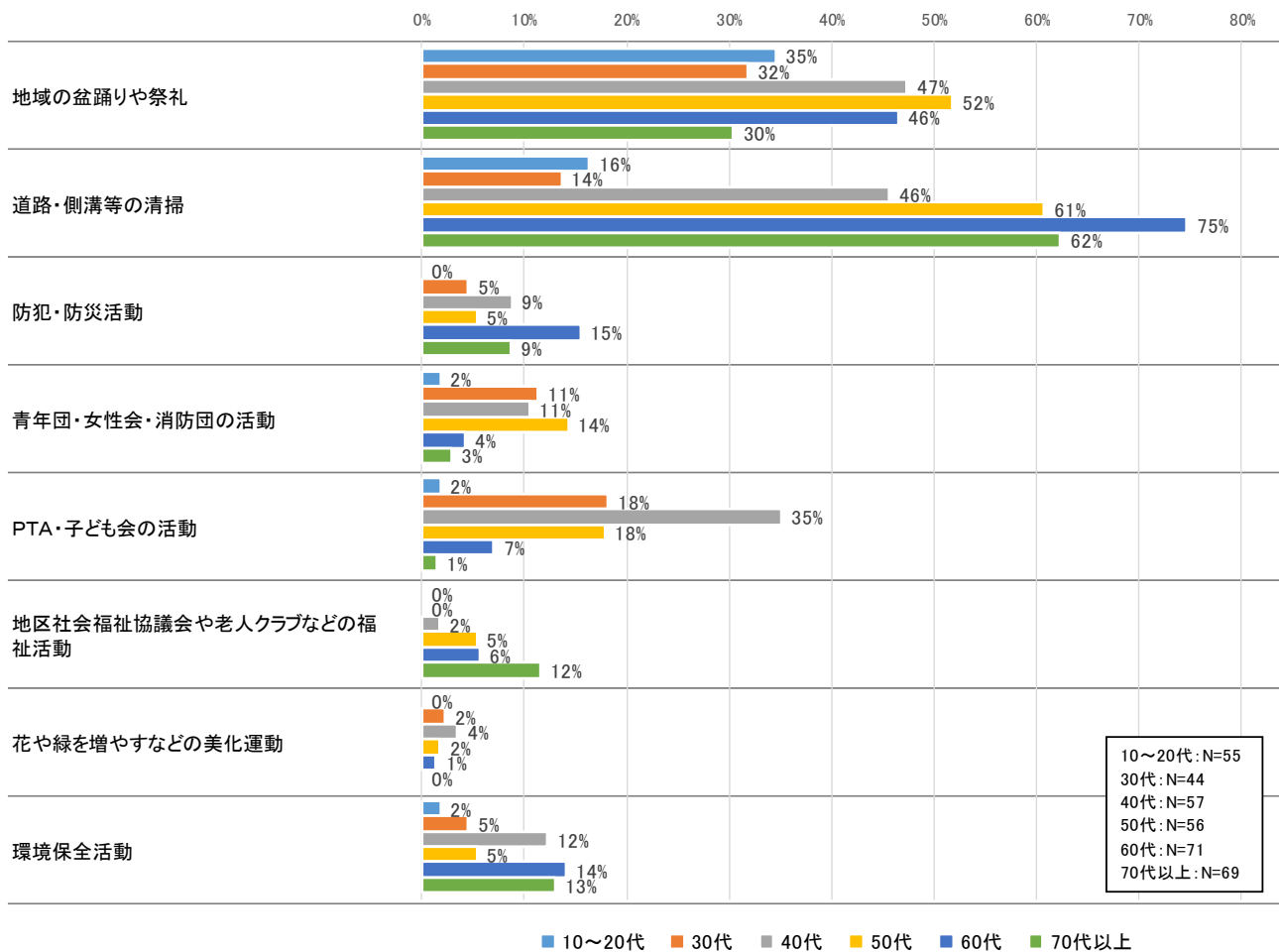
(1) 性別

男性は特に「道路・側溝等の清掃」の比率が高く、女性は特に「PTA・子ども会の活動」の比率が高くなっている。



(2) 年齢階層別

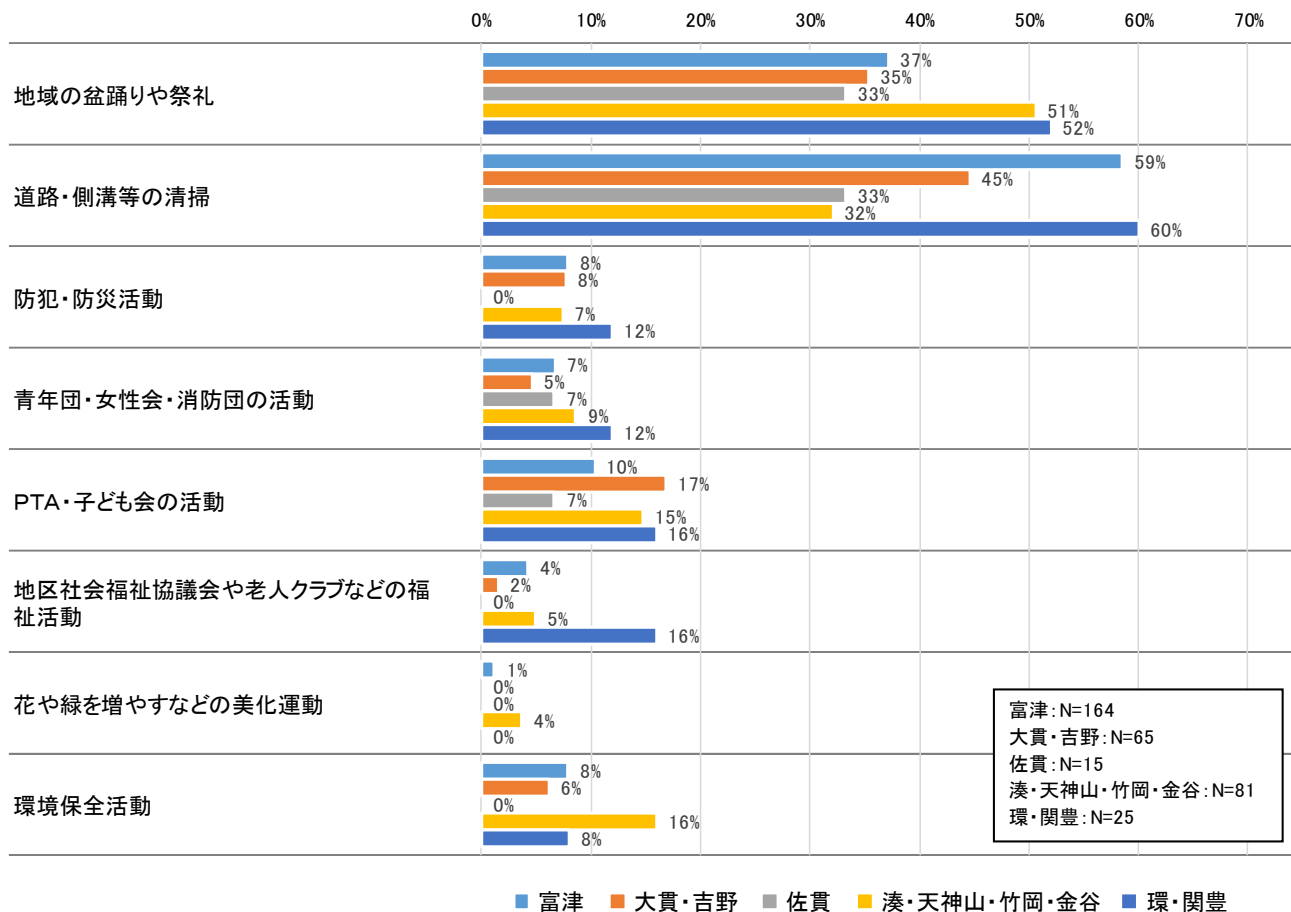
「道路・側溝等の清掃」は60代、「PTA・子ども会の活動」は40代の人が多くなっている。



(3) 居住地区別

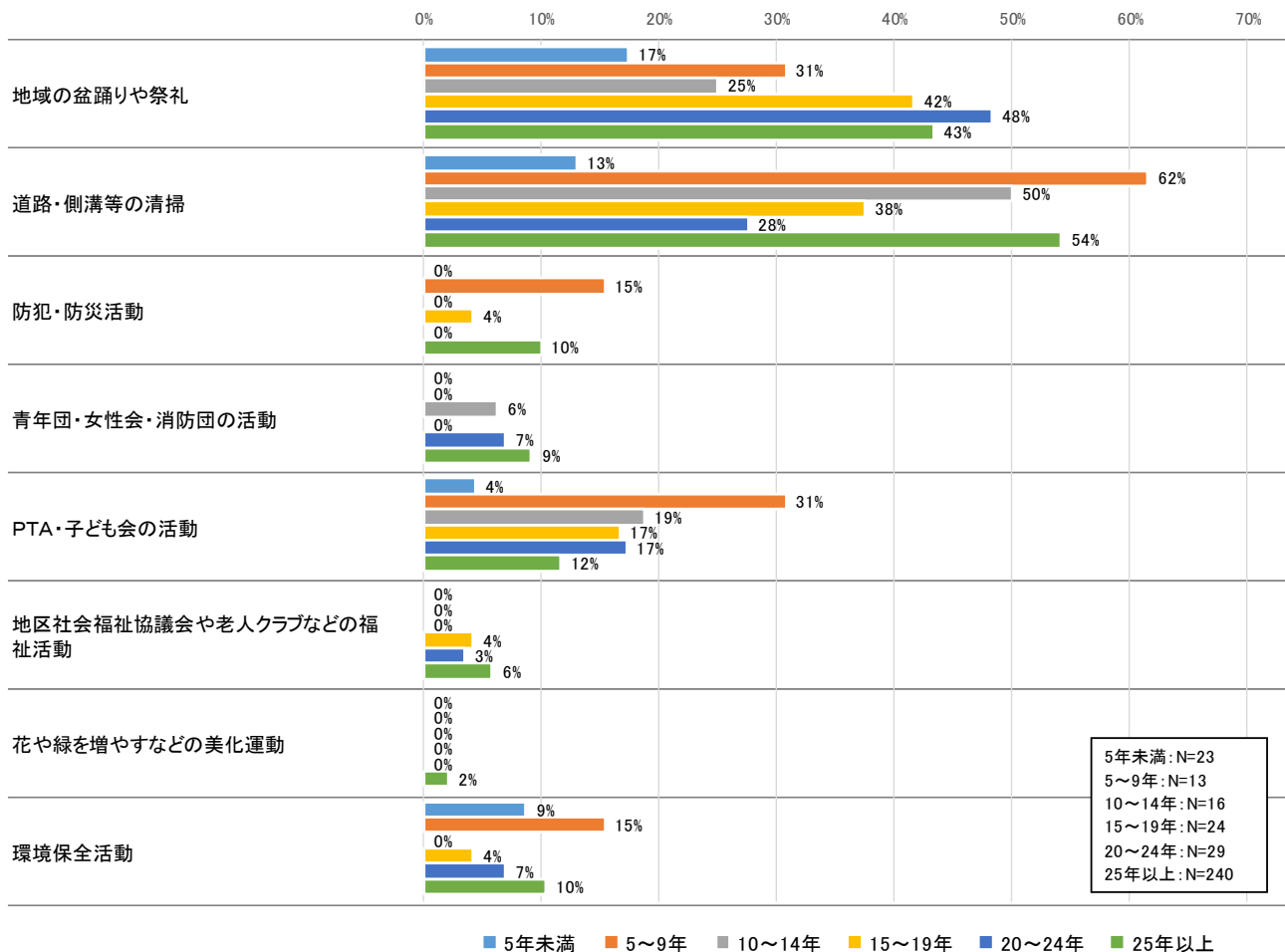
「地域の盆踊りや祭礼」は湊・天神山・竹岡・金谷エリアや環・関豊エリアの比率が高い。

「道路・側溝等の清掃」は富津エリアや環・関豊エリアの比率が高い。



(4) 市内在住年数別

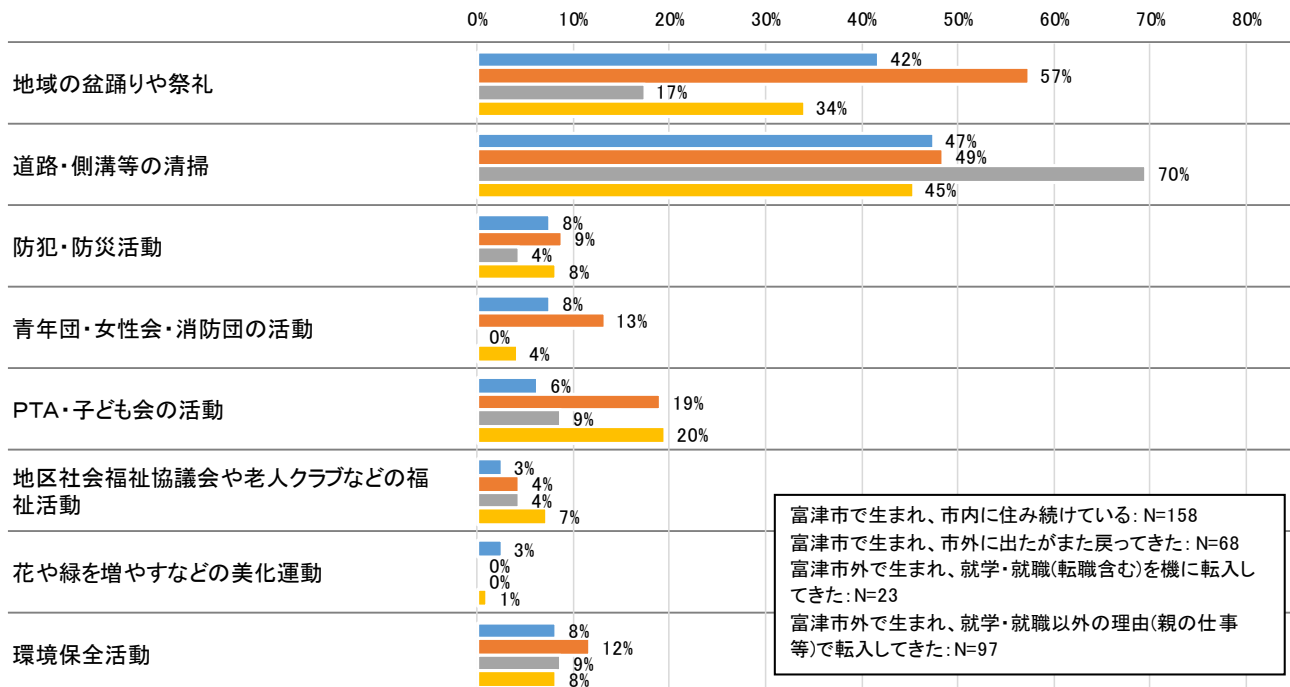
「PTA・子ども会の活動」は、市内在住年数が5～9年の人の比率が高い。



(5) 転入の有無別

「地域の盆踊りや祭礼」は富津市で生まれた人では比率が比較的高くなっている。

「道路・側溝等の清掃」は「富津市外で生まれ、就学・就職を機に転入してきた」人の比率が高くなっている。



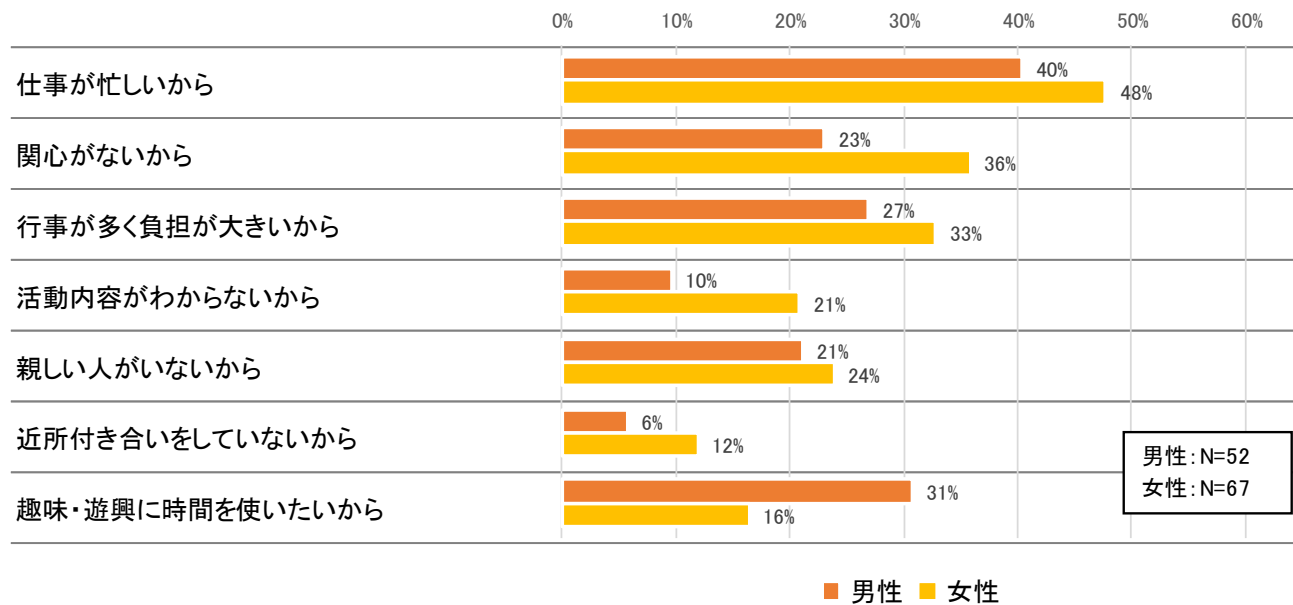
- 富津市で生まれ、市内に住み続けている
- 富津市で生まれ、市外に出たがまた戻ってきた
- 富津市外で生まれ、就学・就職(転職含む)を機に転入してきた
- 富津市外で生まれ、就学・就職以外の理由(親の仕事等)で転入してきた

2.4.5 地域活動に参加しない理由(問7)

(1) 性別

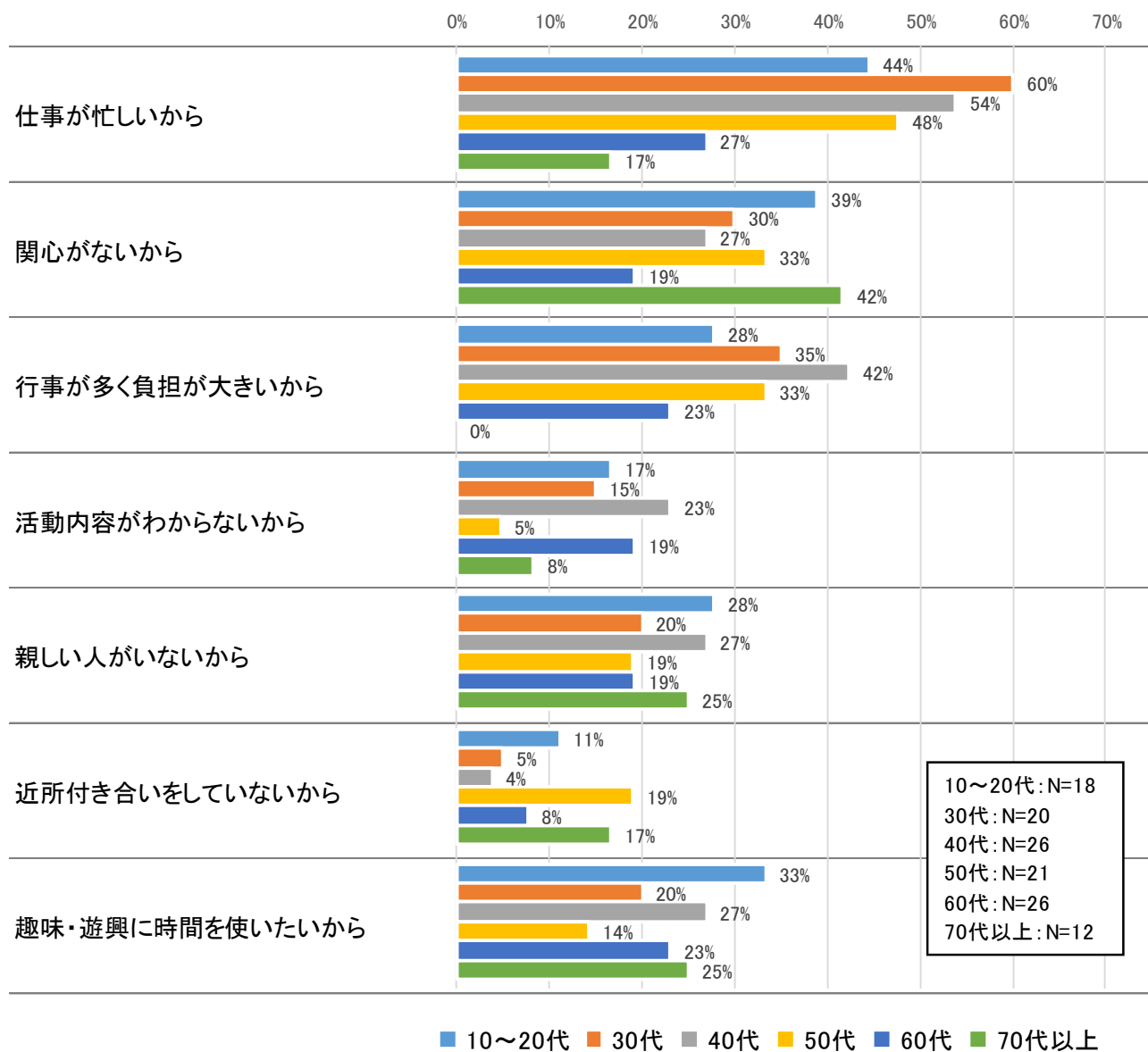
男性は女性よりも「趣味・遊興に時間を使いたいから」の回答比率が特に高い。

女性は男性よりも「関心がないから」「活動内容がわからないから」の回答比率が特に高い。



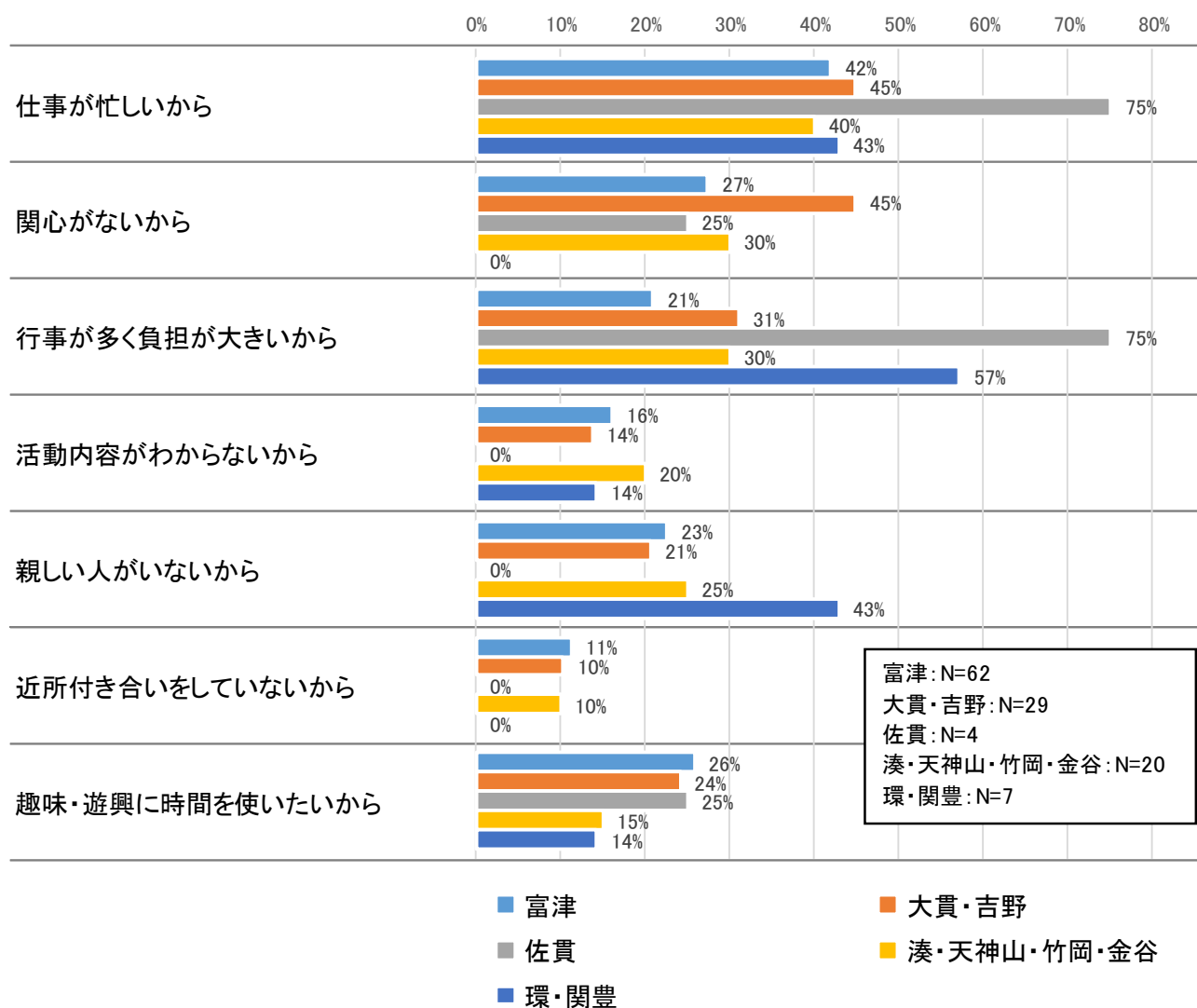
(2) 年齢階層別

30代～50代は特に「仕事が忙しいから」や「行事が多く負担が大きいから」の回答比率が高い。それ以外の年代は「趣味・遊興に時間を使いたいから」や「関心が無いから」の回答比率が特に高くなっている。



(3) 居住地区別

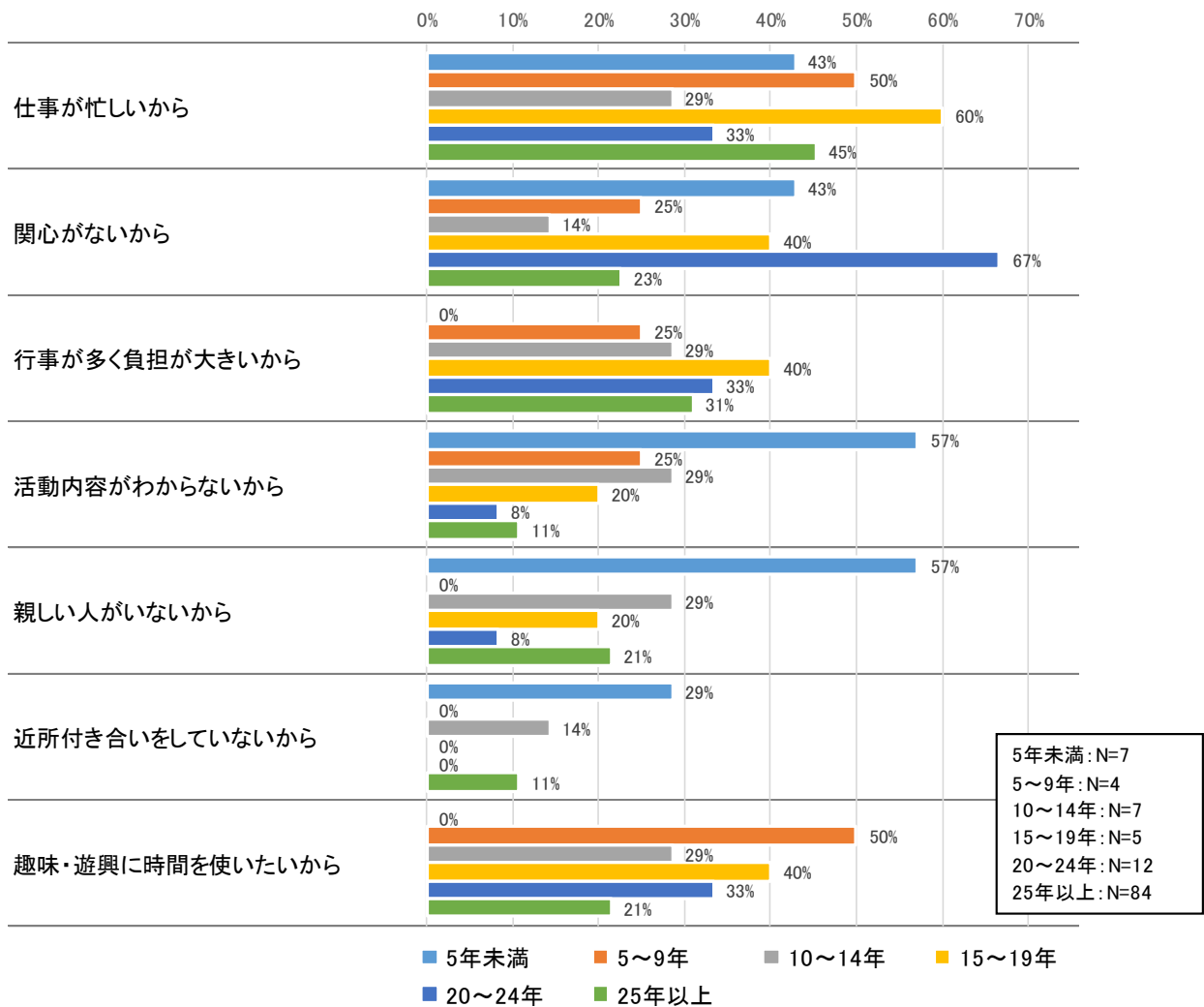
富津エリア、大貫・吉野エリア、湊・天神山・竹岡・金谷エリアでは「仕事が忙しいから」や「関心が無いから」の回答比率が高くなっているが、佐貫エリアや環・関豊エリアでは「行事が多く負担が大きいから」の回答比率が他のエリアと比べて比率が高くなっている。



(4) 市内在住年数別

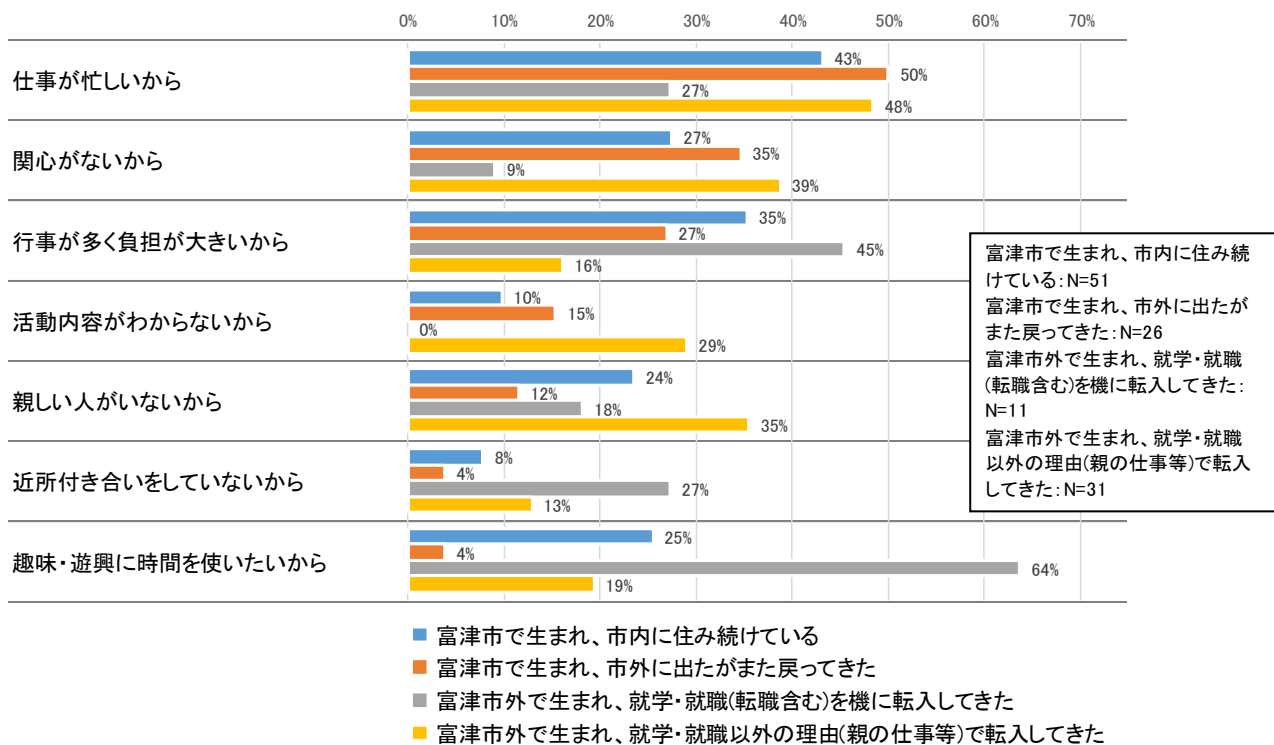
市内在住年数が5年未満の人は「活動内容がわからないから」や「近所付き合いをしていないから」の回答比率が高くなっている。

「関心がないから」の回答は市内在住年数が20～24年の人で比率が高くなっている。



(5) 転入の有無別

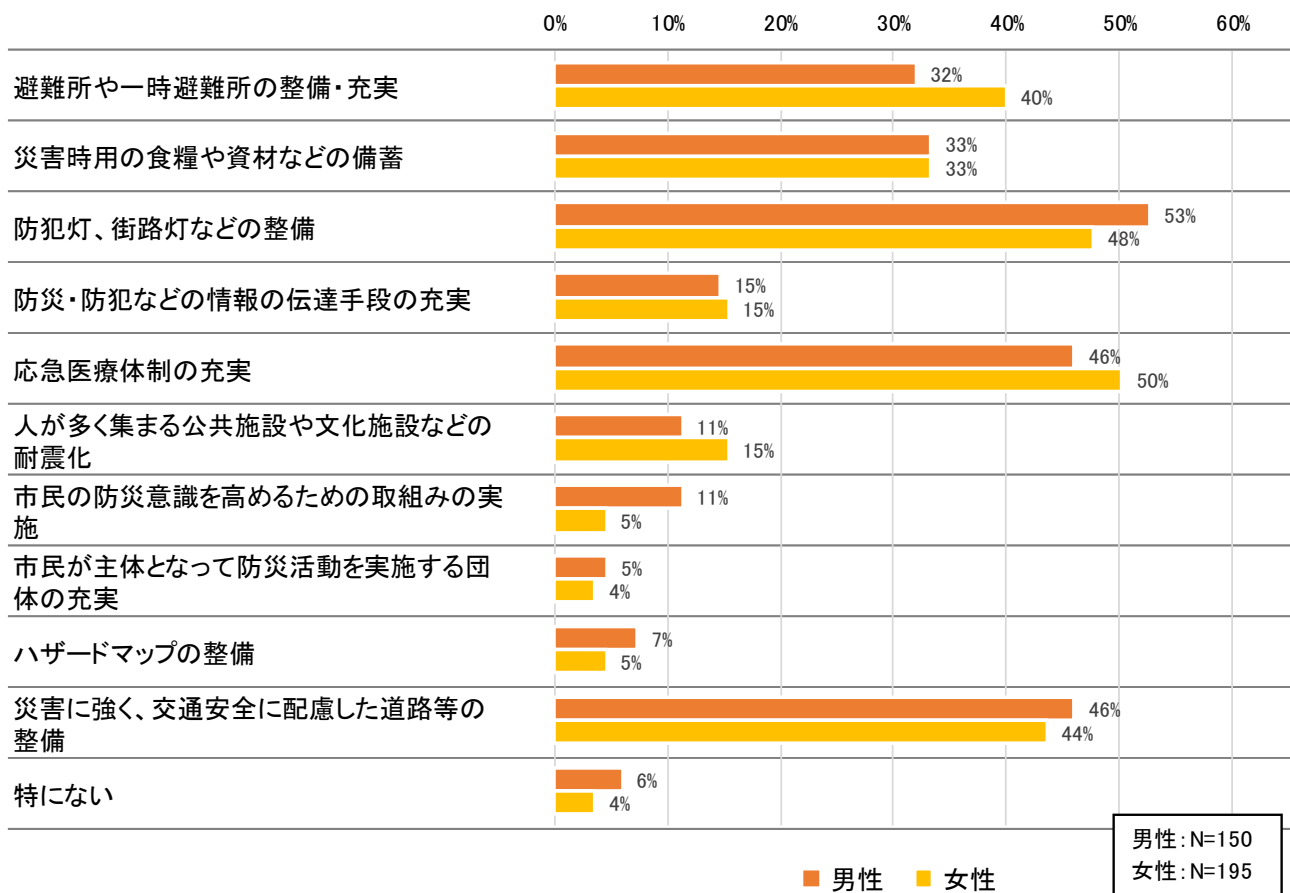
「富津市外で生まれ、就学・就職を機に転入してきた」人は「趣味・遊興に時間を使いたいから」の比率が他の属性に比べて高くなっている。



2.4.6 安心・安全なまちになるために重要なこと（問 8）

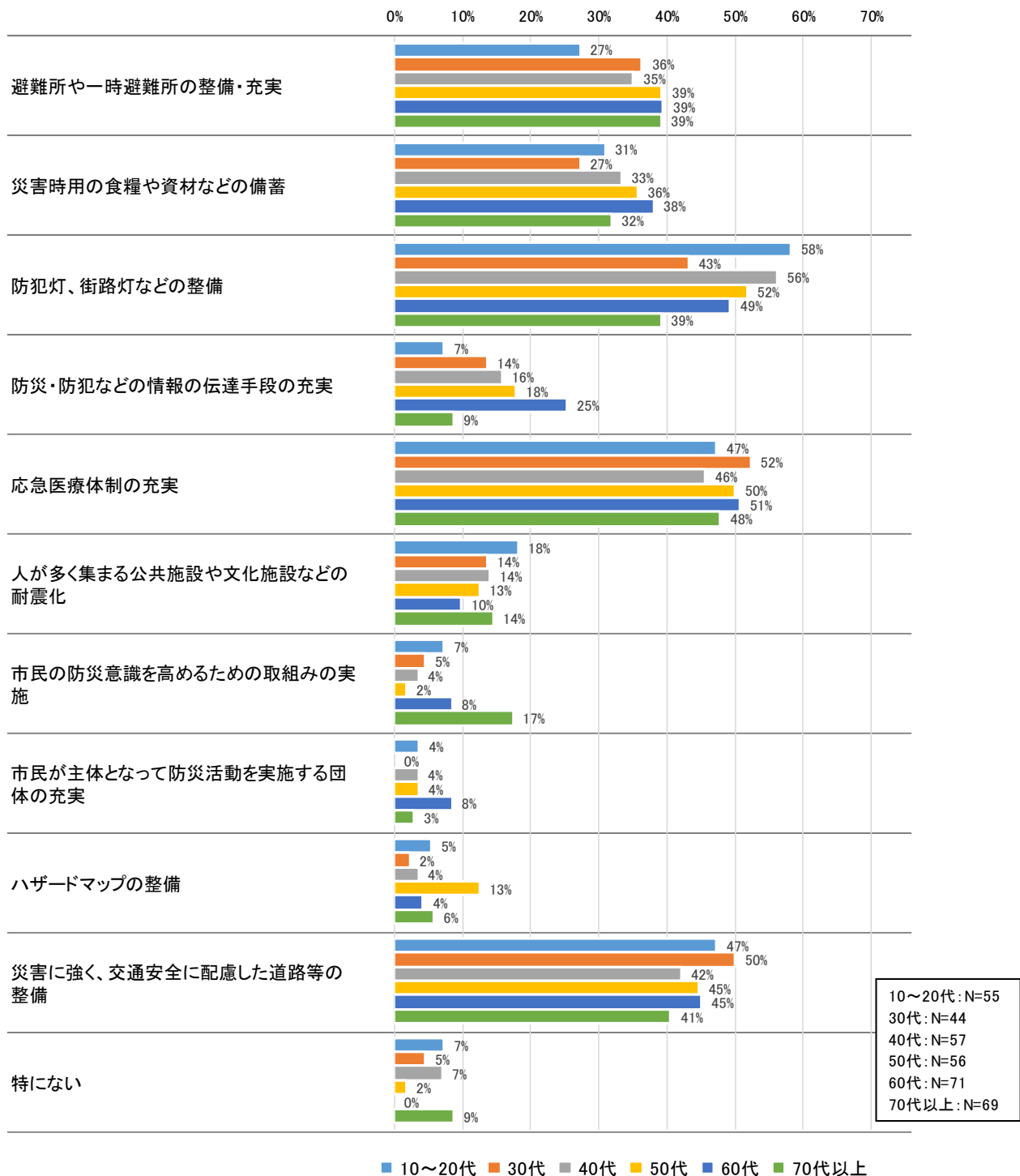
（1）性別

性別による大きな差はみられない。



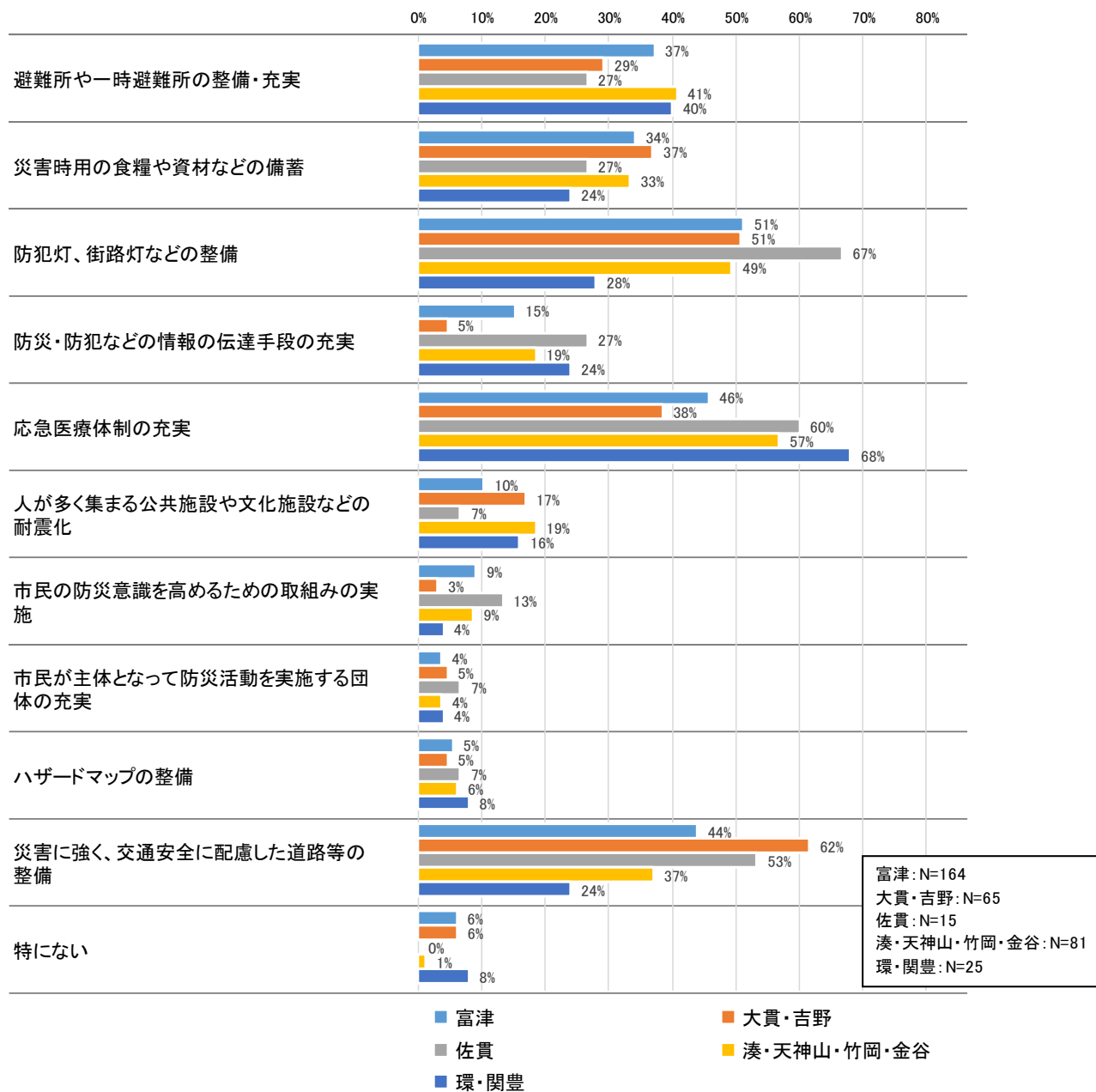
(2) 年齢階層別

「防災・防犯などの情報の伝達手段の充実」については、60代の回答比率が他の年代に比べて高い。また、「市民の防災意識を高めるための取組みの実施」については、70代以上の回答比率が他の年代に比べて高い。



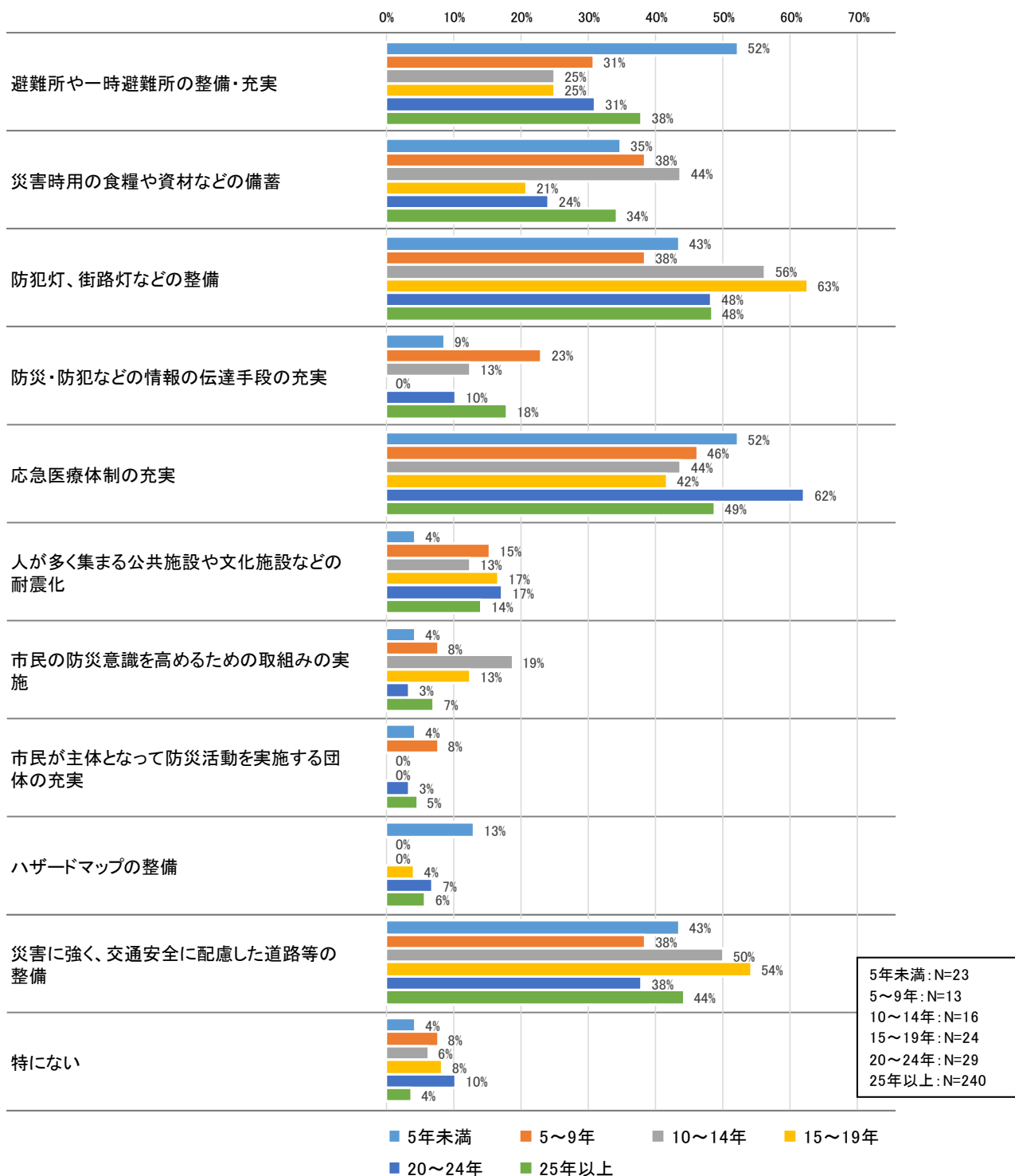
(3) 居住地区別

「防犯灯、街路灯などの整備」については、佐貫エリアに居住している人の回答比率が他のエリアよりも比較的高い。また、「災害に強く、交通安全に配慮した道路等の整備」については、大貫・吉野エリアや佐貫エリアに居住している人の比率が他のエリアよりも比較的高くなっている。



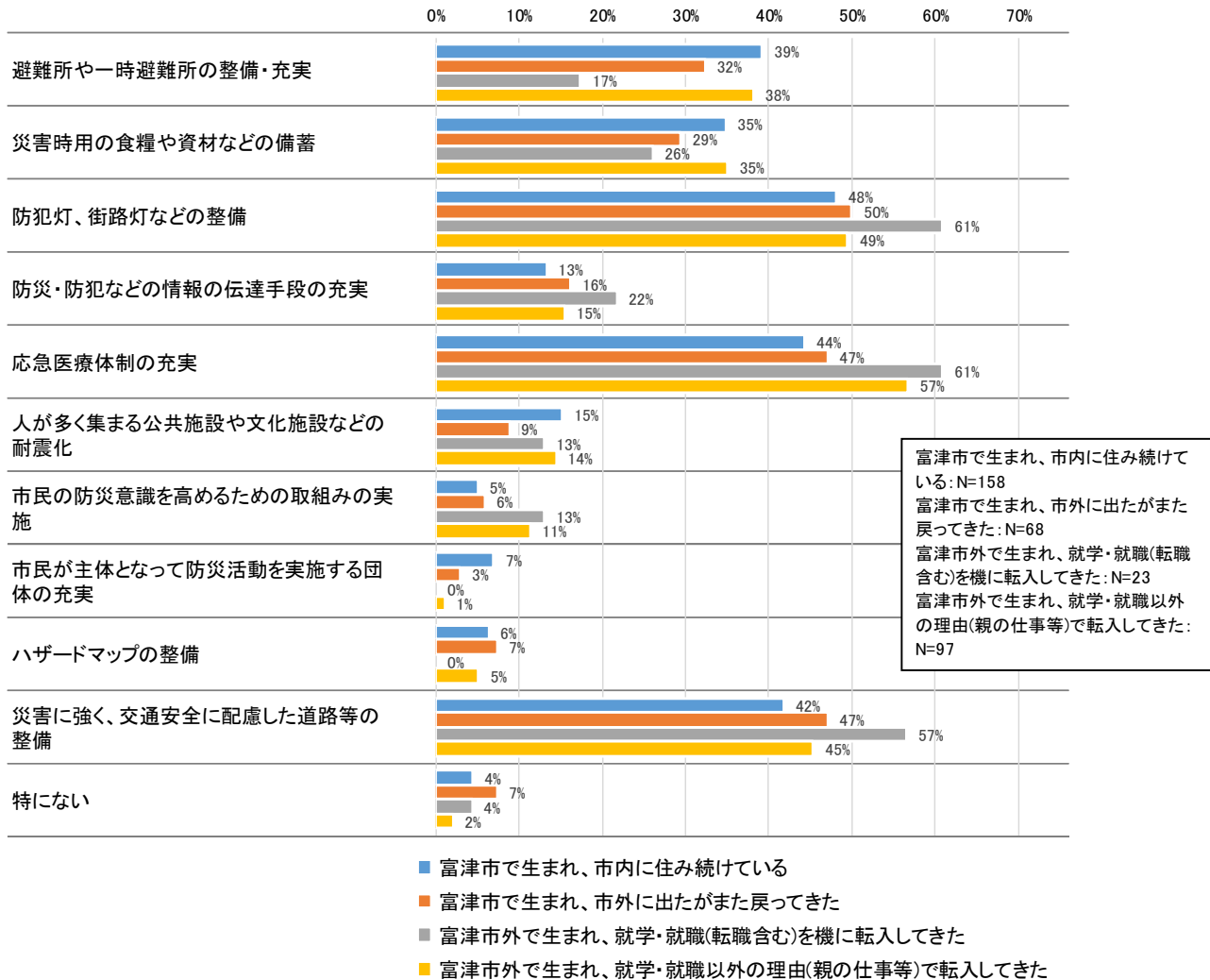
(4) 市内在住年数別

「避難所や一時避難所の整備・充実」については、市内在住年数が5年未満の人の回答比率が他の属性に比べて高くなっている。



(5) 転入の有無別

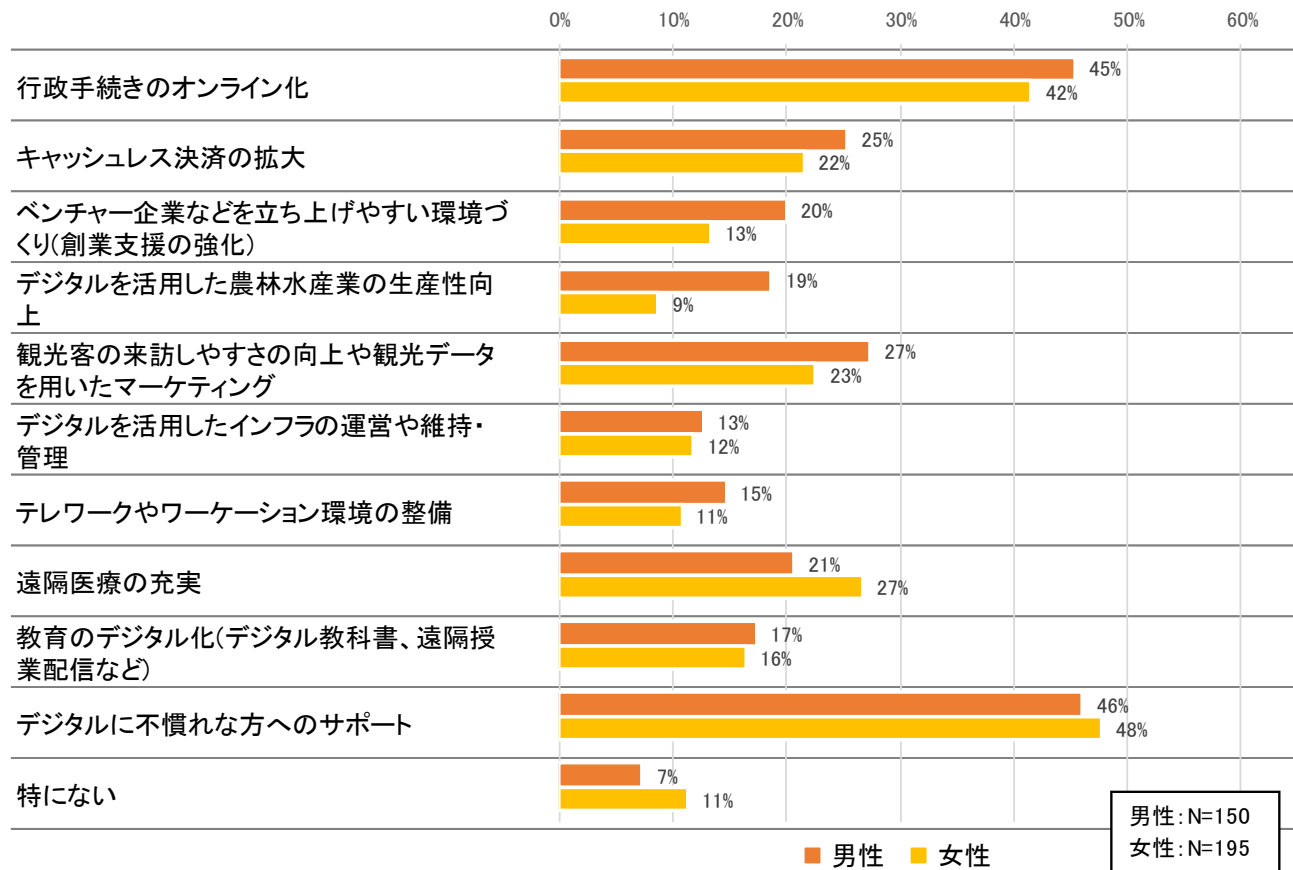
「富津市外で生まれ、就学・就職を機に転入してきた」人は「防犯灯、街路灯などの整備」や「災害に強く、交通安全に配慮した道路等の整備」の回答比率が比較的高いが、他の属性は「避難所や一時避難所の整備・充実」や「災害時用の食糧や資材などの備蓄」の比率が高くなっている。



2.4.7 デジタルを活用した取組に対するニーズ(問9)

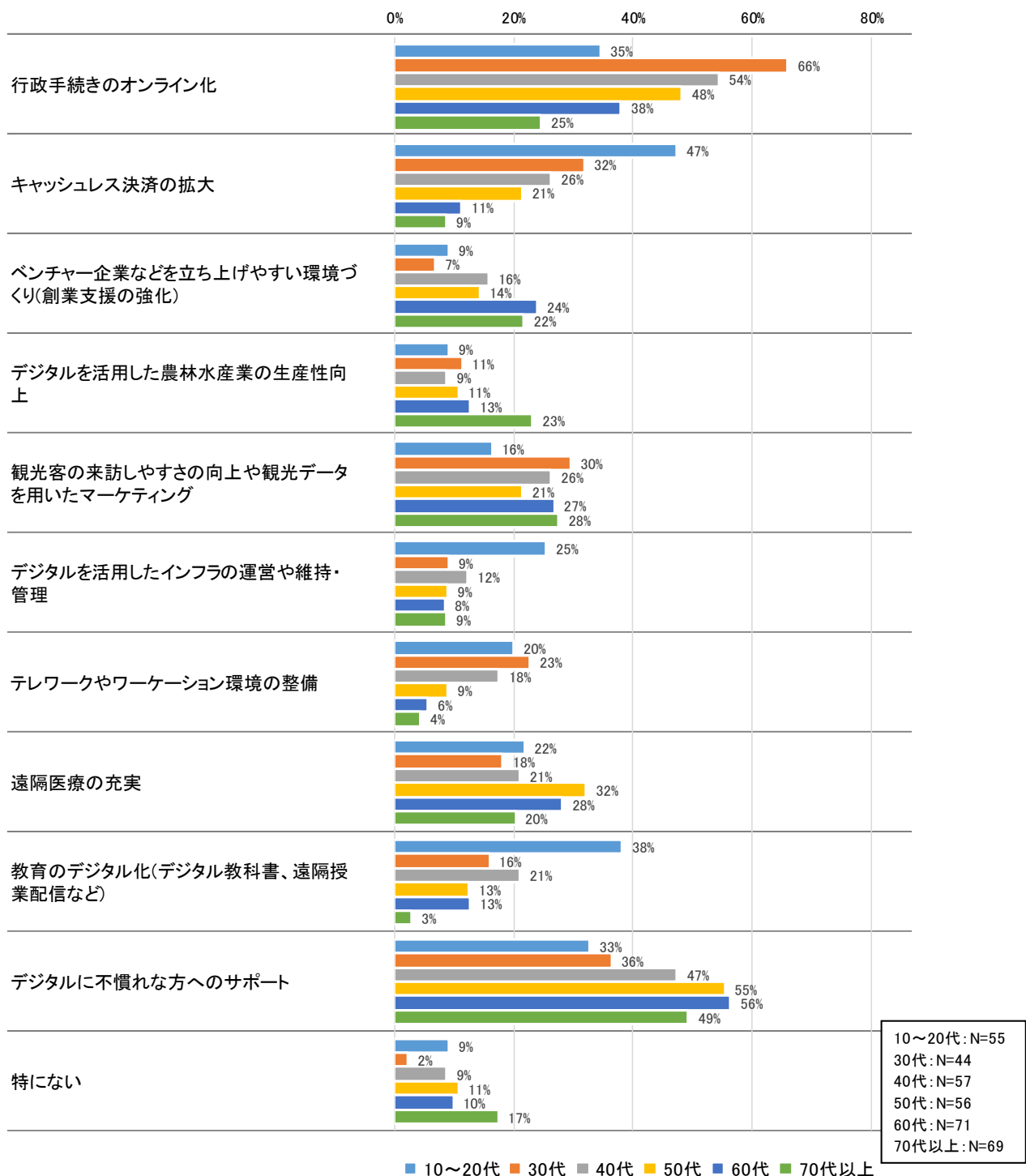
(1) 性別

性別による大きな差はみられないが、「デジタルを活用した農林水産業の生産性向上」については男性の回答比率が女性よりも比較的高くなっている。



(2) 年齢階層別

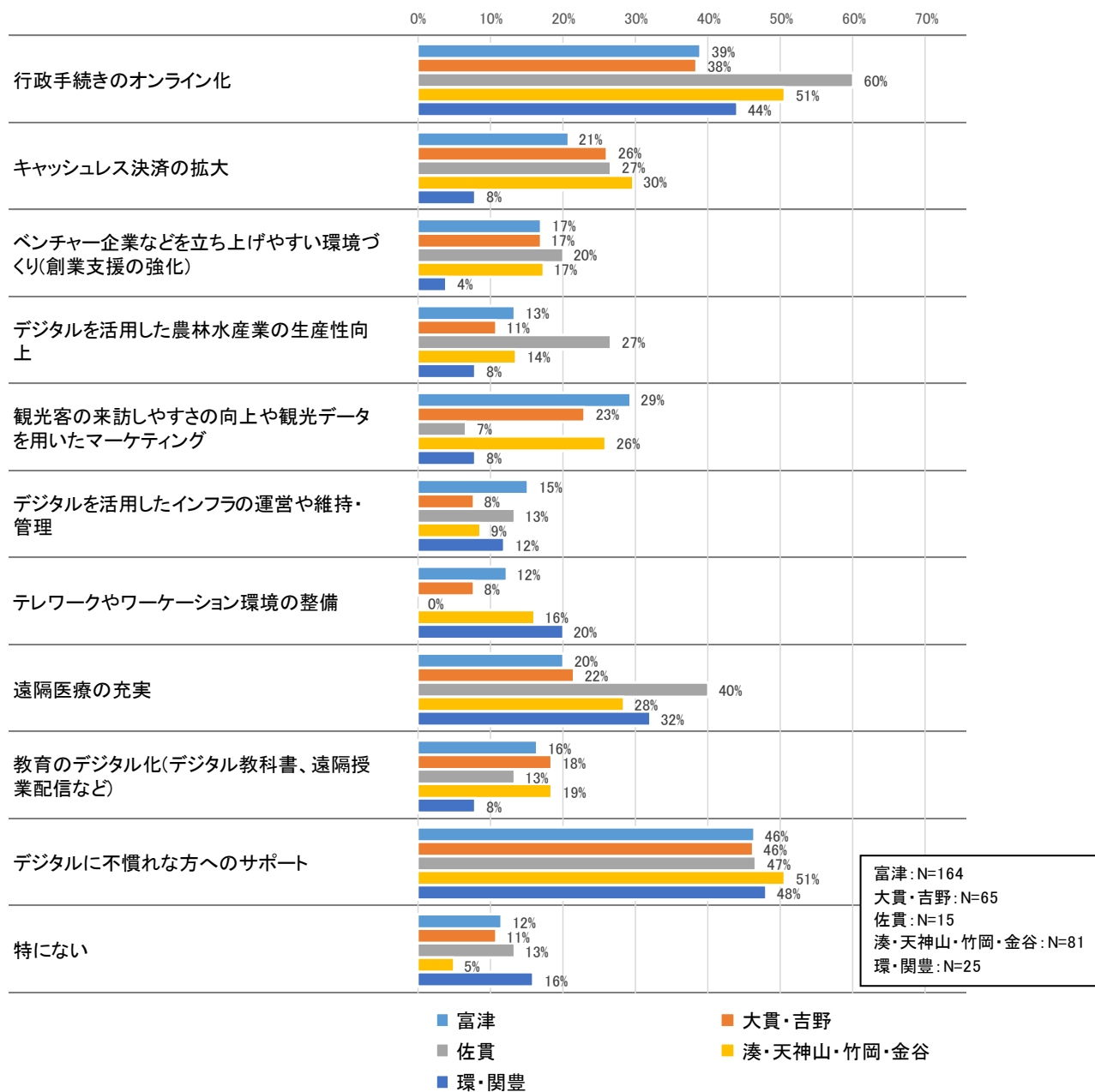
「行政手続きのオンライン化」については比較的若い世代での回答比率が高くなっている。一方で「デジタルに不慣れな方へのサポート」については50代以上の比較的高齢の世代での回答比率が高くなっている。



(3) 居住地区別

「観光客の来訪しやすさの向上や観光データを用いたマーケティング」については、富津エリア、大貫・吉野エリアや湊・天神山・竹岡・金谷エリアでの回答比率が高い。

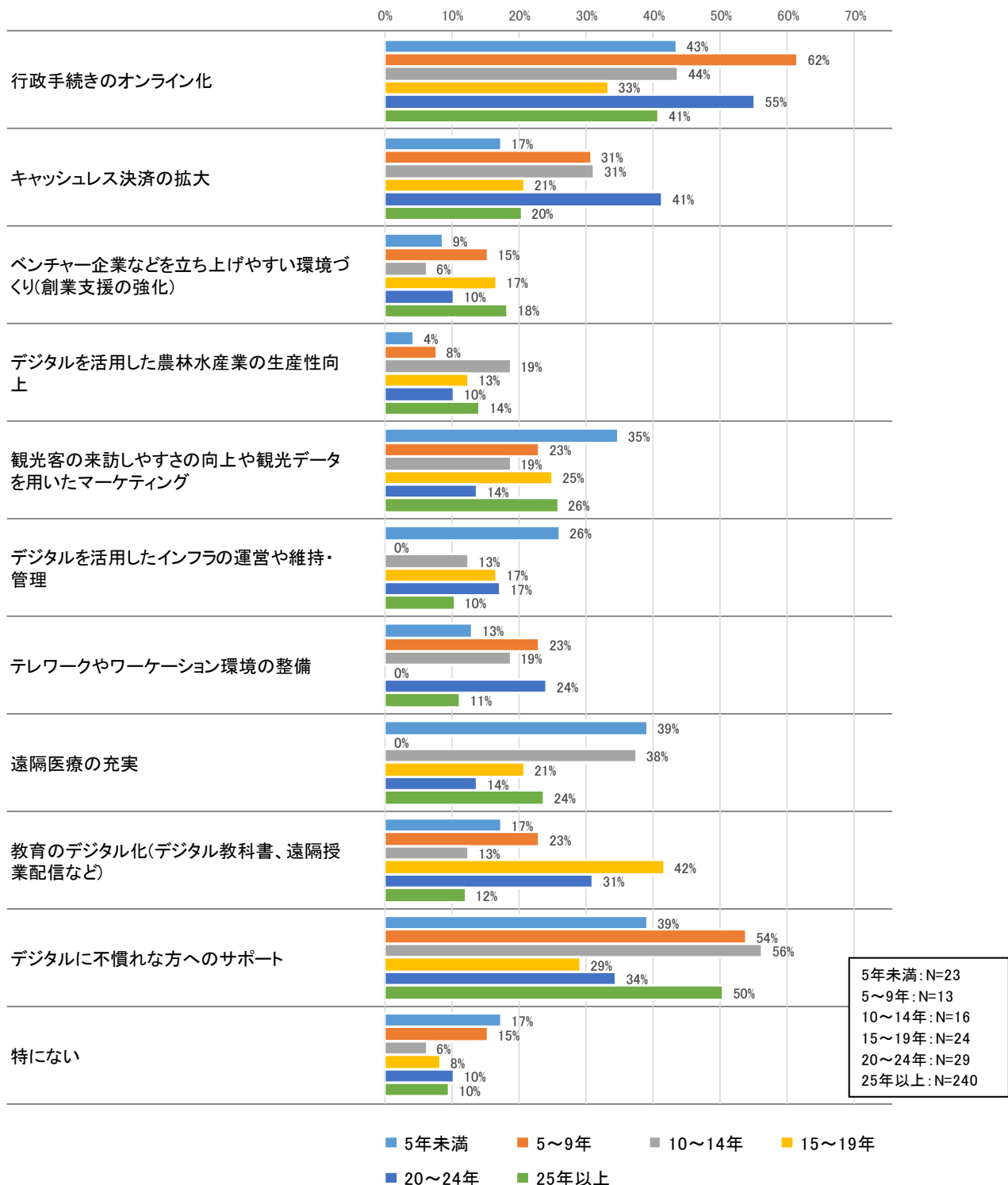
「行政手続きのオンライン化」や「遠隔医療の充実」「デジタルを活用した農林水産業の生産性向上」については、佐貫エリアでの回答比率が高くなっている。



(4) 市内在住年数別

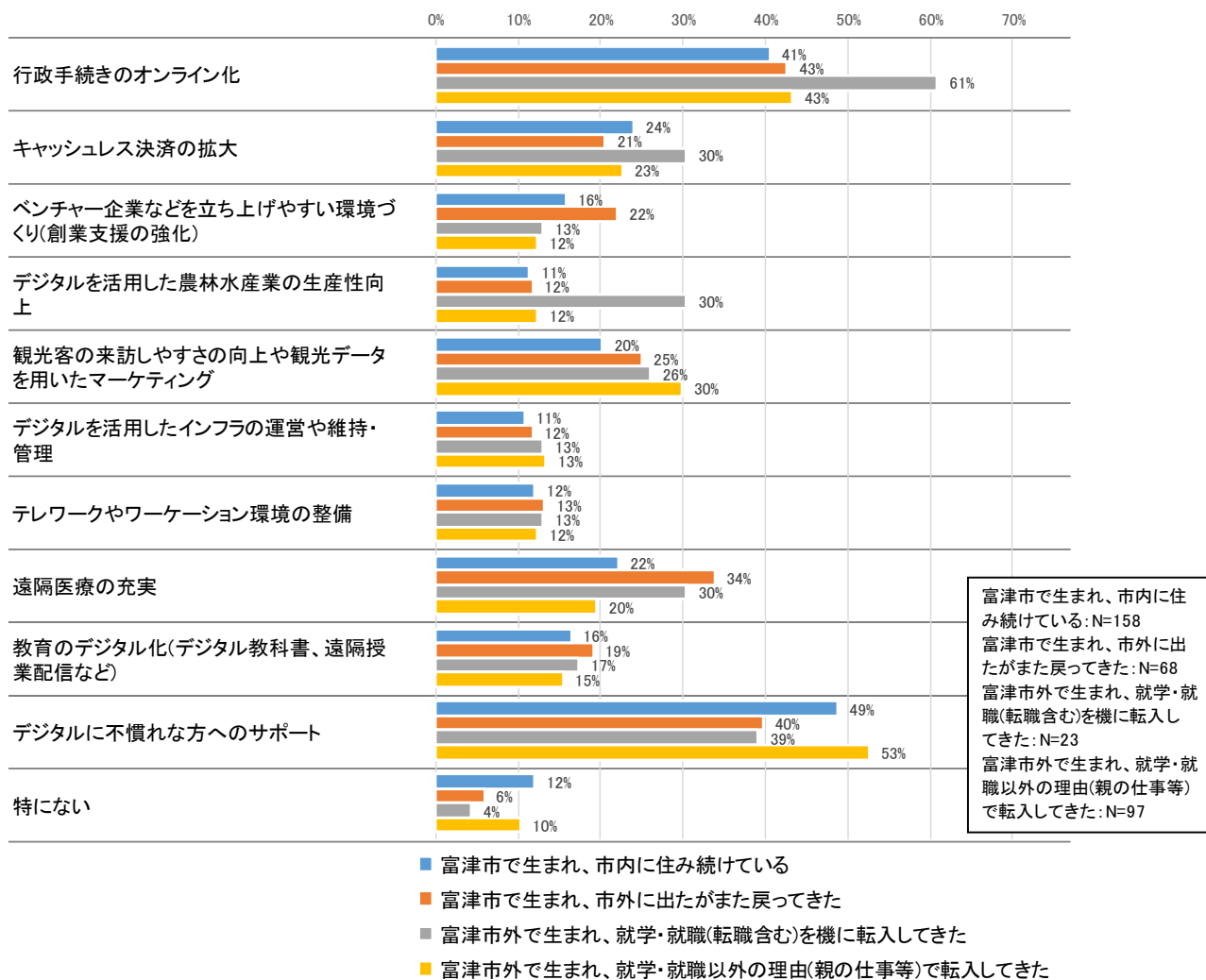
市内在住年数が5年未満の人は他の属性に比べて「観光客の来訪しやすさの向上や観光データを用いたマーケティング」や「デジタルを活用したインフラの運営や維持・管理」の回答比率が高くなっている。

「キャッシュレス決済の拡大」については市内在住年数が20～24年の人の回答比率が他の属性に比べて比較的高くなっている。



(5) 転入の有無別

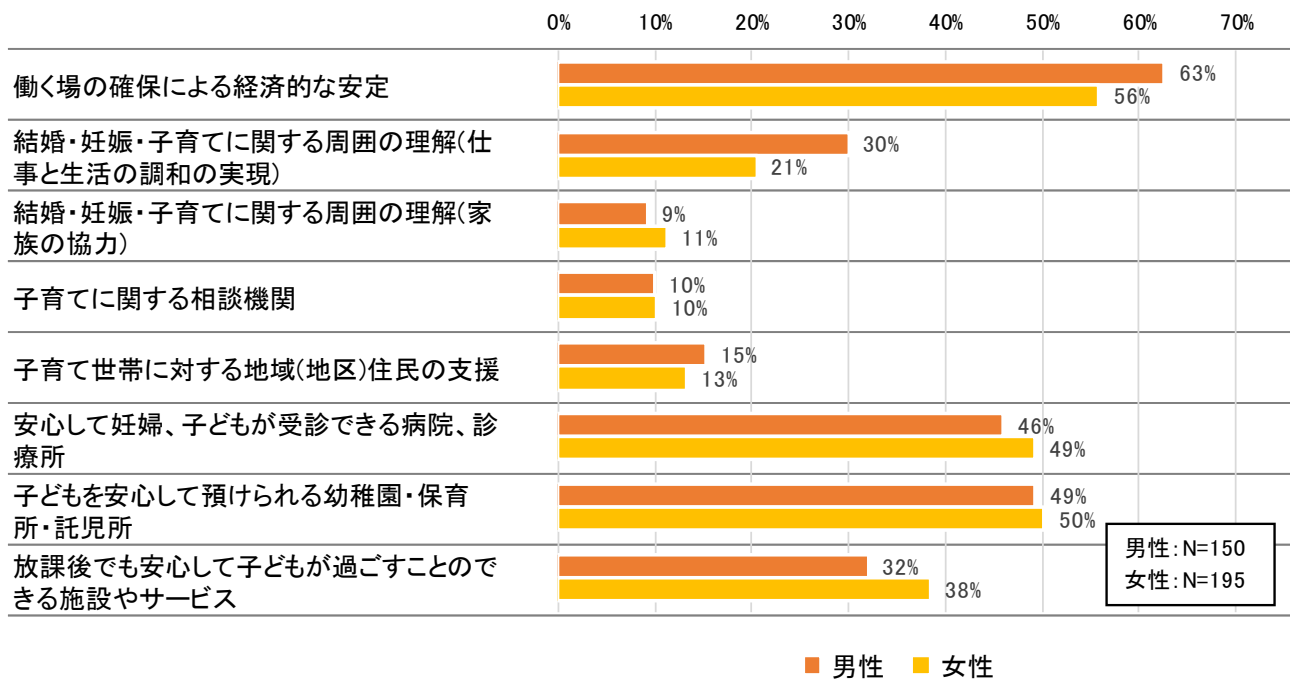
「富津市外で生まれ、就学・就職を機に転入してきた」人は、他の属性に比べて「行政手続きのオンライン化」や「デジタルを活用した農林水産業の生産性向上」に関する回答比率が高くなっている。



2.4.8 子育てしやすい地域になるために必要なこと(問 16)

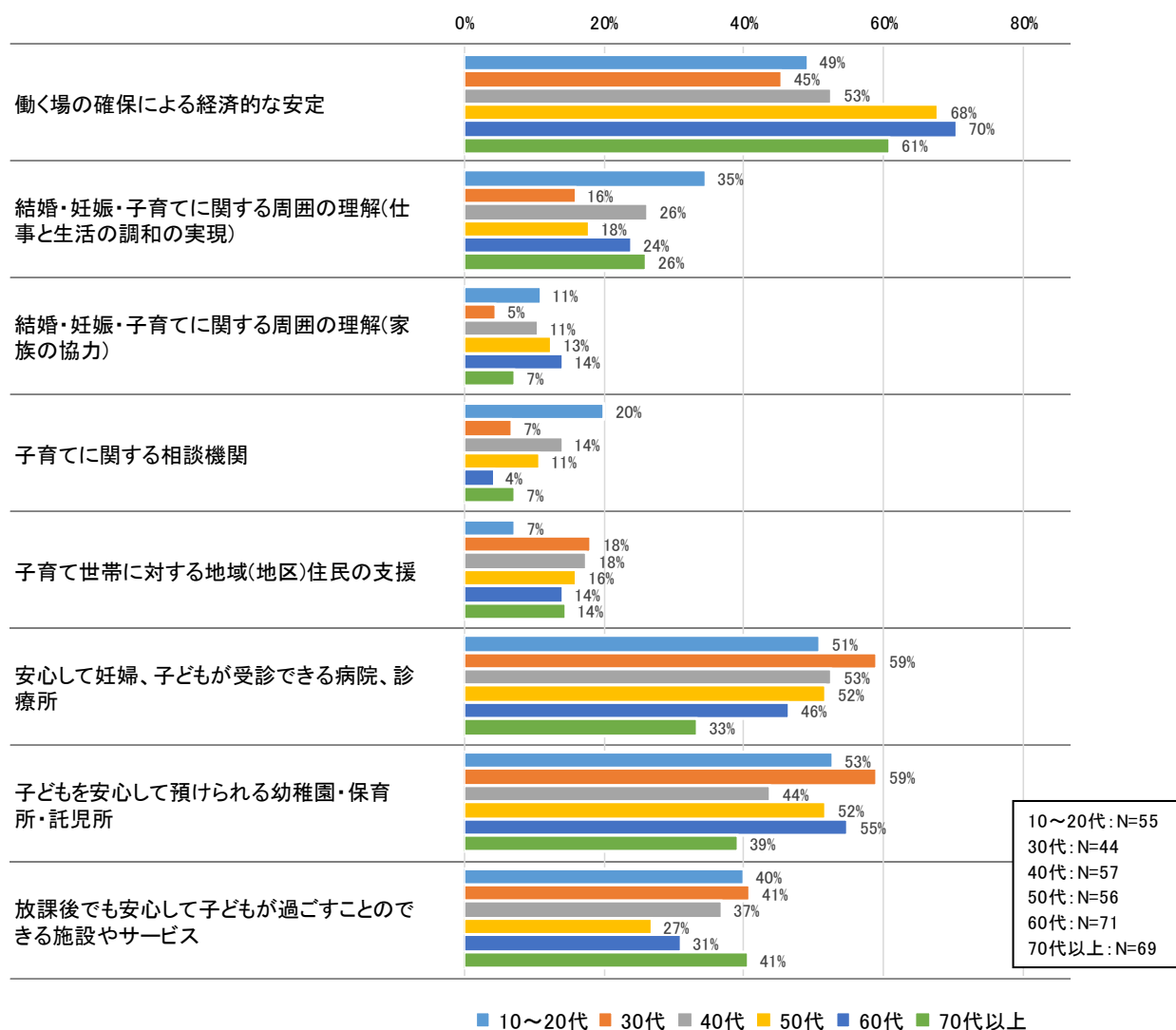
(1) 性別

性別による大きな差はみられない。



(2) 年齢階層別

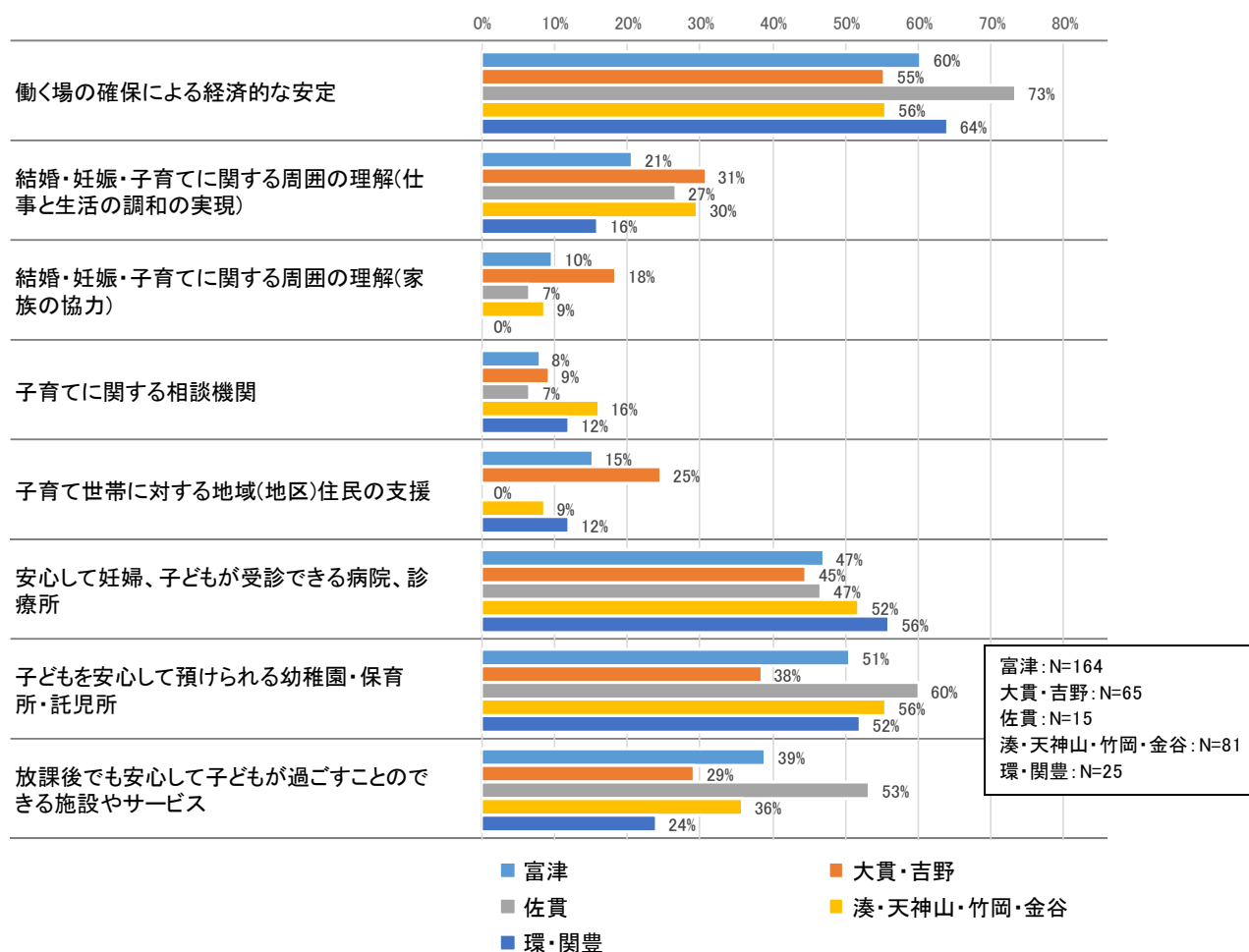
「働く場の確保による経済的な安定」については、50代・60代での回答比率が他の年代に比べて高い。一方で、「安心して妊婦、子どもが受診できる病院、診療所」や「子どもを安心して預けられる幼稚園・保育園・託児所」については10～20代・30代での回答比率が他の年代に比べて高くなっている。



(3) 居住地区別

佐貫エリアについては、他のエリアに比べて「働く場の確保による経済的な安定」や「放課後でも安心して子どもが過ごすことのできる施設やサービス」についての回答比率が高くなっている。

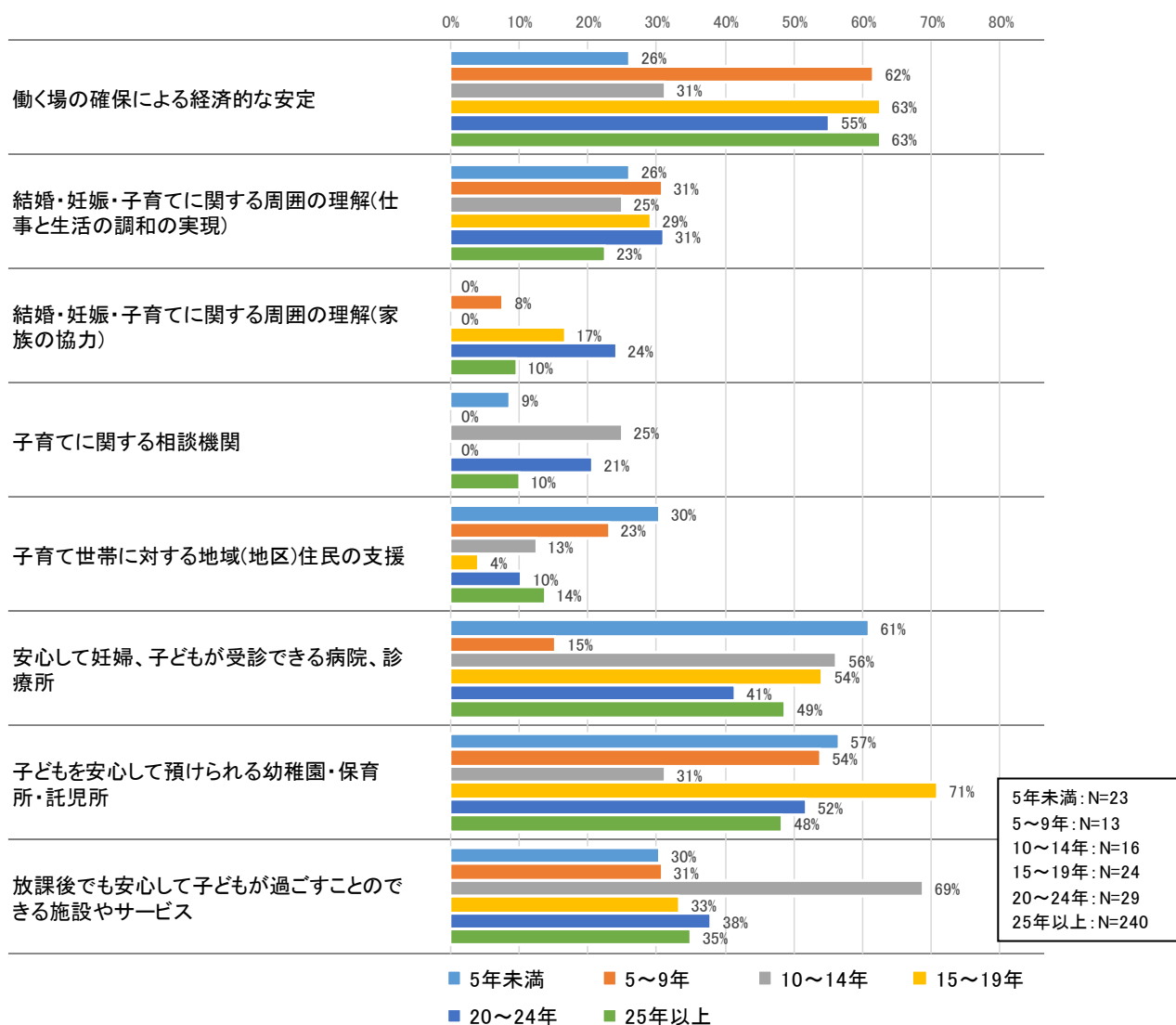
大貫・吉野エリアについては、他のエリアに比べて「結婚・妊娠・子育てに関する周囲の理解」や「子育て世帯に対する地域住民の支援」についての回答比率が高くなっている。



(4) 市内在住年数別

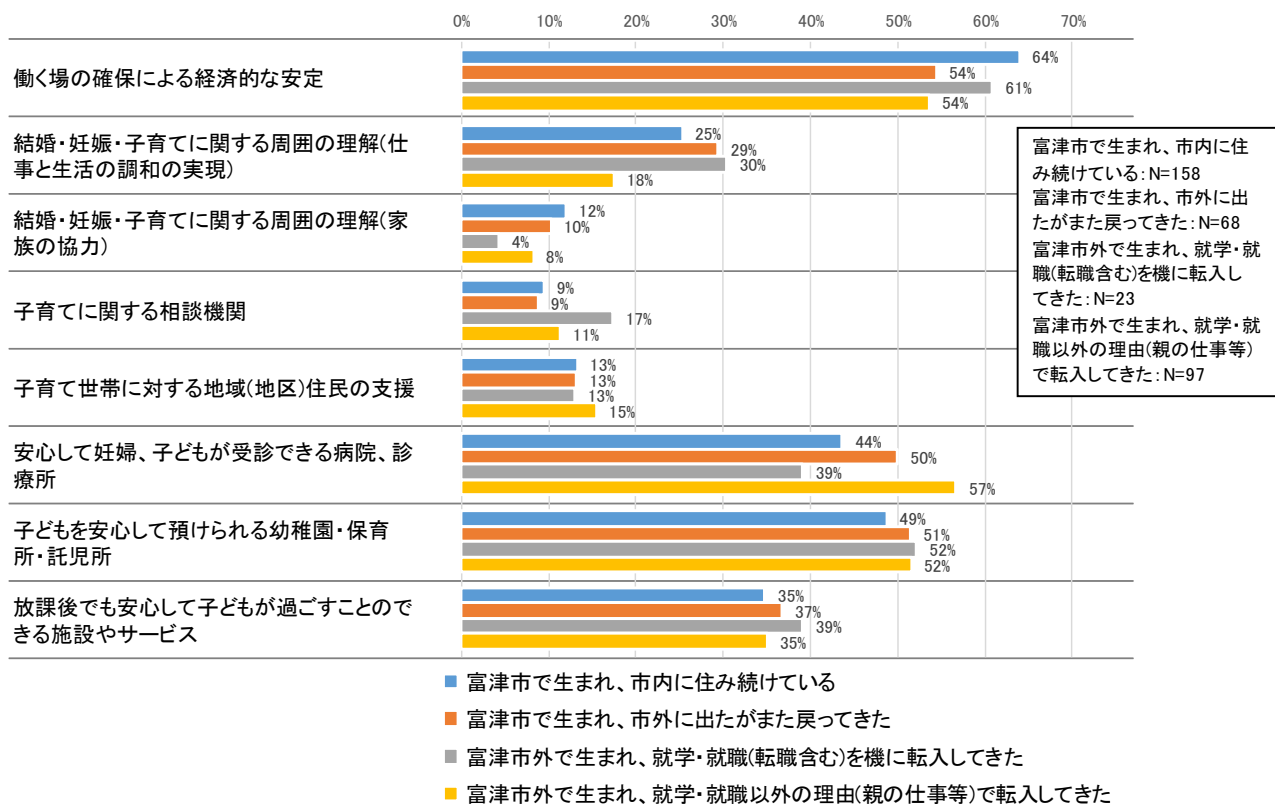
「子育て世帯に対する地域住民の支援」については、市内在住年数が10年未満の人の回答比率が他の属性に比べて高くなっている。

「働く場の確保による経済的な安定」については、市内在住年数が長い人で回答比率が比較的高くなっている。



(5) 転入の有無別

属性による大きな差はみられない。

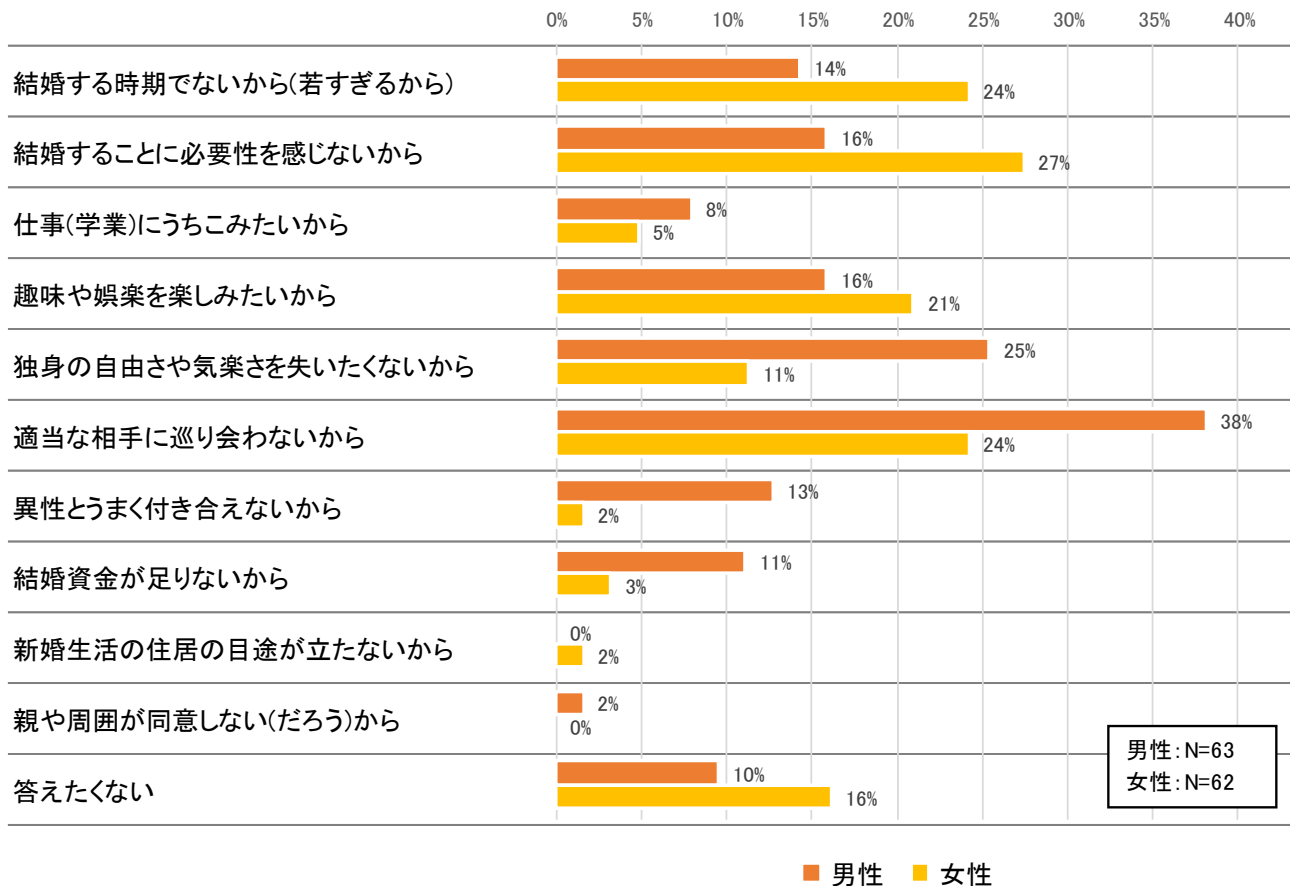


2.4.9 未婚者が結婚しない理由(問 17-2)

(1) 性別

「結婚する時期ではないから」や「結婚することに必要性を感じないから」については男性よりも女性の回答比率が高くなっている。

一方で、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」や「適当な相手に巡り合わないから」、「異性とうまく付き合えないから」「結婚資金が足りないから」については女性よりも男性の回答比率が高くなっている。

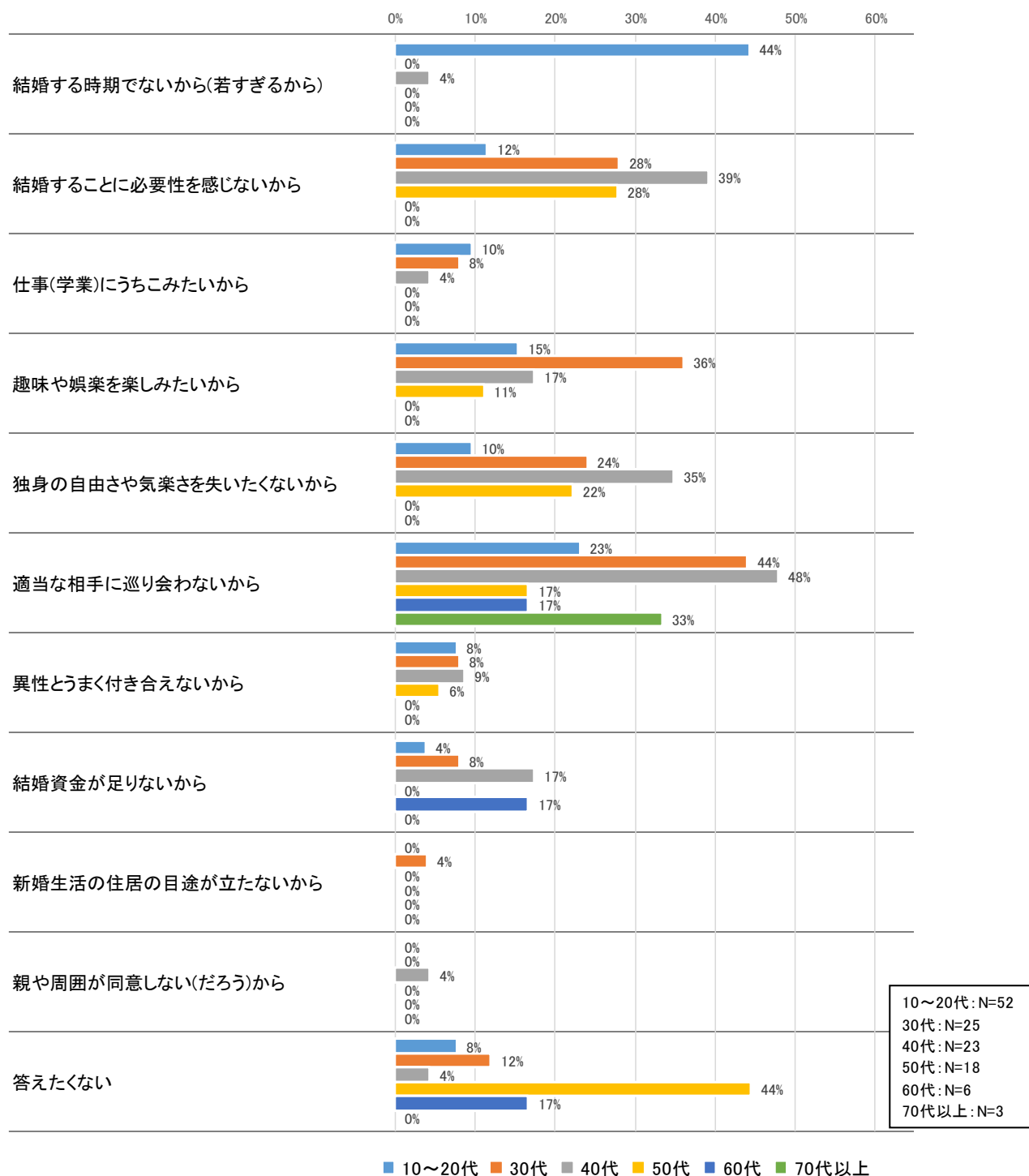


(2) 年齢階層別

「結婚することによって必要性を感じないから」や「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」については、40代での回答比率が他の年代に比べて高くなっている。

「趣味や娯楽を楽しみたいから」については、30代での回答比率が他の年代に比べて高くなっている。

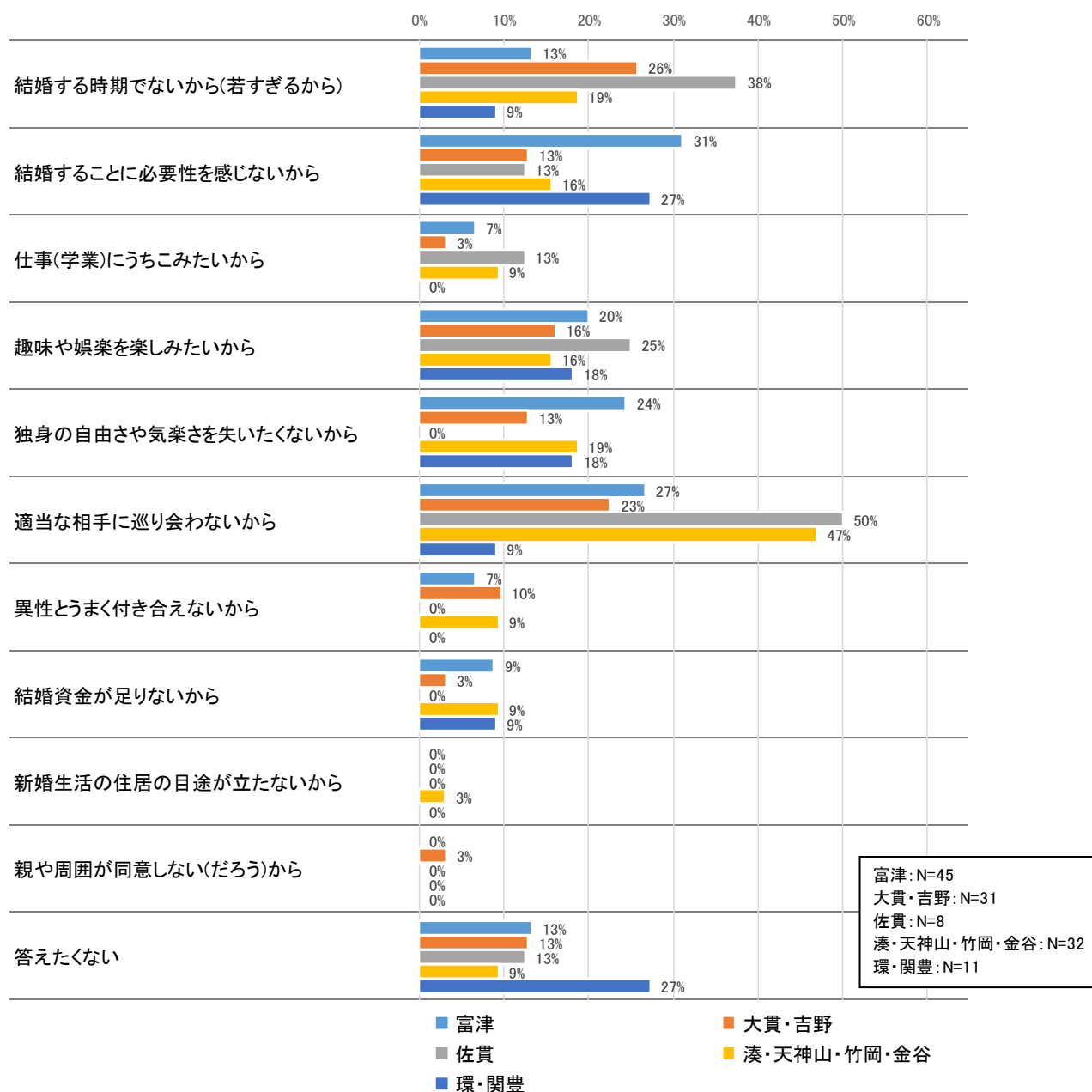
「適当な相手に巡り合わないから」については30代・40代どちらも回答比率が高くなっている。



(3) 居住地区別

「結婚することによって必要性を感じないから」については、富津エリアや環・関豊エリアでの回答比率が他のエリアに比べて高くなっている。

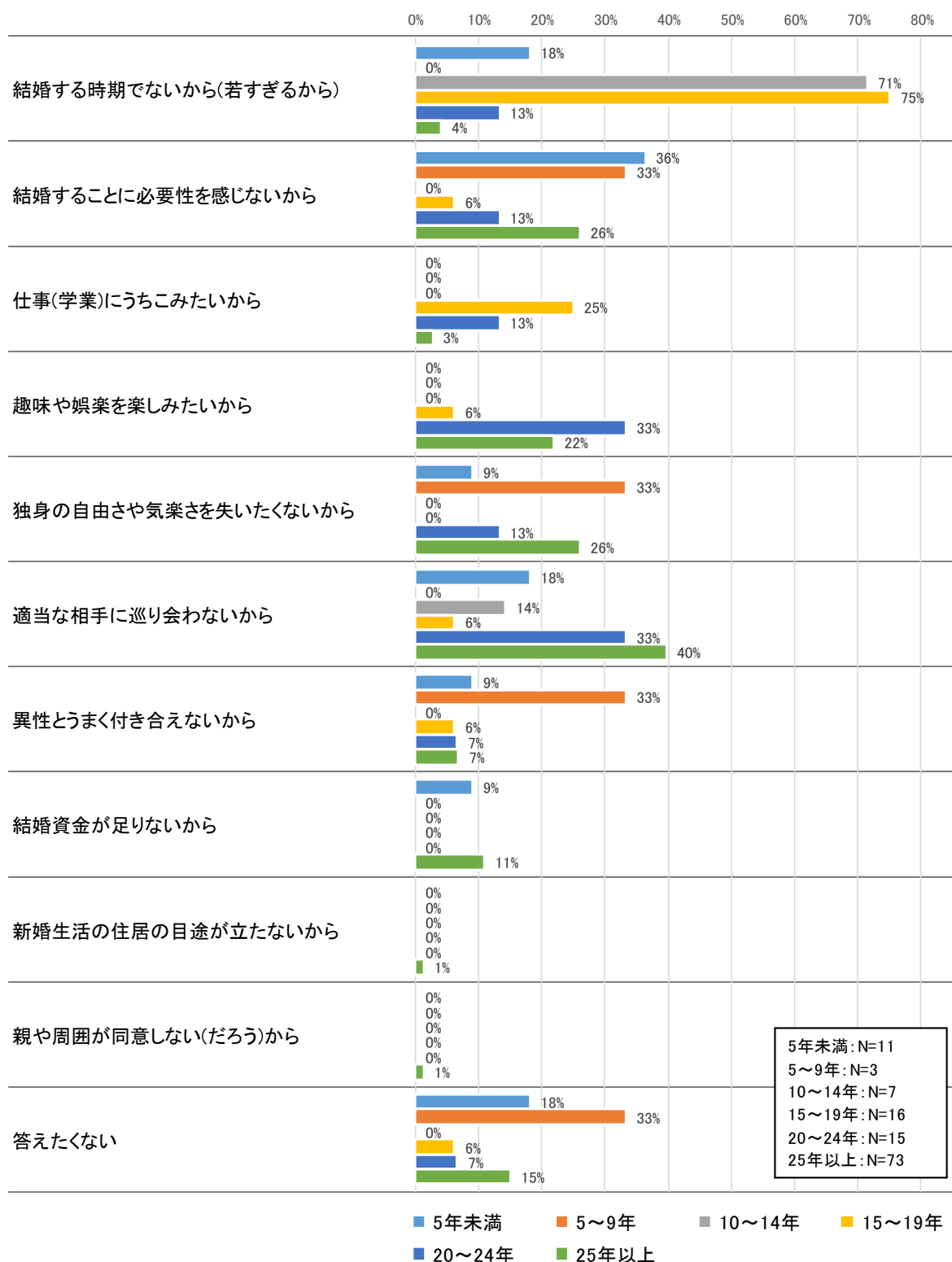
「適当な相手に巡り合わないから」については、佐貫エリアや湊・天神山・竹岡・金谷エリアでの回答比率が他のエリアに比べて高くなっている。



(4) 市内在住年数別

市内在住年数が10年未満の人は、「結婚することの必要性を感じないから」や「異性とうまく付き合えないから」についての回答比率が他の属性に比べて比較的高くなっている。

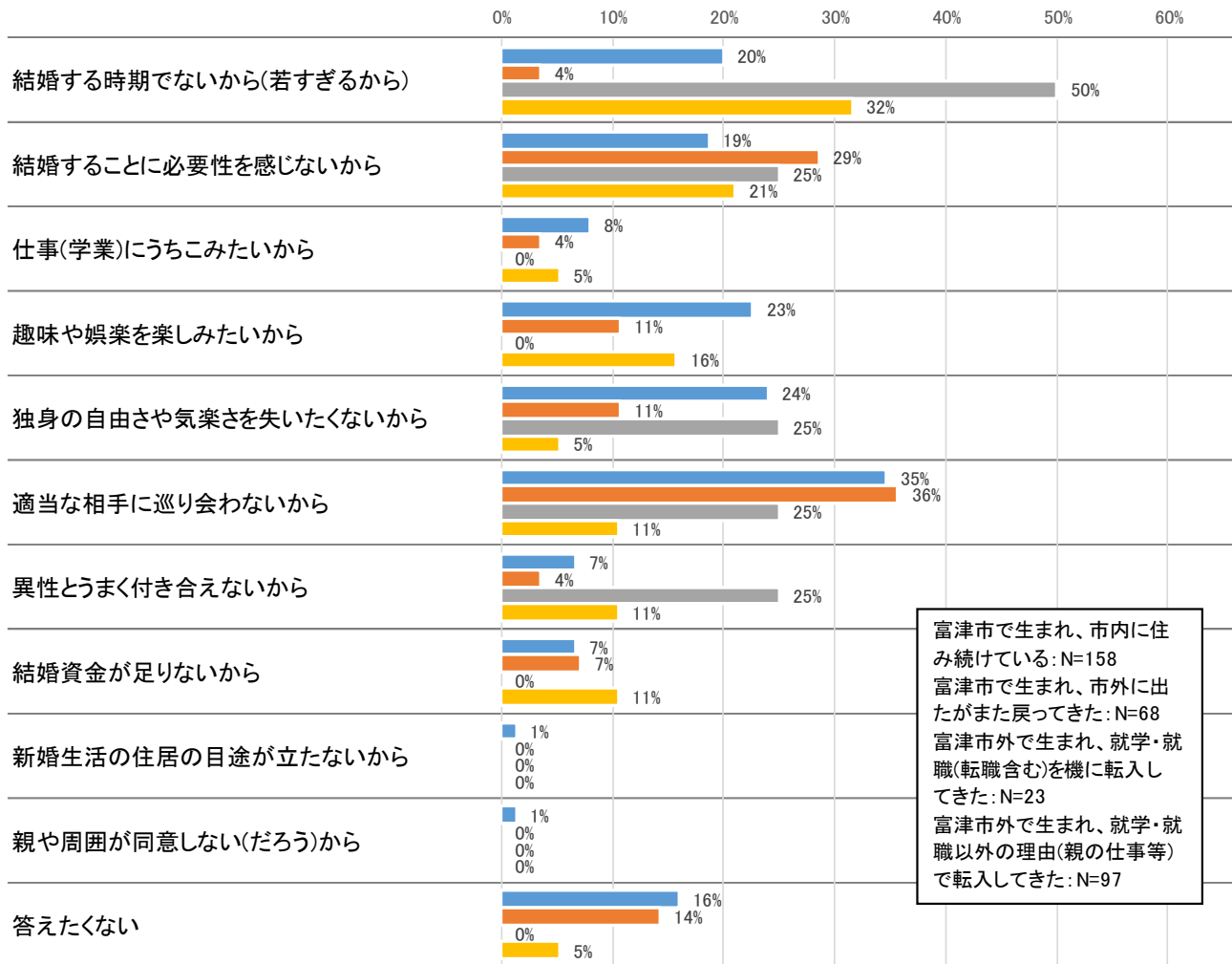
一方で市内在住年数が20年以上の人は「趣味や娯楽を楽しみたいから」や「適当な相手に巡り合わないから」についての回答比率が他の属性に比べて比較的高くなっている。



(5) 転入の有無別

「適当な相手に巡り合わないから」については、富津市に生まれた人の回答比率が富津市外で生まれた人の比率よりも比較的高くなっている。

「結婚する時期ではないから」については、富津市外で生まれた人の回答比率が富津市に生まれた人の比率よりも比較的高くなっている。



- 富津市で生まれ、市内に住み続けている
- 富津市で生まれ、市外に出たがまた戻ってきた
- 富津市外で生まれ、就学・就職(転職含む)を機に転入してきた
- 富津市外で生まれ、就学・就職以外の理由(親の仕事等)で転入してきた

2.5 市の特徴を探るための2次分析

2.1～2.4の集計項目以外で、市の特徴を探るために以下の項目の集計・分析を実施した。

- 2.5.1：居住意向別の、富津市での生活の満足度・重要度(問3と問4の回答のクロス集計)
- 2.5.2：居住意向別の、地域活動への参加意欲(問3と問6の回答のクロス集計)
- 2.5.3：居住意向別の、安心・安全なまちになるために重要なこと(問3と問8の回答のクロス集計)
- 2.5.4：居住意向別の、デジタルを活用した取組に対するニーズ(問3と問9の回答のクロス集計)
- 2.5.5：現在の子どもの数と、理想的な子どもの数(問13と問14の回答のクロス集計)
- 2.5.6：「子育てしにくい」と感じている人が、子育てしやすい環境になるために必要だと考える取組(問15と問16の回答のクロス集計)
- 2.5.7：富津市の生活での満足度からみた富津市の強み・弱み(問4の詳細分析)

分析結果は以下のとおりである。

- 富津市に永住意向のある人は、富津市での生活の満足度がいずれの項目においても高くなっている。(→2.5.1)
- 富津市に永住意向のある人は、富津市での生活の重要度がいずれの項目においても高くなっている。一方で、中には「働く場所の創出」「地場産業の育成」等、居住意向に関係なく重要度の高い項目がある。(→2.5.1)
- 富津市に永住意向のある人は、コミュニティ活動への参加意向が大きい。(→2.5.2)
- 居住意向に関わらず、「防犯灯、街路灯などの整備」「災害に強く、交通安全に配慮した道路等の整備」等の安心・安全なまちづくりのためのハード整備に関するニーズが大きい。(→2.5.3)
- 富津市に永住意向のある人は、「避難所や一時避難所の整備・充実」の回答比率が比較的大きい。(→2.5.3)
- 居住意向に関わらず、「行政手続きのオンライン化」に対するニーズが大きい。(→2.5.4)
- 富津市に永住意向のある人は、「デジタルに不慣れな方へのサポート」に対するニーズが大きい。(→2.5.4)
- 「現在子どもはいないが、理想的には2人ほしい」「現在子どもがおらず、将来的にも子どもは持たない／持てない」と回答した人が多い。(→2.5.5)
- 富津市で子育てしにくいと感じている人は、必要な取組として「子どもを安心して預けられる幼稚園・保育所・託児所」等、子育てのための施設整備に対するニーズが大きい。また、「働く場の確保による経済的な安定」等、子育てをするうえでの経済的な安定を求める声も大きい。(→2.5.6)
- 富津市の強みは「住む場所」「買物をする場所」「上下水道の整備」「災害への対策」、弱みは「働く場所の創出」「公共交通網の整備」である。(→2.5.7)

詳細の集計・分析結果を次頁以降に示す。

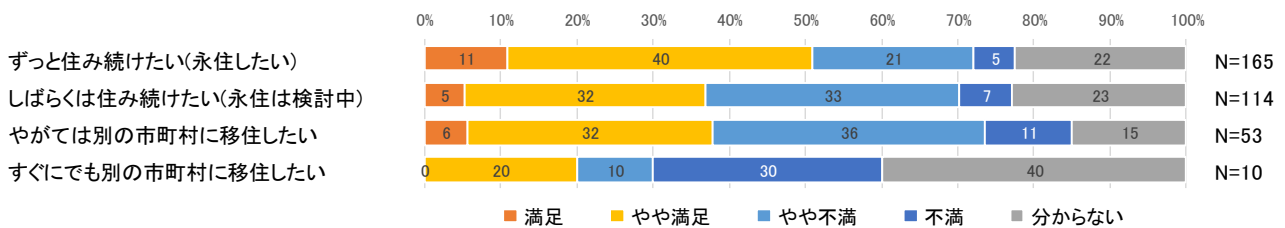
2.5.1 居住意向別の、富津市での生活の満足度・重要度(問3×問4)

2.5.1.1 満足度

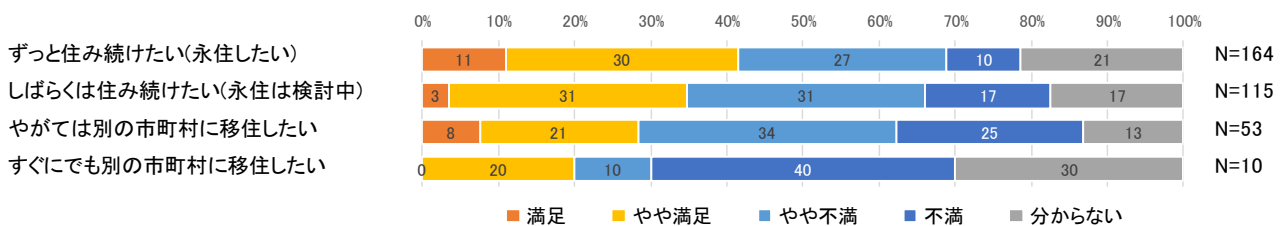
(1) 各項目の分析結果

全ての項目について、永住意向のある人の満足度は移住意向のある人に比べて満足度が高い傾向になっている。

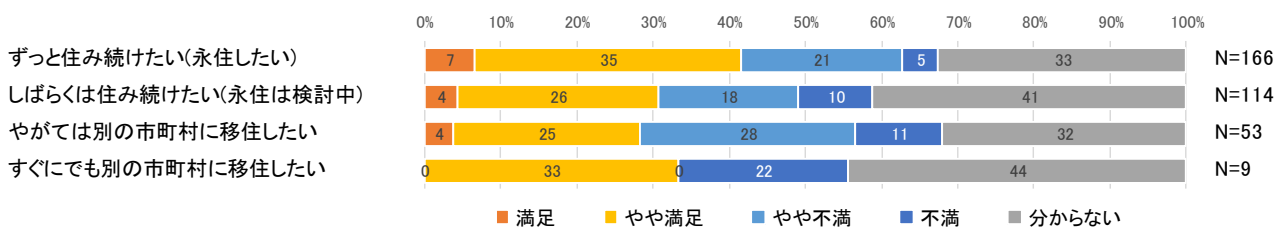
1) 災害への対策



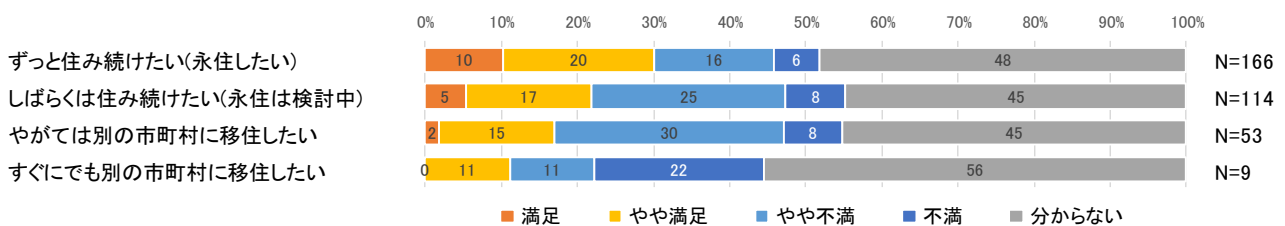
2) 防犯や交通安全対策



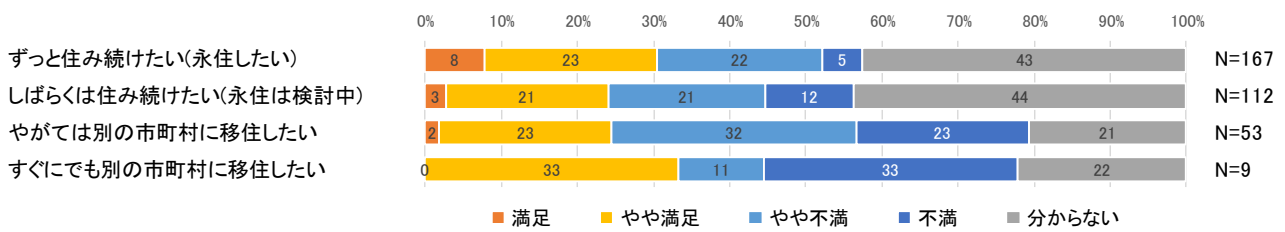
3) 市民活動やコミュニティの支援



4) 子育て支援

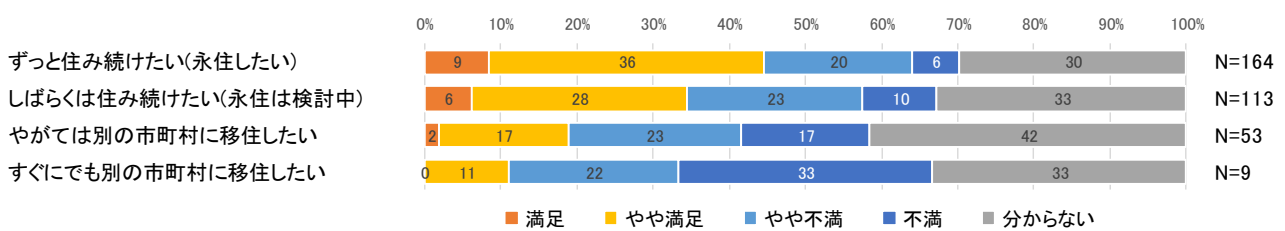


5) 学習環境

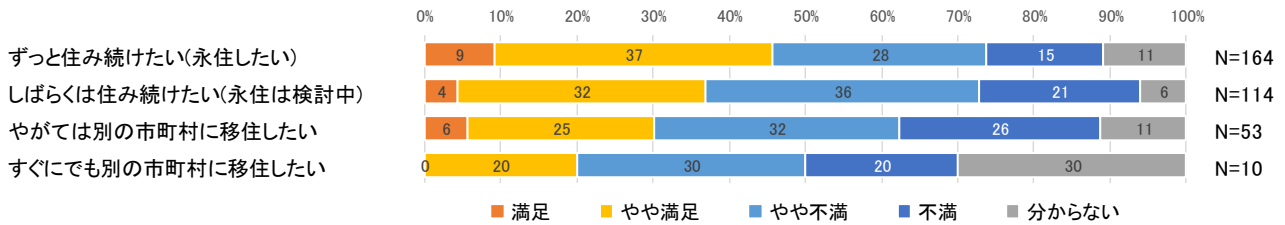


6) 福祉サービス

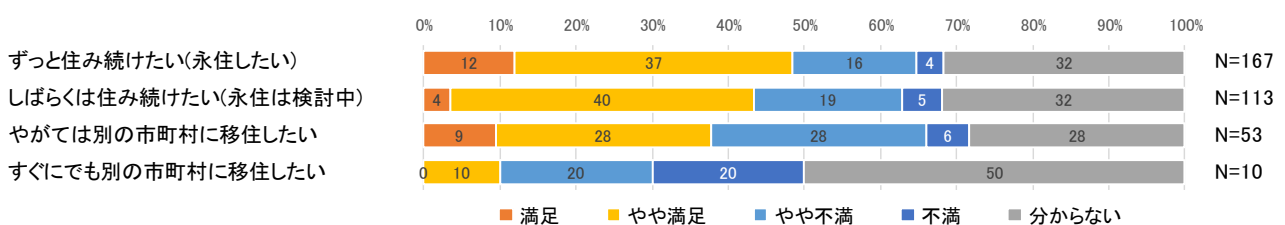
「ずっと住みたい」「しばらく住みたい」と回答した人は満足度が高いが、「やがては移住したい」「すぐにでも移住したい」という人は満足度が低い。



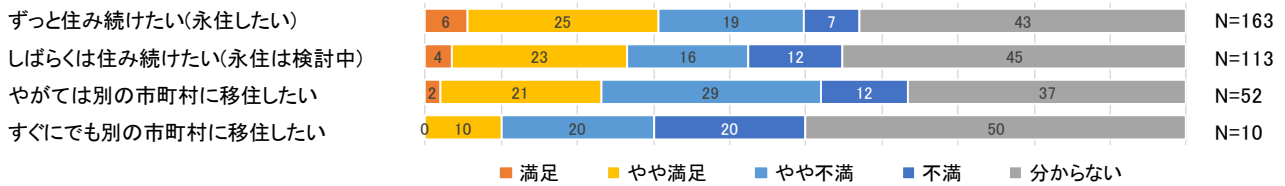
7) 医療



8) 健康増進の取組み

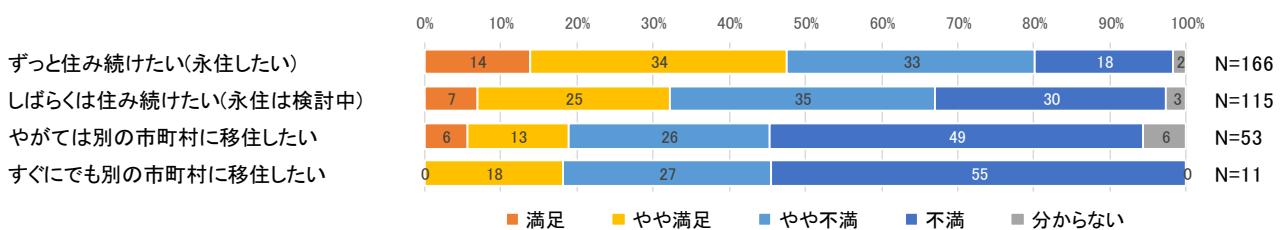


9) 市民の交流拠点

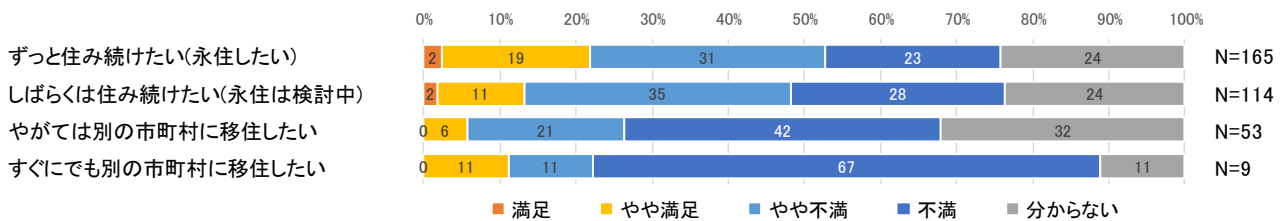


10) 買物をする場所

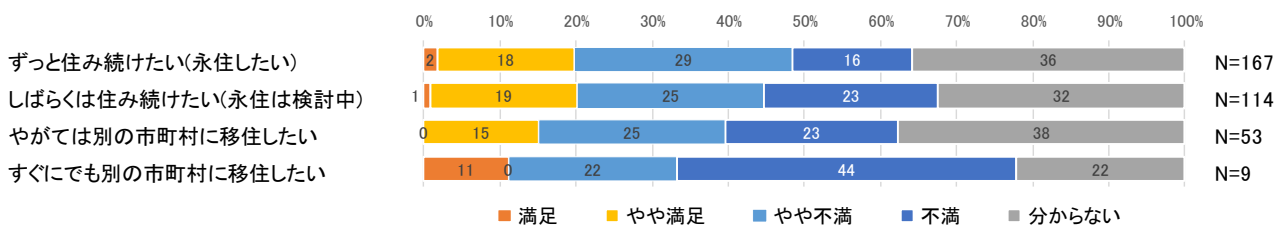
「ずっと住みたい」と回答した人は満足度が高いが、「やがては移住したい」「すぐにでも移住したい」という人は満足度が低い。



11) 働く場所の創出



12) 地場産業の育成



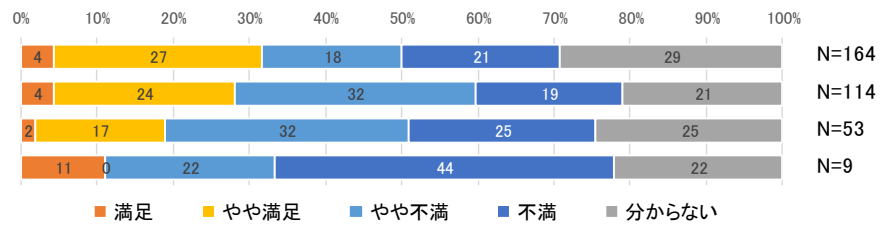
13) 観光産業の振興

ずっと住みたい(永住したい)

しばらくは住みたい(永住は検討中)

やがては別の市町村に移住したい

すぐにでも別の市町村に移住したい



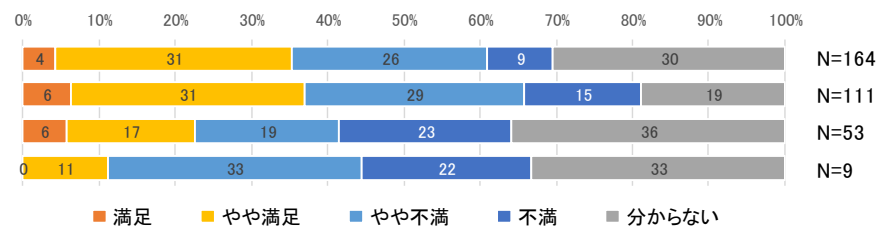
14) 地域情報の発信

ずっと住みたい(永住したい)

しばらくは住みたい(永住は検討中)

やがては別の市町村に移住したい

すぐにでも別の市町村に移住したい



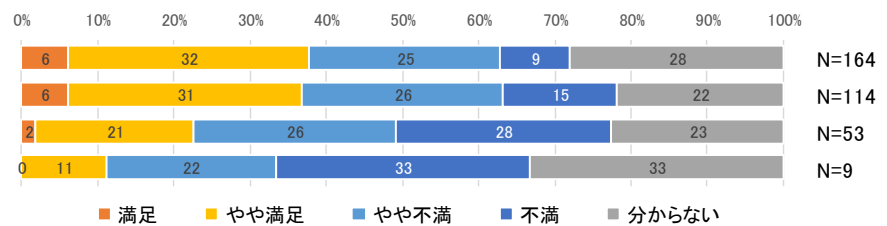
15) 仕事と生活の調和

ずっと住みたい(永住したい)

しばらくは住みたい(永住は検討中)

やがては別の市町村に移住したい

すぐにでも別の市町村に移住したい



16) 住む場所

「ずっと住みたい」「しばらくは住みたい」と回答した人は満足度が高く、特に「ずっと住みたい」と回答した人の70%以上が「満足」「やや満足」と回答している。

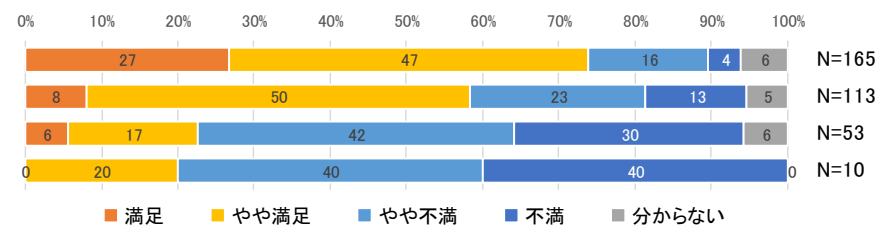
「やがては移住したい」「すぐにでも移住したい」という人は満足度が低い。

ずっと住みたい(永住したい)

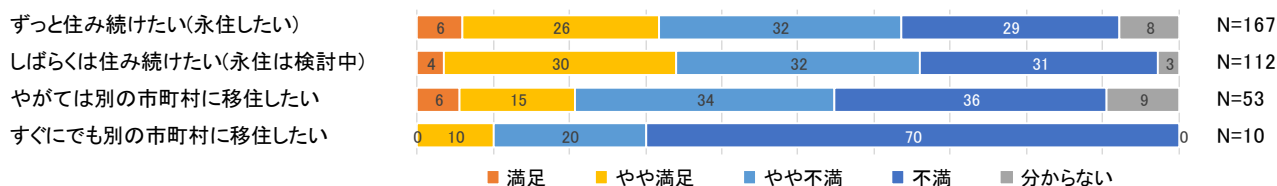
しばらくは住みたい(永住は検討中)

やがては別の市町村に移住したい

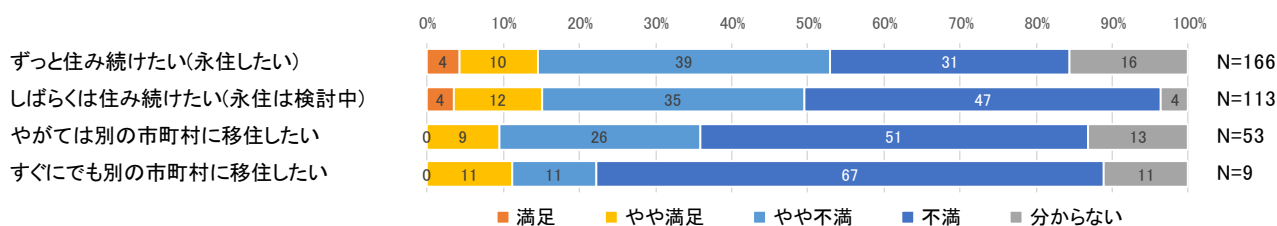
すぐにでも別の市町村に移住したい



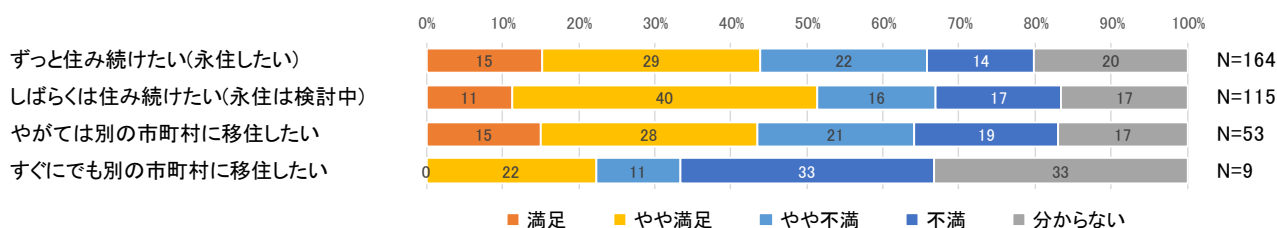
17) 道路の整備



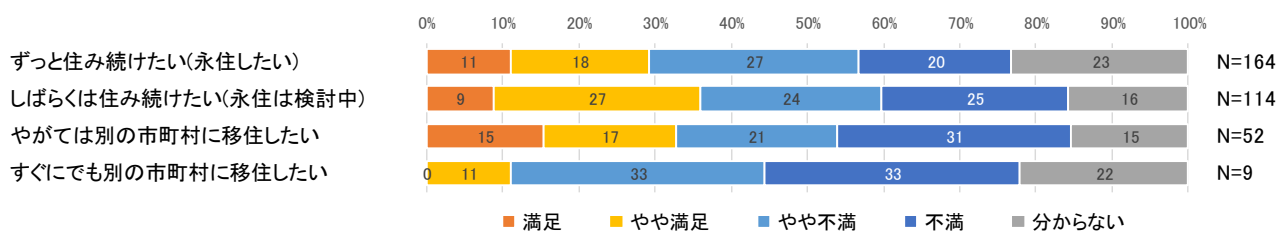
18) 公共交通網の整備



19) 上下水道の整備



20) 下水道・排水路の整備



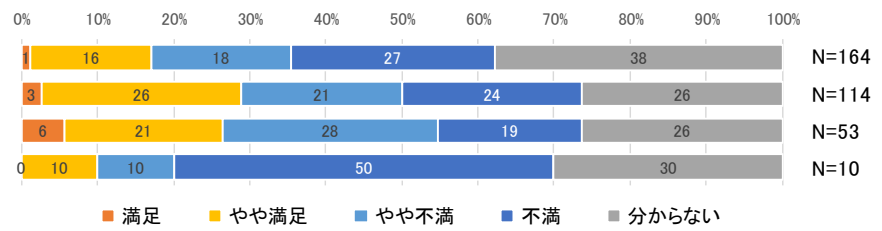
21) 有害鳥獣対策

ずっと住みたい(永住したい)

しばらくは住みたい(永住は検討中)

やがては別の市町村に移住したい

すぐにでも別の市町村に移住したい



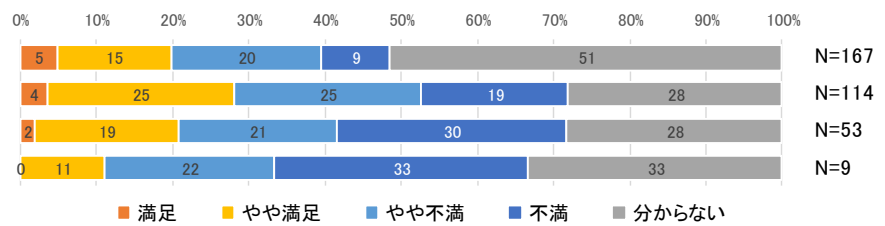
22) デジタル化

ずっと住みたい(永住したい)

しばらくは住みたい(永住は検討中)

やがては別の市町村に移住したい

すぐにでも別の市町村に移住したい



(2) 居住意向別の満足度の比較

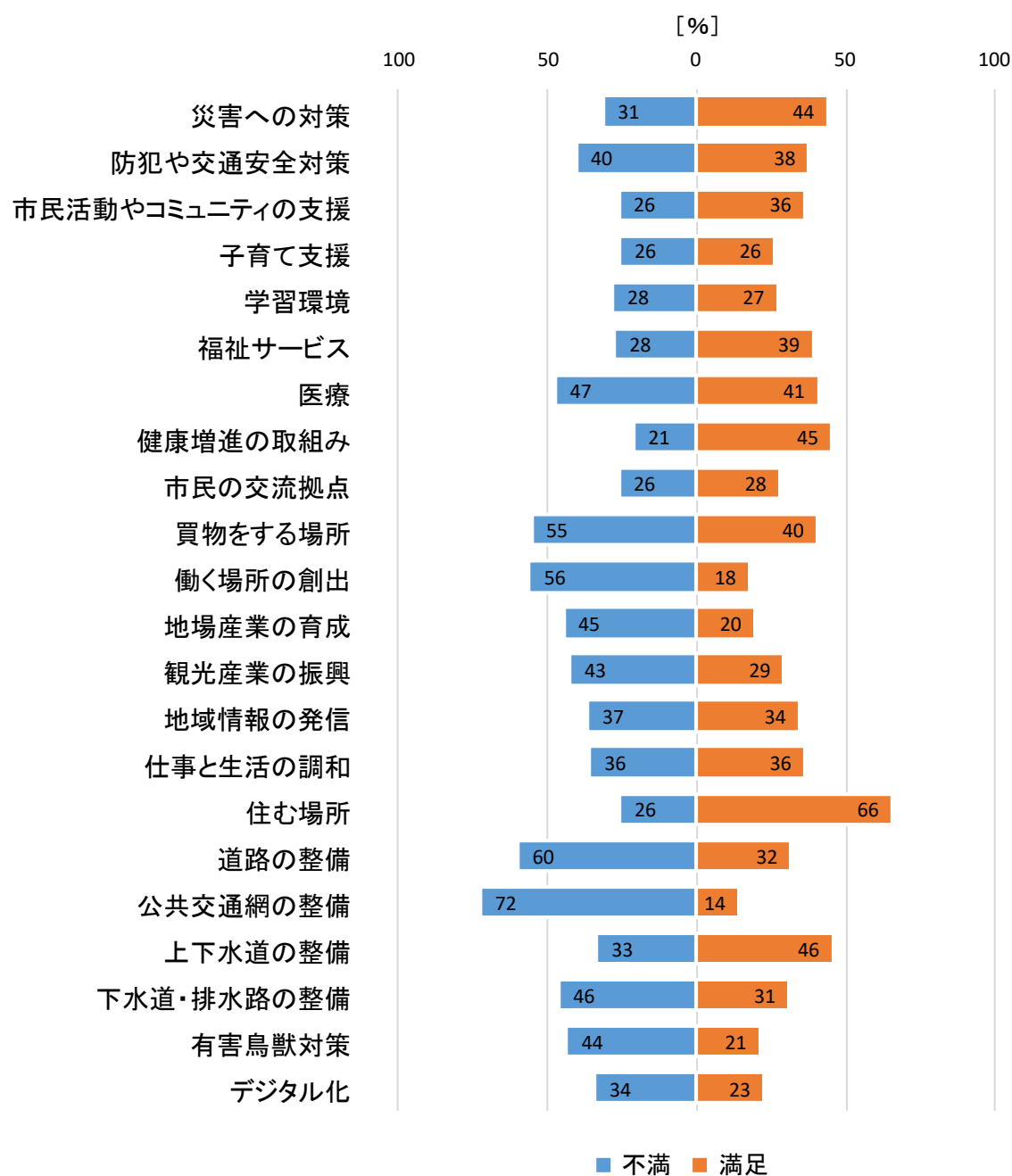
問3で「ずっと住みたい」「しばらくは住みたい」と回答した人を「住みたい」、「やがては別の市町村に移住したい」「すぐにでも別の市町村に移住したい」と回答した人を「移住したい」とし、問4で「満足」「やや満足」と回答した人を「満足」、「不満」「やや不満」と回答した人を「不満」とし、両者の回答をクロス集計した。

「住みたい」と回答した人の「満足」項目の比率は「住む場所」が最も高く、次いで「上下水道の整備」、「健康増進の取組み」「災害への対策」となっている。

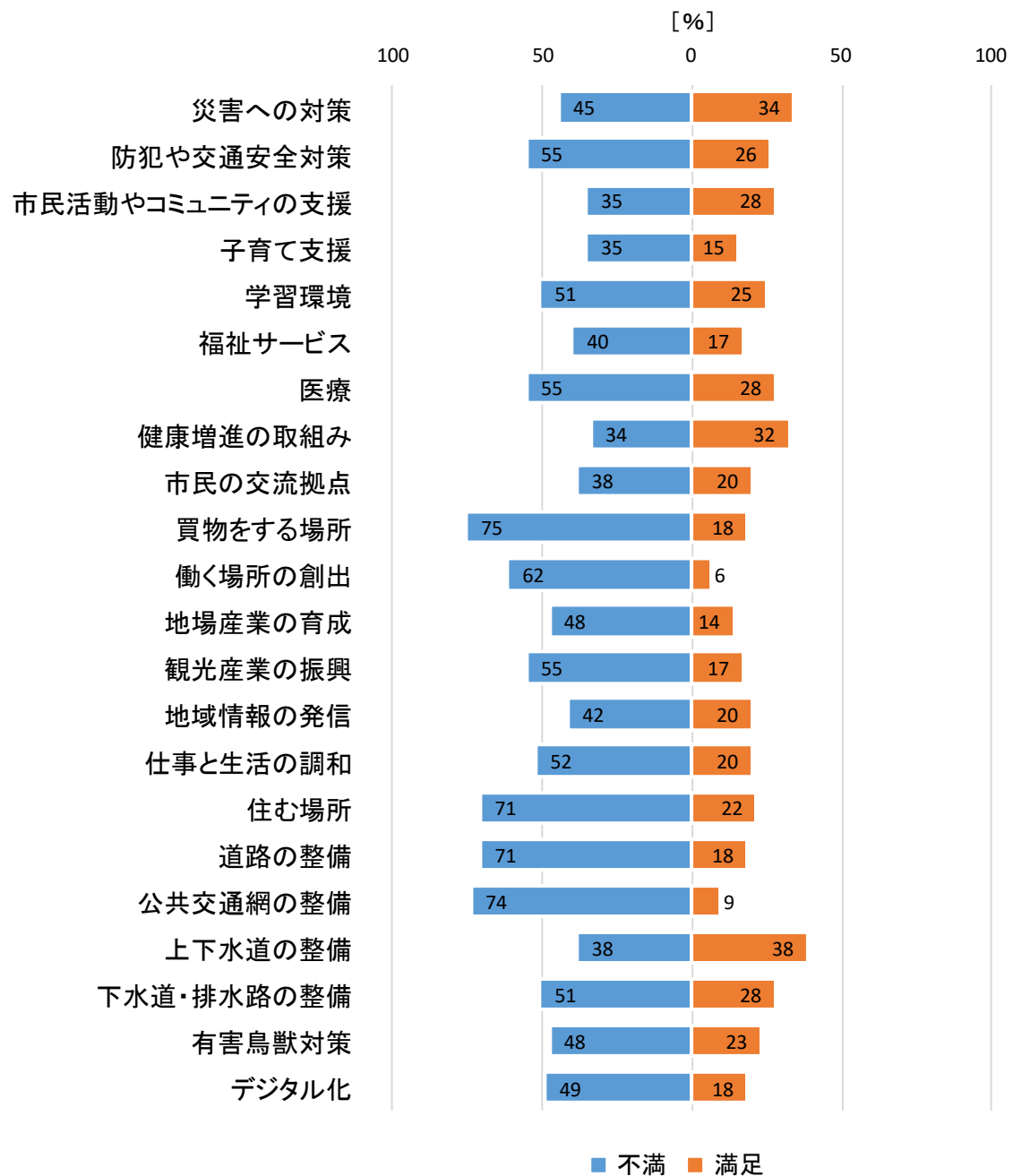
一方、「不満」の項目では、「住みたい」「移住したい」と回答した人のいずれも「公共交通網の整備」の比率が高く、「道路の整備」「働く場の創出」「買物をする場所」も共通上位項目となっている。また、「移住したい」と回答した人は「住みたい」人に比べて「住む場所」を「不満」の上位項目として挙げている。

具体の集計結果を次頁以降に示す。

1) 「住み続けたい」人の各項目の満足・不満の内訳



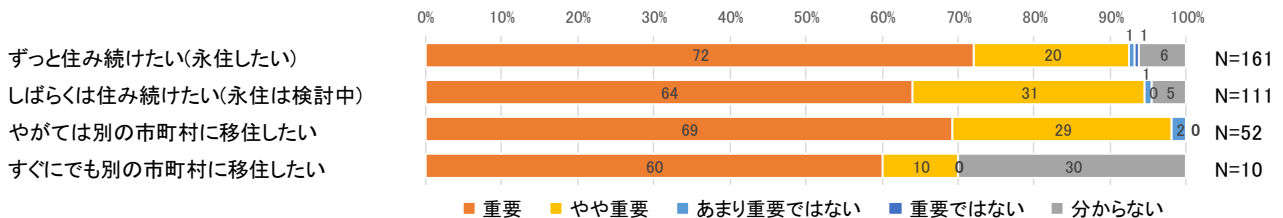
2) 「移住したい」人の各項目の満足・不満の内訳



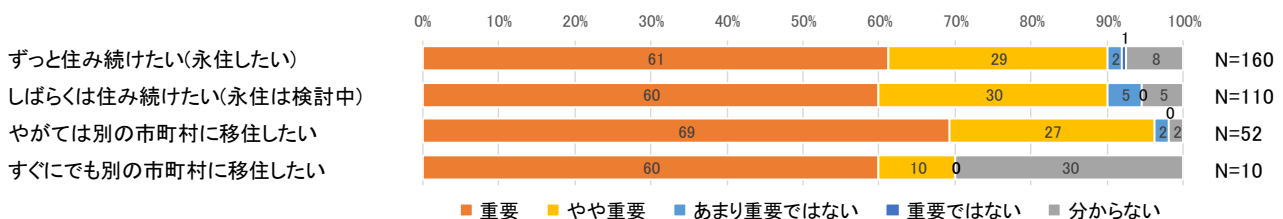
2.5.1.2 重要度

全ての項目について、移住意向のある人は永住意向のある人に比べて重要度が比較的低い傾向になっている。一方で、「働く場所の創出」「地場産業の育成」「観光産業の育成」「地域情報の発信」については、永住意向に関わらず重要度が高くなっている。

(1) 災害への対策

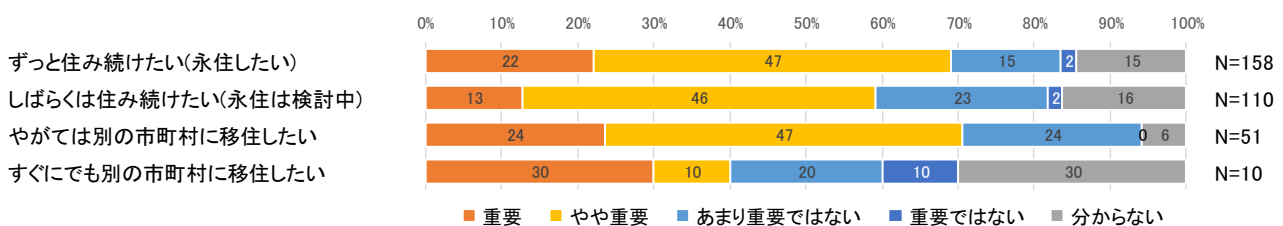


(2) 防犯や交通安全対策

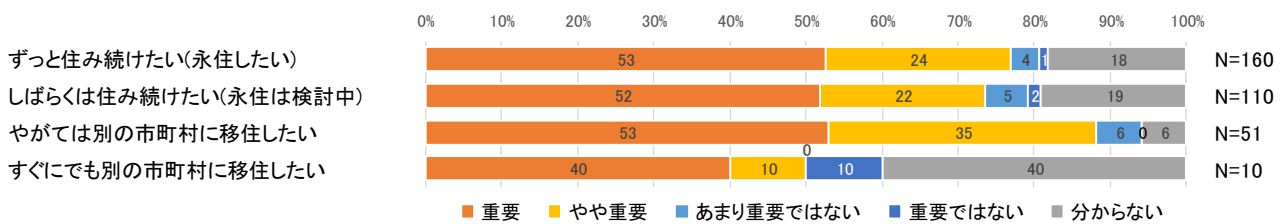


(3) 市民活動やコミュニティの支援

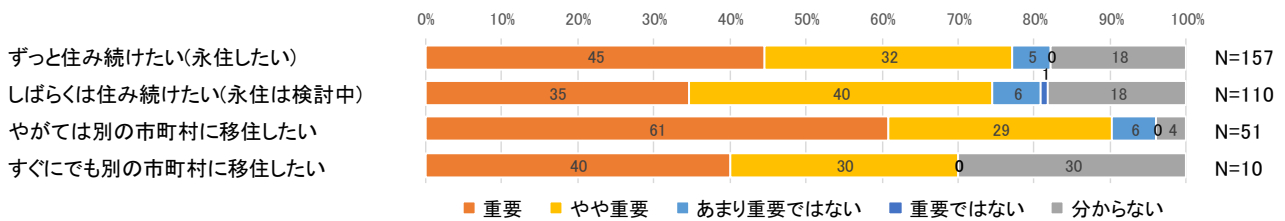
「ずっと住み続けたい」「しばらく住み続けたい」「やがては移住したい」と回答した人の多くは「重要」「やや重要」と回答しているが、「すぐにでも移住したい」という人は重要度が低い。



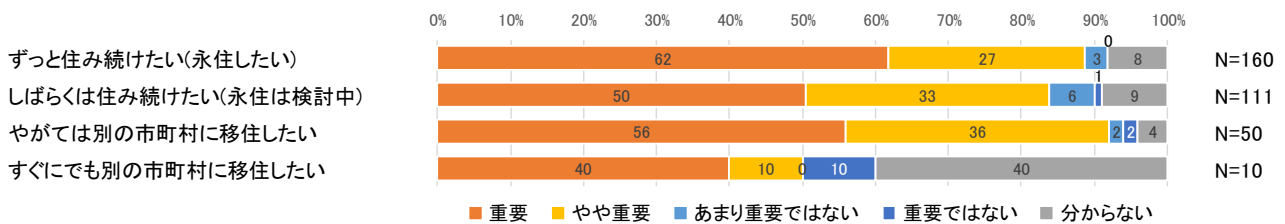
(4) 子育て支援



(5) 学習環境



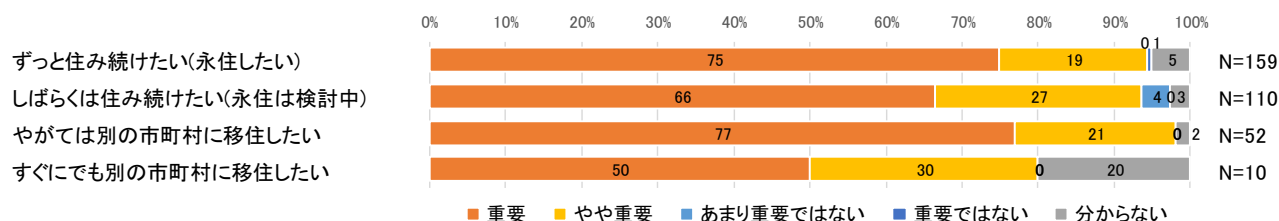
(6) 福祉サービス



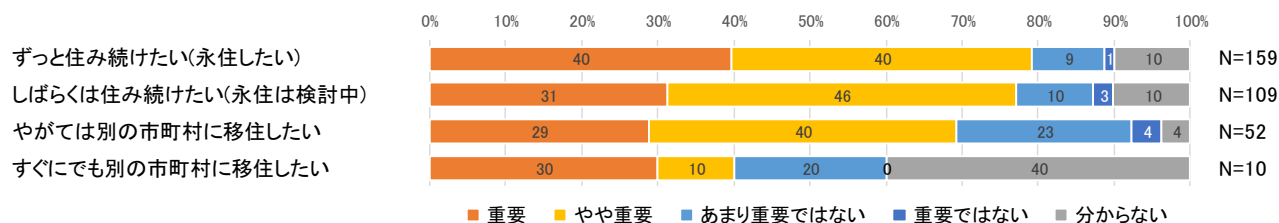
(7) 医療

「ずっと住み続けたい」「しばらく住み続けたい」「やがては移住したい」と回答した人の90%以上は「重要」「やや重要」と回答している。

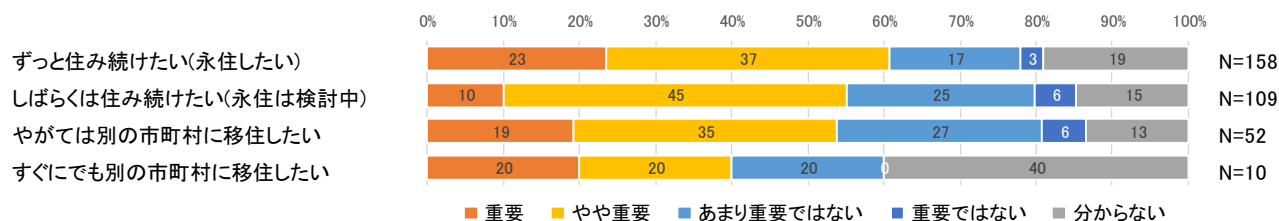
居住意向に関係なく、「重要ではない」と回答した人は少ない。



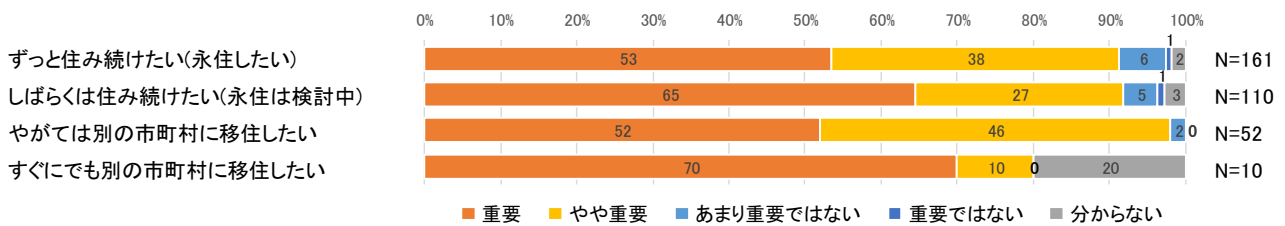
(8) 健康増進の取組み



(9) 市民の交流拠点

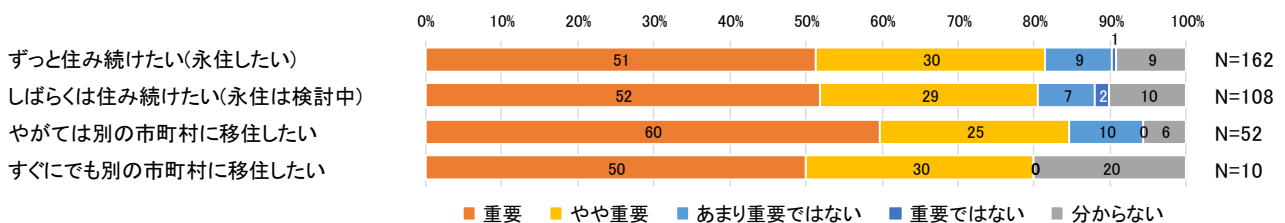


(10) 買物をする場所



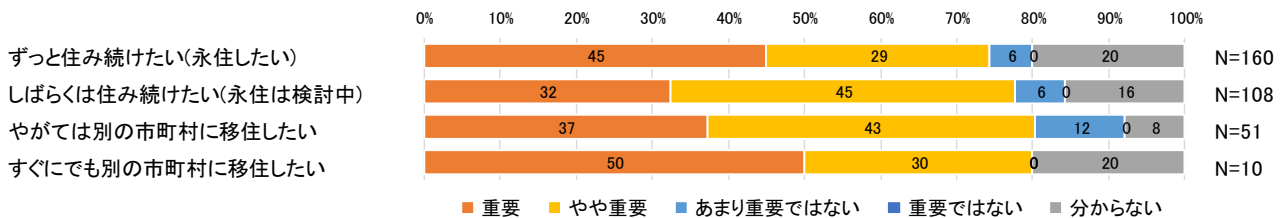
(11) 働く場所の創出

永住意向に関わらず、「重要」「やや重要」の回答比率が高くなっている。



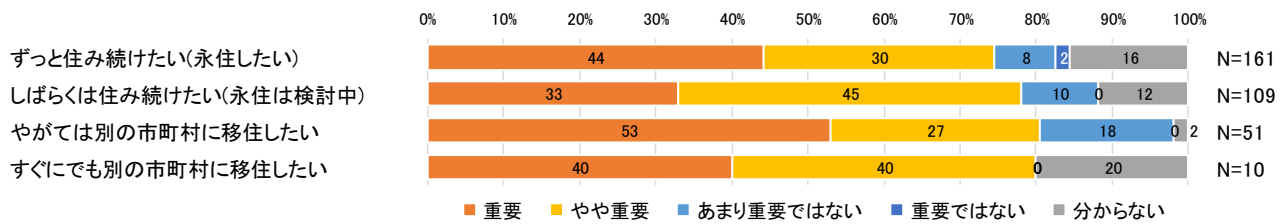
(12) 地場産業の育成

永住意向に関わらず、「重要」「やや重要」の回答比率が高くなっている。



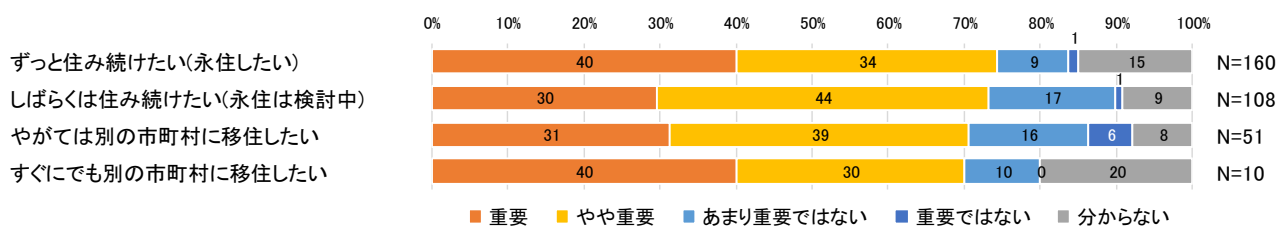
(13) 観光産業の育成

永住意向に関わらず、「重要」「やや重要」の回答比率が高くなっている。

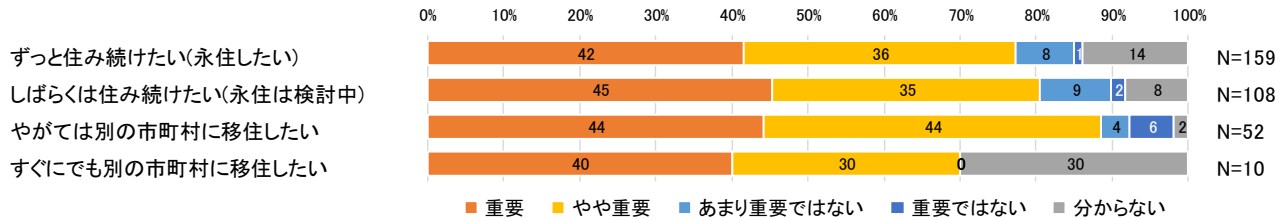


(14) 地域情報の発信

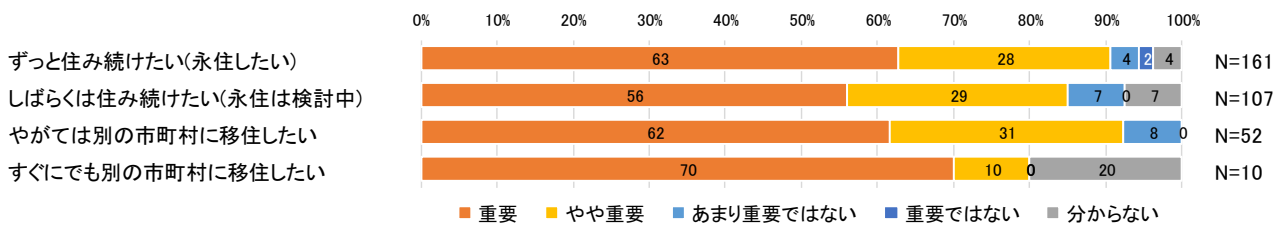
永住意向に関わらず、「重要」「やや重要」の回答比率が高くなっている。



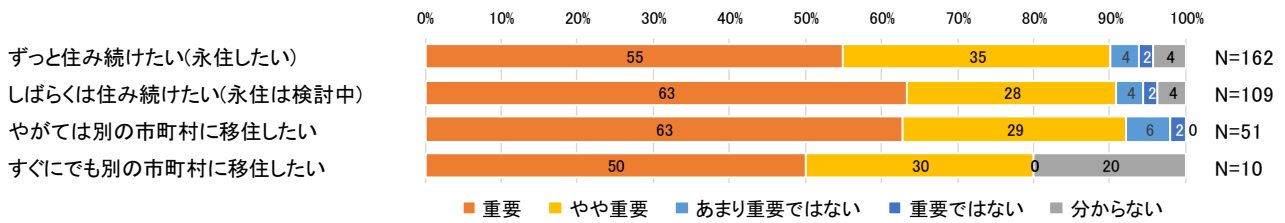
(15) 仕事と生活の調和



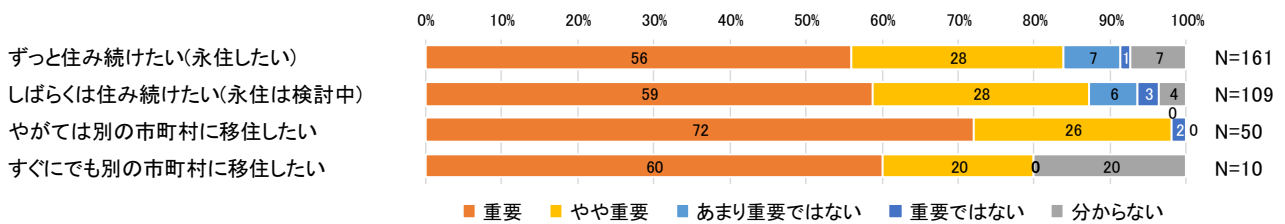
(16) 住む場所



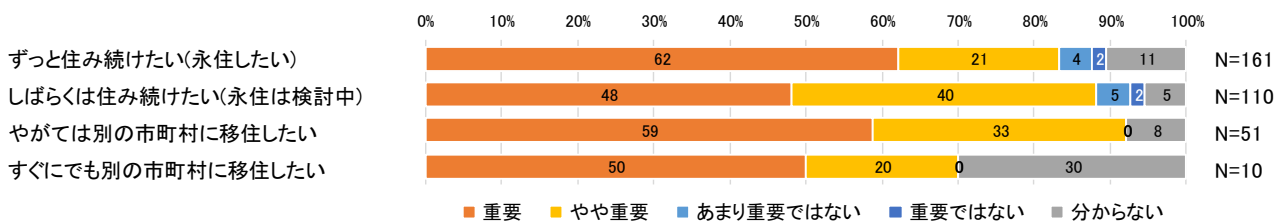
(17) 道路の整備



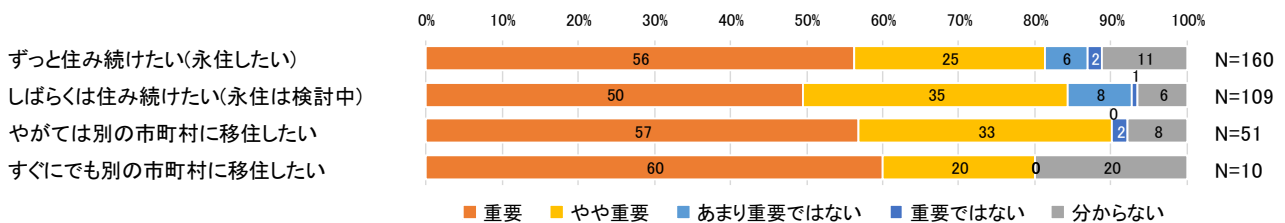
(18) 公共交通網の整備



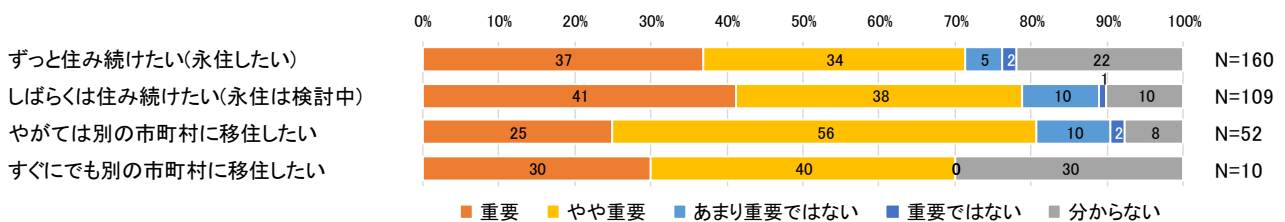
(19) 上下水道の整備



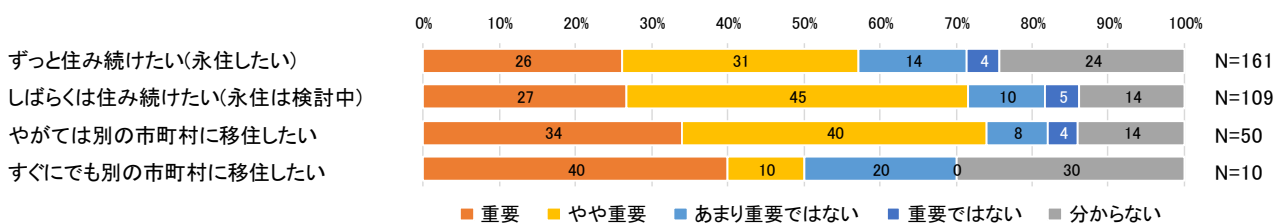
(20) 下水道・排水路の整備



(21) 有害鳥獣対策

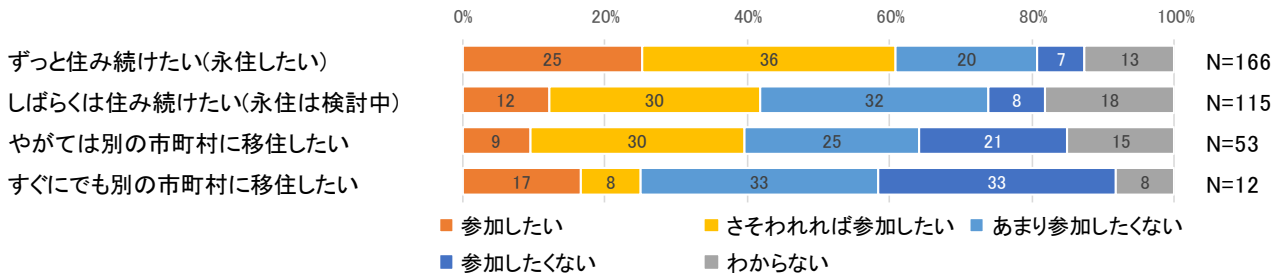


(22) デジタル化



2.5.2 居住意向別の地域活動への参加意欲(問3×問6)

「ずっと住み続けたい」と回答した人はコミュニティ活動への参加意向が大きく、約60%を占めている。



2.5.3 居住意向別の、安心・安全なまちになるために重要なこと(問3×問8)

居住意向に関わらず、「防犯灯、街路灯などの整備」「応急医療体制の充実」「災害に強く、交通安全に配慮した道路等の整備」の回答比率が大きい。

「ずっと住み続けたい」と回答した人は、「避難所や一時避難所の整備・充実」の回答比率が比較的大きい。

選択肢	避難所や一時避難所の整備・充実	災害時用の食糧や資材などの備蓄	防犯灯、街路灯などの整備	防災・防犯などの情報の伝達手段の充実	応急医療体制の充実	人が多く集まる公共施設や文化施設などの耐震化	市民の防災意識を高めるための取り組みの実施	市民が主体となって防災活動を実施する団体の充実	ハザードマップの整備	災害に強く、交通安全に配慮した道路等の整備	特にない
ずっと住み続けたい(永住したい)	43.9	35.1	43.9	15.2	45.0	11.7	8.2	4.7	5.3	40.4	7.0
しばらくは住み続けたい(永住は検討中)	25.0	37.1	50.9	16.4	52.6	16.4	6.0	5.2	6.0	44.8	3.4
やがては別の市町村に移住したい	39.6	22.6	62.3	9.4	54.7	17.0	9.4	0.0	3.8	52.8	0.0
すぐにでも別の市町村に移住したい	25.0	16.7	58.3	25.0	41.7	0.0	0.0	0.0	16.7	66.7	8.3

(単位：%)



2.5.4 居住意向別の、デジタルを活用した取組に対するニーズ(問3×問9)

居住意向に関わらず、「行政手続きのオンライン化」の回答比率が大きい。

「ずっと住み続けたい」「しばらくは住み続けたい」と回答した人は、「デジタルに不慣れな方へのサポート」の回答比率が大きい。「すぐにでも移住したい」と回答した人は、「キャッシュレス決済の拡大」の回答比率が大きい。

	行政手続きのオンライン化	キャッシュレス決済の拡大	ベンチャー企業などを立ち上げやすい環境づくり(創業支援の強化)	デジタルを活用した農林水産業の生産性向上	観光客の来訪しやすさの向上や観光データを用いたマーケティング	デジタルを活用したインフラの運営や維持・管理	テレワークやワーケーション環境の整備	遠隔医療の充実	教育のデジタル化(デジタル教科書、遠隔授業配信など)	デジタルに不慣れな方へのサポート	特になし
ずっと住み続けたい(永住したい)	38.6	18.1	18.7	12.3	26.9	9.4	10.5	21.1	12.9	52.6	12.9
しばらくは住み続けたい(永住は検討中)	46.6	23.3	14.7	16.4	19.8	12.9	12.9	26.7	16.4	46.6	10.3
やがては別の市町村に移住したい	49.1	30.2	13.2	11.3	28.3	17.0	13.2	26.4	28.3	35.8	3.8
すぐにでも別の市町村に移住したい	33.3	58.3	0.0	0.0	16.7	16.7	25.0	16.7	16.7	25.0	8.3

(単位：%)



2.5.5 現在の子どもの数と理想的な子どもの数(問13×問14)

子育て世代以下として、40代以下の人々の回答に限定して集計した。(回答者数：154人)

「現在子どもはいないが、理想的には2人子どもがほしい」の回答比率が最も大きい。

次いで、「現在子どもがおらず、将来的にも子どもは持たない／持てない」の回答比率が大きい。

選択肢	子どもは持たない／持てない	1人	2人	3人	4人	5人
子どもはいない	21.4	5.2	31.2	6.5	0.0	0.0
1人	1.3	0.6	3.9	3.2	0.0	0.0
2人	0.0	0.0	8.4	7.1	0.0	0.0
3人	0.0	0.6	0.0	7.8	0.0	0.0
4人	0.0	0.0	0.6	0.0	1.9	0.0
5人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

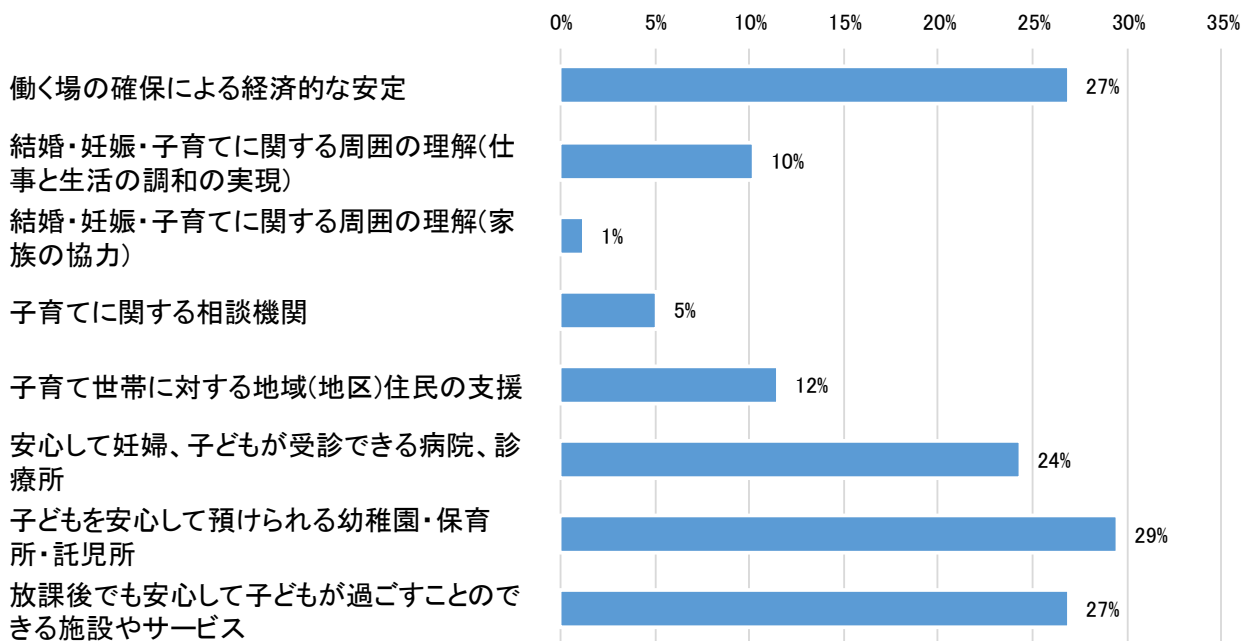
(単位：%)



2.5.6 「子育てしにくい」と感じている人が、子育てしやすい環境になるために必要だと考える取組
(問 15×問 16)

「子どもを安心して預けられる幼稚園・保育所・託児所」の回答比率が最も大きく、次いで「働く場の確保による経済的な安定」「放課後でも安心して子どもが過ごすことのできる施設やサービス」、「安心して妊婦、子どもが受診できる病院、診療所」の回答比率が大きい。

(N=78 人)



2.5.7 富津市の生活での満足度からみた富津市の強み・弱み(問4の詳細分析)

問4の「富津市での生活の満足度」の回答を活用し、加重平均値を算出することにより富津市の強みと弱みを分析した。加重平均値の算出方法は以下のとおりである。

- 問4の回答で「満足」を4点、「やや満足」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点、「わからない」を0点とする。

A:「満足」回答者数

B:「やや満足」回答者数

C:「やや不満」回答者数

D:「不満」回答者数

E:「わからない」回答者数

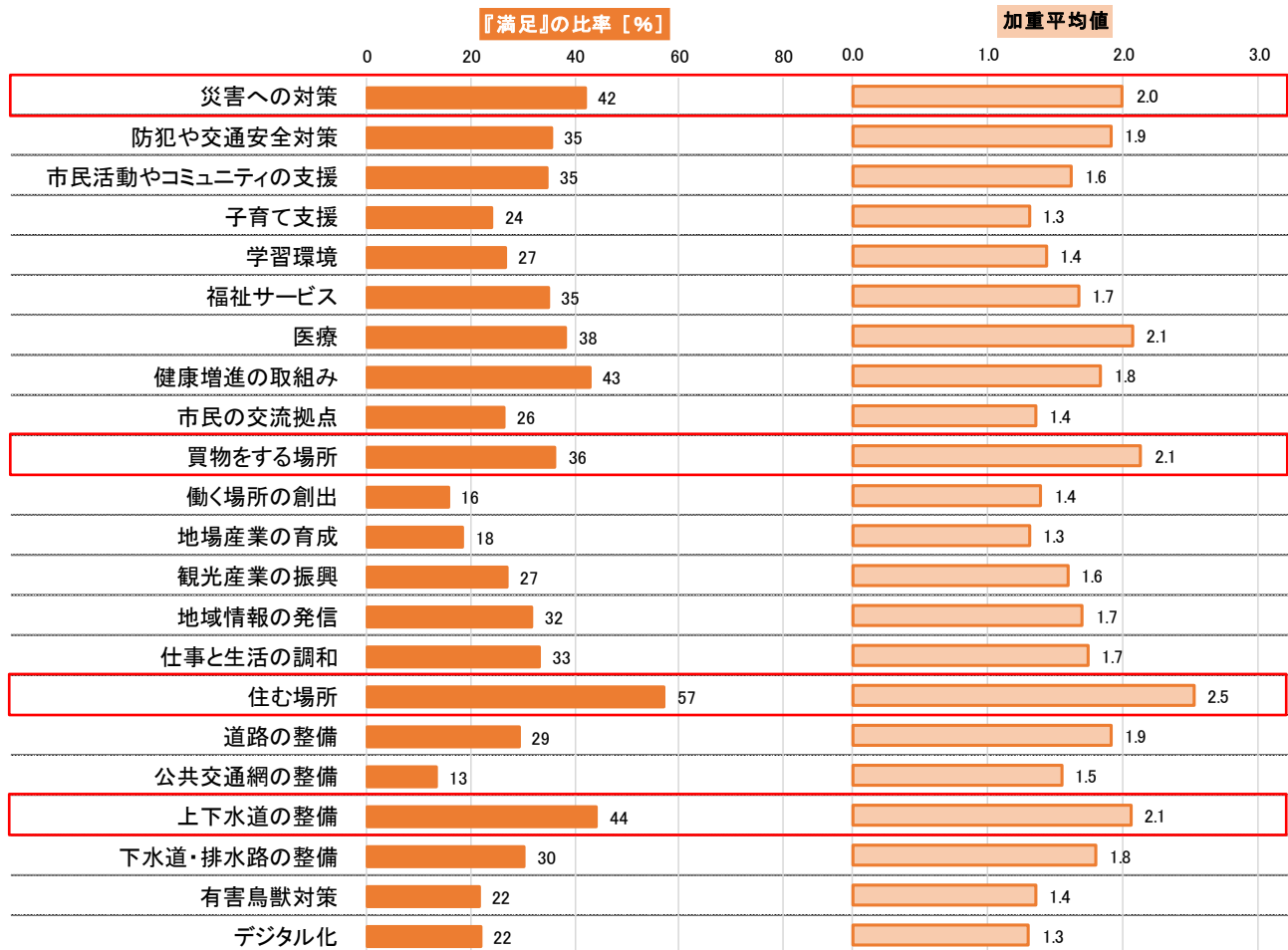
$$(\text{加重平均値}) = \frac{(A \times 4 \text{ 点}) + (B \times 3 \text{ 点}) + (C \times 2 \text{ 点}) + (D \times 1 \text{ 点}) + (E \times 0 \text{ 点})}{A + B + C + D + E}$$

- 問4で「満足」「やや満足」と回答した人を『満足』、「不満」「やや不満」と回答した人を『不満』とする。

分析結果を次頁に示す。

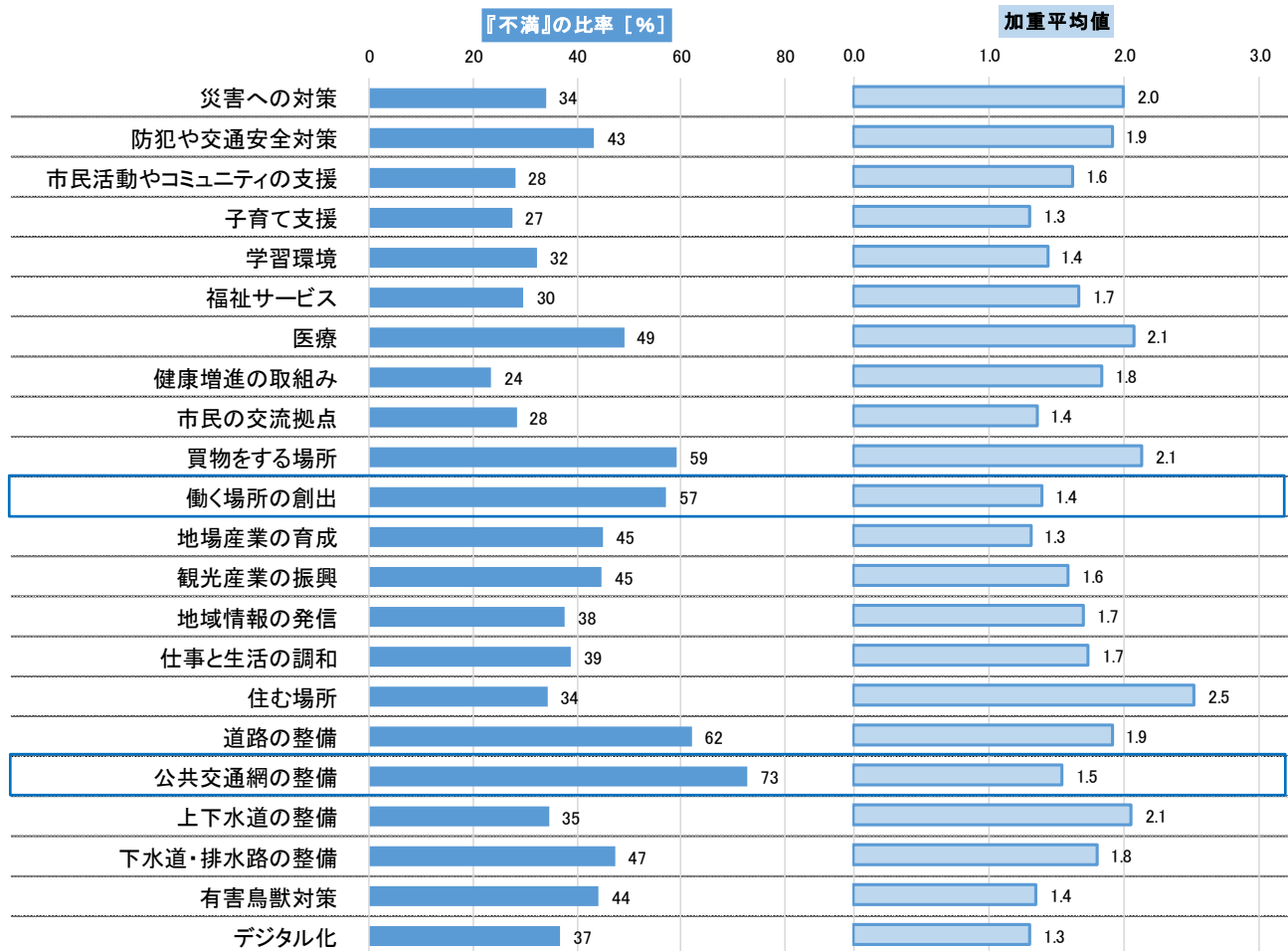
2.5.7.1 富津市の強み

『満足』の比率と加重平均値の両方が高くなっている項目は「住む場所」「買物をする場所」「上下水道の整備」「災害への対策」となっている。これらの項目は、富津市の強みと考えられる。



2.5.7.2 富津市の弱み

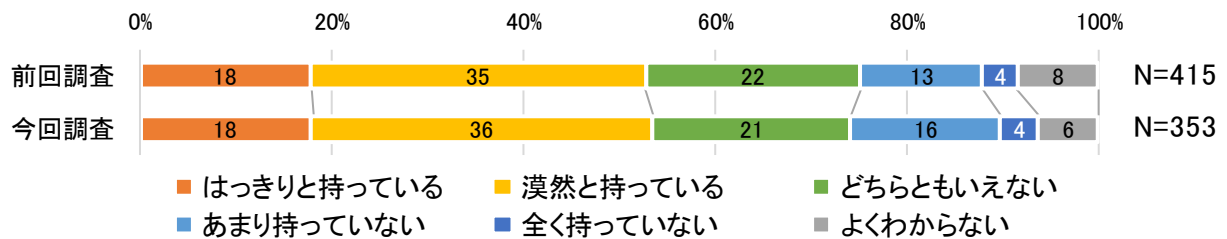
『不満』の比率が高く、加重平均値の低い項目は「働く場所の創出」「公共交通網の整備」となっている。これらの項目は、富津市の弱みと考えられる。



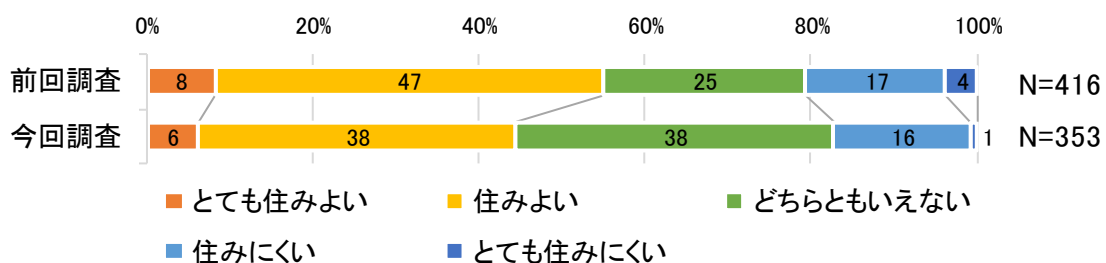
2.6 前回調査との比較分析

2.6.1 富津市への誇りや愛着(問1)

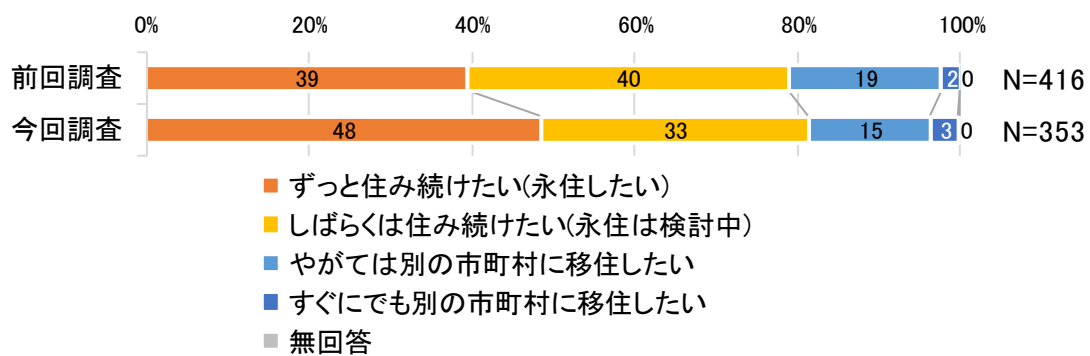
全体的に前回調査と比較して変化は少ないが、「あまり持っていない」「持っていない」の回答比率が前回調査よりも微増している。



2.6.2 富津市の住みごち(問2)



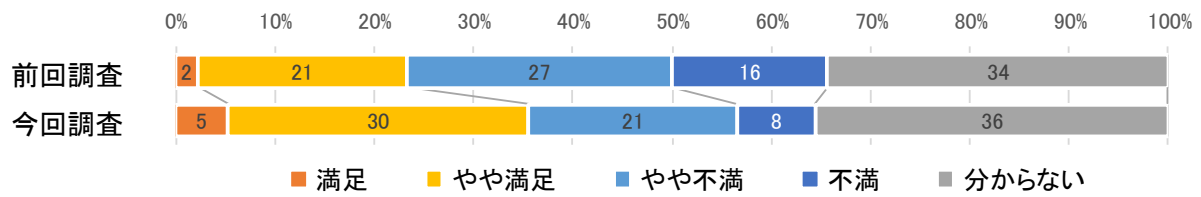
2.6.3 富津市への定住意向(問3)



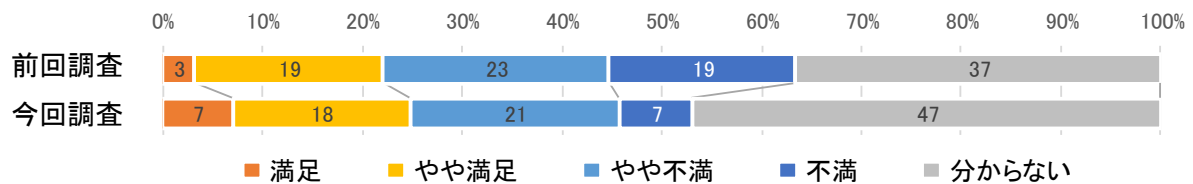
2.6.4 富津市での生活の満足度(問4)

(1) 市民活動やコミュニティの支援

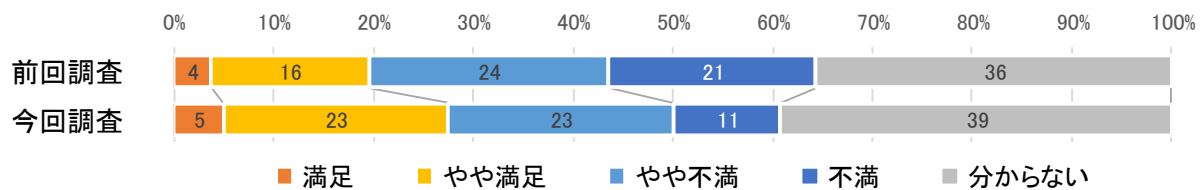
前回調査と比較して「満足」「やや満足」の回答比率が増加している。



(2) 子育て支援

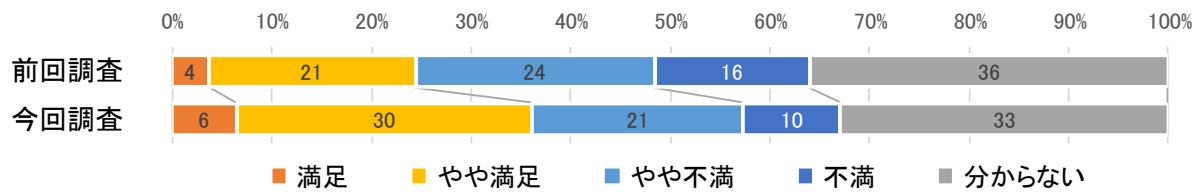


(3) 学習環境

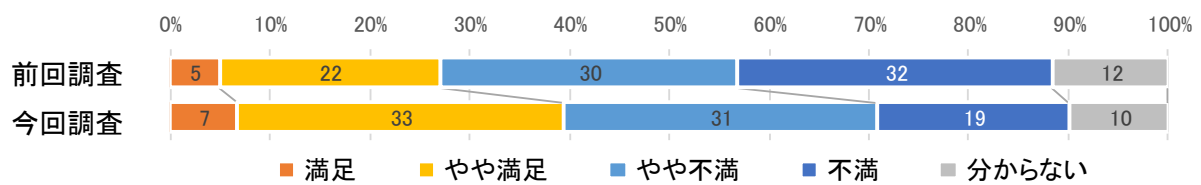


(4) 福祉サービス

前回調査と比較して「満足」「やや満足」の回答比率が増加している。

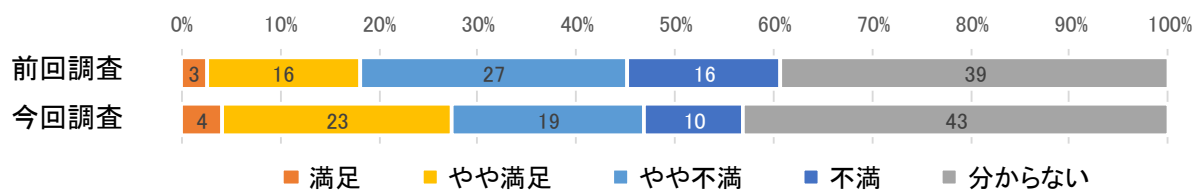


(5) 医療

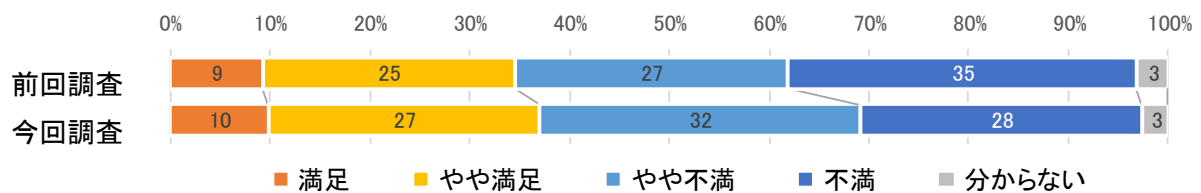


(6) 市民の交流拠点

前回調査と比較して「満足」「やや満足」の回答比率が増加している。

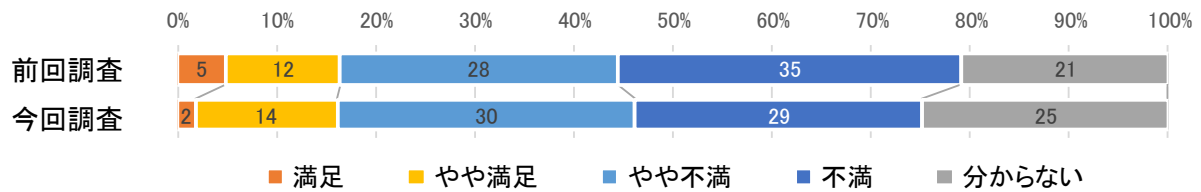


(7) 買い物をする場所

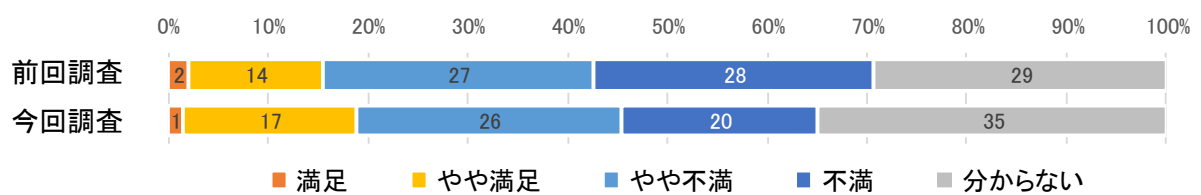


(8) 働く場所の創出

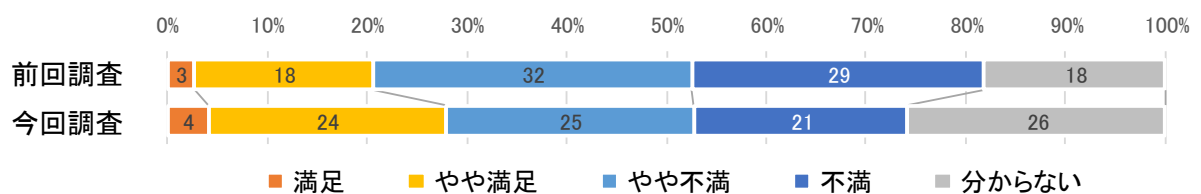
前回調査と比較して「満足」の比率が減少している一方で、「不満」の比率も減少している。



(9) 地場産業の育成

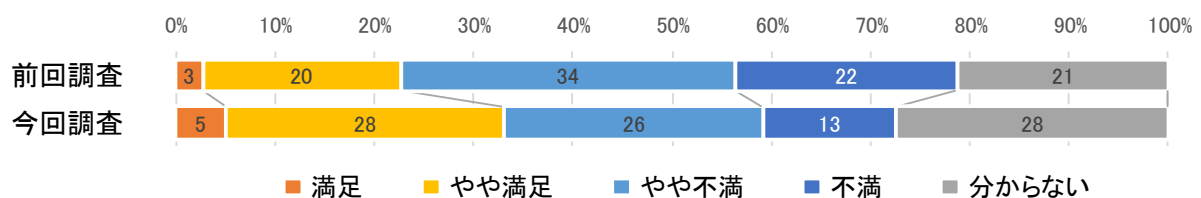


(10) 観光産業の振興

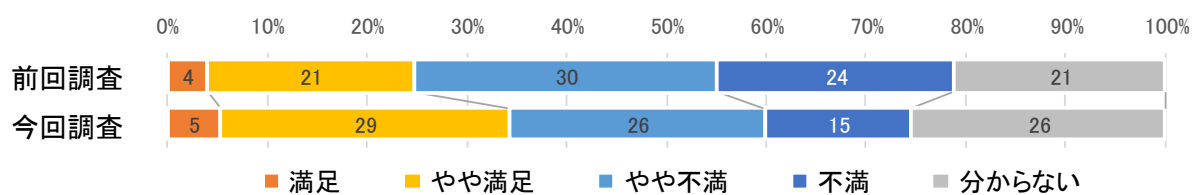


(11) 地域情報の発信

前回調査と比較して「満足」「やや満足」の回答比率が増加している。

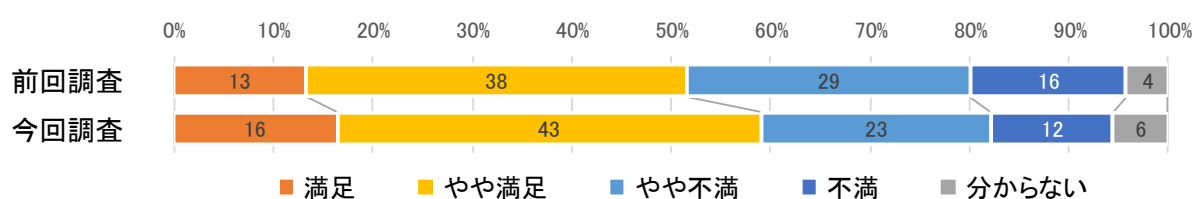


(12) 仕事と生活の調和

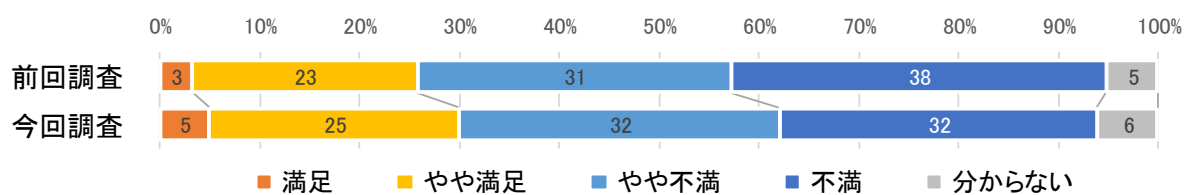


(13) 住む場所

前回調査と比較して「満足」「やや満足」の回答比率が増加している。

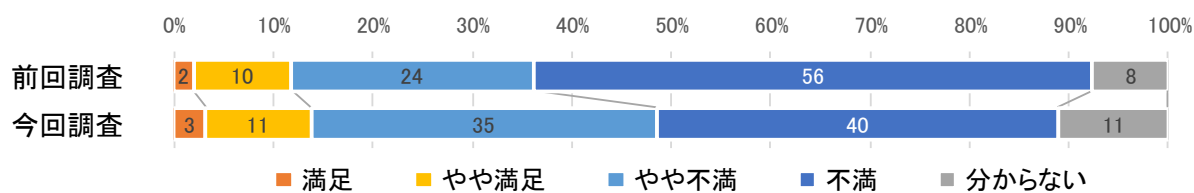


(14) 道路の整備

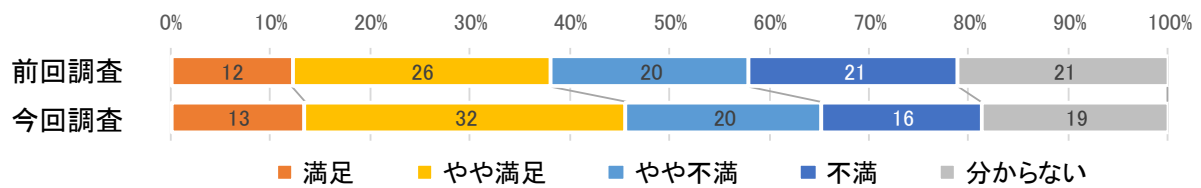


(15) 公共交通網の整備

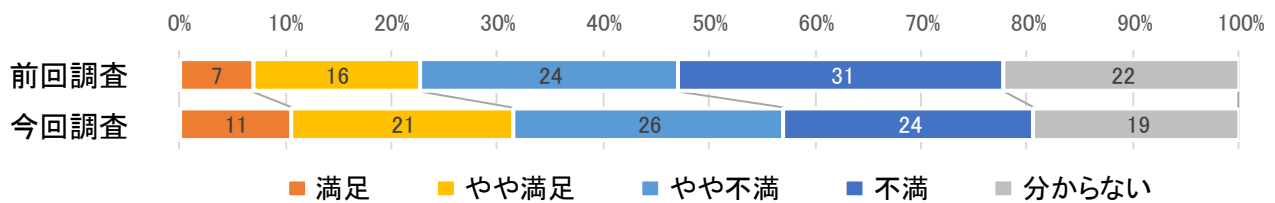
前回調査と比較して「満足」「やや満足」の回答比率が微増している。



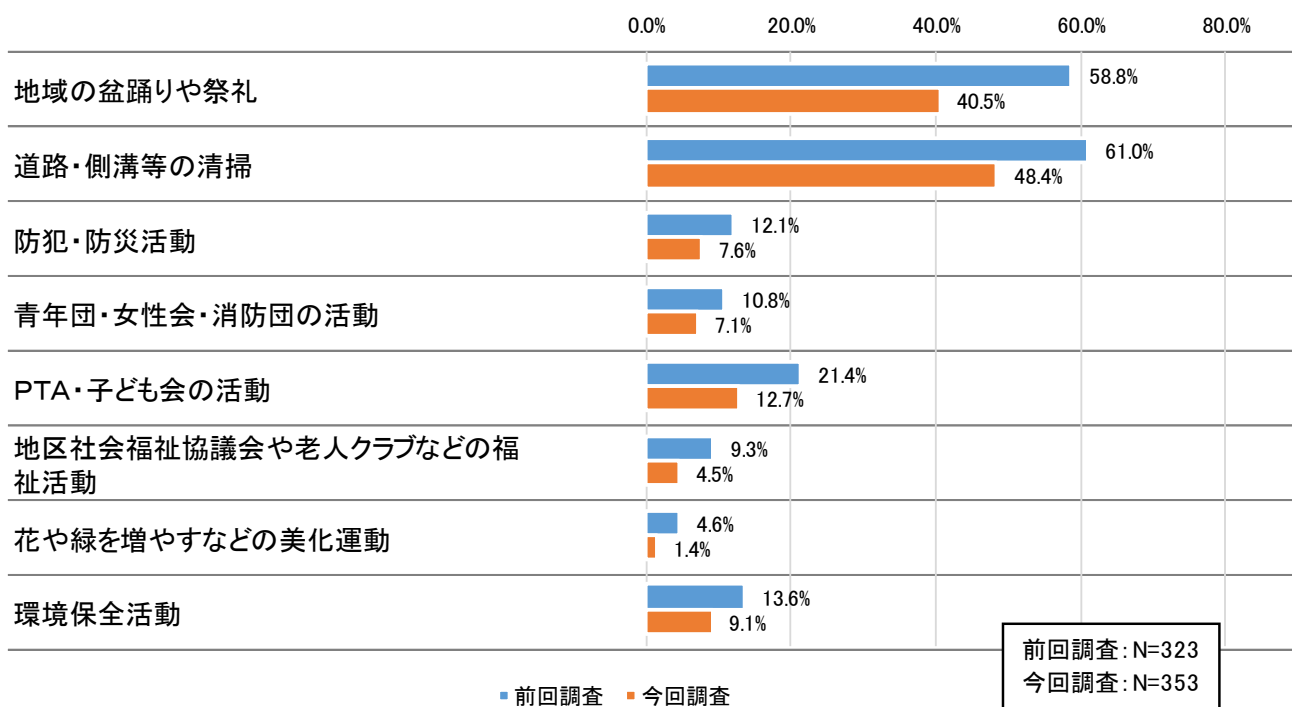
(16) 上水道の整備



(17) 下水道・排水路の整備

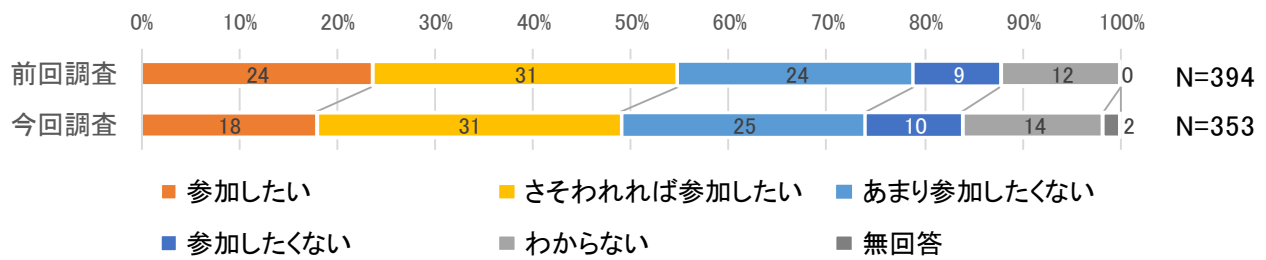


2.6.5 参加している地域活動(問5)

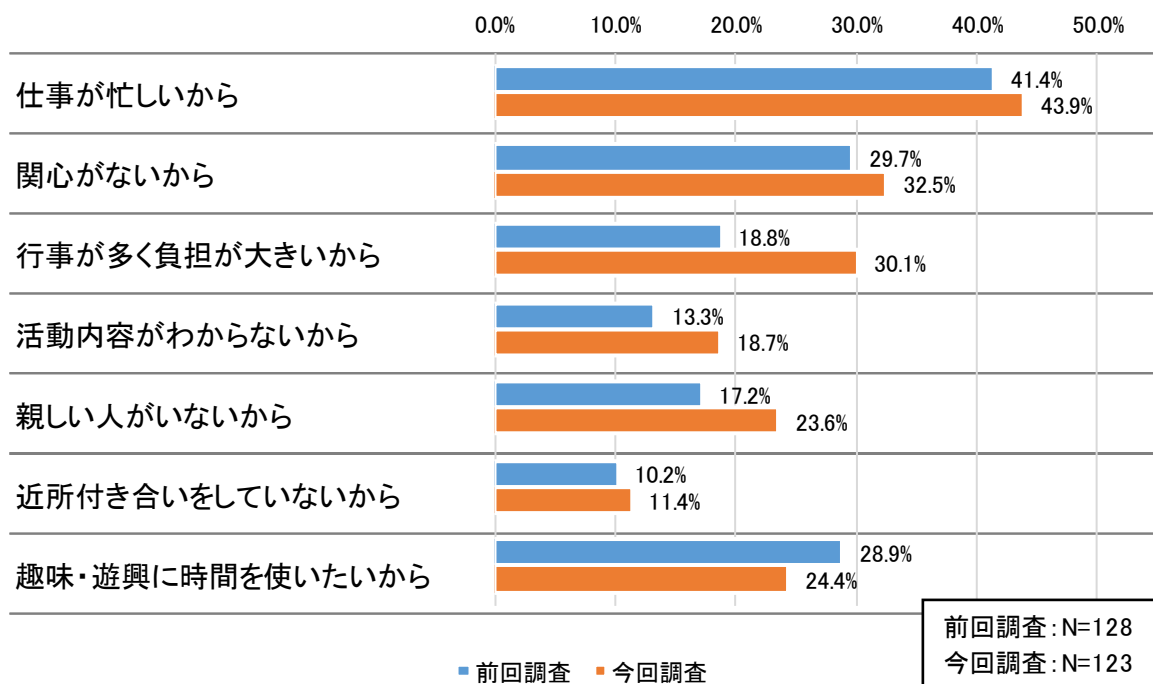


2.6.6 地域活動への参加意欲(問6)

前回調査よりも「参加したい」の回答比率が減少している。



2.6.7 地域活動に参加しない理由(問7)

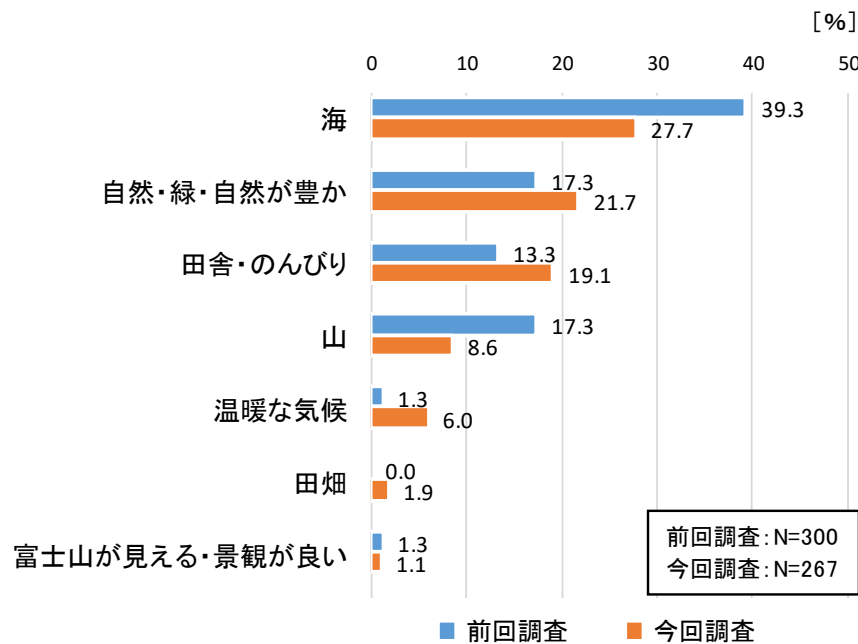


2.6.8 富津市から連想するキーワード(問10)

カテゴリーごとに前回調査との比較を行った。

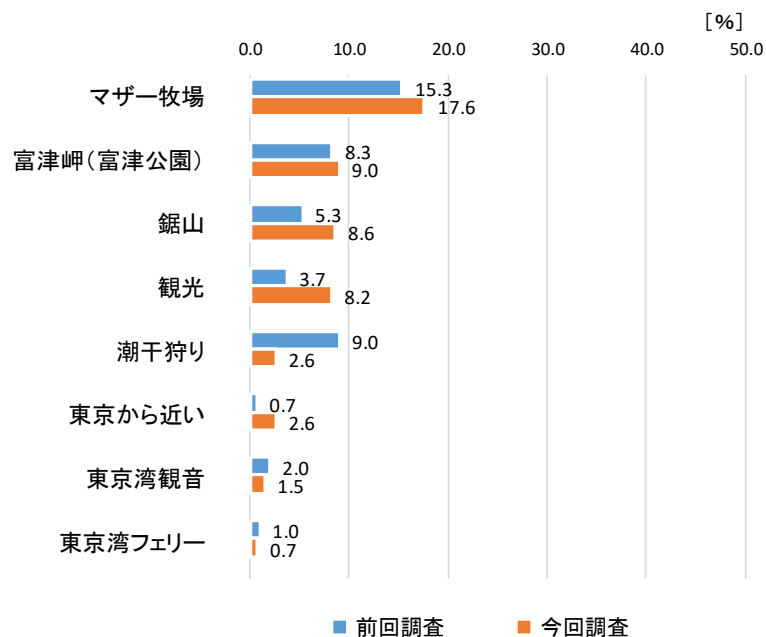
(1) 自然関連

前回調査と比較して「自然・緑・自然が豊か」「田舎・のんびり」「温暖な気候」の回答比率が増加している。「田畑」が新たな項目として挙げられている。



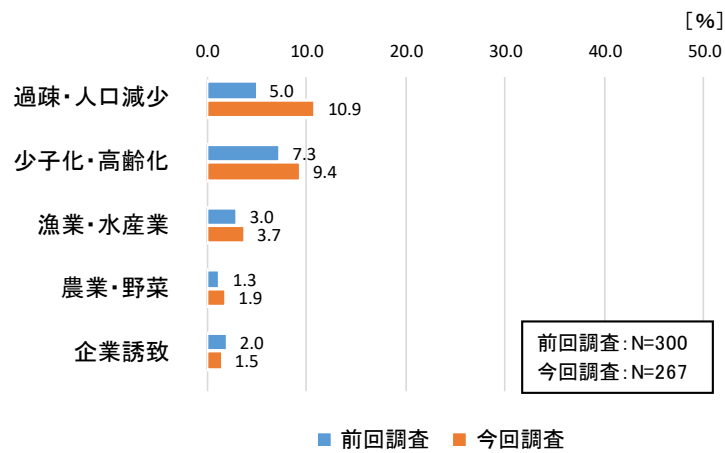
(2) 観光関連

前回調査と比較して「鋸山」「観光」の回答比率が増加しているが、「潮干狩り」の回答比率が減少している。



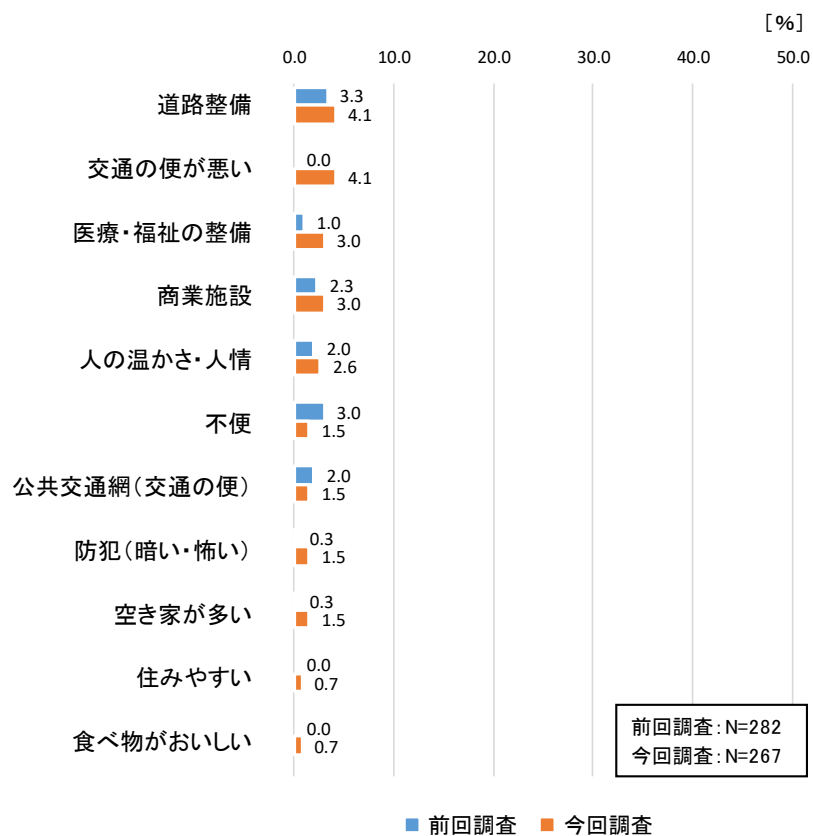
(3) 人口・産業

前回調査と比較して「過疎・人口減少」の回答比率の増加が目立っている。



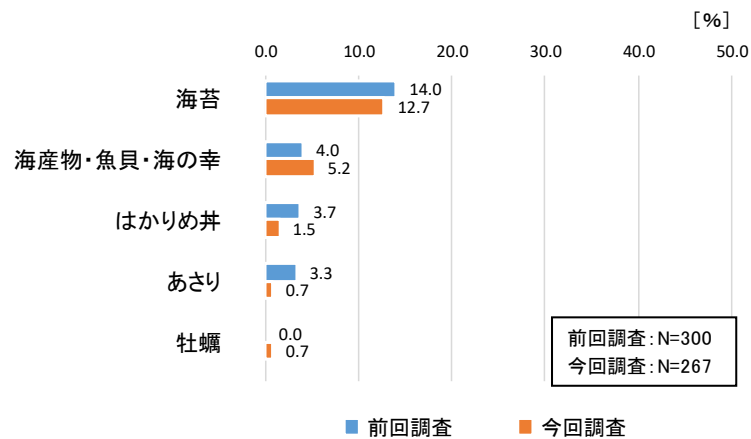
(4) 生活関連

「交通の便が悪い」「住みやすい」「食べ物がおいしい」が新たな項目として挙げられている。



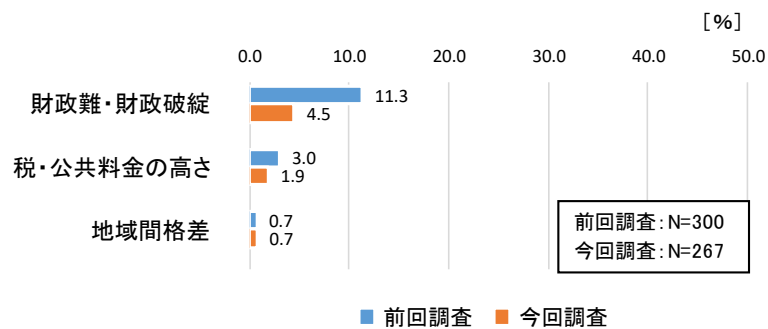
(5) 海産物

前回調査と比較して「はかりめ井」「あさり」の回答比率の減少が目立っている。



(6) 行政関連

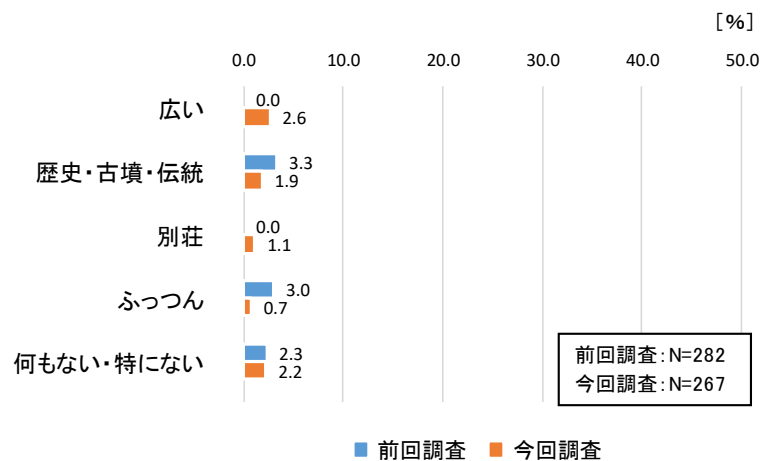
前回調査と比較して「財政難・財政破綻」の回答比率の減少が目立っている。



(7) その他

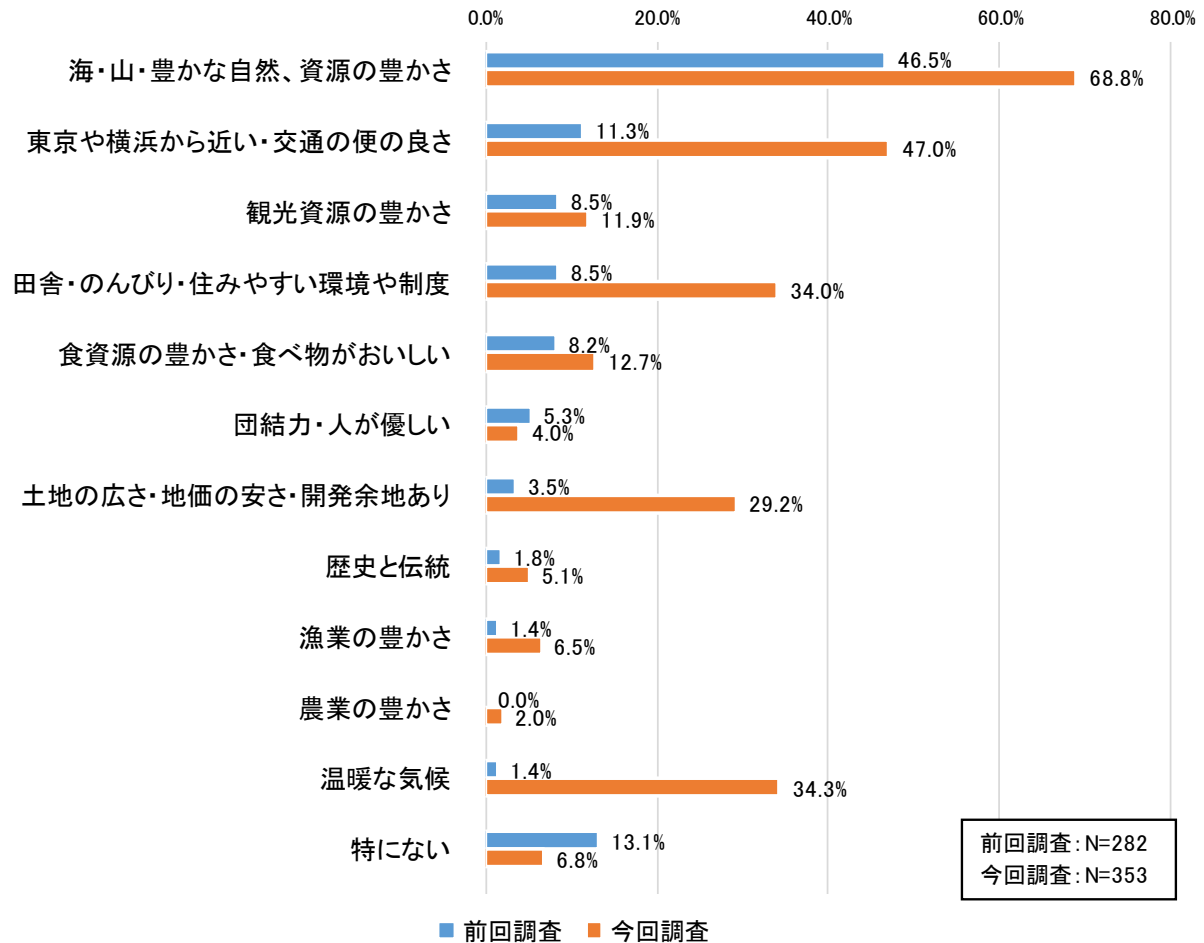
前回調査と比較して「ふつつん」の回答比率の減少が目立つ。

「広い」「別荘」が新たな項目として挙げられている。



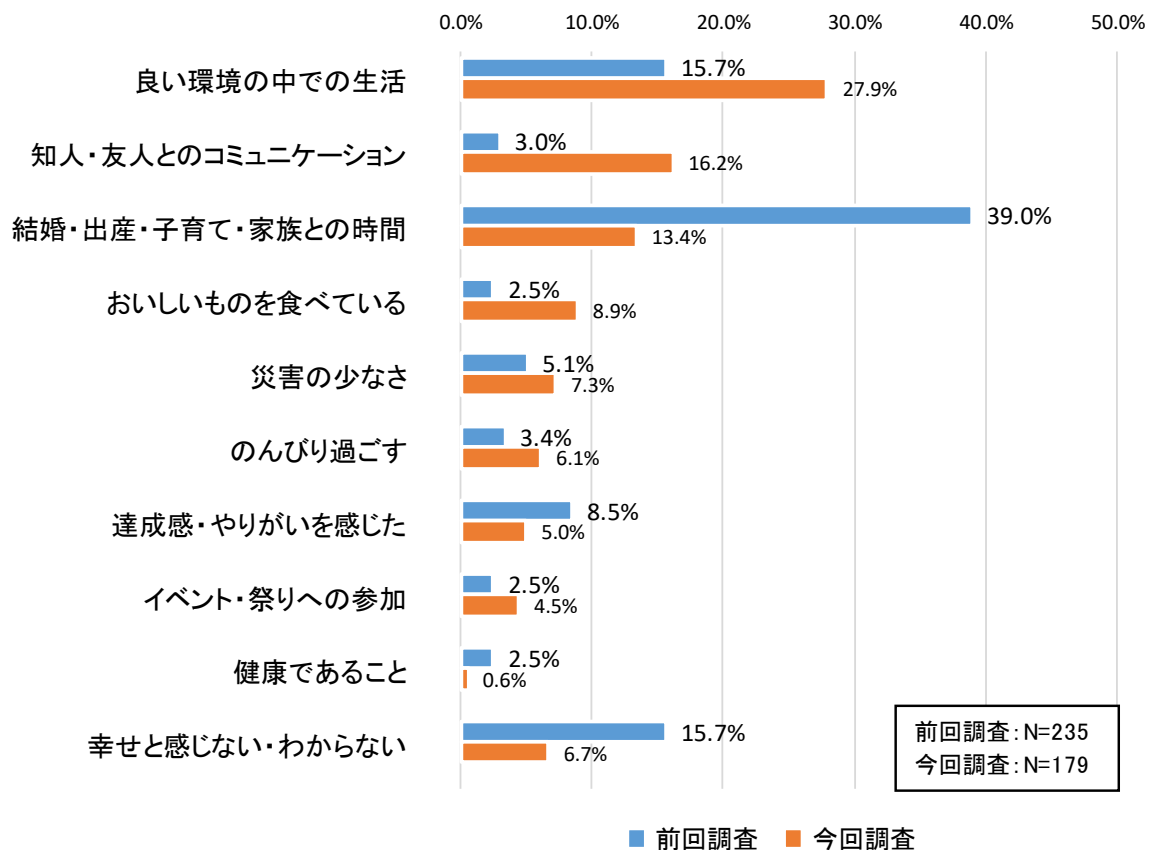
2.6.9 富津市の強み(問 11)

前回調査と比較して「東京や横浜から近い・交通の便の良さ」「田舎・のんびり・住みやすい環境や制度」「土地の安さ・地価の安さ・開発余地あり」「温暖な気候」の回答比率の増加が目立つ。



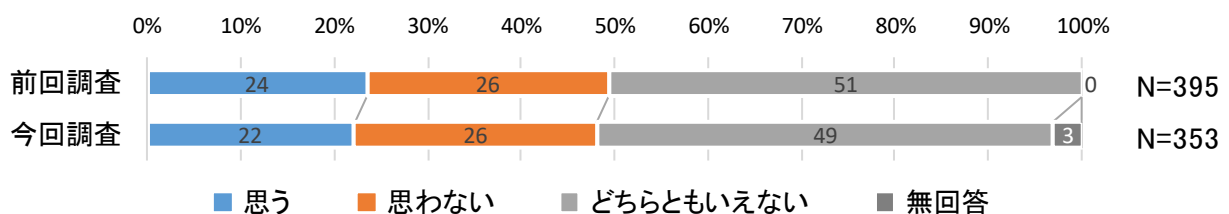
2. 6. 10 幸せだと感じた時・事(問 12)

前回調査と比較して「良い環境の中での生活」「友人・知人とのコミュニケーション」「おいしいものを食べている」の回答比率の増加、「結婚・出産・子育て・家族との時間」「達成感・やりがいを感じた」「幸せと感ぜない・わからない」の回答比率の減少が目立つ。



2. 6. 11 富津市の子育てのしにくさ(問 15)

前回調査よりも「子育てしにくいと思う」の回答比率が微減している。



Ⅲ. 首都圏居住者向けWEBアンケート調査

1. 調査概要

1.1 調査目的

首都圏居住者の市に対する認知度、市への移住意向等を把握することを目的として、WEB アンケート調査を実施した。

1.2 調査概要

実施期間：令和 5 年 12 月 11 日(月)～令和 5 年 12 月 12 日(火)

対象：下表の通り

東京都、神奈川県、千葉県 のみ対象			
抽出			
○東京都（23区内）		（サンプル数400）	
○神奈川県（川崎市＋横浜市）		（サンプル数400）	
○千葉県① 都市部（人口15万人以上の市）		（サンプル数200）	
○千葉県② 都市部以外の地域（人口15万人未満の市町村）		（サンプル数100）	合計 1,100

表 サンプル数の割付

性別	年齢	東京都(23 区内)	神奈川県 (川崎市＋横浜市)	千葉県①都市部 (人口 15 万人以上の市)	千葉県② 都市部以外の地域 (人口 15 万人未満の市町村)
男性	20 歳代	40	40	20	10
	30 歳代	40	40	20	10
	40 歳代	40	40	20	10
	50 歳代	40	40	20	10
	60 歳代以上	40	40	20	10
男性計		200	200	100	50
女性	20 歳代	40	40	20	10
	30 歳代	40	40	20	10
	40 歳代	40	40	20	10
	50 歳代	40	40	20	10
	60 歳代以上	40	40	20	10
女性計		200	200	100	50
合計		400	400	200	100

1.3 設問の企画

平成 30 年度に実施した WEB アンケート調査(以降、「平成 30 年度調査」)の設問を参考にして、社会情勢の変化等を考慮して設問を企画した。平成 30 年度調査と比較した際の主な変更点は、①認知物の種類の更新、②移住に関連する支援策の更新である。

表 平成 30 年度調査からの変更点

項目	変更箇所	変更点	変更意図
認知物	選択肢	「黄金アジ(魚)」や「バカ貝(アオヤギ)」を「海産物」に集約	江戸前オイスター等の他の海産物も知名度があるため集約
	選択肢	「ザ・フィッシュ(金谷)」を削除	「東京湾フェリー」と重複となる恐れがあるため削除
	選択肢	「キャンプ・グランピング」を追加	近年のアウトドアブームを受けて追加
	選択肢	「富津公園(ジャンボプール)」を追加	主要な観光資源であるため追加
	選択肢	「海水浴場」を追加	主要な観光資源であるため追加
認知方法	選択肢	「インターネット」を「ブログ・WEB 記事」「ネット動画」に細分化	ネット動画を通じた個人の情報発信が普及していることを受けて細分化
	選択肢	「新聞・雑誌」を「新聞・雑誌・ガイドブック」として、ガイドブックを追加	情報収集の方法のひとつとして想定されるため追加
来訪場所	選択肢	「ザ・フィッシュ(金谷)」を削除	認知物との整合を図るため削除
移住の決め手	選択肢	「都市部まで 1 時間で行ける距離」を「都心部まで 1 時間で行ける距離」に変更	東京都心までの時間距離を主眼にしていることを明確にするため変更
	選択肢	「家庭菜園ができる住宅」を追加	自給自足生活等の近年の潮流を反映するために追加
	選択肢	「地域の活動(祭り、イベント等)」と「あたたかい近所付き合い」を「地域の祭り、イベントやあたたかいご近所付き合い」に集約	どちらも地域のコミュニティの強固さに関する選択肢のため集約
	選択肢	「子育てをする環境」を追加	子育て施策の参考とするために追加
移住に求めるもの	設問	今回調査で設問を追加	首都圏居住者が移住先に必要としている施策を把握するために追加
否定の理由	選択肢	「勤務先からの距離が遠い」を「職場・学校からの距離が遠い」に変更	回答者に学生も含まれるため変更
	選択肢	「ライフラインの整備が不安」を追加	災害の激甚化を踏まえて追加
	選択肢	「子育てする環境が整っていない」を追加	子育て世代のニーズを把握するために追加
	選択肢	「周辺に魅力的な学校が少ない」を「周辺に魅力的な幼稚園や保育園・学校が少ない」に変更	子育て世代のニーズを把握するために変更
	選択肢	「自然災害が不安」を追加	災害の激甚化を踏まえて追加
	選択肢	「住まいが見つからない」「現地で仕事が見つからない」「医療機関が少ない」を追加	上位・関連計画で挙げられている課題を踏まえて追加
支援策	選択肢	「移住先に関する情報」を「移住先に関する情報発信」に変更	選択肢の趣旨を明確にするため変更
	選択肢	「公共交通の整備」「通学の補助」を追加	上位・関連計画で挙げられている課題を踏まえて追加
	選択肢	「サテライトオフィスやコワーキングスペースの整備」「テレワーク環境整備への補助」を追加	コロナ禍以降の社会潮流の変化を受けて追加

【今回調査の設問項目】

■富津市 首都圏居住者向けWEBアンケート調査

○千葉県の富津市に関するアンケート調査にお答えください。

0. 対象者の絞り込み

SC1 居住地	あなたの居住地をお答えください（○は1つ）。 東京都、神奈川県、千葉県 のみ対象 抽出 ○東京都（23区内）（サンプル数400） ○神奈川県（川崎市＋横浜市）（サンプル数400） ○千葉県① 都市部（人口15万人以上の市）（サンプル数200） ○千葉県② 都市部以外の地域（人口15万人未満の市町村）（サンプル数100） 合計 1,100
---------	--

1. 属性（クロス集計切り口）

SC2 性別	あなたの性別をお答えください（○は1つ）。 1. 男性 2. 女性 3. その他
SC3 年齢	あなたの年齢をお答えください（○は1つ）。 1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳以上
SC4 職業	あなたの職業をお答えください（○は1つ）。 1. 会社員・会社役員・公務員 2. 自営業・自由業 3. パート・アルバイト 4. 家事専業（主婦・主夫） 5. 学生 6. 無職 7. その他（ ）
SC5 家族構成	現在お住まいの住居での家族構成をお答えください（○は1つ）。 1. 一人暮らし 2. 夫婦のみ 3. 二世帯同居（親と子） 4. 三世帯同居（祖父母と親と子） 5. その他（ ）

2. 富津市の認知度

Q 1 認知度	あなたは、富津市のことをご存知ですか（〇は1つ）。
	1. 知っている 2. 名前くらいは知っている 3. 知らない

* 回答「1」「2」⇒「Q 2」へ。回答「3」⇒「Q 5」へ

Q 2 イメージ	あなたは、富津市にどのようなイメージを持っていますか（それぞれ〇は1つ）。																								
	<table border="0"> <tr> <td>①豊かな自然環境に恵まれたまち</td> <td>1. そう思う</td> <td>2. そう思わない</td> <td>3. わからない</td> </tr> <tr> <td>②観光資源が多いまち</td> <td>1. そう思う</td> <td>2. そう思わない</td> <td>3. わからない</td> </tr> <tr> <td>③アクアラインを通して都心から短時間で行けるまち</td> <td>1. そう思う</td> <td>2. そう思わない</td> <td>3. わからない</td> </tr> <tr> <td>④富士山が美しく見えるまち</td> <td>1. そう思う</td> <td>2. そう思わない</td> <td>3. わからない</td> </tr> <tr> <td>⑤食べ物がおいしいまち</td> <td>1. そう思う</td> <td>2. そう思わない</td> <td>3. わからない</td> </tr> <tr> <td>⑥財政状況が厳しいまち</td> <td>1. そう思う</td> <td>2. そう思わない</td> <td>3. わからない</td> </tr> </table>	①豊かな自然環境に恵まれたまち	1. そう思う	2. そう思わない	3. わからない	②観光資源が多いまち	1. そう思う	2. そう思わない	3. わからない	③アクアラインを通して都心から短時間で行けるまち	1. そう思う	2. そう思わない	3. わからない	④富士山が美しく見えるまち	1. そう思う	2. そう思わない	3. わからない	⑤食べ物がおいしいまち	1. そう思う	2. そう思わない	3. わからない	⑥財政状況が厳しいまち	1. そう思う	2. そう思わない	3. わからない
①豊かな自然環境に恵まれたまち	1. そう思う	2. そう思わない	3. わからない																						
②観光資源が多いまち	1. そう思う	2. そう思わない	3. わからない																						
③アクアラインを通して都心から短時間で行けるまち	1. そう思う	2. そう思わない	3. わからない																						
④富士山が美しく見えるまち	1. そう思う	2. そう思わない	3. わからない																						
⑤食べ物がおいしいまち	1. そう思う	2. そう思わない	3. わからない																						
⑥財政状況が厳しいまち	1. そう思う	2. そう思わない	3. わからない																						

Q 3 認知物	あなたは、以下の富津市に関するものについてご存じですか（〇はいくつでも）。																		
	<table border="0"> <tr> <td>1. 富津岬</td> <td>2. 鋸山</td> <td>3. キャンプ・グランピング</td> </tr> <tr> <td>4. マザー牧場</td> <td>5. 東京湾観音</td> <td>6. 海釣り・川釣り</td> </tr> <tr> <td>7. 古墳群</td> <td>8. 富津公園（ジャンボプール）</td> <td>9. 海水浴場</td> </tr> <tr> <td>10. 潮干狩り</td> <td>11. 東京湾フェリー</td> <td>12. 海産物（黄金あじ・江戸前オイスター等）</td> </tr> <tr> <td>13. 竹岡ラーメン</td> <td>14. はかりめ丼</td> <td>15. ふつつ海堡井</td> </tr> <tr> <td>17. 知っているものはない</td> <td></td> <td>16. 海苔</td> </tr> </table>	1. 富津岬	2. 鋸山	3. キャンプ・グランピング	4. マザー牧場	5. 東京湾観音	6. 海釣り・川釣り	7. 古墳群	8. 富津公園（ジャンボプール）	9. 海水浴場	10. 潮干狩り	11. 東京湾フェリー	12. 海産物（黄金あじ・江戸前オイスター等）	13. 竹岡ラーメン	14. はかりめ丼	15. ふつつ海堡井	17. 知っているものはない		16. 海苔
1. 富津岬	2. 鋸山	3. キャンプ・グランピング																	
4. マザー牧場	5. 東京湾観音	6. 海釣り・川釣り																	
7. 古墳群	8. 富津公園（ジャンボプール）	9. 海水浴場																	
10. 潮干狩り	11. 東京湾フェリー	12. 海産物（黄金あじ・江戸前オイスター等）																	
13. 竹岡ラーメン	14. はかりめ丼	15. ふつつ海堡井																	
17. 知っているものはない		16. 海苔																	

Q 4 認知方法	あなたは、富津市の情報を得るとき主に何を利用していますか（〇はいくつでも）。												
	<table border="0"> <tr> <td>1. ブログ・WEB記事</td> <td>2. ネット動画</td> <td>3. SNS（フェイスブック、ツイッター等）</td> </tr> <tr> <td>4. 観光パンフレット</td> <td>5. 新聞・雑誌・ガイドブック</td> <td>6. ロコミ</td> </tr> <tr> <td>7. その他（ ）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 利用しているものはない</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	1. ブログ・WEB記事	2. ネット動画	3. SNS（フェイスブック、ツイッター等）	4. 観光パンフレット	5. 新聞・雑誌・ガイドブック	6. ロコミ	7. その他（ ）			8. 利用しているものはない		
1. ブログ・WEB記事	2. ネット動画	3. SNS（フェイスブック、ツイッター等）											
4. 観光パンフレット	5. 新聞・雑誌・ガイドブック	6. ロコミ											
7. その他（ ）													
8. 利用しているものはない													

3. 観光・交流

Q 5 選択基準	あなたは、観光地に行く際に、どのような基準で場所を選びますか（○は3つまで）。
	1. 歴史・文化にふれあえる 2. 個性的な観光スポットがある 3. 美味しい飲食店がある 4. 特産品・名産品がある 5. 自然景観が美しい 6. 自然・農業体験ができる 7. 魅力的な遊戯施設（レジャー施設・ゴルフ場等）がある 8. その他（ ）

Q 6 来訪意思	あなたは、富津市を「観光で訪れたいまち」だと思いますか（○は1つ）。
	1. そう思う 2. 少しそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

* 回答「1」「2」⇒「Q 8」へ。回答「3」「4」⇒「Q 7」へ

Q 7 否定の理由	そのように感じる理由を教えてください（○はいくつでも）。
	1. 魅力的な観光地・イベントがない 2. 観光地としての知名度が低い 3. 美味しい飲食店がない 4. 特産品・名産品がない 5. 都心から遠い・交通アクセスが良くない 6. 「これ」といった特別のものがない 7. 観光情報が少ない 8. その他（ ）

Q 8 来訪経験	あなたは、観光で富津市を訪れたことがありますか（○は1つ）。
	1. 2回以上ある 2. 1回ある 3. 訪れたことはない

* 回答「1」「2」⇒「Q 9」へ。回答「3」⇒「Q 12」へ

Q 9 来訪場所	あなたが富津市で、観光で訪れたことがある場所をお選びください（○はいくつでも）。
	1. 富津岬 2. 鋸山 3. キャンプ・グランピング 4. マザー牧場 5. 東京湾観音 6. 海釣り・川釣り 7. ゴルフ場 8. 古墳群 9. 潮干狩り 10. ジャンボプール 11. その他（ ）

Q 10 再訪意思	あなたは、再度富津市を訪れたいと感じていますか（○は1つ）。
	1. 是非行きたい 2. 機会があれば行きたい 3. あまり行きたくない 4. 行きたくない

* 回答「1」「2」⇒「Q 12」へ。回答「3」「4」⇒「Q 11」へ

Q 11 否定の理由	そのように否定的に考える理由をお答え下さい（○はいくつでも）
	1. 都心から遠い・交通アクセスが良くない 2. 市内での移動手段が十分でない 3. 魅力的な観光資源が少ない 4. 美味しい食べ物がない 5. 特産品・名産品が少ない 6. 地元の人たちとふれあう機会が少ない 7. まちのおもてなしが十分ではない 8. その他（ ）

4. 移住意向

Q12 移住希望

あなたは、将来移住したいと思いますか（○は1つ）。

1. 具体的な移住の計画はあるが、実現していない
2. 具体的な移住の計画はないが、興味・関心はある
3. 移住に興味・関心がない

* 回答「1」「2」⇒「Q13」へ。回答「3」⇒「Q16」へ

Q13 市への移住

あなたは、富津市を将来の居住地の候補として考えることができますか（○は1つ）。

1. 考えられる
2. まあ考えられる
3. あまり考えられない
4. 全く考えられない

* 回答「1」「2」⇒「Q14」へ。回答「3」「4」⇒「Q16」へ

Q14 移住の決め手

あなたが、富津市に移住すると仮定した場合、その要因となるものはなんですか（○は3つまで）。

1. 豊かな自然環境
2. 居住するためのコストの安さ（地価の安さ等）
3. 都心部まで1時間で行ける距離
4. 地元の新鮮な食材が容易に手に入る
5. 家庭菜園ができる住宅
6. 農業・漁業のしごと
7. 地域の祭り、イベントやあたたかい近所付き合い
8. 子育てをする環境
9. その他（ ）

Q15 移住に求めるもの

移住先では、これまでの便利機能・サポートが受けられなくなる可能性があります、これだけは譲れないものはなんですか（○は1つ）。

1. 公共交通
2. 子育て、教育環境
3. 商業施設
4. 老後のサポート
5. 医療機関
6. その他（ ）

* 本問回答者は「Q17」へ

Q16 否定の理由

そのように感じる理由を教えてください（○はいくつでも）。

1. 職場・学校からの距離が遠い（配偶者も含む）
2. ライフラインの整備が不安
3. 周辺に魅力的な商業施設が少ない
4. 子育てする環境が整っていない
5. 周辺に魅力的な幼稚園や保育園・学校が少ない
6. 自然災害が不安
7. 日常の交通利便性が不安
8. 転居後の近所づきあいが不安
9. 富津市の情報がわからない
10. 住まいが見つからない
11. 現地で仕事が見つからない
12. 医療機関が少ない
13. その他（ ）

Q17 支援策

地方移住に関して、富津市役所が取り組んだ方が良いと思う取組みはなんだと思いますか？（○は3つまで）

1. 移住先に関する情報発信
2. 公共交通の整備
3. 田舎暮らし体験（農家民泊など）
4. 移住先住民との交流イベントの開催
5. 就業支援（地元雇用、起業、就農・就漁）
6. 空き家情報の提供（空き家バンクなどのマッチングシステム）
7. 住宅支援（住宅購入補助・リフォーム補助など）
8. 通学の補助
9. サテライトオフィスやコワーキングスペースの整備
10. テレワーク環境整備への補助
11. その他（ ）
12. 特に期待していない

《参考》平成 30 年度に実施した WEB アンケート調査の調査項目

■富津市 都市住民向けWEBアンケート設問

○千葉県の富津市に関するアンケート調査にお答えください。

0. 対象者の絞り込み

SC1 居住地

あなたの居住地をお答えください（○は1つ）。

東京都、神奈川県、千葉県 のみ対象

抽出

○東京都（23区内）、神奈川県（川崎市＋横浜市）（サンプル数400以上）
○千葉県① 都市部（人口15万人以上の市）（サンプル数350以上）
○千葉県② 都市部以外の地域（人口15万人未満の市町村）（サンプル数350以上）

1. 属性（クロス集計切り口）

SC2 性別

あなたの性別をお答えください（○は1つ）。

1. 男性 2. 女性

SC3 年齢

あなたの年齢をお答えください（○は1つ）。

1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代

SC4 職業

あなたの職業をお答えください（○は1つ）。

1. 会社員・会社役員・公務員 2. 自営業・自由業
3. パート・アルバイト 4. 家事専業（主婦・主夫）
5. 学生 6. 無職 7. その他（ ）

SC5 家族構成

現在お住まいの住居での家族構成をお答えください（○は1つ）。

1. 一人暮らし 2. 夫婦のみ 3. 二世帯同居（親と子）
4. 三世帯同居（祖父母と親と子） 5. その他（ ）

2. 富津市の認知度

Q 1 認知度

あなたは、富津市のご存知ですか（〇は1つ）。

- | | | |
|----------|----------------|---------|
| 1. 知っている | 2. 名前くらいは知っている | 3. 知らない |
|----------|----------------|---------|

* 回答「1」「2」⇒「Q 2」へ。回答「3」⇒「Q 5」へ

Q 2 イメージ

あなたは、富津市にどのようなイメージを持っていますか（それぞれ〇は1つ）。

- | | | | |
|---------------------------|---------|-----------|----------|
| ①豊かな自然環境に恵まれたまち | 1. そう思う | 2. そう思わない | 3. わからない |
| ②観光資源が多いまち | 1. そう思う | 2. そう思わない | 3. わからない |
| ③アクティビティを通して都心から短時間でいけるまち | 1. そう思う | 2. そう思わない | 3. わからない |
| ④富士山が美しく見えるまち | 1. そう思う | 2. そう思わない | 3. わからない |
| ⑤食べ物がおいしいまち | 1. そう思う | 2. そう思わない | 3. わからない |
| ⑥財政状況が厳しいまち | 1. そう思う | 2. そう思わない | 3. わからない |

Q 3 認知物

あなたは、以下の富津市に関するものについてご存じですか（〇はいくつでも）。

- | | | |
|----------------|---------------|----------------|
| 1. 富津岬 | 2. 鋸山 | 3. ザ・フィッシュ（金谷） |
| 4. マザー牧場 | 5. 東京湾観音 | 6. 海釣り・川釣り |
| 7. 古墳群 | 8. 潮干狩り | 9. 東京湾フェリー |
| 10. 黄金あじ（魚） | 11. バカ貝（アオヤギ） | 12. 竹岡ラーメン |
| 13. はかりめ井 | 14. ふつつ海堡井 | 15. 海苔 |
| 16. 知っているものはない | | |

Q 4 認知方法

あなたは、富津市の情報を得るとき主に何を利用していますか（〇はいくつでも）。

- | | | |
|----------------|------------------------|-------------|
| 1. インターネット | 2. SNS（フェイスブック、ツイッター等） | 3. 観光パンフレット |
| 4. 新聞・雑誌 | 5. 口コミ | 6. その他（ ） |
| 7. 利用しているものはない | | |

3. 観光・交流

Q 5 選択基準

あなたは、観光地に行く際に、どのような基準で場所を選びますか（〇は3つまで）。

- | | |
|------------------------------|------------------|
| 1. 歴史・文化にふれあえる | 2. 個性的な観光スポットがある |
| 3. 美味しい飲食店がある | 4. 特産品・名産品がある |
| 5. 自然景観が美しい | 6. 自然・農業体験ができる |
| 7. 魅力的な遊戯施設（レジャー施設・ゴルフ場等）がある | 8. その他（ ） |

Q 6 来訪意思

あなたは、富津市を「観光で訪れたいまち」だと思いますか（〇は1つ）。

- | | | | |
|---------|-----------|--------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. 少しそう思う | 3. あまりそう思わない | 4. そう思わない |
|---------|-----------|--------------|-----------|

* 回答「1」「2」⇒「Q 8」へ。回答「3」「4」⇒「Q 7」へ

Q 7 否定の理由

そのように否定的に感じるのは何故だと思いますか（〇はいくつでも）。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 魅力的な観光地・イベントがない | 2. 観光地としての知名度が低い |
| 3. 美味しい飲食店がない | 4. 特産品・名産品がない |
| 5. 都心から遠い・交通アクセスがよい | 6. 「これ」といった特別のものがない |
| 7. 観光情報が少ない | 8. その他（ ） |

Q 8 来訪経験

あなたは、観光で富津市を訪れたことがありますか（〇は1つ）。

- | | | |
|-----------|---------|-------------|
| 1. 2回以上ある | 2. 1回ある | 3. 訪れたことはない |
|-----------|---------|-------------|

* 回答「1」「2」⇒「Q 9」へ。回答「3」⇒「Q12」へ

Q 9 来訪場所

あなたが富津市で、観光で訪れたことがある場所をお選びください（〇はいくつでも）。

- | | | |
|-------------|------------|----------------|
| 1. 富津岬 | 2. 鋸山 | 3. ザ・フィッシュ（金谷） |
| 4. マザー牧場 | 5. 東京湾観音 | 6. 海釣り・川釣り |
| 7. ゴルフ場 | 8. 古墳群 | 9. 潮干狩り |
| 10. ジャンボプール | 11. その他（ ） | |

Q10 再訪意思

あなたは、再度富津市を訪れたいと感じていますか（〇は1つ）。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 是非行きたい | 2. 機会があれば行きたい |
| 3. あまり行きたくない | 4. 行きたくない |

* 回答「1」「2」⇒「Q12」へ。回答「3」「4」⇒「Q11」へ

Q11 否定の理由

そのように否定的に考える理由をお答え下さい（〇はいくつでも）

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 都心から遠い・交通アクセスがよい | 2. 市内での移動手段が十分でない |
| 3. 魅力的な観光資源が少ない | 4. 美味しい食べ物がない |
| 5. 特産品・名産品が少ない | 6. 地元の人たちとふれあう機会が少ない |
| 7. まちのおもてなしが十分ではない | 8. その他（ ） |

4. 移住意向

Q12 移住希望

あなたは、将来移住したいと思いますか（○は1つ）。

1. 具体的な移住の計画はあるが、実現していない
2. 具体的な移住の計画はないが、興味・関心はある
3. 移住に興味・関心がない

* 回答「1」「2」⇒「Q13」へ。回答「3」⇒「Q15」へ

Q13 市への移住

あなたは、富津市を将来の居住地の候補として考えることができますか（○は1つ）。

1. 考えられる
2. まあ考えられる
3. あまり考えられない
4. 全く考えられない

* 回答「1」「2」⇒「Q14」へ。回答「3」「4」⇒「Q15」へ

Q14 移住の決め手

あなたが、富津市に移住すると仮定した場合、その要因となるものはなんですか（○は3つまで）。

1. 豊かな自然環境
2. 居住するためのコストの安さ（地価の安さ等）
3. 都市部まで1時間で行ける距離
4. 地元の新鮮な食材が容易に手に入る
5. 地域の活動（祭り、イベント等）
6. 農業・漁業のしごと
7. あたたかいご近所付き合い
8. その他（ ）

* 本問回答者は「Q16」へ

Q15 否定の理由

そのように否定的に感じるのは何故だと思いますか（○はいくつでも）。

1. 勤務先からの距離が遠い（配偶者も含む）
2. 都心からの距離が遠い
3. 周辺に魅力的な商業施設が少ない
4. 周辺に魅力的な学校が少ない
5. 日常の交通利便性が不安
6. 転居後の近所づきあいが不安
7. 富津市の情報がわからない
8. その他（ ）

Q16 支援策

地方移住に関して、あなたが求めるものは何ですか（○は3つまで）。

1. 移住先に関する情報
2. 移住に関する相談窓口
3. 田舎暮らし体験（移住体感ツアー、農家民泊など）
4. 移住先住民との交流イベントの開催
5. 就業支援（新規就農者支援、創業資金支援）
6. 空き家情報の提供（空き家バンクなどのマッチングシステム）
7. 住宅支援（住宅購入補助・リフォーム補助など）
8. その他（ ）
9. 特に期待していない

2. 調査結果

以降に分析結果を示す。なお、割合は四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がある。

2.1 基礎集計結果

2.1.1 スクリーニング設問

(1) 居住している都道府県

回答者の居住している都道府県は下記のようにになっている。

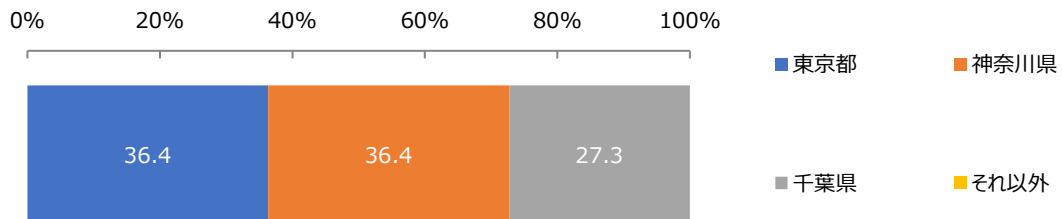


図 回答者の居住している都道府県

(2) 性別・年齢

回答者の性別・年齢は下記のようにになっている。

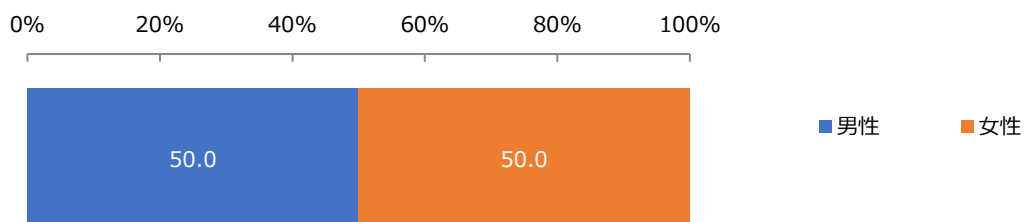


図 回答者の性別

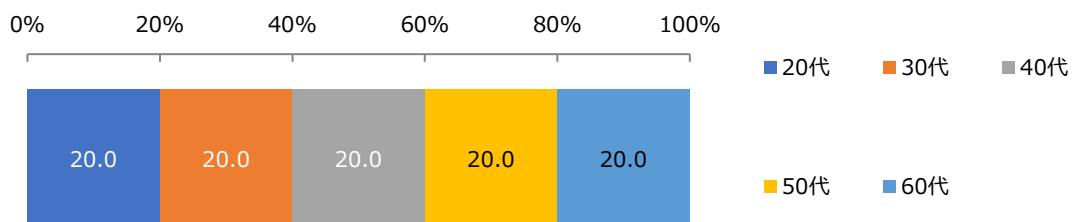


図 回答者の年齢

(3) 職業

回答者の職業は下記のようにになっている。

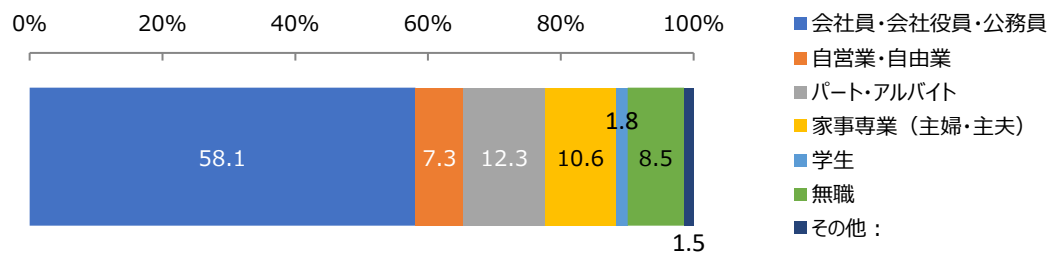


図 回答者の職業

(4) 家族構成

回答者の家族構成は下記のようにになっている。

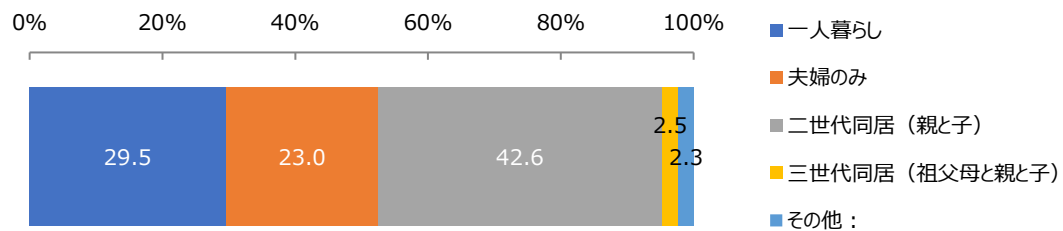


図 回答者の家族構成

2.1.2 富津市の認知状況

(1) 富津市の認知度

回答者の約7割が富津市を認知していることが分かる。

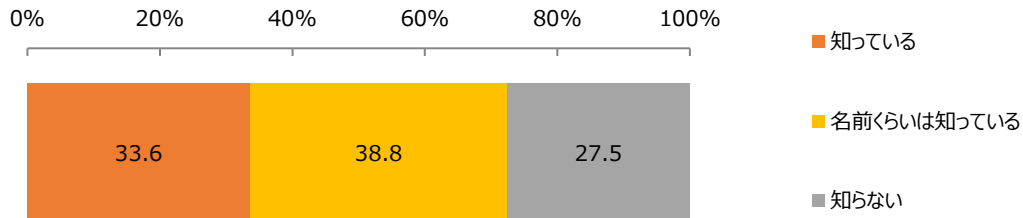


図 富津市の認知度

(2) 富津市に対するイメージ

富津市に対するイメージとしては、「豊かな自然環境に恵まれたまち」や「アクアラインを通して都心から短時間で行けるまち」「食べ物がおいしいまち」としての認知が高いことが分かる。

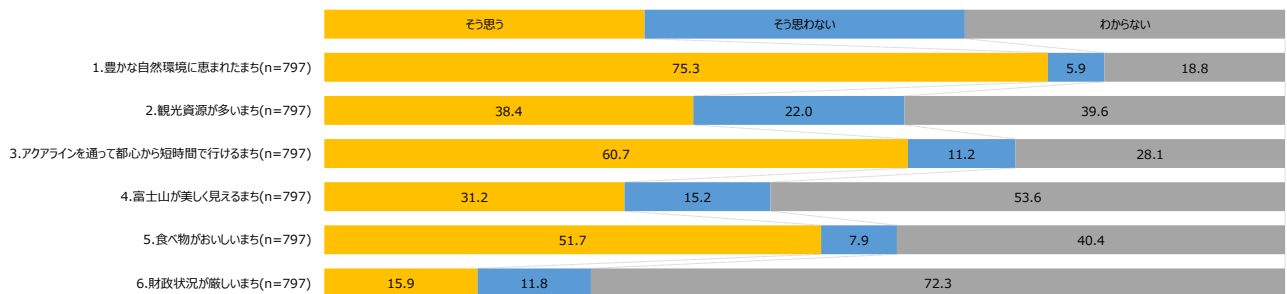


図 富津市のイメージ

(3) 富津市に関して知っているもの

富津市に関して知っているものとしては「マザー牧場」が特に多くなっており、約6割が認知していることが分かる。

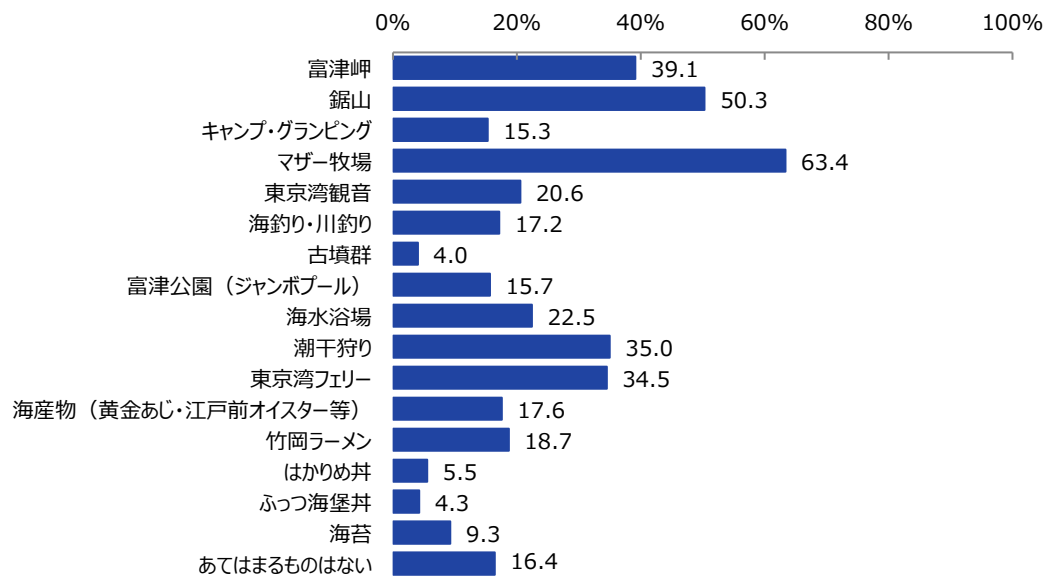


図 富津市に関して知っているもの

(4) 富津市の情報を得るために活用している媒体

富津市の情報を得るために活用している媒体としては、約3割が「ブログ・WEB記事」を活用していることが分かる。一方で特に利用しているものがない回答者が約4割を占めている。

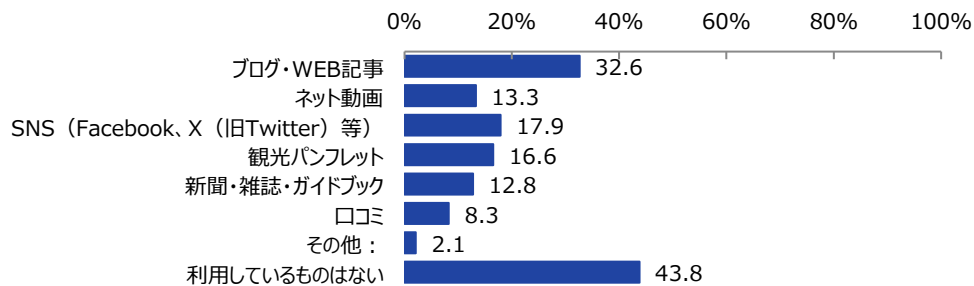


図 富津市の情報を得るために活用している媒体

2.1.3 観光・交流での富津市の認知状況・来訪意向

(1) 観光地で来訪する場所を選ぶ基準

回答者の約5割が「美味しい飲食店がある」や「自然景観が美しい」ことを来訪する観光地の選定基準として挙げていることが分かる。

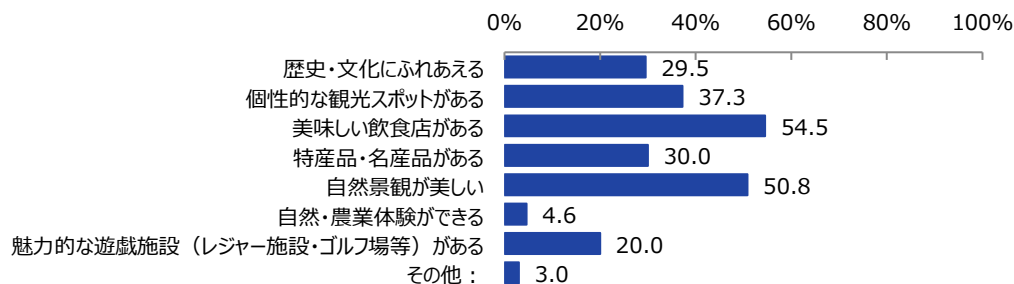


図 観光地で来訪する場所を選ぶ基準

(2) 富津市への観光での来訪意向

回答者の約5割が富津市を観光で訪れたいまちであると捉えていることが分かる。

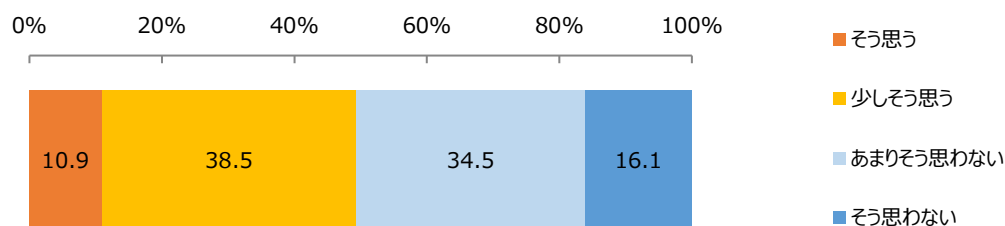


図 富津市への観光での来訪意向

(3) 富津市に観光で来訪したいと思わない理由

富津市を観光で訪れたいまちと思っていない回答者は、「これ」といった特別なものがないことや観光情報の少なさが来訪したいと思わない理由であるとしていることが分かる。

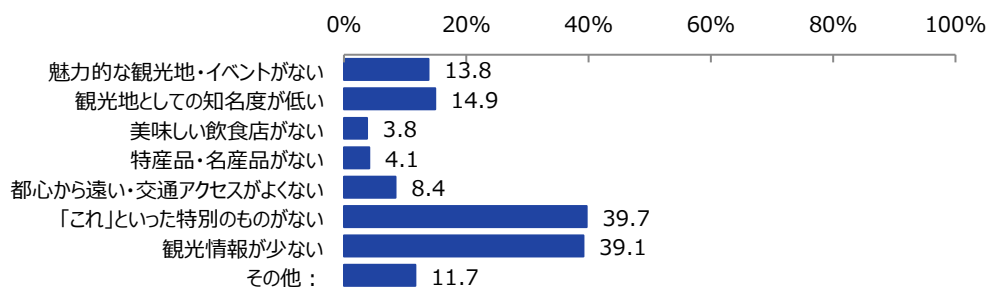


図 富津市に観光で来訪したいと思わない理由

(4) 富津市への観光での来訪経験

回答者の約4割が富津市に観光で来訪した経験があることが分かる。

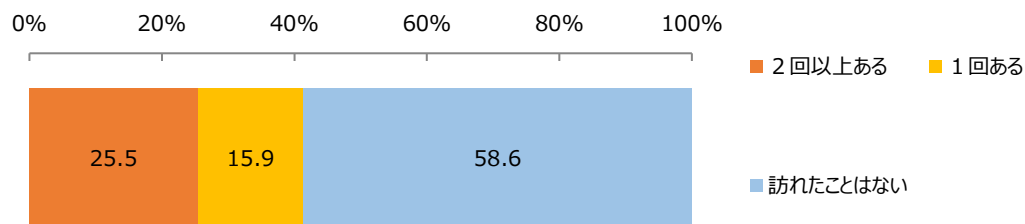


図 富津市への観光での来訪経験

(5) 観光で訪れたことがある場所

富津市を観光で来訪したことがある回答者の約7割がマザー牧場に来訪していることが分かる。また、鋸山や富津岬への来訪も多くみられる。

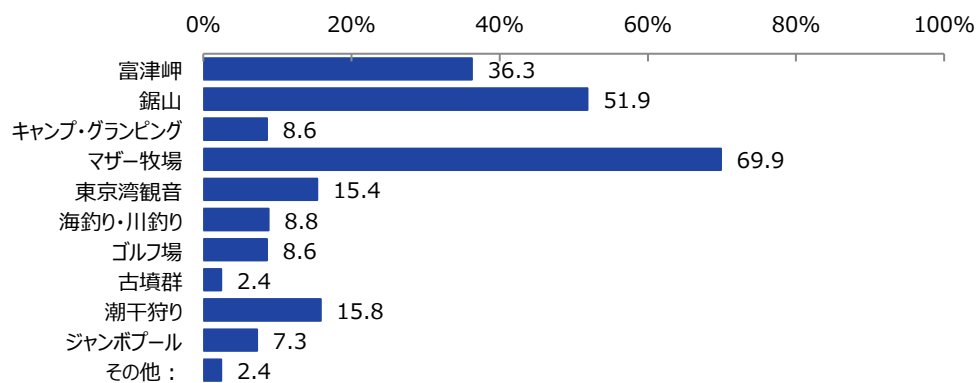


図 観光で訪れたことがある場所

(6) 富津市への観光での再訪意向

回答者の約9割が富津市に再訪したいと捉えていることが分かる。

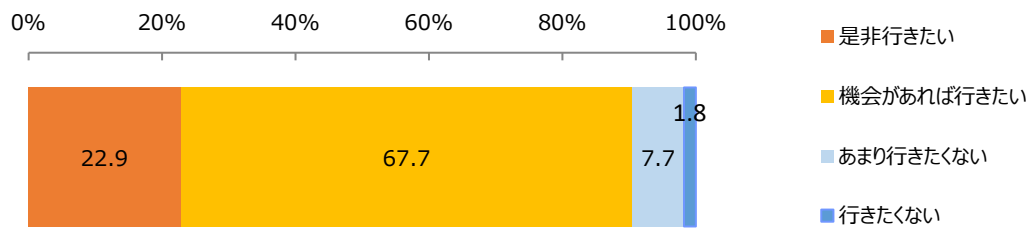


図 富津市への再訪意向

(7) 富津市に観光で再訪したいと思わない理由

富津市に観光で再訪したいと思わない理由としては、都心から遠い・交通アクセスが良くないことが特に多く挙げられている。ただし、観光で再訪したいと思わない回答者数が1,100名のうちの約40名であることを考慮すると、統計的に有意な結果とはいえない。

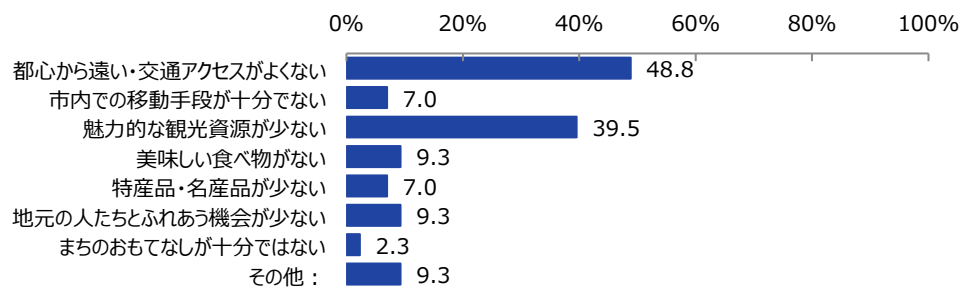


図 富津市に観光で再訪したいと思わない理由

2.1.4 富津市への移住意向

(1) 将来の移住意向

回答者の約7割は移住に興味・関心がないことが分かる。また、具体的な移住の計画がある回答者は全体の1割未満であることが分かる。

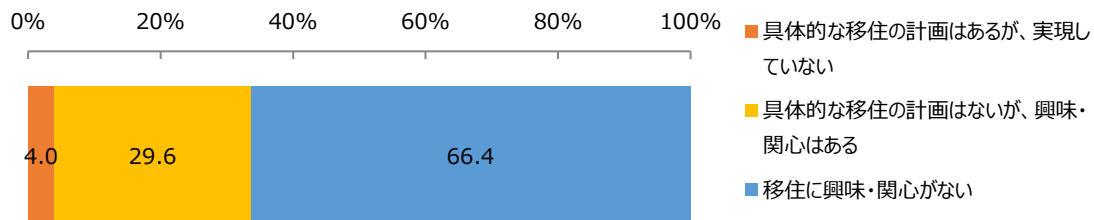


図 将来の移住意向

(2) 富津市を移住候補地とする可能性

移住の計画がある回答者や移住に興味・関心がある回答者のうち、約4割は富津市を移住候補地とする可能性があると考えていることが分かる。

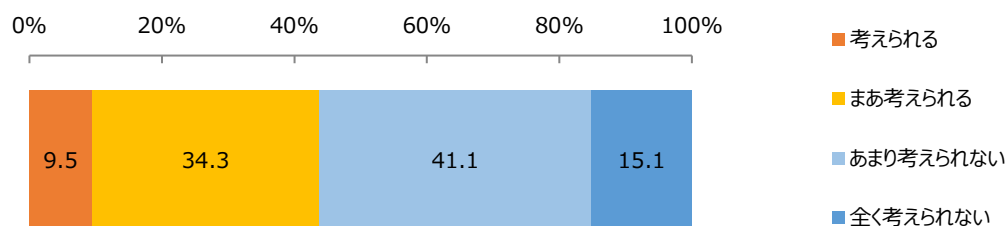


図 富津市を移住候補地とする可能性

(3) 富津市を移住候補地として考えられない要因

富津市を移住候補地として考えられない要因としては、富津市の情報がわからないことや職場・学校からの距離の遠さ、日常の交通利便性への不安が挙げられている。

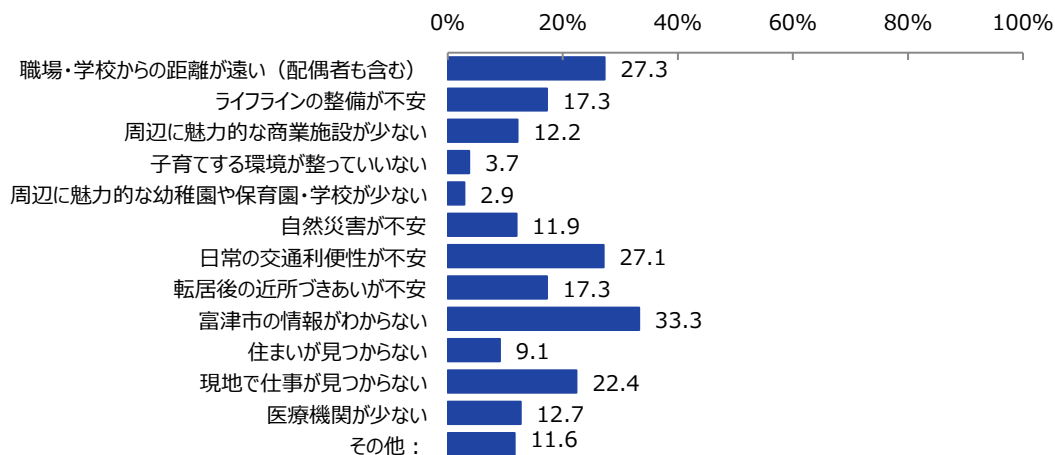


図 富津市を移住候補地として考えられない要因

(4) 富津市に移住する場合の決定要因

富津市を移住候補地とする可能性があると考えている回答者のうち、約6割は居住するためのコストの安さを移住の決定要因として挙げていることが分かる。

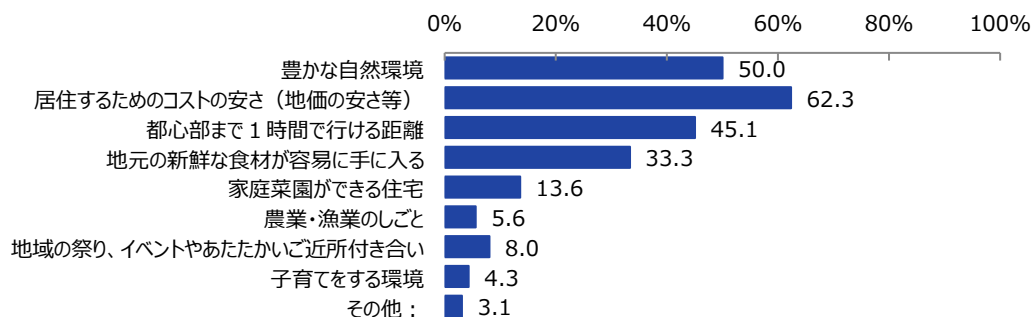


図 富津市に移住する場合の決定要因

(5) 富津市を移住候補地として想定できる方が移住先で譲れないもの

富津市を移住候補地として想定できる方が移住先で譲れないものとしては、公共交通や医療機関が特に多く挙げられていることが分かる。

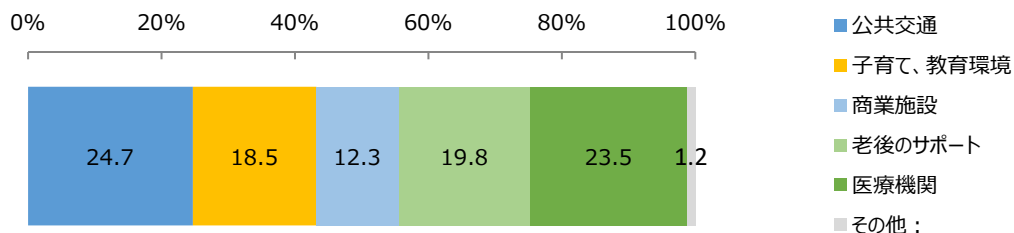


図 富津市を移住候補地として想定できる方が移住先で譲れないもの

(6) 地方移住で富津市が取り組んだ方が良い取組み

地方移住で富津市が取り組んだ方が良い取組みとしては、移住先に関する情報発信や就業支援が挙げられていることが分かる。

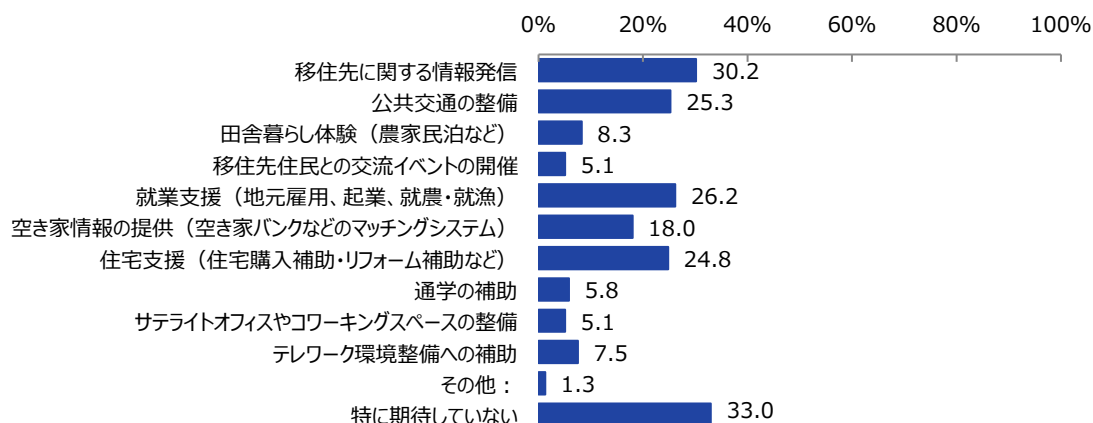


図 地方移住で富津市が取り組んだ方が良い取組み

2.2 クロス集計結果

2.2.1 富津市の認知状況

(1) 富津市の認知度

富津市の認知度に関しては、千葉県内の人口15万人未満の市町村で特に高いことが分かる。また、年齢別にみると20歳代での認知度が他年齢層よりも低いことが分かる。

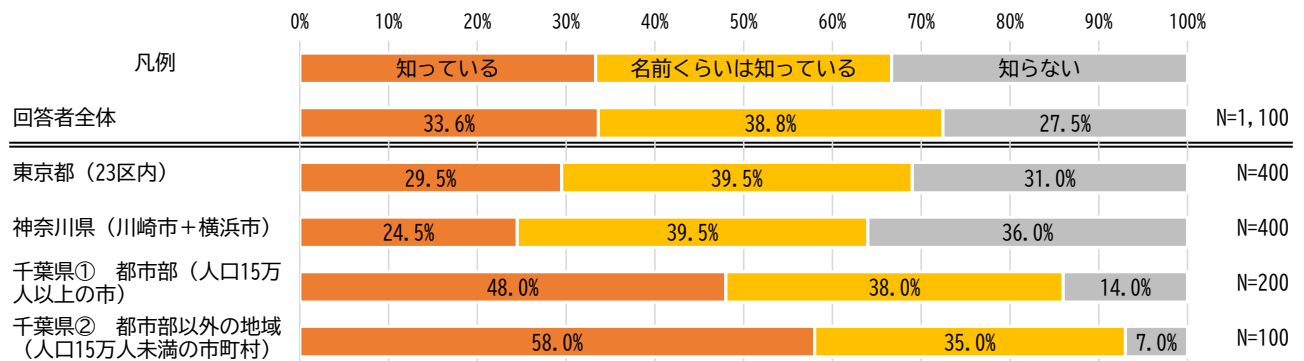


図 富津市の認知度×居住地

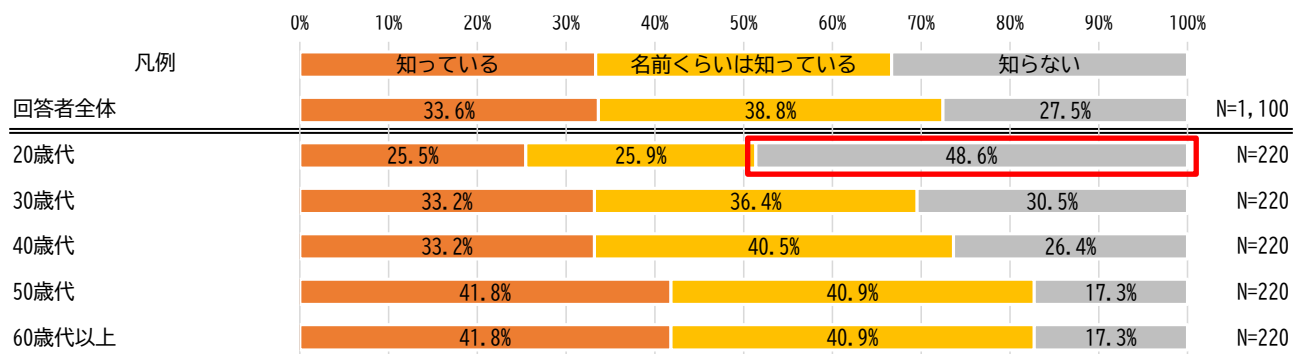


図 富津市の認知度×年齢

(2) 富津市に対するイメージ

①豊かな自然環境に恵まれたまち

豊かな自然環境に恵まれたまちに関しては、居住地での傾向に大きな違いはみられない。一方で年齢別にみると、20歳代で「そう思わない」という回答が多い傾向がみられる。

1. 豊かな自然環境に恵まれたまち

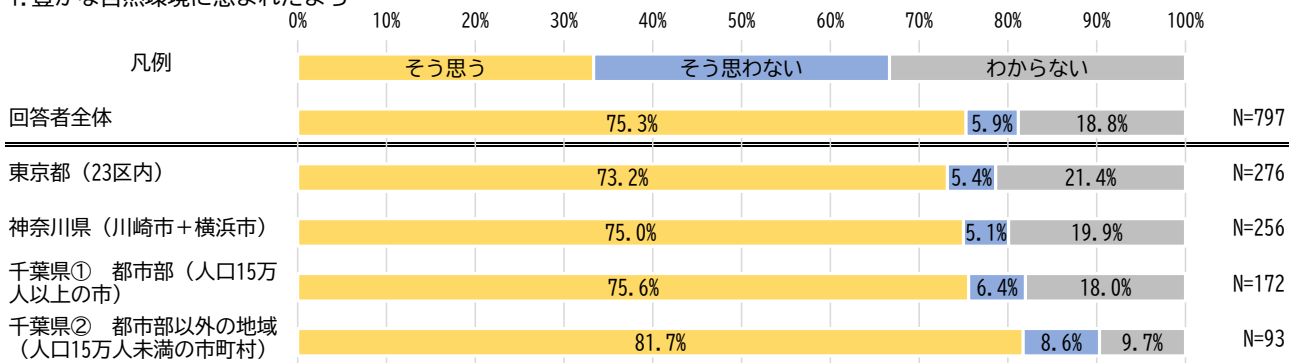


図 富津市に対するイメージ×居住地

1. 豊かな自然環境に恵まれたまち

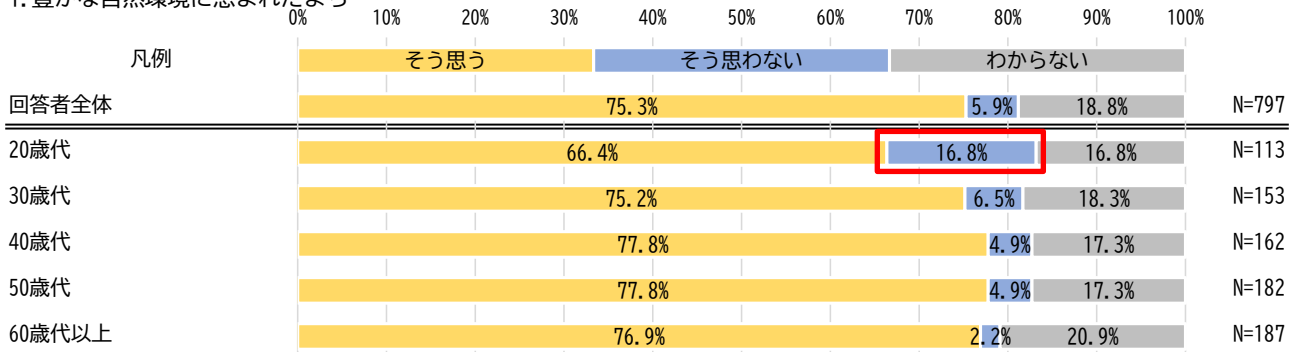


図 富津市に対するイメージ×年齢

②観光資源が多いまち

観光資源が多いまちに関しては、千葉県内の人口 15 万人未満の市町村で「そう思う」という傾向が特に高いことが分かる。一方で年齢別にみると、20 歳代で「そう思わない」という回答が多い傾向がみられる。

2. 観光資源が多いまち

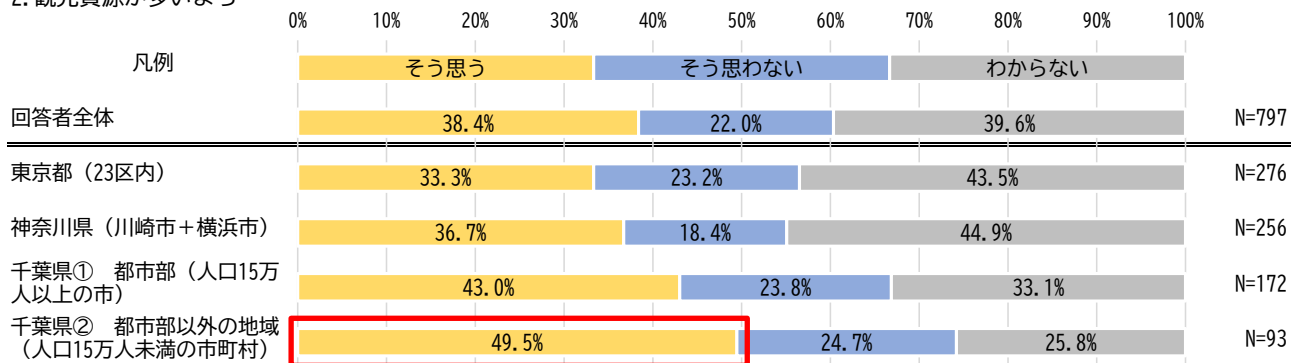


図 富津市に対するイメージ×居住地

2. 観光資源が多いまち

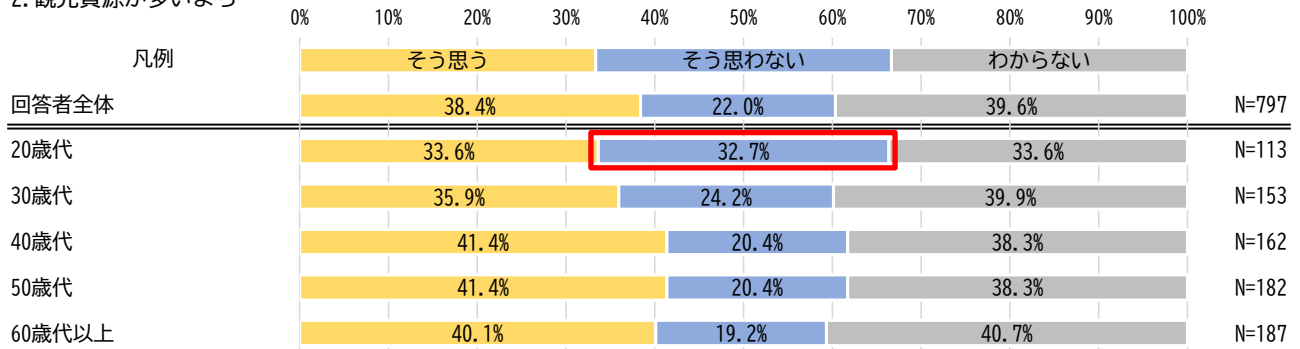


図 富津市に対するイメージ×年齢

③アクアラインを通して都心から短時間で行けるまち

アクアラインを通して都心から短時間で行けるまちに関しては、千葉県内の人口 15 万人未満の市町村で「そう思う」という傾向が特に高いことが分かる。一方で年齢別にみると、20 歳代で「わからない」という回答が多い傾向がみられる。

3. アクアラインを通して都心から短時間で行けるまち

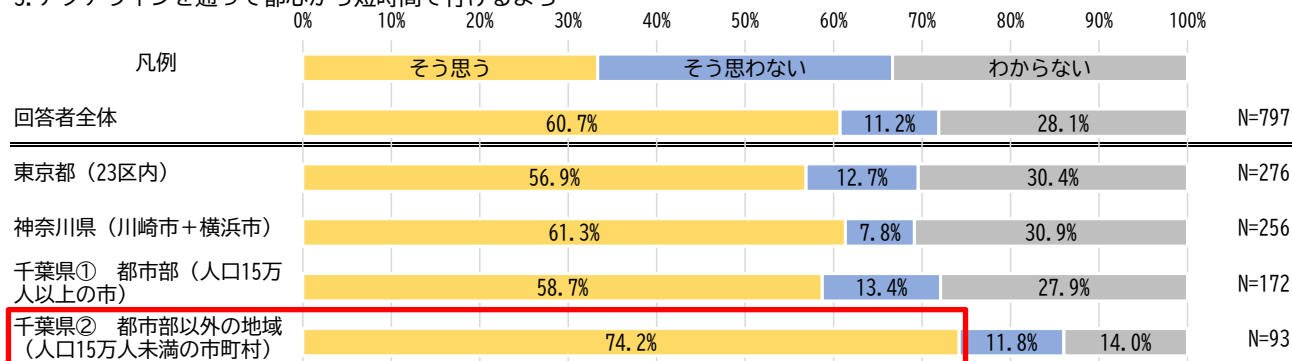


図 富津市に対するイメージ×居住地

3. アクアラインを通して都心から短時間で行けるまち

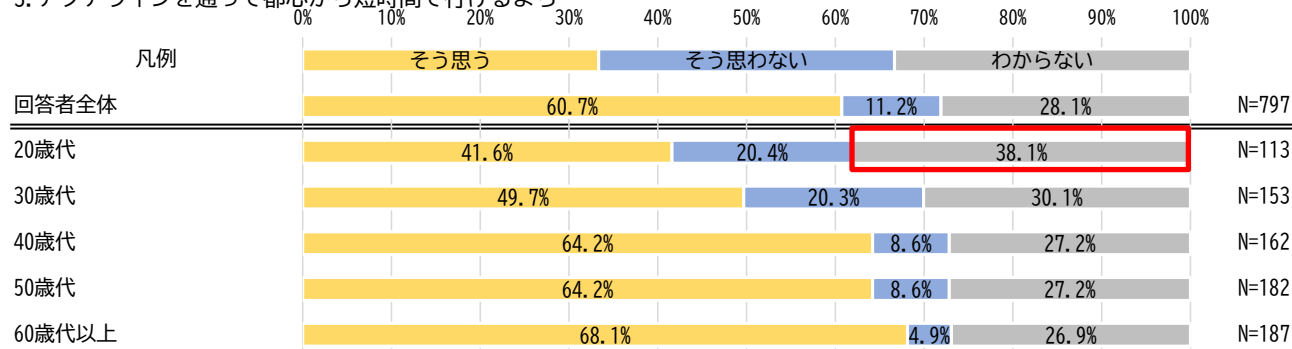


図 富津市に対するイメージ×年齢

④富士山が美しく見えるまち

富士山が美しく見えるまちに関しては、千葉県内の人口 15 万人未満の市町村以外では「わからない」という傾向が特に高いことが分かる。また、年齢別での大きな傾向の違いはみられず、各年齢層で共通して「わからない」という回答が多い傾向がみられる。

4. 富士山が美しく見えるまち

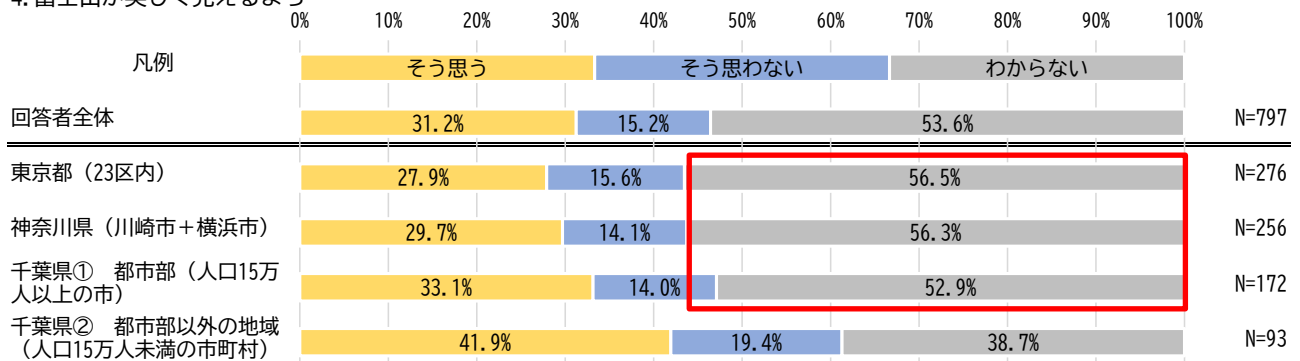


図 富津市に対するイメージ×居住地

4. 富士山が美しく見えるまち

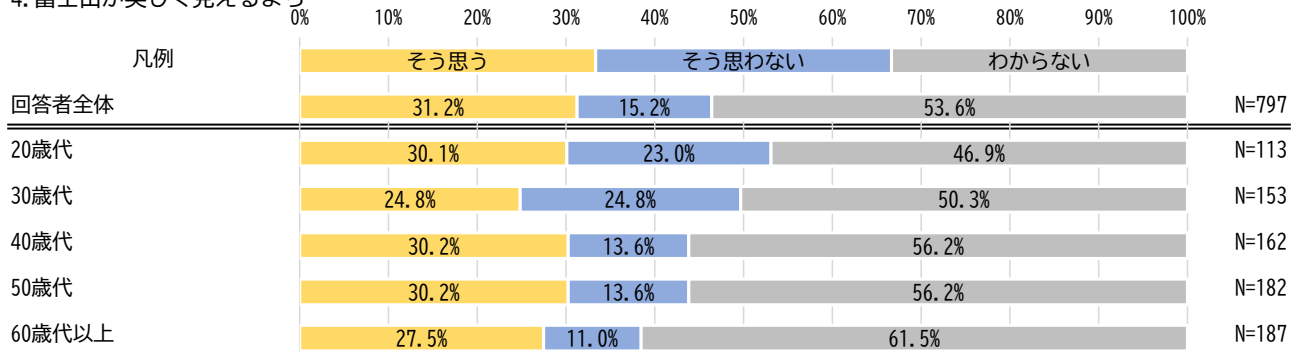


図 富津市に対するイメージ×年齢

⑤食べ物がおいしいまち

食べ物がおいしいまちに関しては、居住地での大きな傾向の違いはみられない。年齢別にみると、20～30 歳代や 60 歳代で「わからない」という回答が多い傾向がみられる。

5. 食べ物がおいしいまち

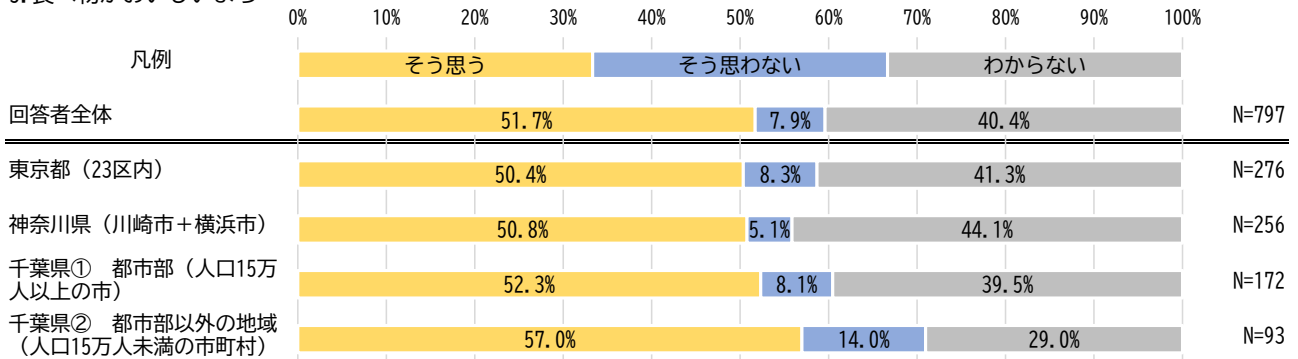


図 富津市に対するイメージ×居住地

5. 食べ物がおいしいまち

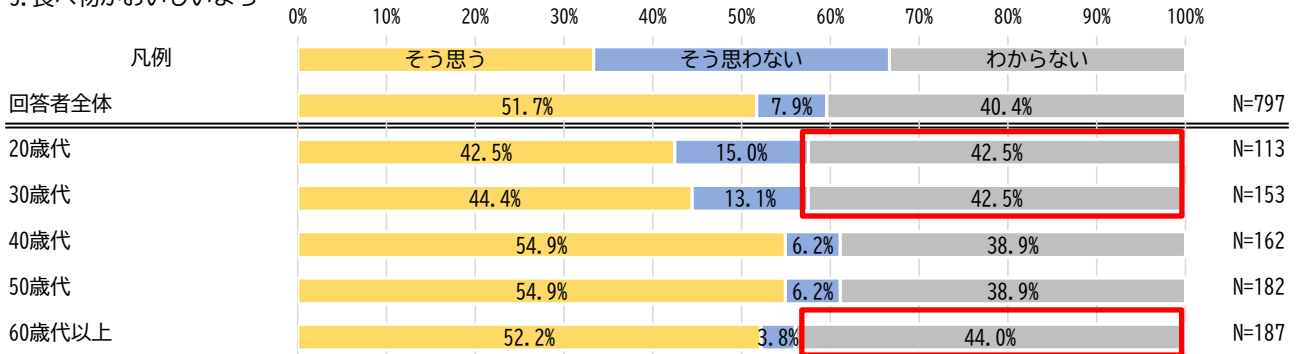


図 富津市に対するイメージ×年齢

⑥財政状況が厳しいまち

財政状況が厳しいまちに関しては、千葉県内の人口 15 万人未満の市町村以外では「わからない」という傾向が特に高いことが分かる。また、年齢別でみると、年齢が上がるにつれて「わからない」という回答が多い傾向がみられる

6. 財政状況が厳しいまち

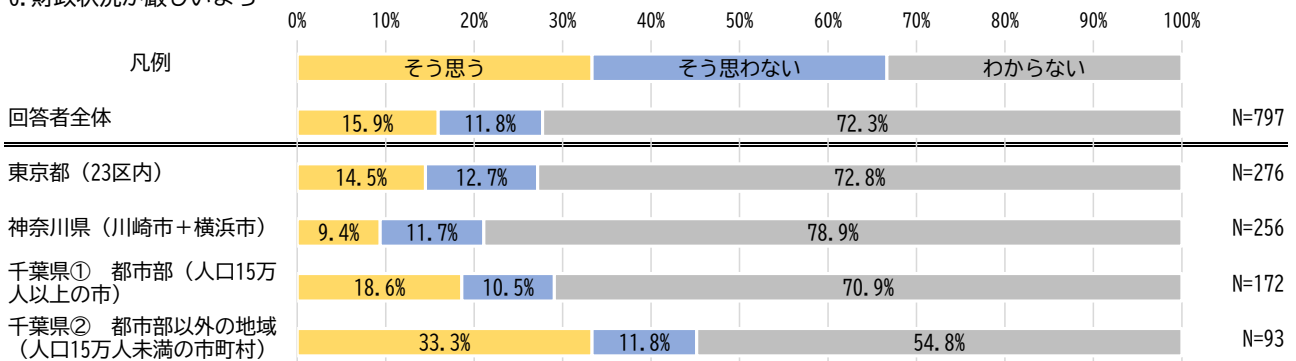


図 富津市に対するイメージ×居住地

6. 財政状況が厳しいまち

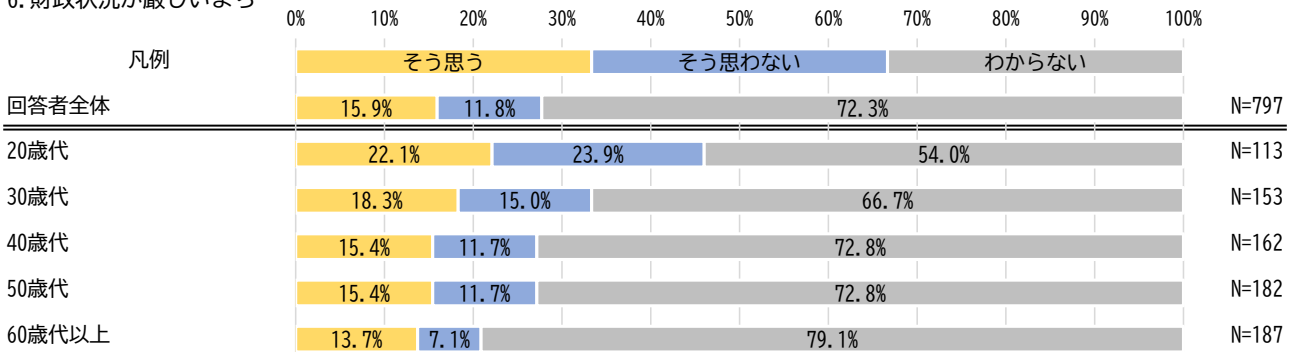
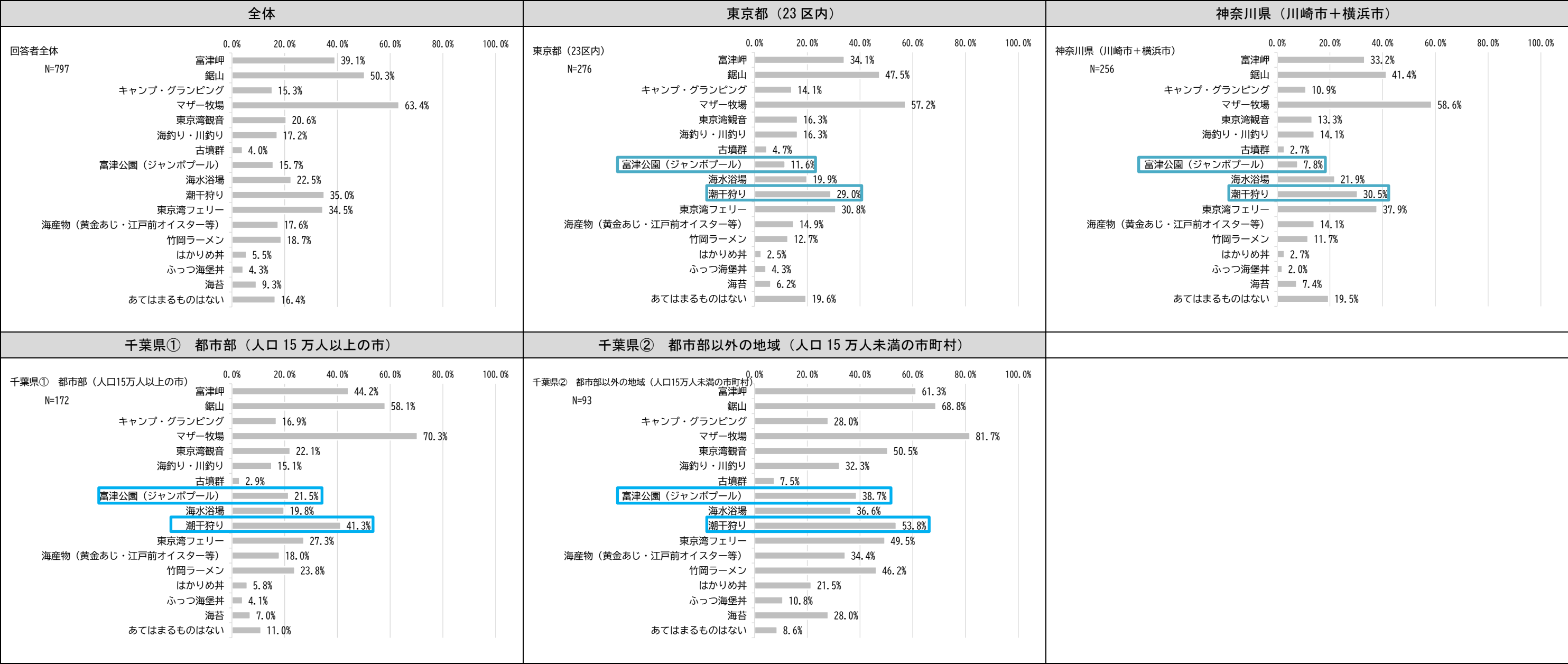


図 富津市に対するイメージ×年齢

(3) 富津市に関して知っているもの

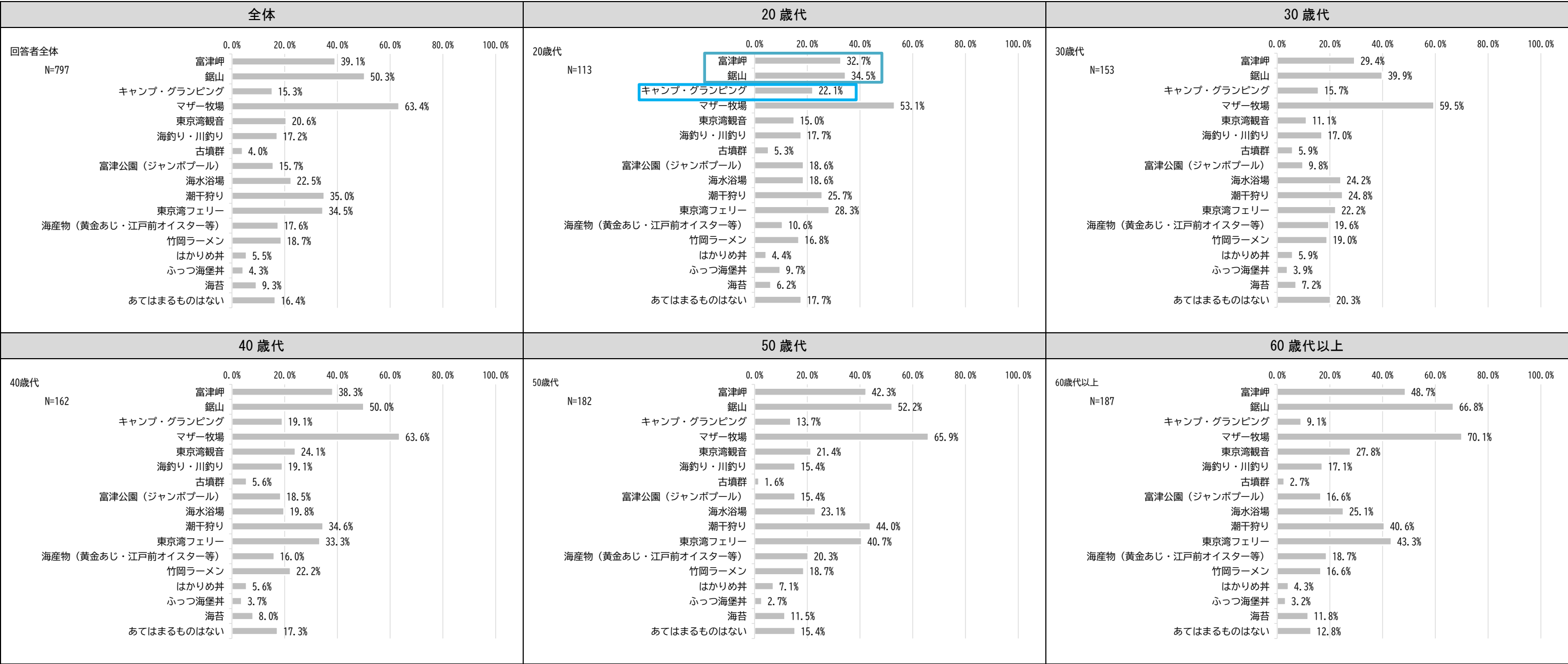
①居住地別の傾向

富津市に関して知っているものについて、居住地別の傾向は下表のようになっている。



②年齢別の傾向

富津市に関して知っているものについて、年齢別の傾向は下表のようにになっている。



(4) 富津市の情報を得るために活用している媒体

①居住地別の傾向

富津市の情報を得るために活用している媒体について、居住地別の傾向は下表のようになっている。



②年齢別の傾向

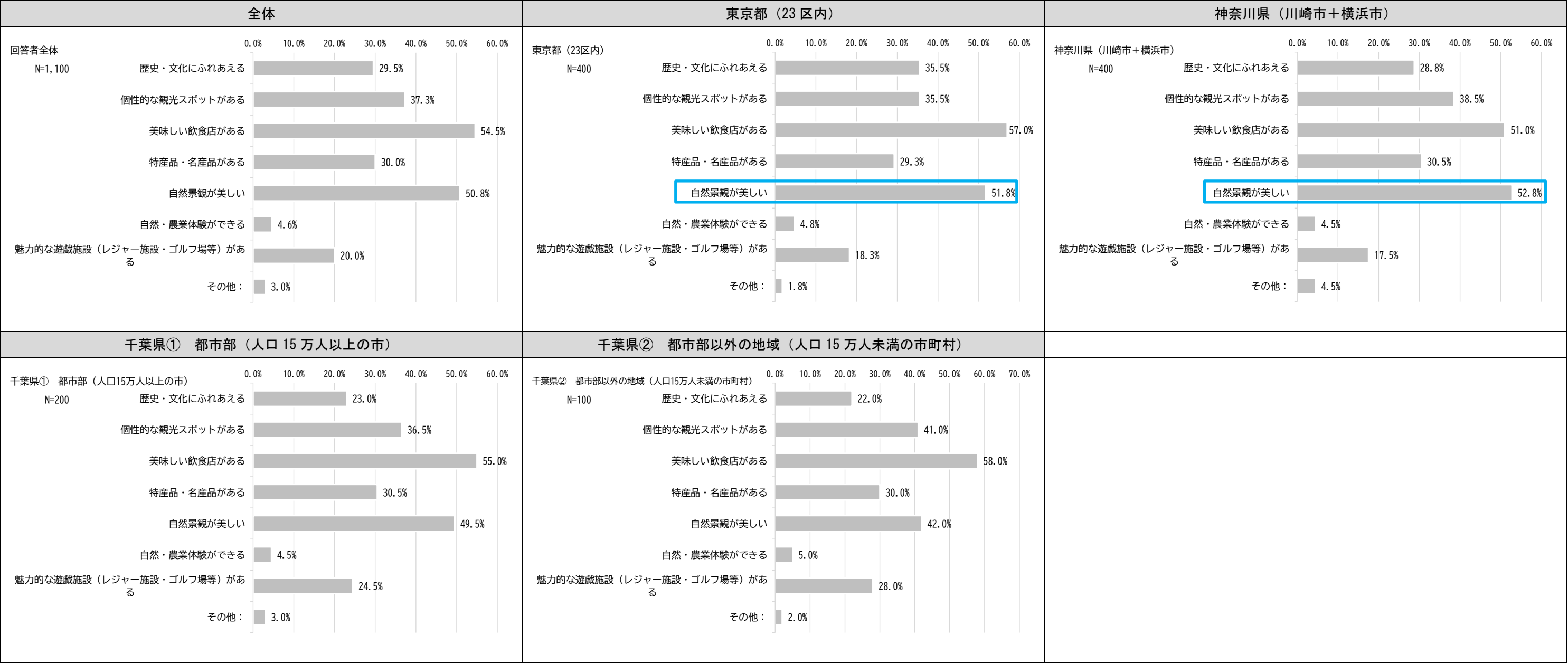
富津市の情報を得るために活用している媒体について、年齢別の傾向は下表のようになっている。



(5) 観光地で来訪する場所を選ぶ基準

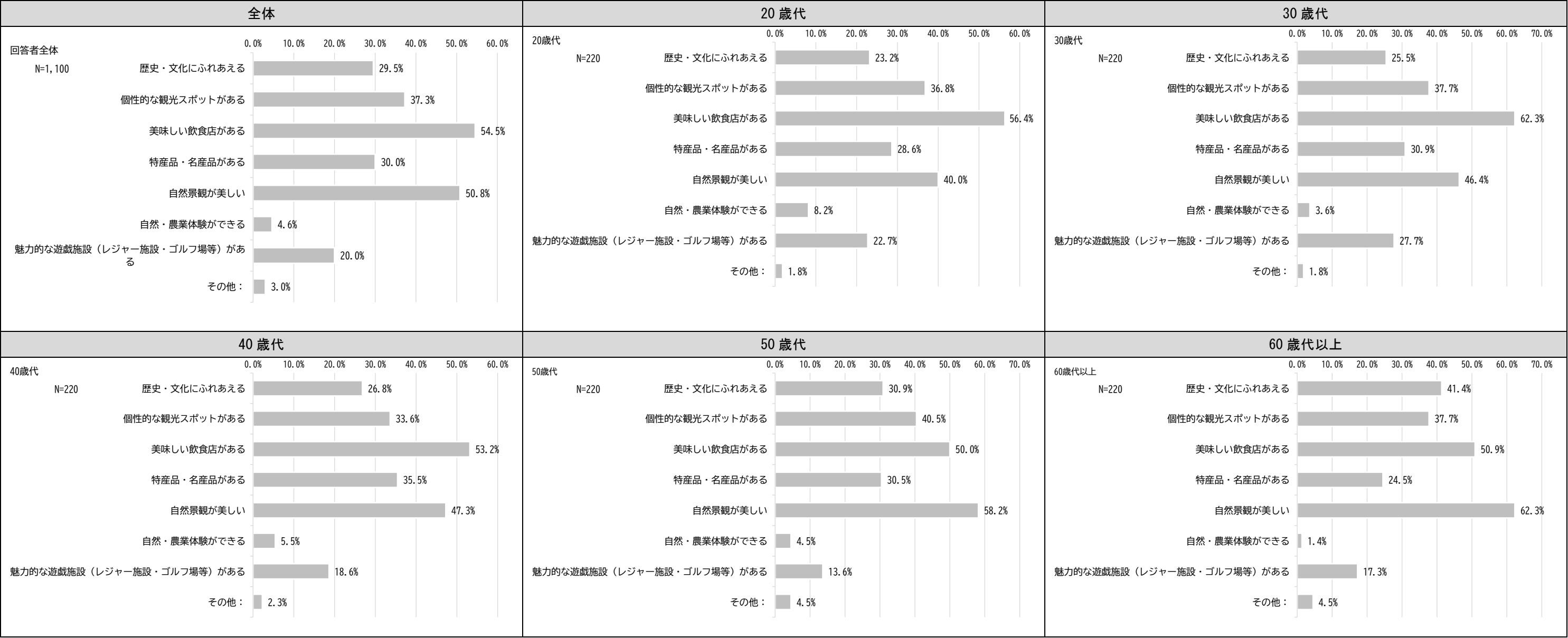
①居住地別の傾向

観光地で来訪する場所を選ぶ基準について、居住地別の傾向は下表のようにになっている。



②年齢別の傾向

観光地で来訪する場所を選ぶ基準について、年齢別の傾向は下表のようにになっている。



2.2.2 観光・交流での富津市の認知状況・来訪意向

(1) 富津市への観光での来訪意向

富津市への観光での来訪意向に関しては、千葉県内の市町村で特に高い傾向がみられる。また、年齢別にみると、年齢が上がるにつれて来訪意向が高くなる傾向がみられる。

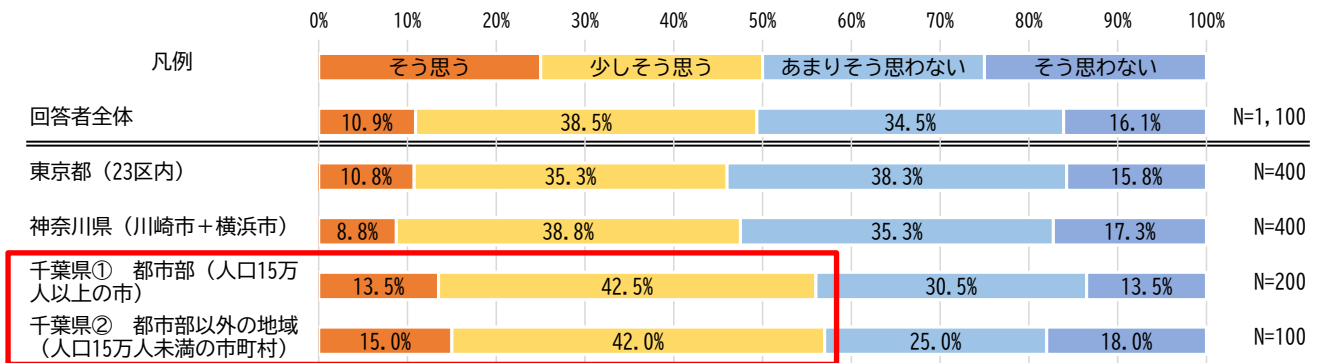


図 富津市への観光での来訪意向×居住地

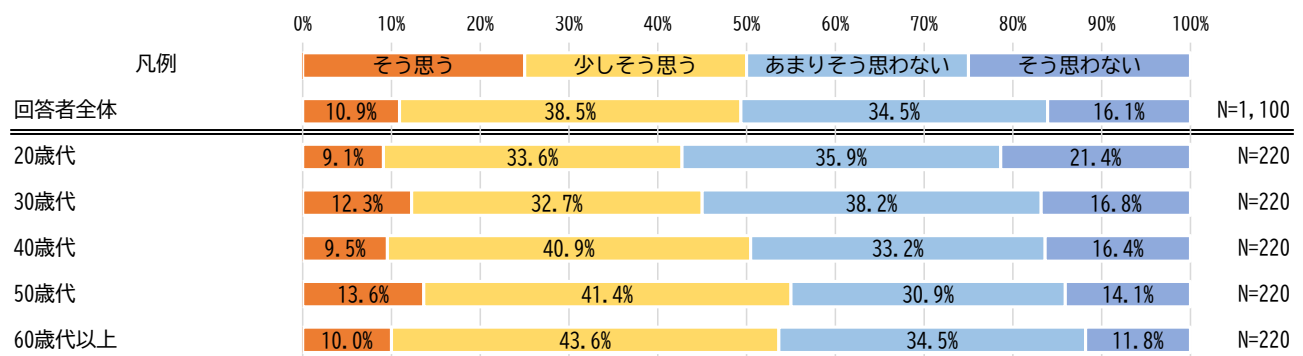
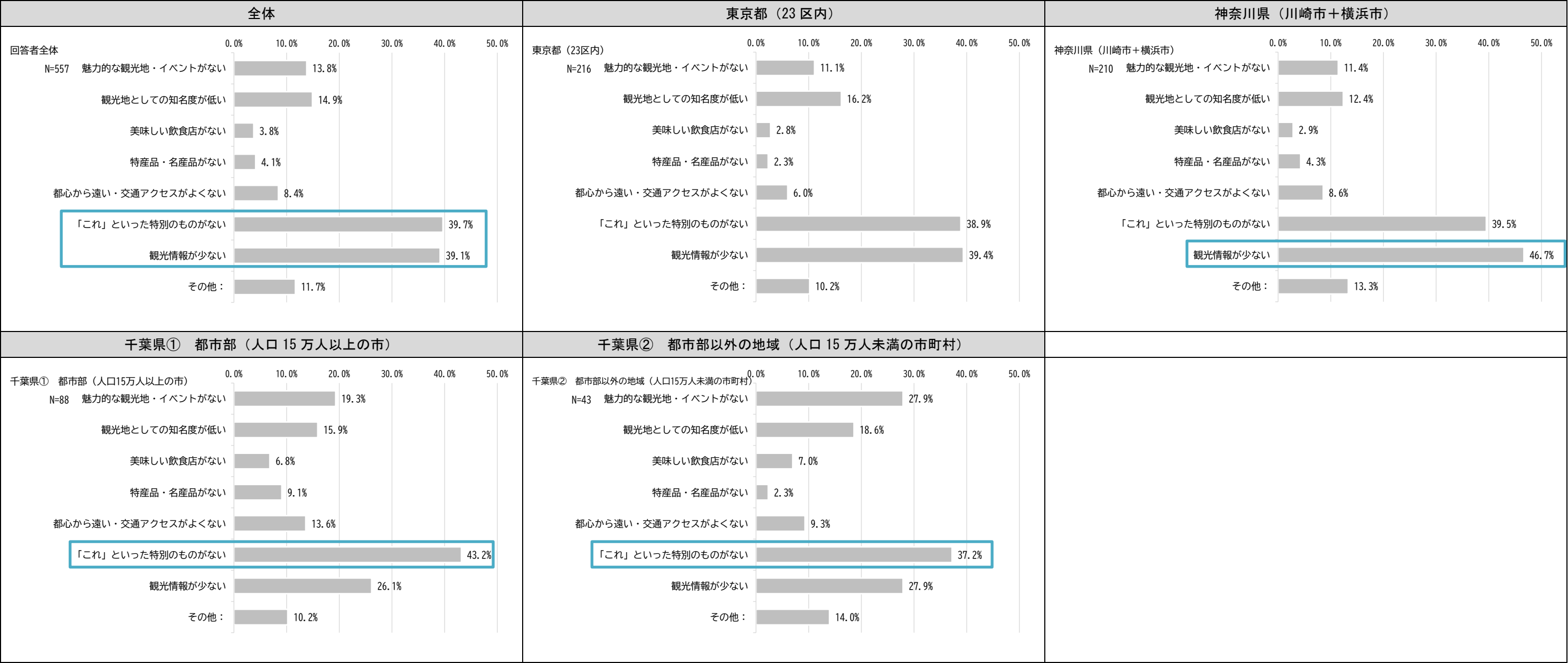


図 富津市への観光での来訪意向×年齢

(2) 富津市に観光で来訪したいと思わない理由

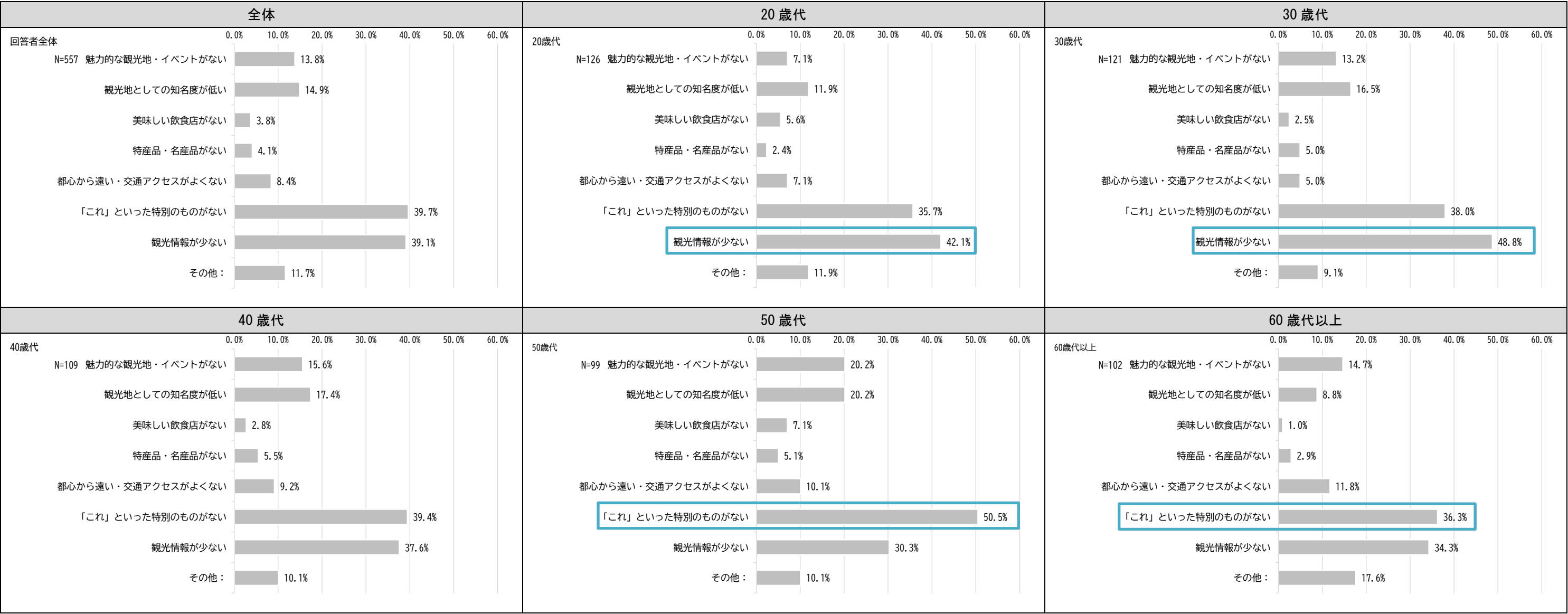
①居住地別の傾向

富津市に観光で来訪したいと思わない理由について、居住地別の傾向は下表のようになっている。



②年齢別の傾向

富津市に観光で来訪したいと思わない理由について、年齢別の傾向は下表のようになっている。



(3) 富津市への観光での来訪経験

富津市への観光での来訪経験に関しては、千葉県内の市町村で特に高い傾向がみられる。また、年齢別にみると、年齢が上がるにつれて来訪意向が高くなる傾向がみられる。

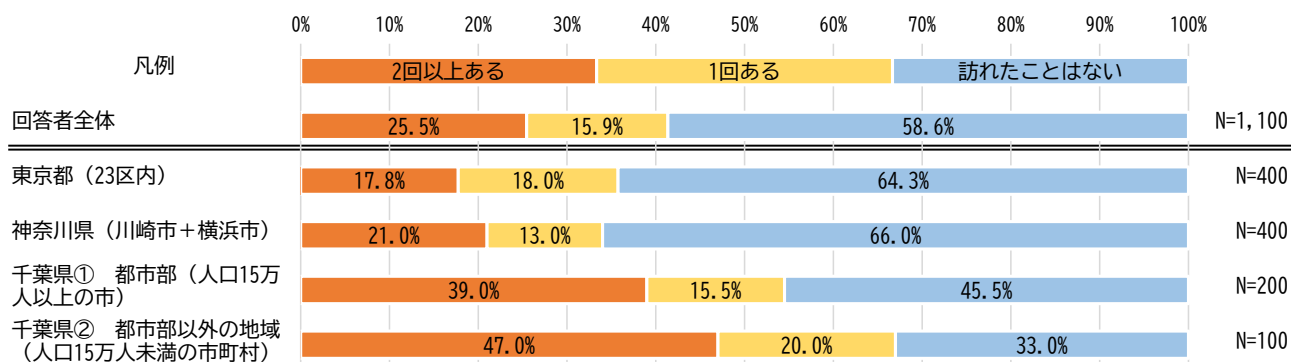


図 富津市への観光での来訪経験×居住地

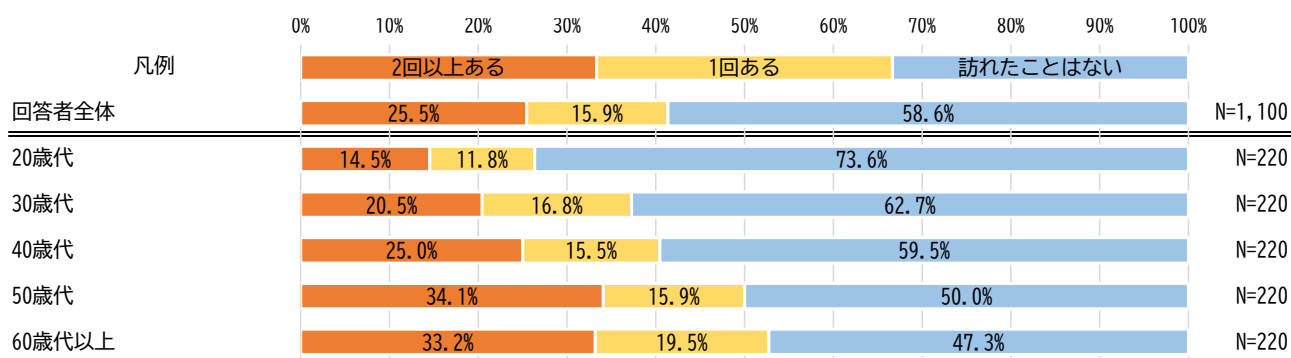
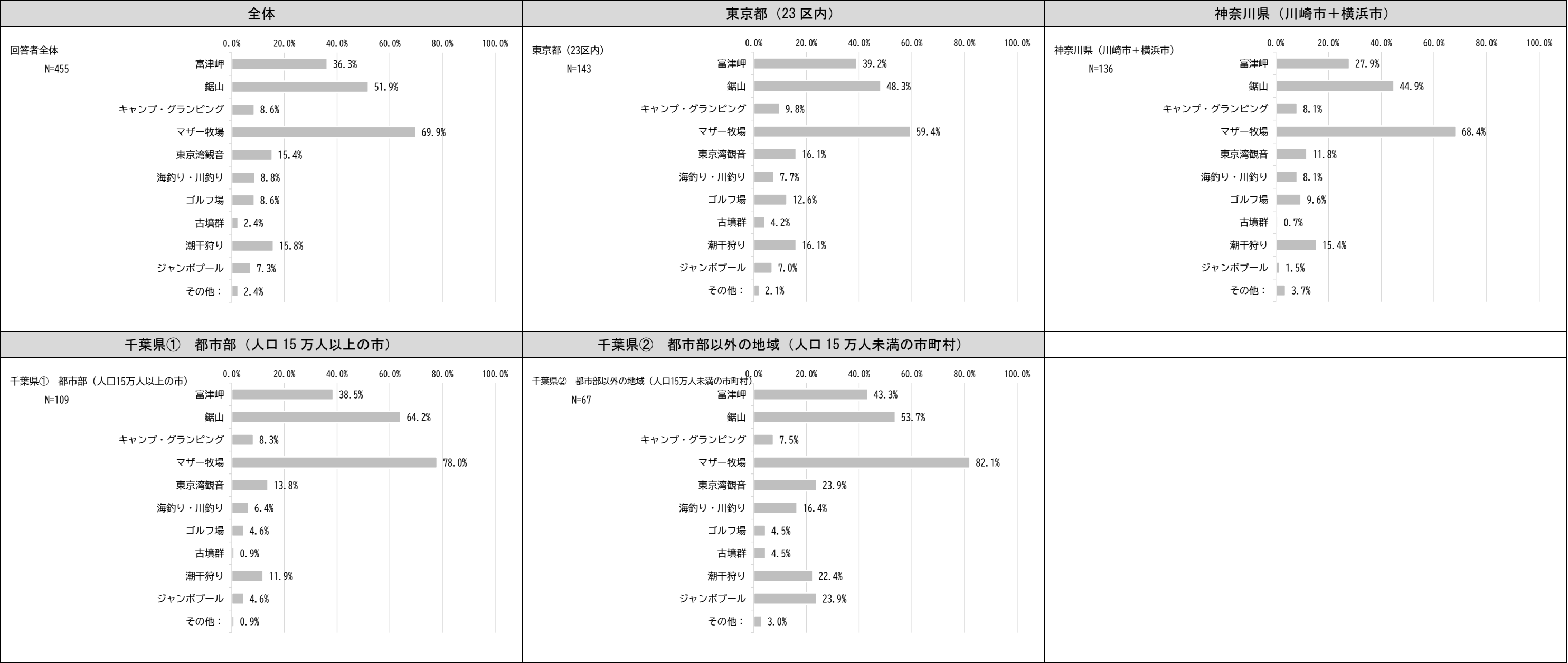


図 富津市への観光での来訪経験×年齢

(4) 観光で訪れたことがある場所

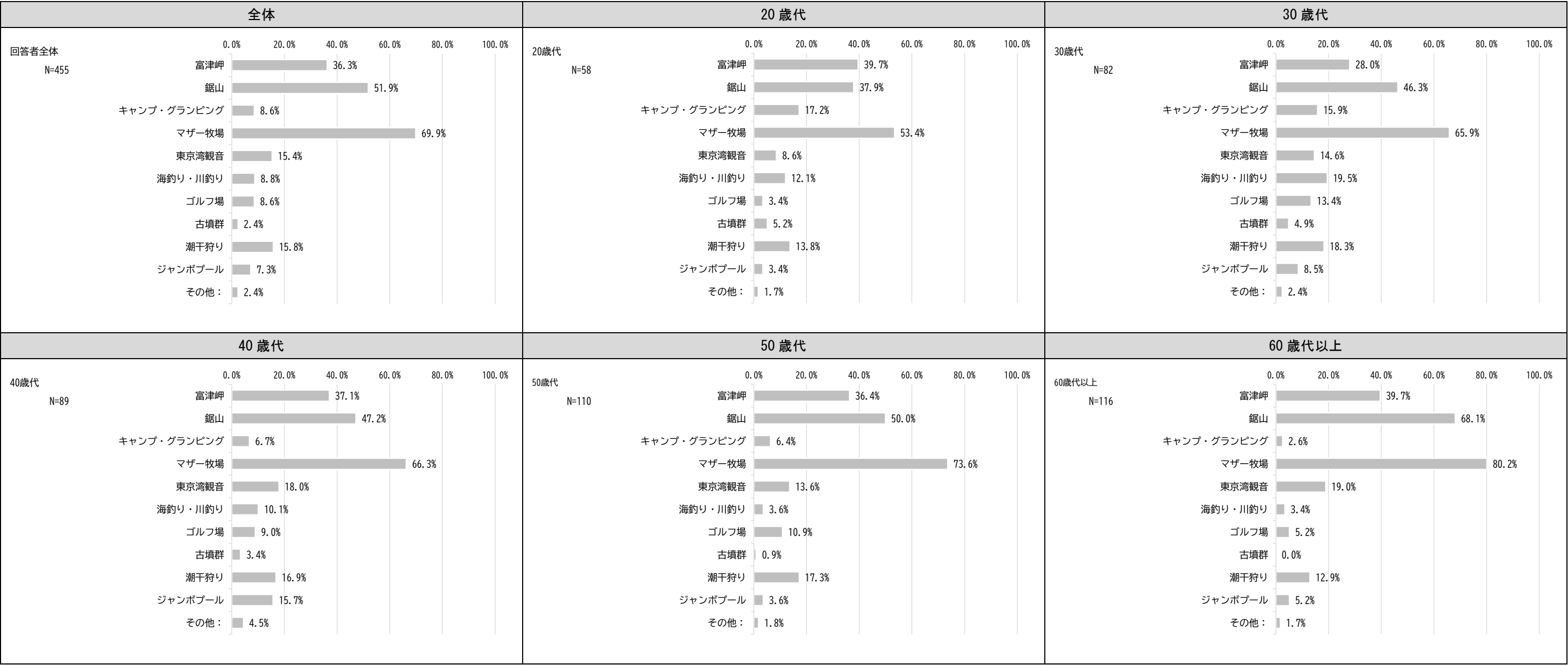
①居住地別の傾向

観光で訪れたことがある場所について、居住地別の傾向は下表のようになっている。



②年齢別の傾向

観光で訪れたことがある場所について、年齢別の傾向は下表のようにになっている。



(5) 富津市への観光での再訪意向

富津市への観光での再訪意向に関しては、居住地での大きな傾向の差はみられない。一方で、年齢別にみると、年齢が上がるにつれて再訪意向が低くなる傾向がみられる。

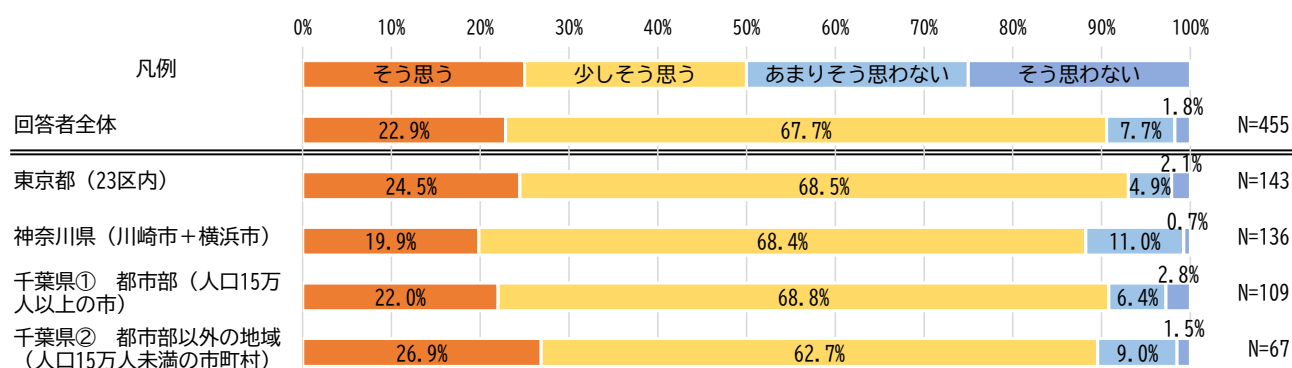


図 富津市への観光での再訪意向×居住地

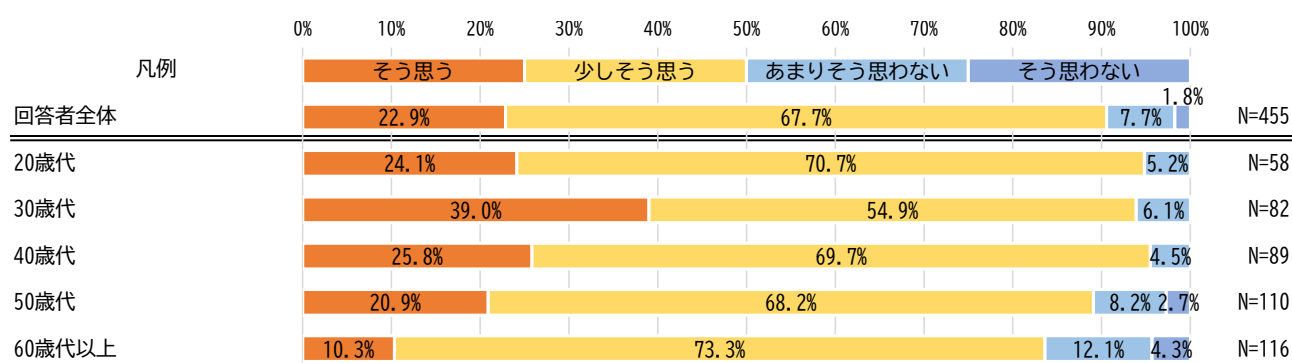


図 富津市への観光での再訪意向×年齢

2.2.3 富津市への移住意向

(1) 将来の移住意向

将来の移住意向に関しては、居住地での大きな傾向の差はみられない。一方で、年齢別にみると、20～30歳代で移住意向が高い傾向があることが分かる。

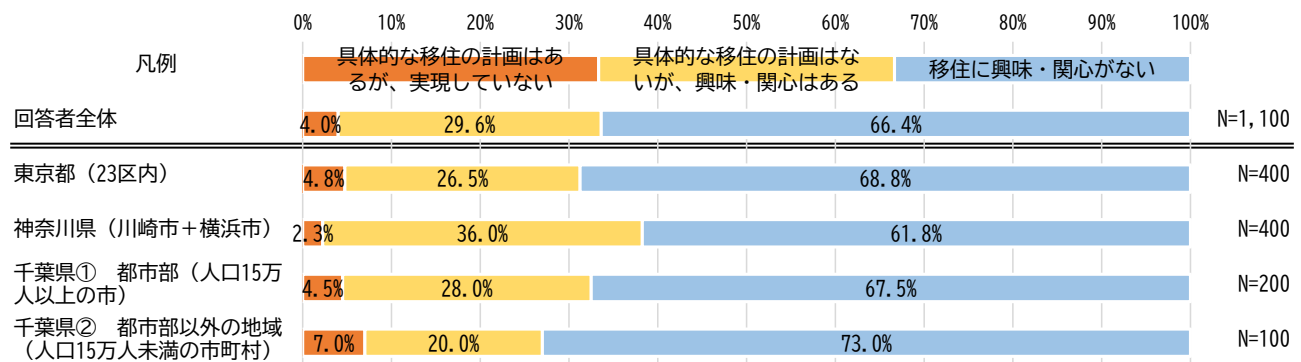


図 将来の移住意向×居住地

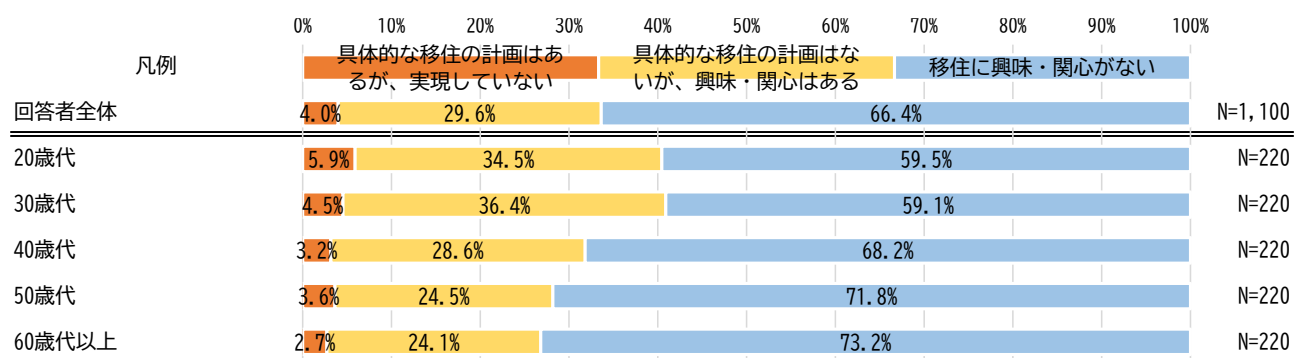


図 将来の移住意向×年齢

(2) 富津市を移住候補地とする可能性

富津市を将来の移住候補地とする可能性に関しては、千葉県内の市町村で移住候補地とする可能性が高くなる傾向がみられる。一方で、年齢別にみると、50歳代までは移住候補地とする可能性が高くなっているが、60歳代以上では低くなっていることが分かる。

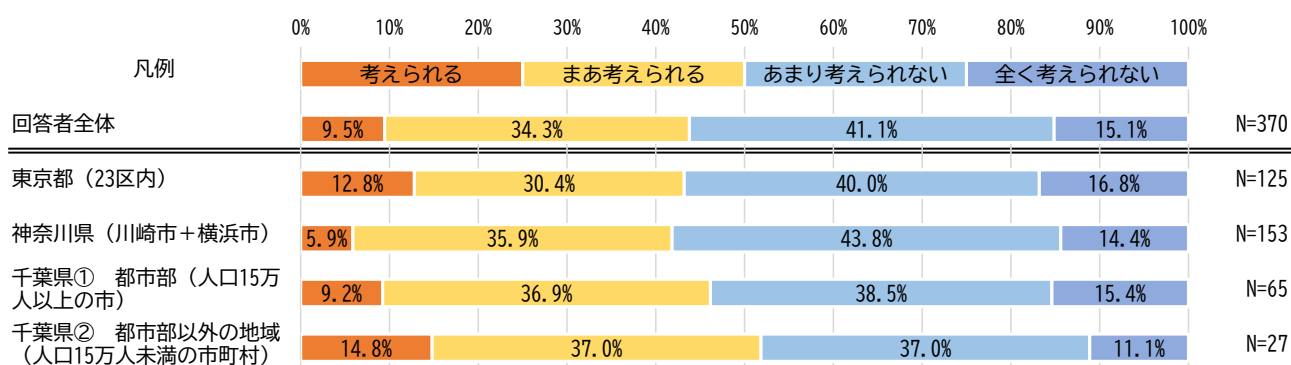


図 富津市を移住候補地とする可能性×居住地

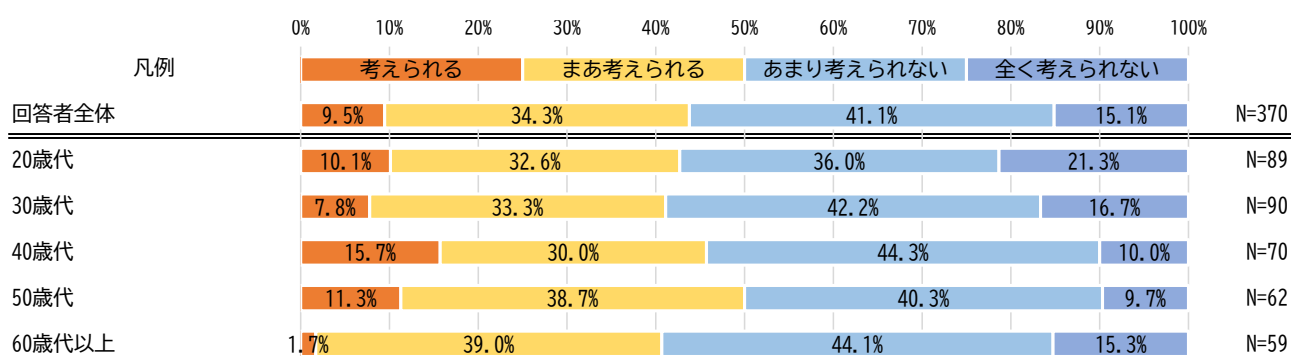
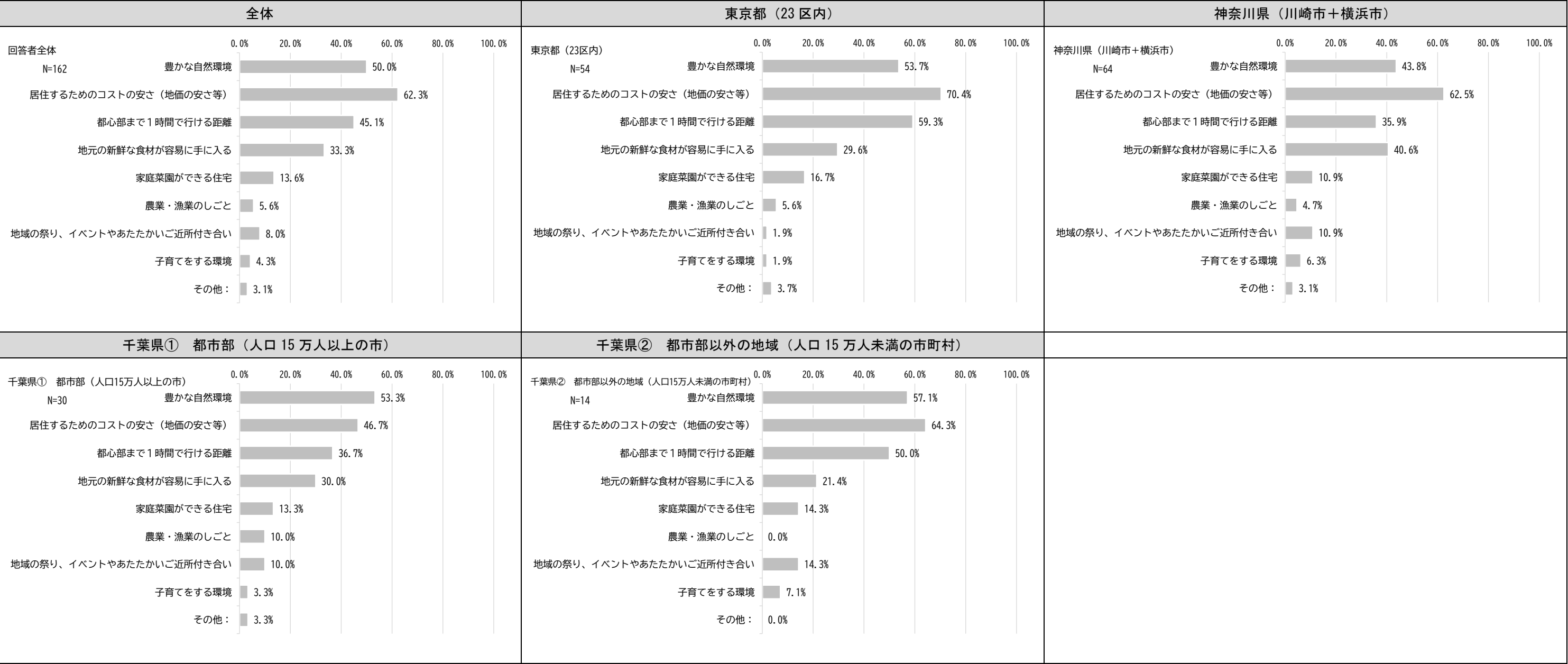


図 富津市を移住候補地とする可能性×年齢

(3) 富津市に移住する場合の決定要因

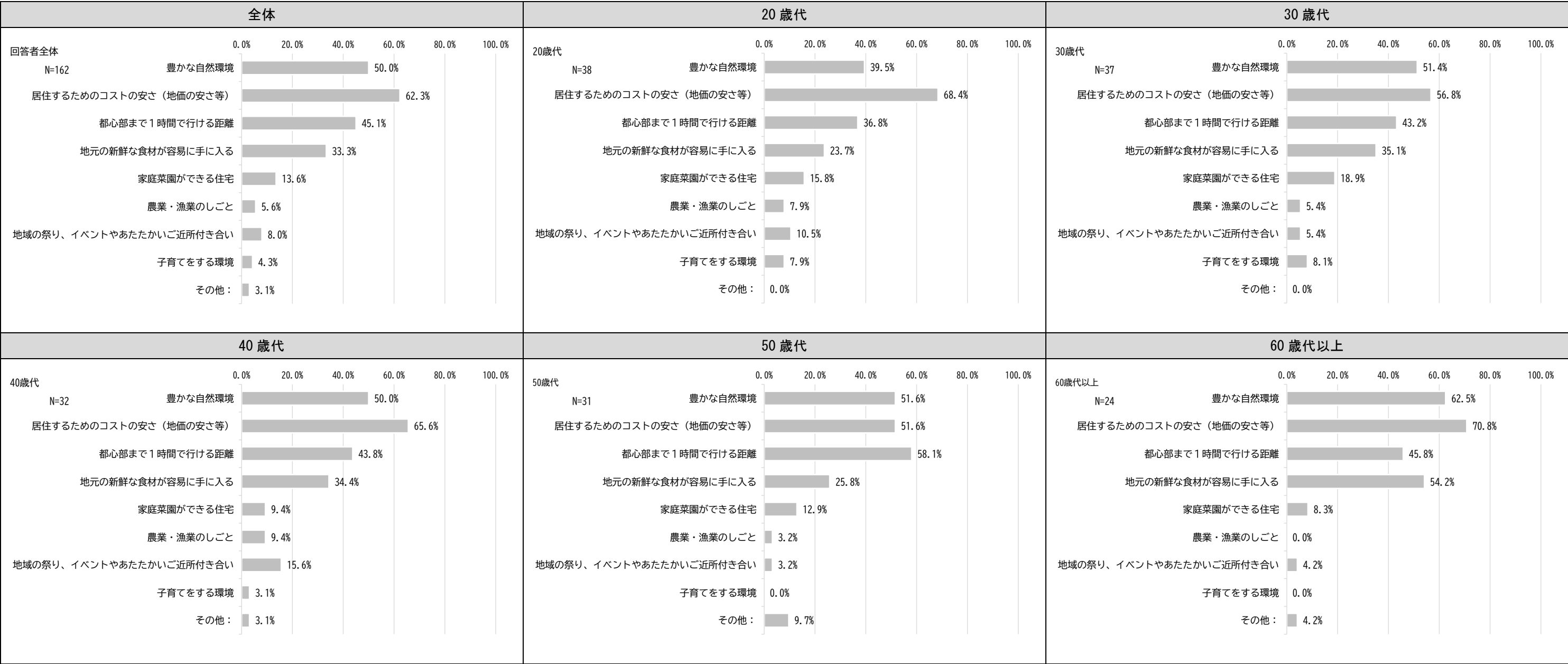
①居住地別の傾向

富津市に移住する場合の決定要因について、居住地別の傾向は下表のようになっている。



②年齢別の傾向

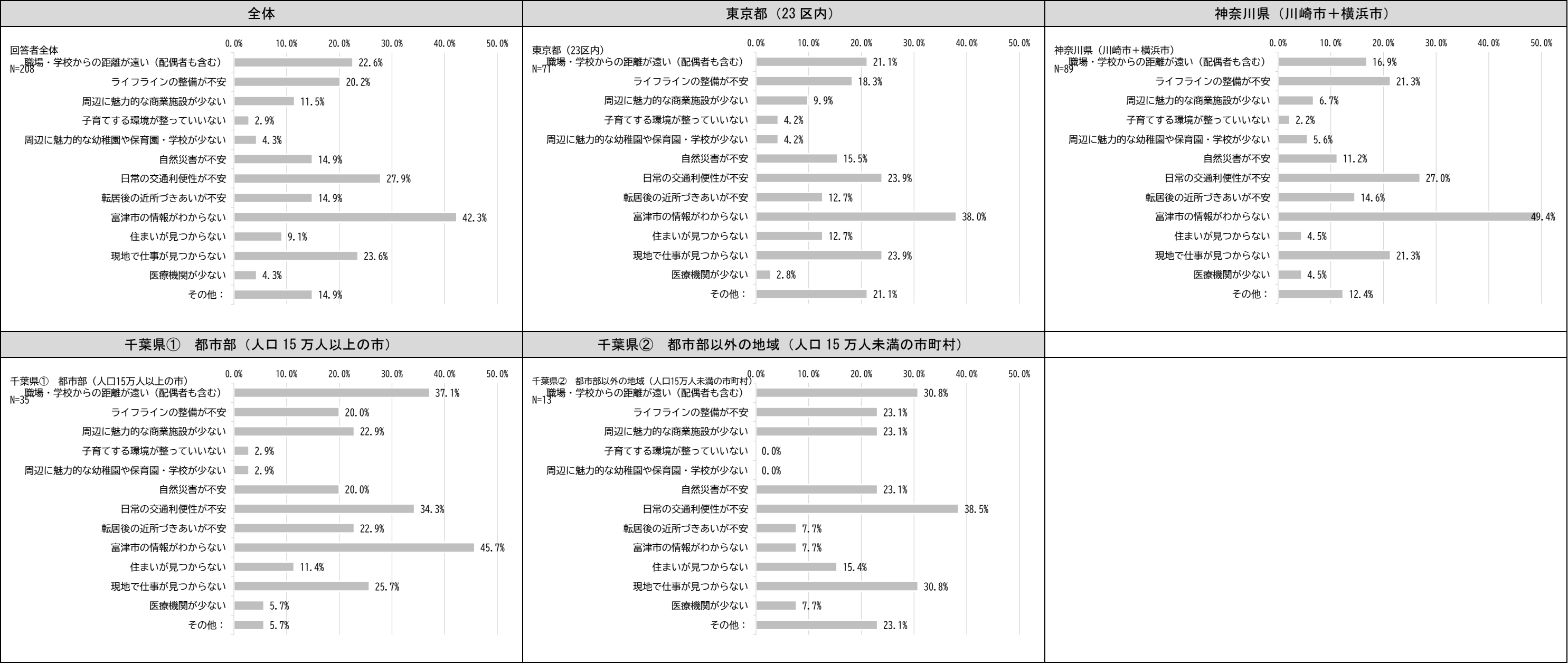
富津市に移住する場合の決定要因について、年齢別の傾向は下表のようになっている。



(4) 富津市を移住候補地として考えられない要因

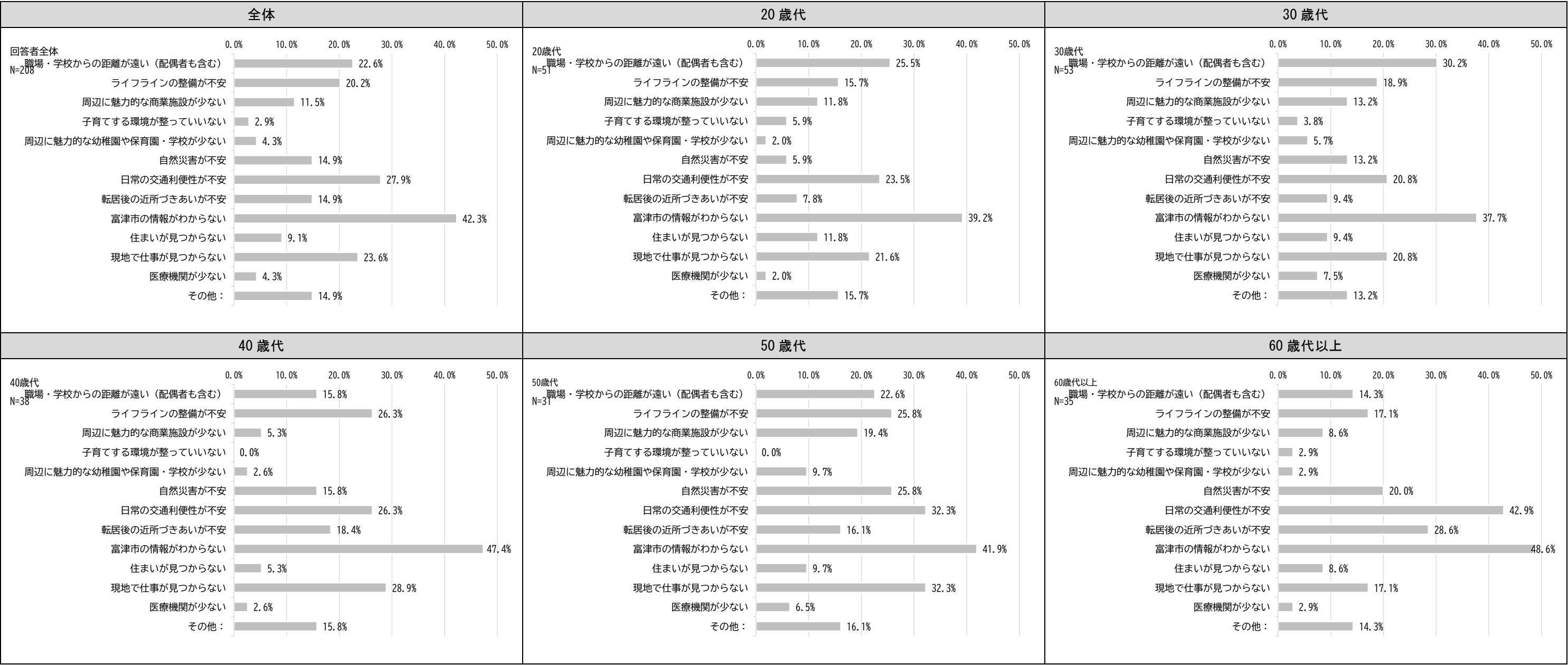
①居住地別の傾向

富津市を移住候補地として考えられない要因について、居住地別の傾向は下表のようになっている。



②年齢別の傾向

富津市を移住候補地として考えられない要因について、年齢別の傾向は下表のようになっている。



(5) 富津市を移住候補地として想定できる方が移住先で譲れないもの

富津市を移住候補地として想定できる方が移住先で譲れないものに関しては、千葉県内の人口15万人未満の市町村では、公共交通と子育て、教育環境が特に高い傾向がみられる。一方で東京都や神奈川県では、医療機関が高い傾向がみられる。また、年齢別にみると、20歳代では子育て、教育環境が顕著に高くなっていることが分かる。

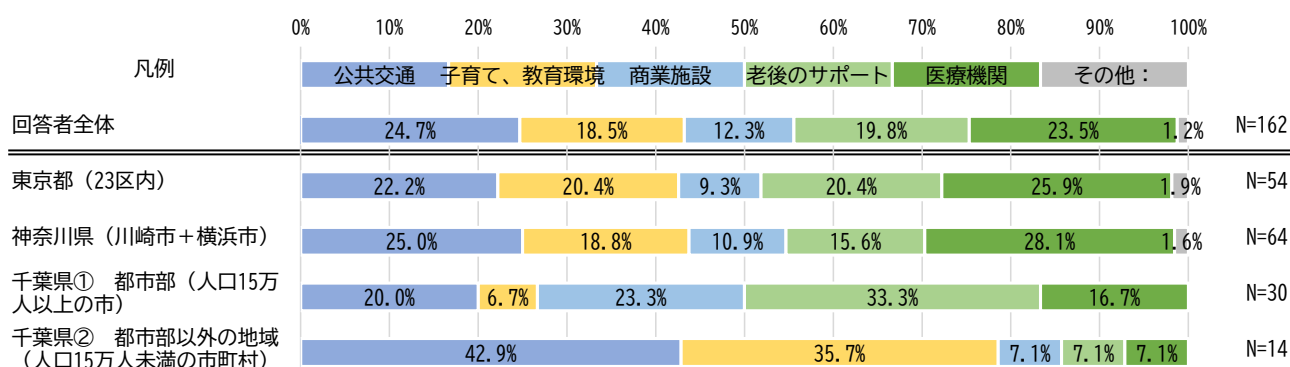


図 富津市を移住候補地として想定できる方が移住先で譲れないもの×居住地

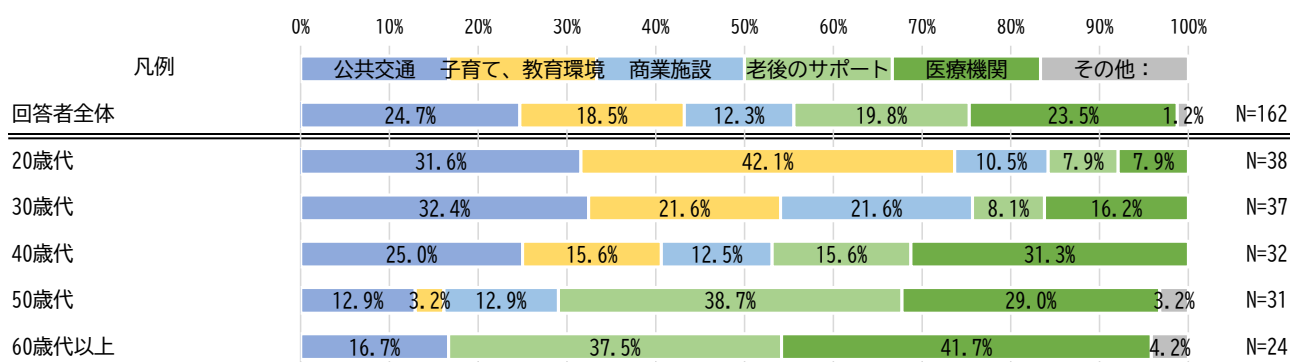
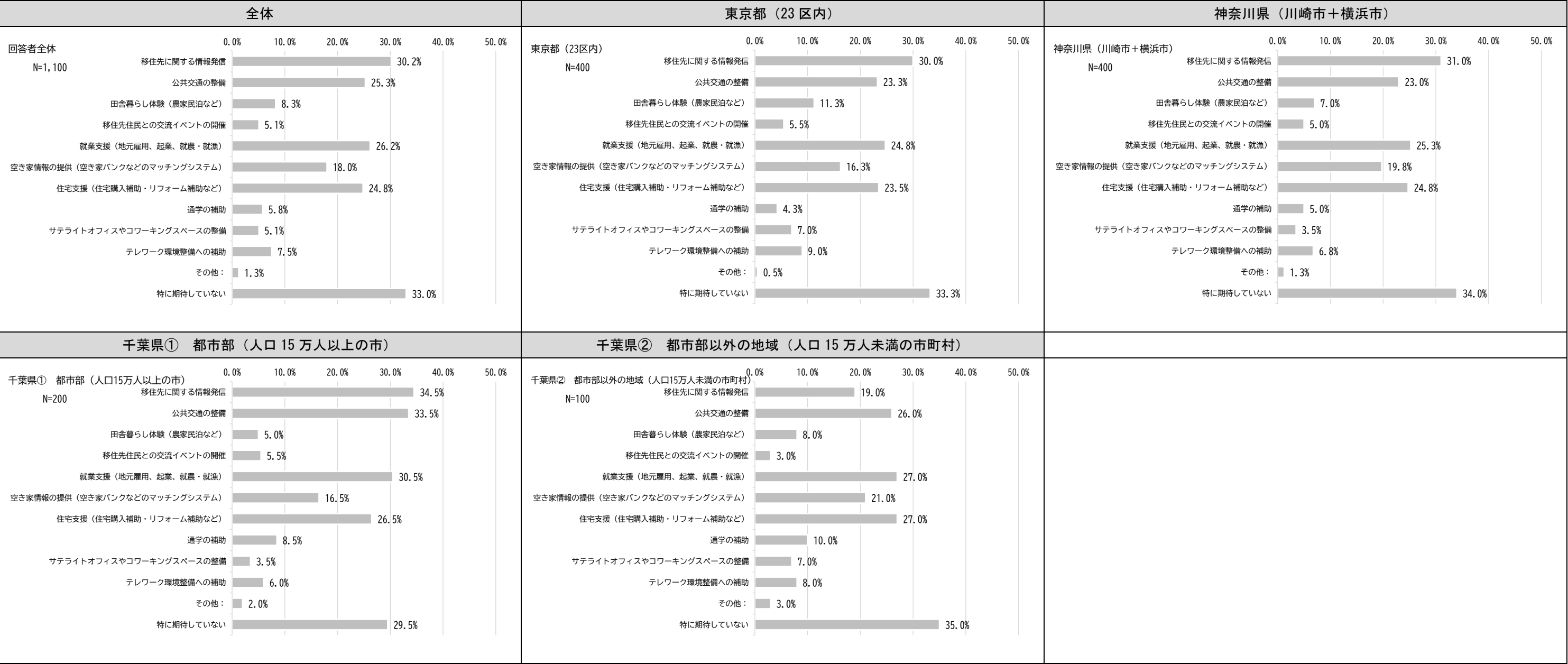


図 富津市を移住候補地として想定できる方が移住先で譲れないもの×年齢

(6) 地方移住で富津市が取り組んだ方が良い取組み

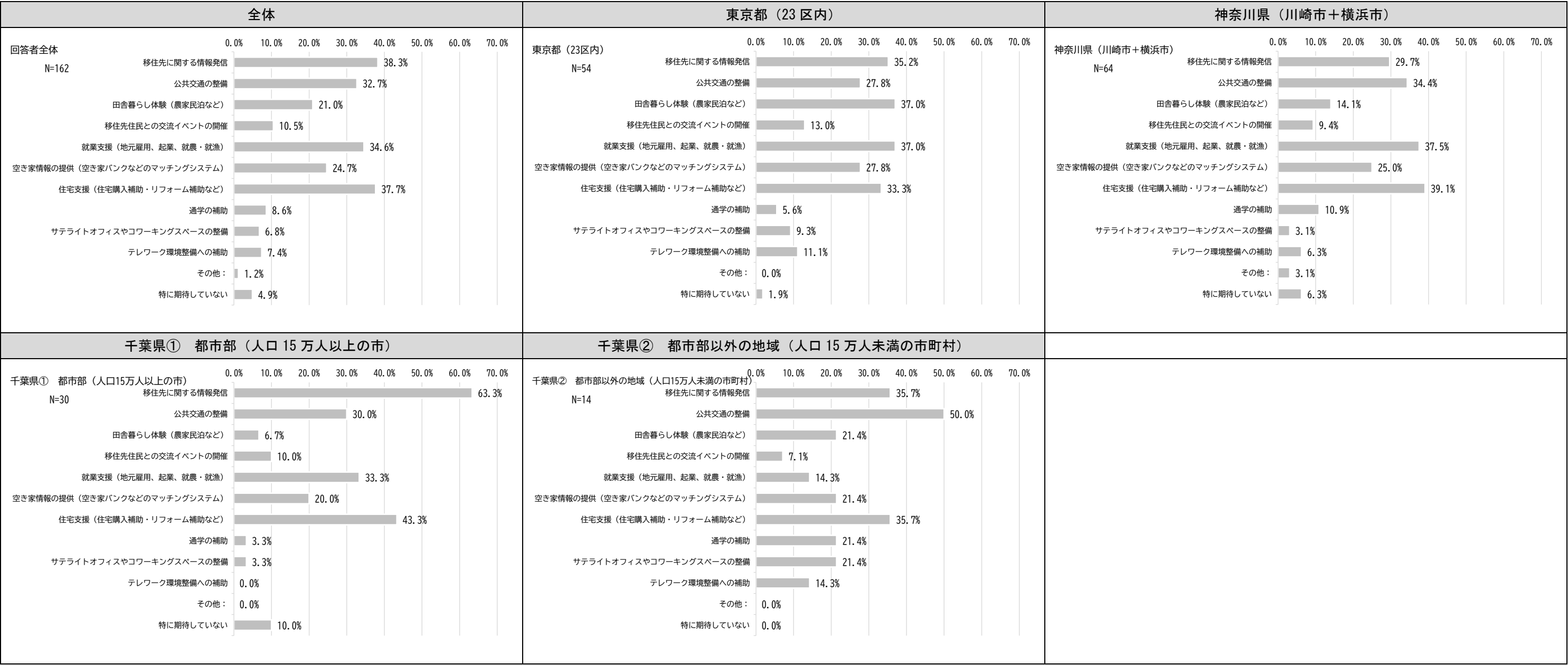
①居住地別の傾向

地方移住で富津市が取り組んだ方が良い取組みについて、居住地別の傾向は下表のようになっている。



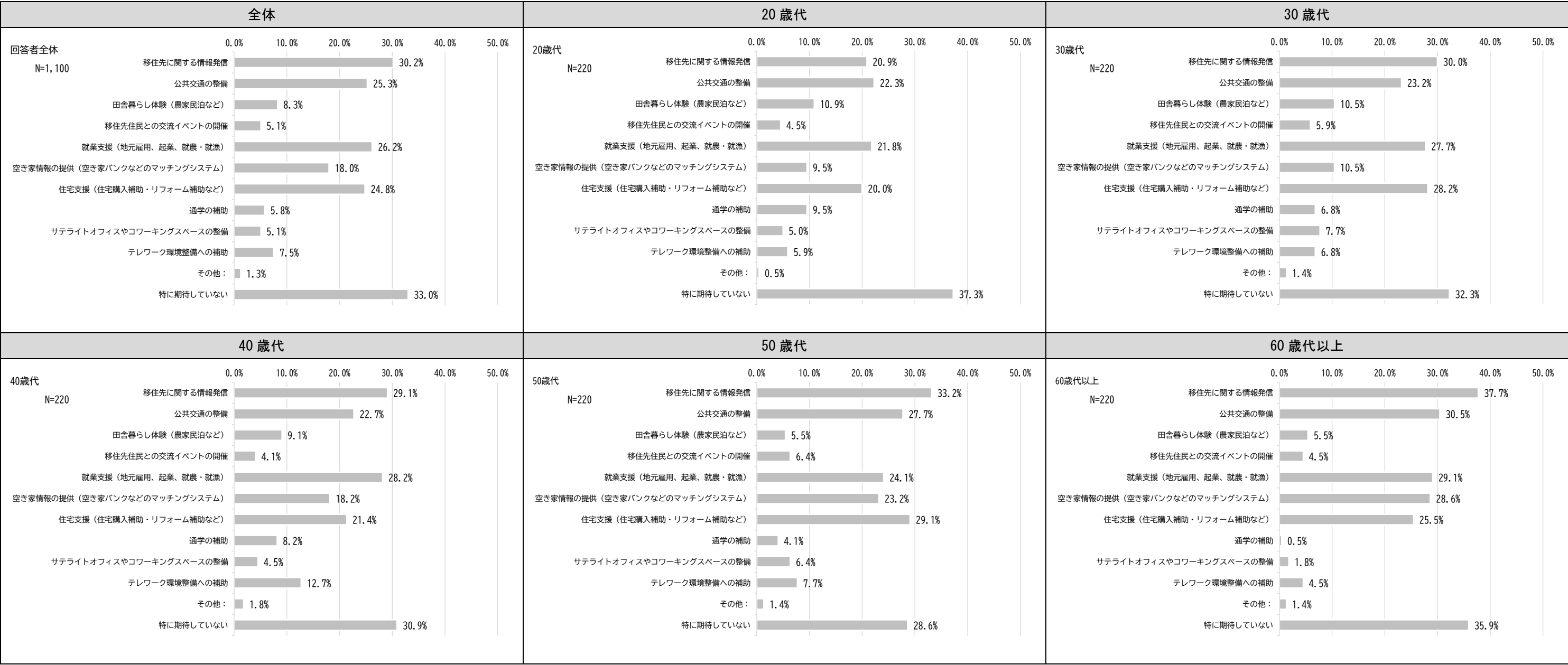
②居住地別の傾向×富津市を移住候補とする可能性あり

地方移住で富津市が取り組んだ方が良い取組みについて、富津市を移住候補地とする回答者に絞り込んだうえでの居住地別の傾向は下表のようになっている。



③年齢別の傾向

地方移住で富津市が取り組んだ方が良い取組みについて、年齢別の傾向は下表のようになっている。



④年齢別の傾向×富津市を移住候補とする可能性あり

地方移住で富津市が取り組んだ方が良い取組みについて、富津市を移住候補地とする回答者に絞り込んだうえでの年齢別の傾向は下表のようになっている。

